

Printia *≡ LASER*

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-5720/XL-5320 ページプリンタ

取扱説明書

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ESC/P、ESC/Pageは、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

VP-1000、LP-8000Sは、セイコーエプソン(株)の商標です。

PC-9800シリーズ、PC-9801シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気(株)の商標です。

IBM PS/55シリーズ、PS/Vシリーズは、米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。

AdobeおよびAcrobatは、アドビシステムズ社の商標です。

True Type フォントは、米国アップルコンピュータ社の登録商標もしくは商標です。

PowerPC、PowerPC603eは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて



この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。

国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-5720 / 5320をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

XL-5720は最大20枚 / 分、XL-5320は最大12枚 / 分（ともにA4サイズ横送り）の高速印刷が可能なページプリンタです。

本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。

本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

1999年11月

本文中の略語について

Microsoft[®] Windows[®] operating system Version 3.1は、本文中ではWindows 3.1と表記しています。

Microsoft[®] Windows NT[®] Workstation operating system Version 4.0は、本文中ではWindows NT4.0と表記しています。

Microsoft[®] Windows[®] 98 operating system日本語版をWindows 98、Microsoft[®] Windows[®] 95 operating system日本語版をWindows 95と表記しています。両方を同時に示す場合は、Windows 98/95と表記しています。

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味

	で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本定格電源は100V、8Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。



警告



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

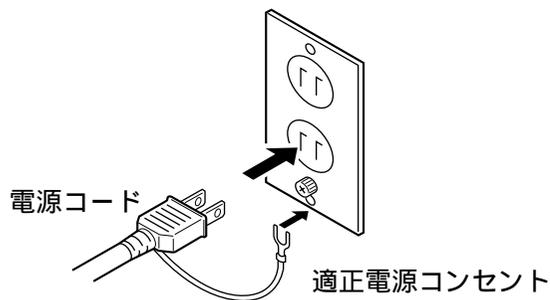
感電・火災の原因となります。



電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

- ・ 電源コンセントのアース線
- ・ 銅片などを650mm 以上地中に埋めたもの
- ・ 接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



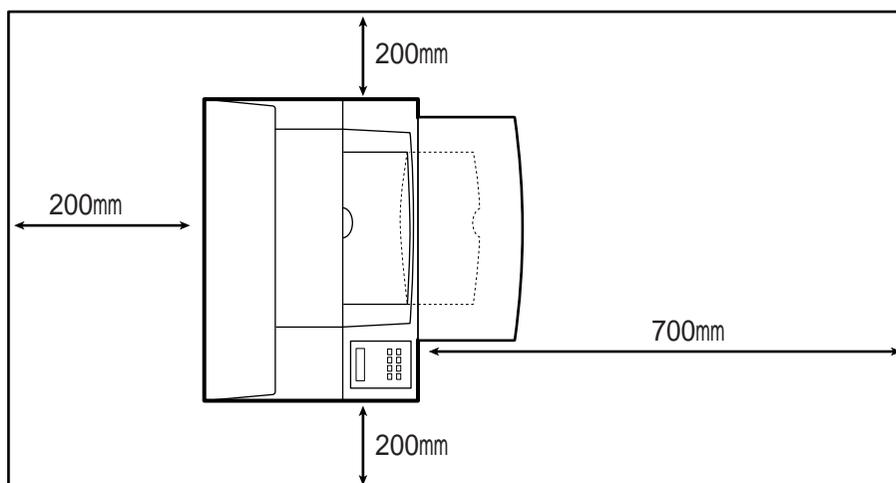
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から200mm以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な400mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。



注意



XL-5720は重さ約40kg、XL-5320は重さ約34kg（ともにフルオプション、消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

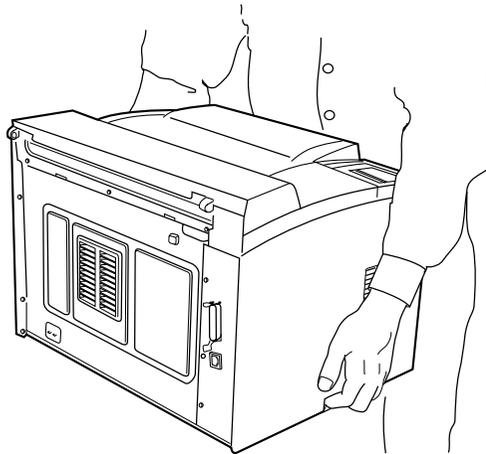
プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約18.5kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタの正面を体の方に向け、底部の取っ手を両手でしっかりと持ってください。必要に応じて2人で持ち運んでください。

落下によりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

故障の修理は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



警告



電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターに修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っばると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があります、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



注意



1カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。
- ・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターまでご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意



プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジは、弊社の『無償回収サービス』（「サブライ用品」（17ページ））をご利用いただくか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。



トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、設定値の変えかた、日常の保守のしかたなどについて説明します。

本書は、プリンタの設置や操作について説明する「プリンタ編」と、プリンタドライバのインストールおよび添付のユーティリティについて説明する「ソフトウェア編」からなります。

【プリンタ編】

目次	内容
第1章 お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。
第2章 用紙について	プリンタで使用できる用紙と、用紙の保管のしかたについて説明します。
第3章 プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順の概要について説明します。
第4章 外部との接続	添付品の取り付けかたやケーブル類の接続について説明します。
第5章 日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることについて説明します。
第6章 オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第7章 設定値を変える	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第8章 こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
第9章 オプションの取り付け	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
付録	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることについて説明します。

【ソフトウェア編】

本書には第1章～第3章と付録を掲載しています。第4章～第6章()部は、PDF形式のソフトウェアマニュアルでのみ提供しています。ソフトウェアマニュアルについては、「ソフトウェアマニュアルの使いかた」((14)ページ)をご覧ください。

目次	内容
第1章 インストールの概要	添付のCD-ROMに収められたソフトウェア類の概要と、これらのインストールの概要について説明します。
第2章 プリンタドライバのインストール	パソコンにプリンタドライバをインストールする操作手順について説明します。
第3章 プリンタドライバの設定	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第4章 Printianavi ネットワークポート モニタ	プリンタをLAN(TCP/IP)で接続してパソコンから直接印刷できるようにするユーティリティのインストール方法と設定方法について説明します。
第5章 Printianavi ネットワーク連携 ユーティリティ	サーバに接続したプリンタの状態や制御をクライアント側で行えるようにするユーティリティのインストールと設定方法について説明します。
第6章 Printianavi マネージャ	プリンタの情報参照や環境設定などを、パソコン側で行えるようにするユーティリティのインストール方法と設定方法について説明します。
付録	各ユーティリティのインストールの概要や、Printianavi使用中に表示されるエラーメッセージの内容について説明します。

本書の用語

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

 **お願い** 本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。

 **ガイド** 本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。

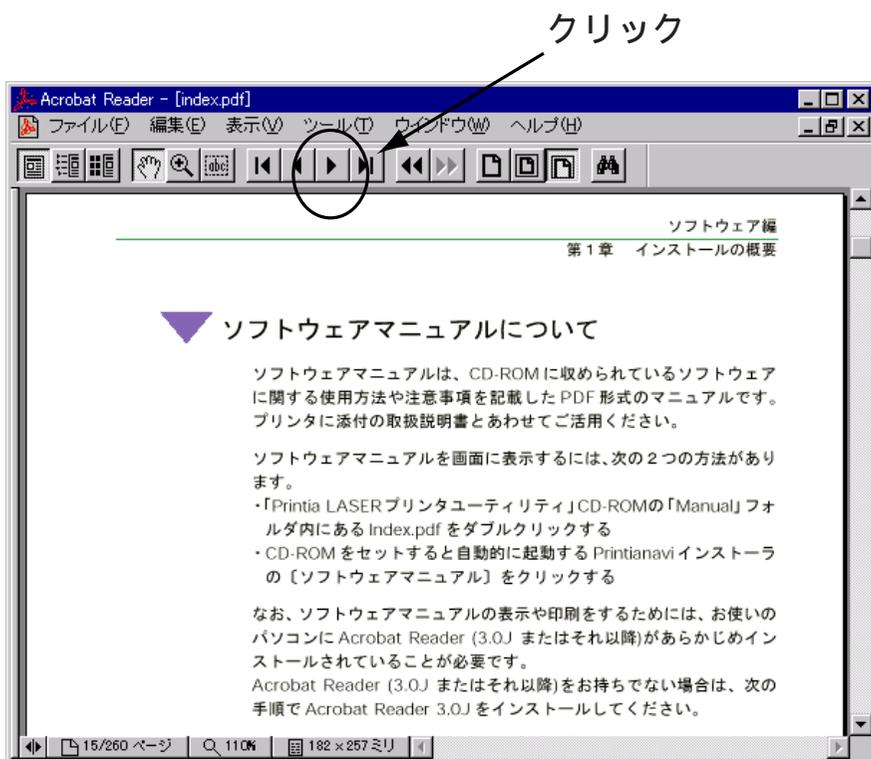
ソフトウェアマニュアルの使いかた

「ソフトウェア編」の第4章～第6章は、ソフトウェアマニュアルという名称のPDF形式のファイルで提供しています。PDF形式のファイルは、添付のAdobe Acrobat Reader 3.0Jで参照できるようになっています。

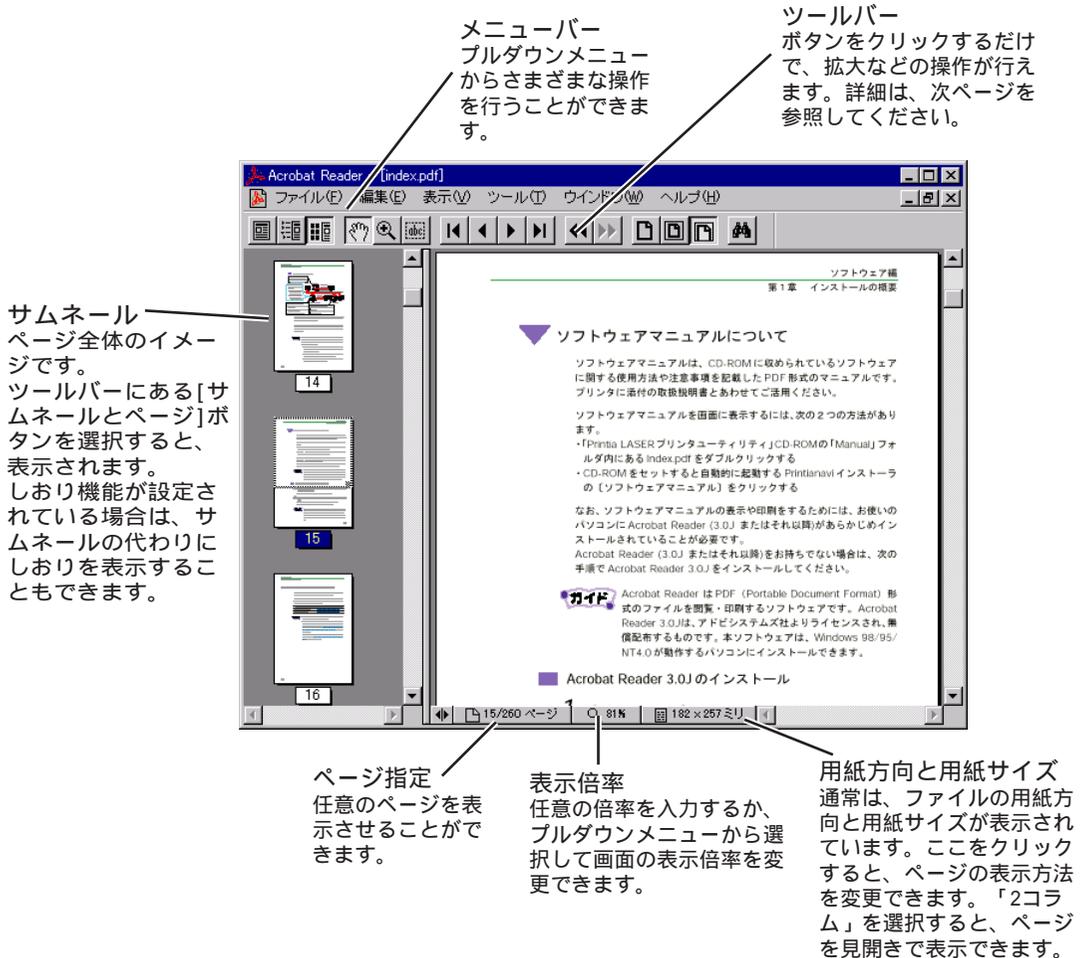
Acrobat Reader 3.0Jの基本操作

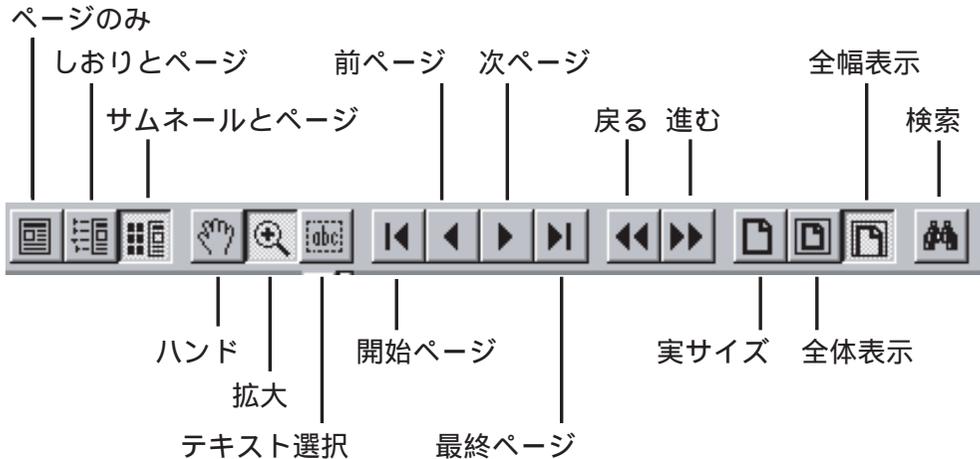
ここでは、オンラインマニュアルを利用するために必要な操作や便利な機能を簡単に紹介します。

 をクリックすると、次のページを表示します。



Acrobat Reader 3.0Jを使用すると、次のような画面が表示されます。ボタンをクリックして、必要な操作を行ってください。





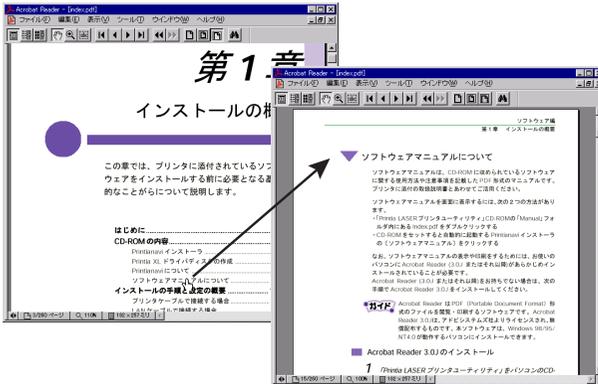
- ページのみ ページだけをウィンドウに表示します。
- しおりとページ ウィンドウの左側にしおりまたはサムネールを表示し
サムネールとページ す。しおりの見出しやサムネールをクリックすると、そのページを表示することができます。
- ハンド 表示方法を「コラム」や「拡大表示」に設定している場合に有効です。このボタンを押すと表示されるカーソルで画面をドラッグすると、表示する位置を変更することができます。
- 拡大 このボタンを選択後、拡大させたい箇所をドラッグして囲んだり、ページ上の任意の場所をクリックしたりすると拡大表示します。同じ操作を繰り返すと、最大800%まで拡大します。
- テキスト選択 ページ上のテキストを選択します。
- 開始ページ 開始ページへ移動します。
- 前ページ 前ページへ移動します。
- 次ページ 次ページへ移動します。
- 最終ページ 最終ページへ移動します。
- 戻る、進む 1つ前の状態に戻したり、それを取り消したりします。
- 実サイズ 100%の倍率で表示します。
- 全体表示 ウィンドウいっぱいに表示します。
- 全幅表示 ページの幅いっぱいにウィンドウに表示します。
- 検索 ファイル内の文字を検索します。文字がグラフィックイメージになっている場合、この機能は使用できません。

Acrobat Reader の便利な機能

開く(O)...	Ctrl+O
閉じる(C)	Ctrl+W
書類情報(I)	
印刷(P)...	Ctrl+P
印刷設定(R)...	Ctrl+Shift+P
環境設定(E)	
終了(X)	Alt+F4

印刷

オンラインマニュアルを印刷する場合は、〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択し、〔印刷〕ダイアログボックスで印刷部数や印刷する範囲を指定します。



リンク

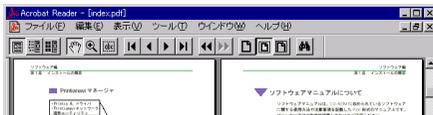
リンクとは、設定されているページにジャンプする機能です。マウスポインタが \downarrow に変わる場所をクリックすると、リンク先のページを表示します。



1. クリック



2. 「2コラム」をクリック



見開き表示

〔用紙方向と用紙サイズ〕をクリックして「2コラム」を選択すると、ページを見開きで表示します。

クリック



しおり

見出しをクリックすると、そのページを表示します。▷が表示されている場合、そこをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

目次

はじめに	(1)
本文中の略語について	(1)
警告表示マークについて	(1)
安全上のご注意	(2)
プリンタ設置および移動時のご注意	(2)
プリンタ使用時のご注意	(6)
プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意	(10)
本書の構成	(11)
本書の用語	(13)
ソフトウェアマニュアルの使いかた	(14)
Acrobat Reader 3.0J の基本操作	(14)
Acrobat Reader の便利な機能	(17)

プリンタ編

第 1 章 お使いになる前に	3
製品の確認 (梱包されている製品)	4
本プリンタの特長	5
各部の名称と機能	7
いろいろな印刷のしかた	10
Printia XL ドライバで印刷する	10
エミュレーションモードで印刷する	10
コマンドでエミュレーションモードを切り替える	11
エミュレーションモードを使う上での留意事項	12
オプション品	14
サプライ用品	17
第 2 章 用紙について	19
使用できる用紙	20
使用できない用紙	22
用紙の保管上のご注意	23

第3章 プリンタの設置	25
設置上のお願い	26
プリンタの寸法	27
設置手順	28
第4章 外部との接続	31
パソコンとの接続	32
LAN経由の接続	34
パソコンと接続するときの留意事項	36
電源コードの接続	38
第5章 日常のメンテナンス	41
電源の投入と切断	42
用紙のセット	44
給紙トレイに用紙をセットする	44
給紙カセット(A3ユニバーサル)に用紙をセットする	46
オプションの給紙カセット(A4・500枚)に用紙をセットする	51
プロセスカートリッジの交換	54
プロセスカートリッジを取り外す	57
プロセスカートリッジを取り付ける	58
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	61
取り扱い上のご注意	61
保管上のご注意	61
印刷濃度を調整する	62
プリンタの清掃	64
プリンタ外部の清掃	64
プリンタ内部の清掃	65
プリンタを長時間使用しないとき	68
プリンタを移動するとき	69
近くに移動する	69
梱包して運搬する	73

第6章 オペレータパネルの操作	75
液晶ディスプレイの表示内容	76
オペレータパネルを操作する	78
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	78
印刷方向と給紙口を一時的に切り替える	78
縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に変更する (メニュー印刷設定モード)	82
プリンタをリセットする	86
印刷を中止する	86
未印刷データを強制的に印刷する	87
第7章 設定値を変える	89
セットアップ項目について	90
メニュー印刷 ~ 設定内容を印刷する	90
テスト印刷 ~ テスト印刷をする	90
エミュレーション設定 ~ 動作モードを切り替える	91
印刷設定 ~ 印刷のときの設定を変える	91
EPモード設定 ~ ESC/Pモードの印刷条件を設定する ...	93
EGモード設定 ~ ESC/Pageモードの印刷条件を設定する	95
環境設定 ~ 日常の操作に必要な設定値を変える	96
補助機能設定 ~ 補助機能を設定する	98
登録 ~ 設定値を登録する	103
保守モード ~ 保守モードを設定する	103
設定の変更手順(セットアップの操作方法)	104
基本的な操作	104
選んだ項目に設定する操作	104
数値を設定する操作	106
メニュー印刷やテスト印刷を行う操作	106
HEX ダンプ印刷を行う操作	107
セットアップ項目一覧	108

第 8 章	こんなときには	115
	故障かなと思ったとき	116
	紙づまりになったとき	118
	紙づまりの取り除きかた	119
	印刷品質が低下したとき	124
	エラーメッセージが表示されたとき	128
第 9 章	オプションの取り付け	133
	オプション取り付け上のご注意	134
	プリンタ RAM モジュールの取り付けかた	134
	プリンタ RAM モジュールを取り付ける	135
	プリンタ RAM モジュールを取り外す	137
	拡張給紙ユニットの取り付けかた	138
	拡張給紙ユニットを取り付ける	139
	拡張給紙ユニットを取り外す	143
付 録		145
	プリンタの仕様	146
	基本仕様	146
	インタフェース仕様	148
	用紙関係	149
	コマンド (機能コード) 一覧	151
	ESC/P モードコマンド一覧表	151
	ESC/Page モードコマンド一覧表	153
	キャラクタコード一覧	156
	ESC/P モードキャラクタコード一覧表	156
	ESC/Page モードキャラクタコード一覧表	157
	J I S -90 第一水準漢字一覧表	161
	J I S -90 第二水準漢字一覧表	164
	J I S 漢字コードについてのご注意	167
	アフターサービスについて	168

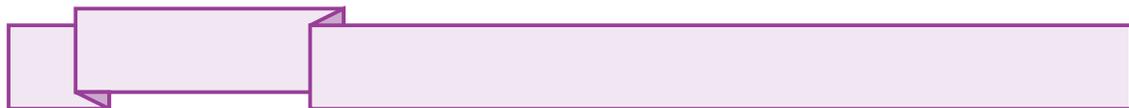
ソフトウェア編

第1章 インストールの概要	3
はじめに	4
CD-ROMの内容	5
Printianavi インストーラ	6
Printia XL ドライバディスクの作成	8
Printianavi について	9
ソフトウェアマニュアルについて	15
インストールの手順と設定の概要	16
プリンタケーブルで接続する場合	17
LAN ケーブルで接続する場合	20
インストールが終わったら	25
第2章 プリンタドライバの インストール	27
Windows 98/95 のとき	28
インストール	28
プリンタを共有する	43
印刷先ポートの追加と変更	45
新しいドライバに置き換えるとき	49
ネットワークインストール	50
Windows NT4.0 のとき	53
インストール	53
プリンタを共有する	58
印刷先ポートの追加と変更	59
新しいドライバに置き換えるとき	62
代替ドライバとネットワークインストール	63
Windows 3.1 のとき	67
インストール	67
印刷先ポートの追加と変更	71
新しいドライバに置き換えるとき	72

第3章 プリンタドライバの設定	73
設定画面について	75
Windows 98/95 の設定画面	75
Windows NT4.0 の設定画面	82
Windows 3.1 の設定画面	90
プリンタドライバの機能と設定の概要	93
印刷するときの設定	93
より便利にお使いいただくための設定	95
注意事項	96
印刷するときの基本的な設定	98
用紙サイズと向きを指定する	98
給紙 / 排紙方法を指定する	100
便利な印刷機能	102
拡大 / 縮小印刷 (Windows 98/95/NT4.0)	102
縮小印刷 (Windows 3.1)	106
N-up 印刷 (Windows 98/95/NT4.0)	107
複数部数 / 部単位印刷	110
両面印刷 (両面印刷対応プリンタのみ)	112
印刷の調整に関する設定	114
きれいに印刷する	114
高速に印刷する	118
オプション機能を設定する	121
Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0)	123
Printianavi を有効にする	123
メッセージの表示方法を変更する	125
プリンタの状態を表示する	129
プリンタの状態を設定値に反映する	131
プリンタドライバに関する設定	132
オプションの装着状態を設定する (Windows 98/95/NT4.0)	132
プリンタドライバのバージョンを確認する	134

付 録	135
メッセージ一覧	136
プリンター一覧 (Printianavi マネージャ)	136
プリンタステータス (Printianavi マネージャ、Printia XL ドライバ)....	138
Printianavi によるメッセージ表示一覧	143
ネットワーク用語の解説	152
NetWare5 の TCP/IP 環境での印刷	154
Printia XL トラブルシューティング	157
索引 ~ プリンタ編 ~	171
索引 ~ ソフトウェア編 ~	177

プリンタ編



第1章

お使いになる前に

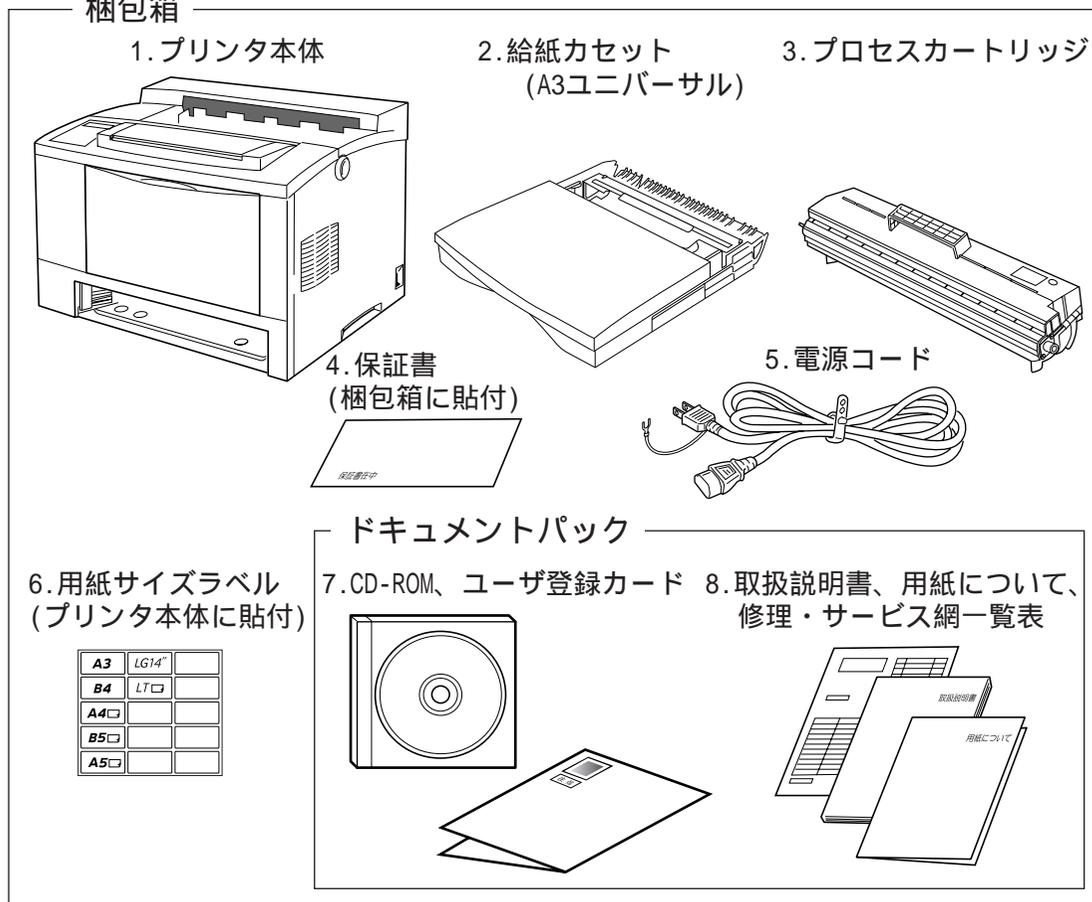
この章では、プリンタの特長や各部の名称と機能、オプション品やサプライ用品など、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

お使いになる前に	3
製品の確認 (梱包されている製品).....	4
本プリンタの特長	5
各部の名称と機能	7
いろいろな印刷のしかた	10
Printia XL ドライバで印刷する	10
エミュレーションモードで印刷する	10
コマンドでエミュレーションモードを切り替える	11
エミュレーションモードを使う上での留意事項	12
オプション品	14
サプライ用品	17

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

梱包箱



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」(16ページ参照))

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておく便利です。

本プリンタの特長

- 1 **Windows 98/95/3.1 および Windows NT4.0 対応**
Printia XL ドライバにより、各社パソコンの Windows 環境のもとで美しくスピーディな印刷が行えます。また Windows 98/95 の Plug & Play に対応しています。
- 2 **双方向プリンティングシステム「Printianavi(プリンティアナビ)」とプリンタ管理ユーティリティ「Printianavi マネージャ」を標準添付(Windows NT4.0/Windows 98/95 対応)**
プリントサーバとプリンタとの双方向通信機能、およびクライアントとプリントサーバとのメッセージ連携機能により、従来のパソコン用プリンタでは実現できなかったエラーリカバリやプリンタの集中管理等の信頼性に優れたプリンティングシステムを提供します。
- 3 **多彩な動作モード(ESC/P、ESC/Page)**
動作モードを切り替えることによって、次のプリンタの動作をエミュレーションして印刷することができます。
 - ・ESC/P モード : セイコーエプソン 24 ドットプリンタ VP-1000 相当
 - ・ESC/Page モード : セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当
- 4 **優れた印刷品質**
縦横 1 インチ当たり 600 ドットの高解像度エンジンと富士通独自の FEIT (Fujitsu Enhanced Image Technology) 機能により、ギザギザの少ない美しい印刷結果を得ることができます。
- 5 **高速印刷**
XL-5720 は最大 20.6 枚 / 分(A4)、XL-5320 は最大 12.4 枚 / 分(A4)の高速エンジンに、Power PC™ コントローラを搭載し、さらに True Type フォントの高速印刷モードを採用することにより、大幅なスループット向上を実現しています。

6 多彩な給紙機能

拡張給紙ユニット(オプション)を取り付けると、次のような給紙機能が使用できます。

- ・異なったサイズ用の紙を同時にセットすることができます。
(XL-5720は最大4種類、XL-5320は最大3種類の用紙をセット可能)
- ・次の枚数の用紙を一度にセットできます。
XL-5720は標準450枚、最大1,200枚
XL-5320は標準450枚、最大950枚

7 ネットワーク対応

10BASE-T および 100BASE-TX 対応の高速 LAN ポートを標準装備しました。

Printianavi 対応の専用ネットワークポートモニターにより、Windows NT4.0/Windows 98/95 パソコンから LAN 経由で直接印刷できます。また TCP/IP プロトコルを使用した Windows NT/NetWare 5(NDPS) 対応のサーバプリンタとしてご利用になれます。

8 クイックスタート機能とパワーセーブ機能により消費電力を節約

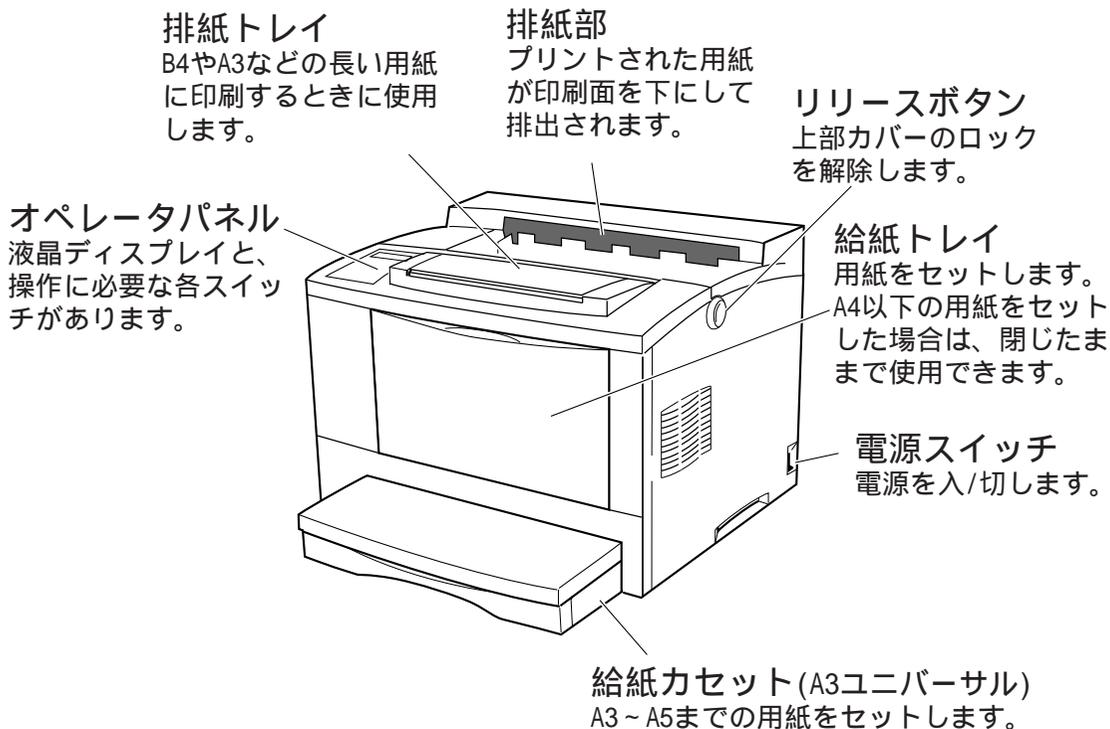
クイックスタート機能により、パワーセーブ状態から印刷開始までの待ち時間を大幅に短縮しました。パワーセーブ機能を有効に活用し、消費電力を大幅に節約できます。

9 トナーセーブ機能によりトナーの消費量を節約

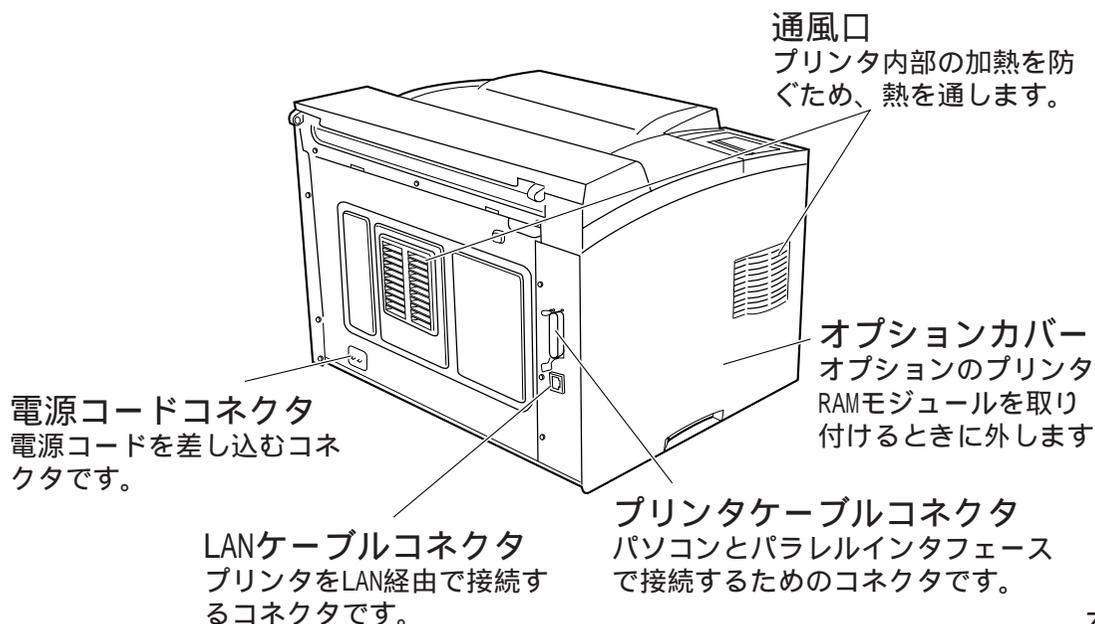
各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

■ 前面



■ 背面



内部

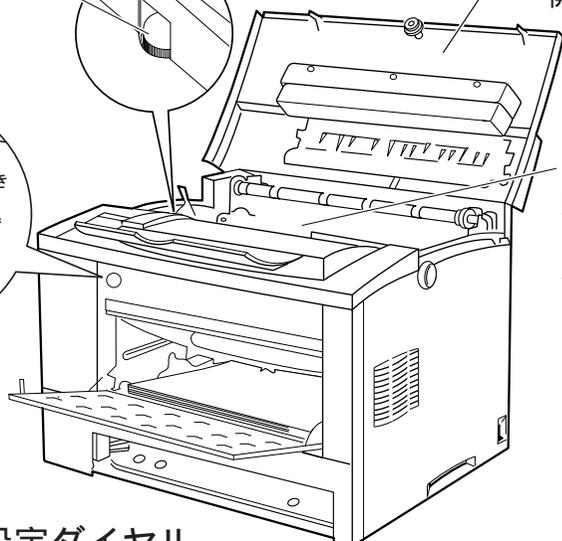
印刷濃度調整ダイヤル
印刷濃度を調整するダイヤルです。

上部カバー
プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。

プロセスカートリッジ
感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。



給紙トレイ
用紙サイズ設定ダイヤル
給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定するダイヤルです。
『パネルで設定』の位置にするとオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。

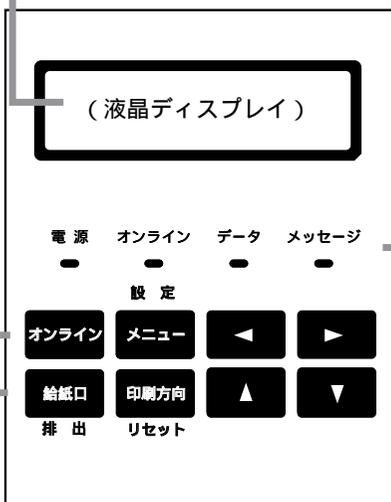


オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

液晶ディスプレイ

プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。
(1行16文字の2段に表示されます。)



オンラインスイッチ

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。一時的な設定(*)を終了させる機能もあります。

メニュースイッチ

プリンタの動作条件を設定します。

給紙口スイッチ

給紙口を選択します。

排出スイッチ

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

電源ランプ (緑色)

電源の投入/切断状態を知らせます。

点灯: 電源投入
消灯: 電源切断

オンラインランプ (緑色)

プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。

点灯: オンライン状態
(パソコンからのデータを受け取ることができる状態)
消灯: オフライン状態
(パソコンからのデータを受け取ることができない状態)

データランプ (緑色)

プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。

点灯: データが残っている
点滅: データをパソコンから受信中
消灯: データがない
点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。

メッセージランプ (オレンジ色)

印刷できない状態にあることを知らせます。

点灯: エラーやアラームが発生し、印刷できない状態
(エラー内容を知らせるメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。メッセージに従って対処してください。詳しくは、「エラーメッセージが表示されたとき」(128ページ)を参照してください。)

消灯: 印刷できる状態

印刷方向スイッチ

印刷方向を選択します。

リセットスイッチ

プリンタを電源投入時の状態にし、未印刷データを消去します。

*: 一時的な設定については、「オペレータパネルを操作する」(78ページ)を参照してください。



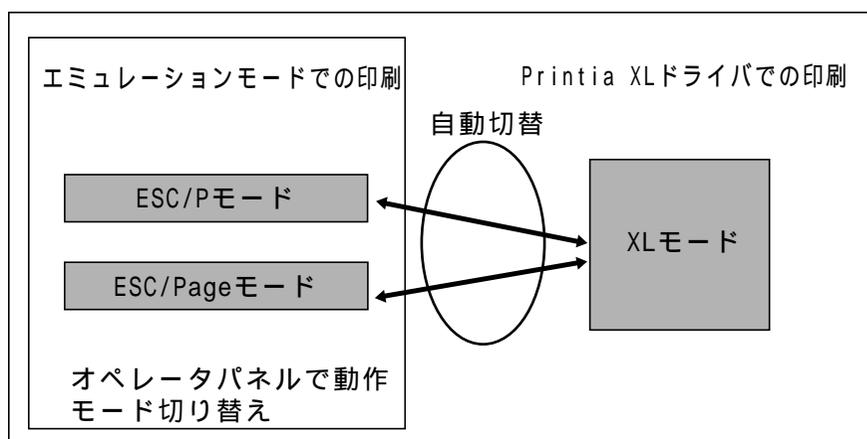
「設定」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(104ページ)を参照してください。

いろいろな印刷のしかた

アプリケーションソフトからの印刷のしかたについて説明します。

▼ Printia XL ドライバで印刷する

Windows対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XL ドライバ (FUJITSU XL-5720 または FUJITSU XL-5320) を選択します。プリンタの設定は、Windows のダイアログボックスの設定内容に従います。Windows からの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。



ガイド コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XL ドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

▼ エミュレーションモードで印刷する

本プリンタは、富士通 FMV シリーズや各社 AT 互換機のパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

- ・ESC/P モード : セイコーエプソン ドットプリンタ VP-1000 相当
- ・ESC/Page モード : セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当

動作モード (エミュレーションモード) は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。オペレータパネルで切り替える方法については、「第7章 設定値を変える」(89 ページ) を参照してください。

▼ コマンドでエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード(コマンド)で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、サーバプリンタとして使用する場合などに便利です。Windows NTなどのネットワークOSを使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワークOSのマニュアルをお読みください。

■ エミュレーションモードを切り替える

エミュレーションモードを切り替えるには、次のコマンドを発行します。($\times \times_{16}$ は、16進数表記での値です。)

【形式】

ESC + / + イ + @ + DEL + ESC + DEL + NULL + NULL + SOH + Pa
 $1B_{16} 2F_{16} B2_{16} 40_{16} 7F_{16} 1B_{16} 7F_{16} 00_{16} 00_{16} 01_{16} \times \times_{16}$

【解説】

- ・ Paは1バイトの選択パラメータで、切り替えるエミュレーションモードを指定します。各エミュレーションごとのPaの値は次のとおりです。

ESC/P : Pa = 09_{16}
 ESC/Page : Pa = 06_{16}

また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード(デフォルトモード)に戻す場合には、次のPaを使用します。

デフォルトモード : Pa = 05_{16}

- ・ パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。
- ・ エミュレーションモードを切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。
- ・ 設定されたエミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。(「液晶ディスプレイの表示内容」76ページ)
- ・ コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XLドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード(デフォルトモード)に戻ります。(「プリンタをリセットする」(86ページ参照))

切り替えコマンドの使い方

複数のエミュレーションの印刷やPrintia XLドライバの印刷を行う場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷を行うアプリケーションソフトの印刷では、エミュレーションモードの切り替えコマンドは必要ありません。

お願い

切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

エミュレーションモードを使う上での留意事項

エミュレーションモードは、本プリンタに、セイコーエプソンの24ドットマトリクスプリンタVP-1000 (ESC/Pモード) およびページプリンタLP-8000S (ESC/Pageモード) と同等の動作をさせるものです。ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

次に、各エミュレーションモードを使う場合の留意事項について説明します。

セイコーエプソン VP-1000 との違い

ESC/P エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製のVP-1000と、次の点で異なります。

- ・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
- ・用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」(149ページ)をご覧ください。

■ セイコーエプソン LP-8000S との違い

ESC/Page エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製のLP-8000Sとは、次の点で違います。

- ・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
- ・WindowsのLP-8000Sプリンタドライバでの80%縮小は、75%縮小で印刷します。
- ・登録、または記憶を行うコマンドは、メモリ容量の違いから、「登録メモリオーバー」エラーになることがあります。

オプション品

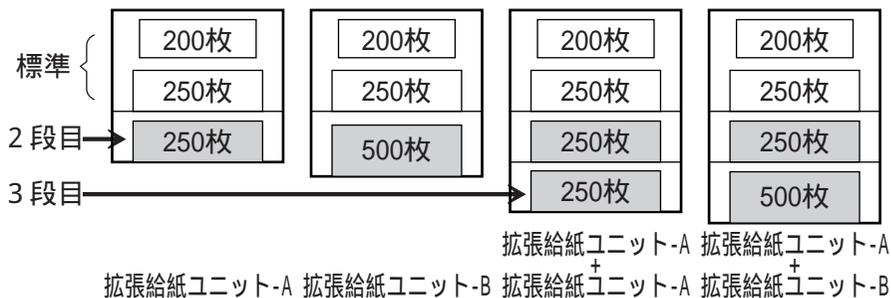
本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ 拡張給紙ユニット

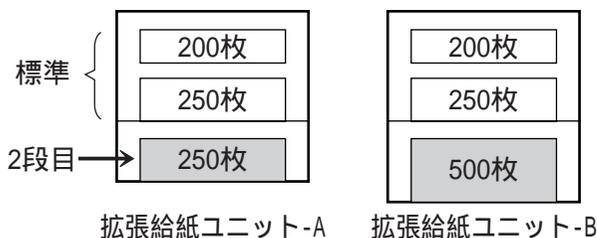
品名	型名	内容
拡張給紙ユニット-A	XL-EF25H1	2段目、3段目の給紙ユニットとして使用できます。(注1) (A3、250枚給紙カセット添付)
拡張給紙ユニット-B	XL-EF50H1	2段目、3段目の給紙ユニットとして使用できます。(注1) (A4、500枚給紙カセット添付)

注1：3段目の給紙ユニットは、XL-5720 のとき取り付けられます。

形態 XL-5720 のとき



形態 XL-5320 のとき



■ プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール-32MB	XL-EM32M4	RAMを32MB搭載したメモリモジュールです。

用途

- ・どのプリンタ RAM モジュールを追加しても、Printia XL ドライバで A3 までの用紙に 600 ドット / インチで印刷が可能になります。(標準構成では、600 ドット / インチの印刷は A4 までです。)
- ・ビットマップメモリの容量増加により、印刷速度の向上が図れます。特に、600 ドット / インチの印刷をする場合は、より効果があります。(例えば、A4 用紙に 600 ドット / インチ印刷をする場合のビットマップメモリ枚数が、メモリ増設なしのときの 1 ページに対し、32MB 追加で 6 ページになります。)

■ プリンタ LAN アダプタ

本プリンタ内蔵のプリンタ LAN ポートは 100BASE-TX/10BASE-T に対応し、プロトコルとして TCP/IP をサポートしています。

IPX/SPX プロトコルでは次のプリンタ LAN アダプタをご使用ください。

品名	型名	内容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA100	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。 NetWare 3.1xJ/4.1 に対応しています。

■ プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712
FMR シリーズ デスクトップタイプ	FM60-711
FMR シリーズ CARD タイプ	FM50N711G
FMR シリーズ ノートブックタイプ	FM50N713G
FMR TOWNS シリーズ	FM60-711
GRAN POWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711
FM-Server シリーズ	

【NEC】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
PC-9821 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin)	XL-CBL981(*1)
PC-9801 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin)	

*1: XL-CBL981はプリンタインタフェースとして36ピンハーフピッチコネクタを持つPC-9800シリーズに対応しています。36ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つPC-9800シリーズは、NEC製の専用ケーブルをご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

サプライ用品

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商品名	商品番号	備考
普通紙推奨用紙	A 3サイズ	0411650 500枚×3冊で1ケース
	B 4サイズ	0411620
	A 4サイズ(Y)	0411612 500枚×5冊で1ケース
	B 5サイズ(Y)	0411645
	A 5サイズ(Y)	0411635
プロセスカートリッジ	LB308 0872110	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積率が5%以下のときに、印刷寿命は約6,000枚です(印刷の内容により、多少の差があります)。
LB308 給紙カセット (A3ユニバーサル)	0872310	A3～A5サイズで250枚 添付のカセットと同一です。
LB308 給紙カセット (500枚)A4	0872320	A4サイズで500枚 拡張給紙ユニット-B(XL-EF50H1)専用です。
レーザプリンタ置台	0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 600(W)×610(D)×440(H)mm

■ 使用済みプロセスカートリッジの回収サービスについて

富士通株式会社では、地球環境保全の立場からリサイクルを推進しております。『プロセスカートリッジ』につきましても環境保全を目的とし、『無償回収サービス』を実施しておりますので、ご協力をお願いします。『無償回収サービス』のご利用にあたっては、初回にユーザ登録が必要です。恐れ入りますが『プロセスカートリッジ』をご購入の販売店にお申し付けいただき、ユーザ登録をお済ませください。なお、ご利用対象は法人企業様に限定させていただいております。

第2章

用紙について

使用する用紙の種類、用紙の保管のしかたなどによって、印刷品質にかなりの差がでます。ここでは、用紙の種類と保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙	20
使用できない用紙	22
用紙の保管上のご注意	23

使用できる用紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙の詳細は、「サプライ用品」(17ページ)を参照してください。

お願い

- ・用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
- ・OHPフィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザープリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙 カセット	普通紙 (再生紙)	A 3 タテ	60 ~ 90g/m ² (重量 64g/m ² の用紙の場合)	約 250 枚
		B 4 タテ		
		A 4 ヨコ		
		B 5 ヨコ		
		A 5 ヨコ		
給紙トレイ	普通紙 (再生紙)	リーガルタテ レターヨコ	60 ~ 135g/m ²	約 200 枚 (重量 64g/m ² の用紙の場合)
		100 × 148 ~ 297 × 420mm		
官製はがき	ハガキタテ		190g/m ²	約 75 枚
OHPフィルム	A4 ヨコ		60 ~ 135g/m ²	約 75 枚
ラベル紙	A4 ヨコ		60 ~ 135g/m ²	約 75 枚

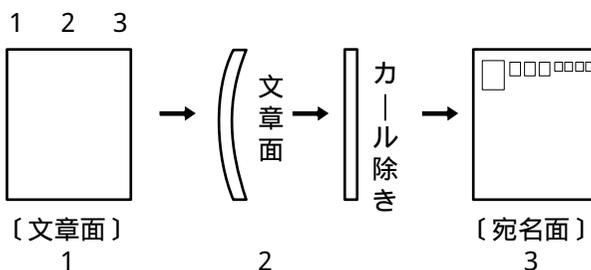
お願い

はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。

■ 官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面 宛名面の順に印刷してください。

宛名面 文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。



■ OHPフィルム

定着時の熱(約190)で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

■ ラベル紙

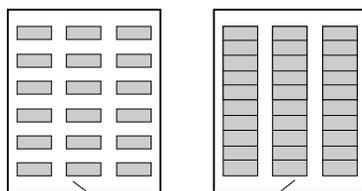
ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱(約190)で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかつたりしますので、使用しないでください。

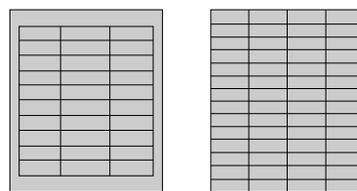
- ・ 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- ・ 湿っている用紙や、濡れている用紙
- ・ 一度印刷された用紙
- ・ 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- ・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ カールしている用紙
- ・ 静電気で密着している用紙
- ・ 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- ・ 表面を加工、または特殊なコーティングした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- ・ オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- ・ インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190℃以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- ・ 190℃以上の熱で溶けたり、変質する用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙
- ・ 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザープリンタ用以外のラベル用紙

× 使用できません



つるつるした台紙面

使用できます



全面ラベル紙

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・ 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- ・ 平らなパレットの上
- ・ 温度 20 、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

- ・ 床の上に直接置く
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 外壁の内側の近く
- ・ 段差や、曲がりのある場所
- ・ 静電気が発生するところ
- ・ 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- ・ 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

- ・ 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・ 長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む



長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第3章

プリンタの設置

この章では、プリンタを設置する際に注意すべきことと、設置の手順について説明します。

設置上のお願い	26
プリンタの寸法	27
設置手順.....	28

設置上のお願ひ

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度:10 ~ 32 湿度:15 ~ 85% (結露がないこと)

温度32 のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度28 以下でご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

サーバ接続などによりプリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙探知機、温度センサーなど)が施された場所に設置してください。

また、防災管理者(警備員、管理人など)が建物内に待機していることも必要です。

プリンタを前後左右に5°以上傾けないでください。

トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

お願い

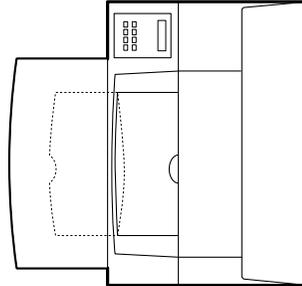
- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

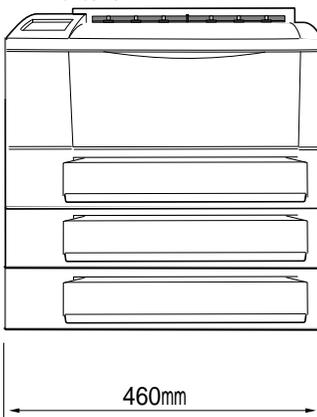
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

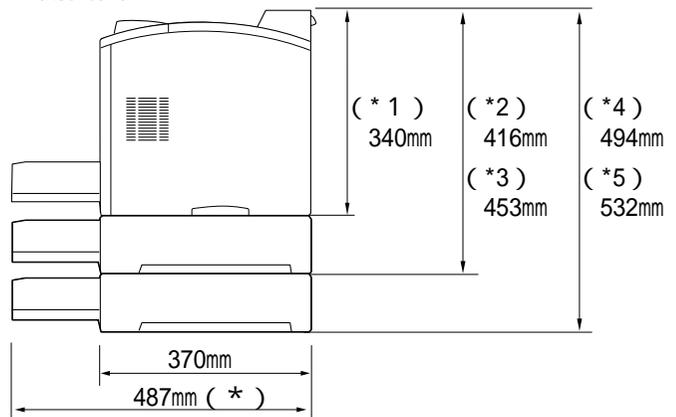
< 上面図 >



< 正面図 >



< 側面図 >



- *1:標準構成時
 - *2:拡張給紙ユニット -A を1段搭載時
 - *3:拡張給紙ユニット -B を1段搭載時
 - *4:拡張給紙ユニット -A を2段搭載時 (XL-5720のみ)
 - *5:拡張給紙ユニット -A と拡張給紙ユニット -B を搭載時 (XL-5720のみ)
- (*)奥行きはユニバーサルカセット縮小時は487mm、延長時は598mmになります。

⚠ 注意

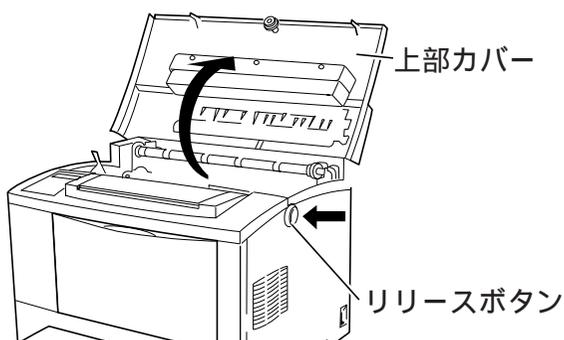
火 災 プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から200mm以上離して設置してください。(「安全上のご注意」(2)ページ参照)

け が 設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

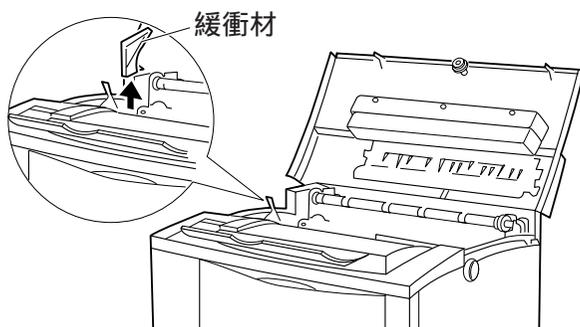
設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

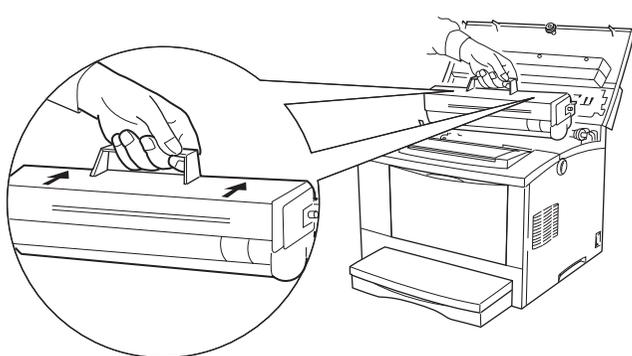
- 1 製品がすべて揃っていることを確認する
梱包されている製品は、「製品の確認(梱包されている製品)」(4ページ)に記載してあります。



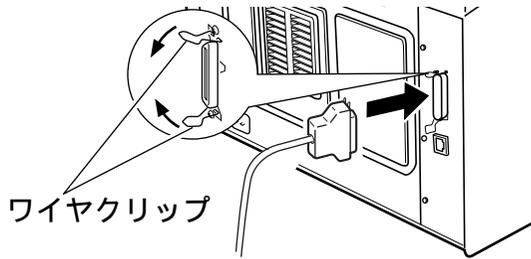
- 2 リリースボタンを押して上部カバーを開け、緩衝材をとる



緩衝材(オレンジ色)は、下に押しながらプリンタの中央側に倒すと、外れます。



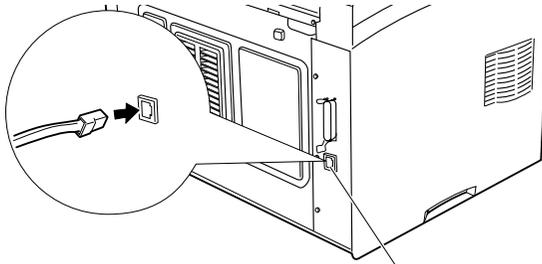
- 3 プロセスカートリッジを取り付ける
詳しくは、「プロセスカートリッジを取り付ける」(58ページ)に記載してあります。



4 パソコンと接続する

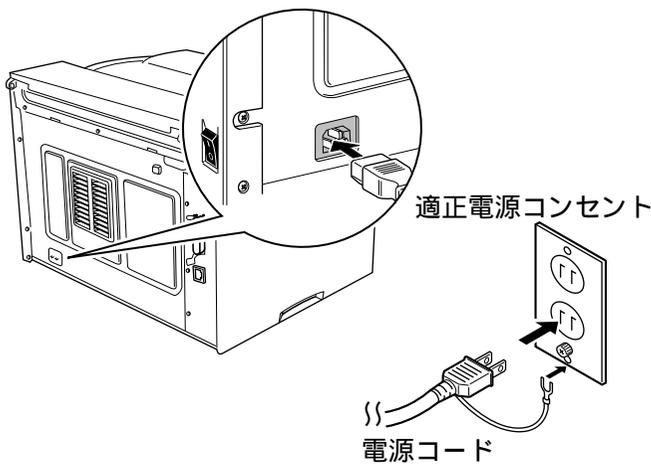
プリンタケーブルを使い、パソコンと接続します。

詳しくは、「パソコンとの接続」(32 ページ)に記載してあります。



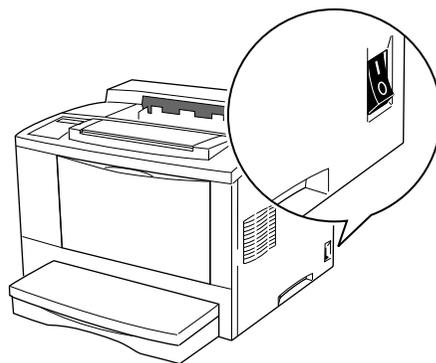
5 LANと接続する

詳しくは、「LAN 経由の接続」(34 ページ)に記載してあります。



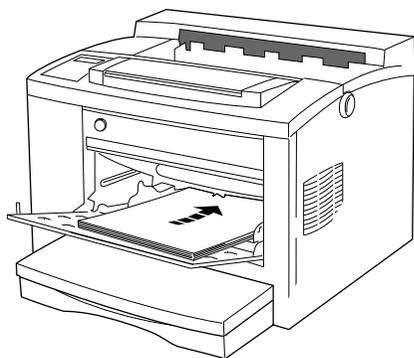
6 電源コードを接続する

詳しくは、「電源コードの接続」(38 ページ)に記載してあります。



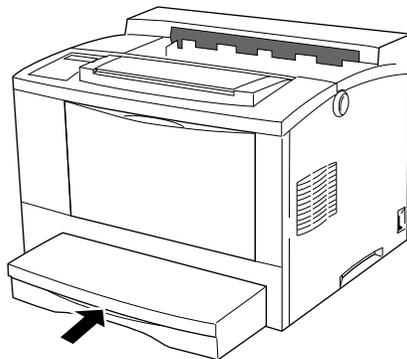
7 プリンタの電源を入れる

詳しくは、「電源の投入と切断」(42 ページ)に記載してあります。



8 用紙をセットする

詳しくは、「用紙のセット」(44ページ)に記載してあります。



第4章

外部との接続

この章では、パソコン、LANおよび電源との接続のしかたについて説明します。

パソコンとの接続	32
LAN 経由の接続	34
パソコンと接続するときの留意事項	36
電源コードの接続	38

パソコンとの接続

本プリンタは、セントロニクス準拠の平行インタフェースを標準装備しています。平行インタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

プリンタケーブルについては、次の制約があります。

- ・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
- ・ケーブルの長さは、1.5メートル以下のものをお使いください。

⚠ 警告

感電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

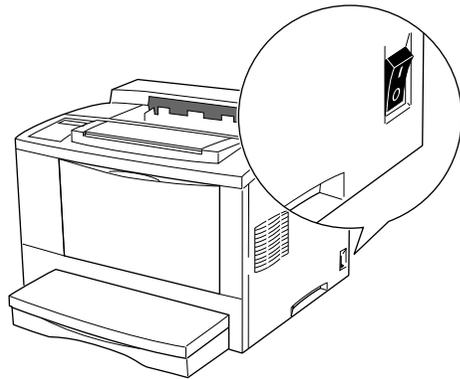
⚠ 注意

故障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

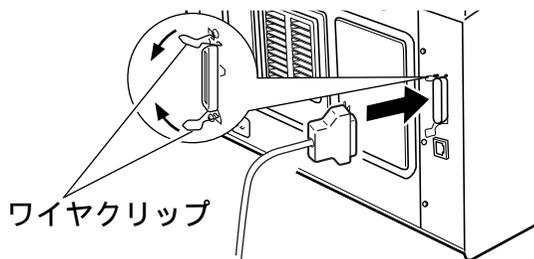
👉 お願い

本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。（「プリンタケーブルについて」(16ページ)参照）

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



- 1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する**
電源スイッチが「」側に倒れている状態です。

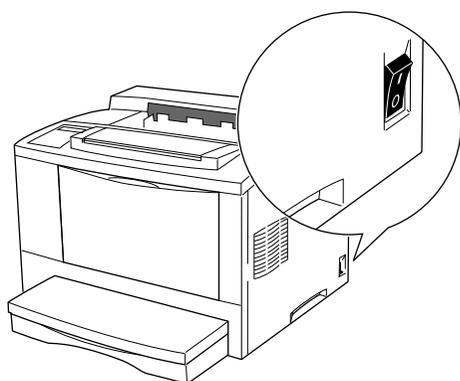


- 2 プリンタケーブルを接続する**
プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。
パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

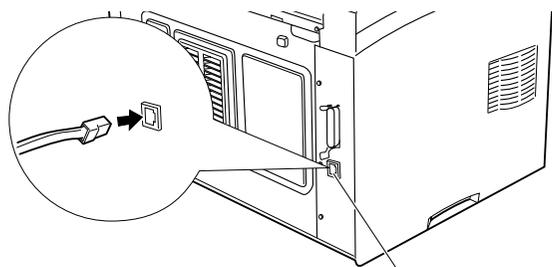
LAN 経由の接続

プリンタをネットワーク経由で接続するときは、プリンタとハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリ 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。

■ 接続のしかた



- 1 プリンタの電源の切断を確認する
電源スイッチが「」側に倒れている状態です。



LANケーブルコネクタ

- 2 LANケーブルを接続する
LANケーブルを、プリンタ背面にあるLANケーブルコネクタに差し込みます。

お願い

プリンタの電源が入っている状態でLANケーブルを抜き差ししないでください。

LAN に接続するときの注意事項

LANケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のEthernetタイプを同じ規格に設定してください。

本プリンタのEthernetタイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタのEthernetタイプは、セットアップの「LAN設定」にある「Ethernetタイプ」で変更します。(セットアップについては、「第7章 設定値を変える」(89ページ)参照)

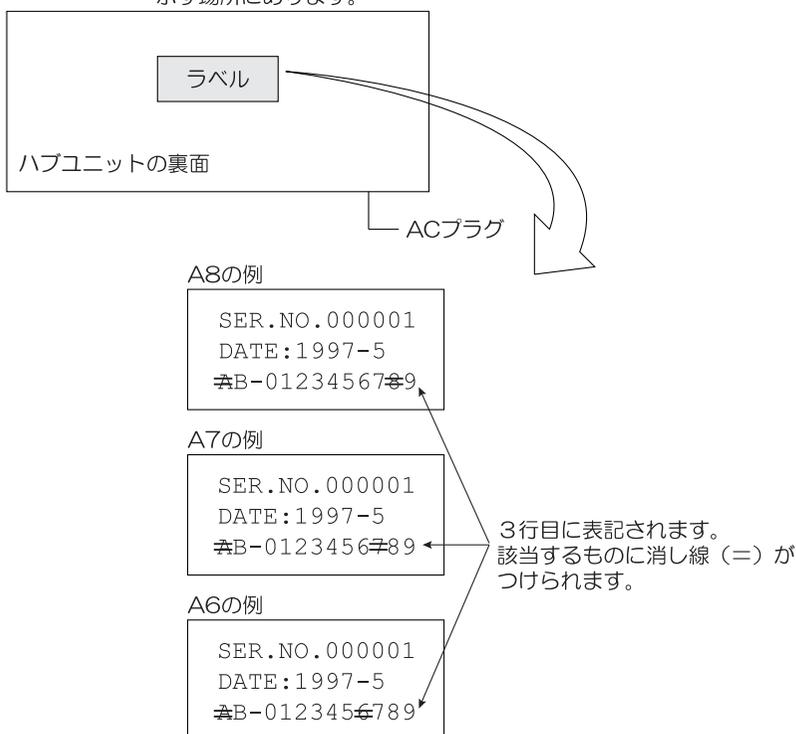
ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ・ケーブル長100mのツイストペアケーブルは使用しないでください。100mのツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

ラベルの位置…ハブユニットの裏面の次に示す場所にあります。

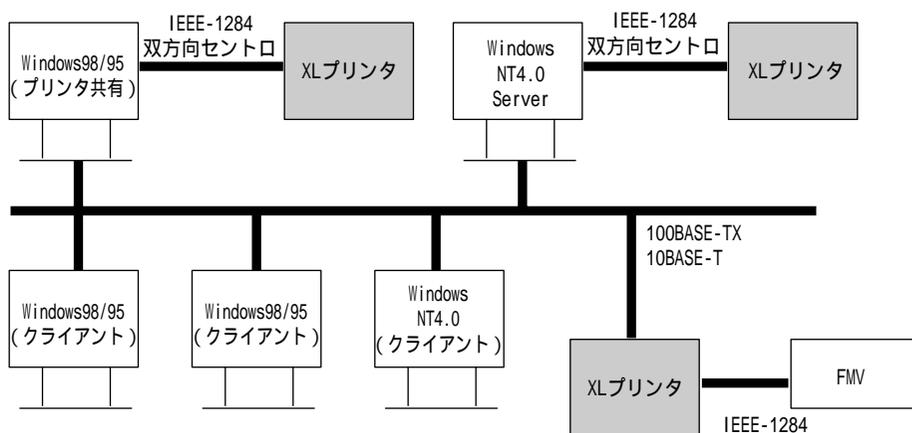


パソコンと接続するときの留意事項

■ 双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時のネットワーク接続形態

本プリンタは、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバおよびクライアント)から使用することができます。さらに、添付の双方向プリンティングシステム「Printianavi」をインストールすることにより、プリンタのエラーメッセージの表示や制御を、クライアントで行うことができます。

また、添付のPrintianaviネットワークポートモニタを使用すると、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバまたはクライアント)から、直接LANに接続したプリンタに印刷することができます。



■ 双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時の留意事項

- ・ Windows 98/95 または Windows NT4.0 が動作するパソコンで使用してください。
- ・ パソコンのプリンタポートにプリンタを接続してPrintianaviを利用する場合、ご使用のパソコンがIEEE-1284準拠の双方向プリンタポートに対応している必要があります。当社のパソコンでは、FMVシリーズやGRANPOWER 5000シリーズが、これに対応しています。
- ・ ネットワークで本機能を使用する場合のインストールや設定については、本書の「ソフトウェア編」を参照してください。

■ パソコンとLANの両方に接続したときの留意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう1台のパソコンをパラレルポートに接続することができます。パラレルポートとLANポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご留意ください。

- ・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- ・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。2つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- ・Printianaviを利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。
- ・PrintianaviおよびPrintianaviネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンからLAN経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
- ・片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

▶ おお願い

パラレルポートから印刷している間は、プリンタからLANケーブルを抜き差ししないでください。

◆ ガイド

ポートの切り替え時間は、セットアップで変更することができます。「第7章 設定値を変える」の「ポート切替時間～ポート切替時間を設定する」(99ページ)参照)

電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100Vです。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。



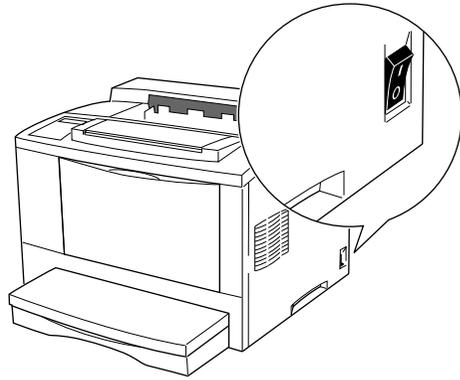
警告

感電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチを「」側にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

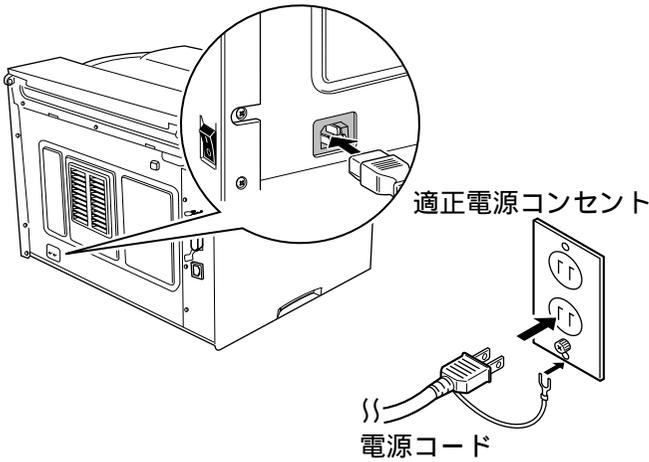
火災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。

感電 危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（火災や爆発の危険があります）
- ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）



1 電源の切断を確認する
電源が切れていることを確認します。(電源スイッチが「」側に倒れている状態です。)



2 電源コードを接続する
電源コードをプリンタ背面にあるコネクタに差し込みます。コードの反対側を交流 100V のコンセントに差し込みます。電源プラグから出ているアース線を接地端子に取り付けます。

第5章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要な操作について説明します。

電源の投入と切断	42
用紙のセット	44
給紙トレイに用紙をセットする	44
給紙カセット(A3ユニバーサル)に用紙をセットする	46
オプションの給紙カセット(A4・500枚)に 用紙をセットする	51
プロセスカートリッジの交換	54
プロセスカートリッジを取り外す	57
プロセスカートリッジを取り付ける	58
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	61
取り扱い上のご注意	61
保管上のご注意	61
印刷濃度を調整する	62
プリンタの清掃	64
プリンタ外部の清掃	64
プリンタ内部の清掃	65
プリンタを長時間使用しないとき	68
プリンタを移動するとき	69
近くに移動する	69
梱包して運搬する	73

電源の投入と切断

プリンタを起動するときは、電源スイッチを入れます。電源スイッチを入れてから、約 30 秒後に印刷ができる状態になります。

1日の終わりや長期間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。

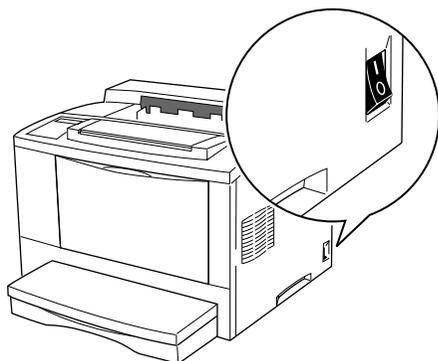
お願い

電源を入れる際に、給紙トレイに用紙がセットされている場合は、いったん用紙を取り出して、電源を入れた後にセットし直してください。

ガイド

- ・電源を切ると、プリンタのメモリに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。
- ・パワーセーブの時間が設定されている場合、電源が入っている状態で一定時間使用しないと、自動的にパワーセーブ状態に切り替わります。

電源を入れる



電源を入れるときは、電源スイッチを「|」側に倒します。

オペレータパネルの「メッセージ」「データ」「オンライン」「電源」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

シヨキシندانチュウ

初期診断中を示します。

メモリ ヨウリョウ

XL - 5720 x x MB

機種名とメモリの総容量を示します。

(左の表示はXL-5720の場合)

ファーム ロード チュウ

xxxxxxxxxxxxxxxx

ファームロード中を示します。

下段にMACアドレスを表示します。

初期化動作およびファームロード動作に約30秒程度かかりますので、そのままお待ちください。オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されると印刷できる状態になります。

オンライン

xx

xxxxxx

x - xxxxx

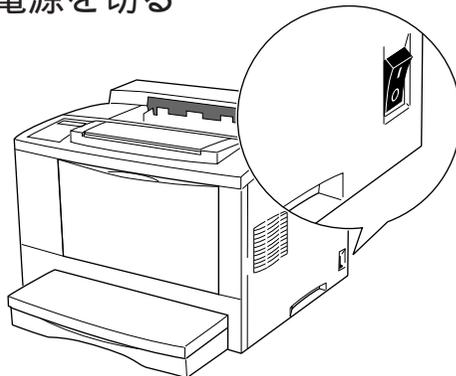
お願い

メモリを変更した場合には、必ずメモリ容量を確認してください。

ガイド

電源を入れても、液晶ディスプレイや「オンライン」ランプが点灯しないときは、「故障かなと思ったとき」(116ページ)をお読みください。

電源を切る



電源を切るときは、電源スイッチを「」側に倒します。

電源が切断され、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、「紙づまりになったとき」(118ページ)を参照して、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

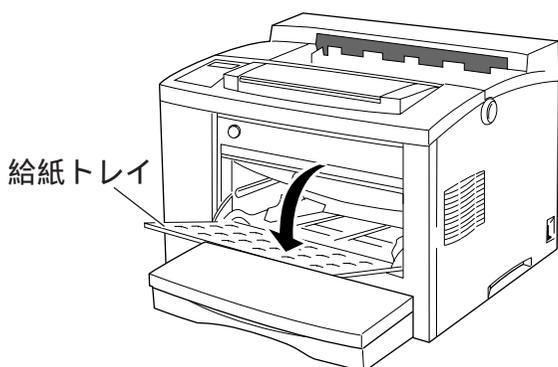
用紙のセット

給紙トレイおよび給紙カセット(A3ユニバーサル/A4・500枚)に用紙をセットする方法について説明します。

給紙トレイおよび給紙カセットにセットできる用紙については、「第2章 用紙について」(19ページ)を参照してください。

給紙トレイに用紙をセットする

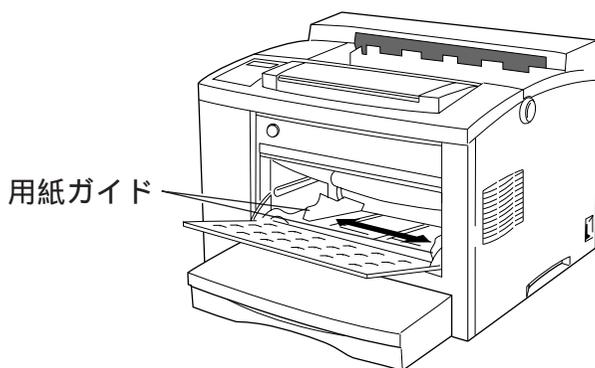
次の手順に従って、給紙トレイに用紙を入れます。



- 1 給紙トレイを開ける
プリンタ前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、給紙トレイを開けます。

お願い

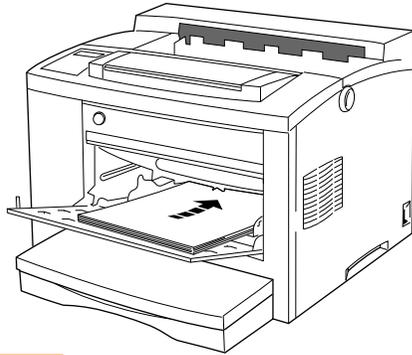
給紙トレイは約 80° の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。
破損の原因となります。



- 2 用紙ガイドを、使用する用紙サイズに合わせて動かす

3 用紙を入れる

用紙の四隅を揃え、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。



お願い

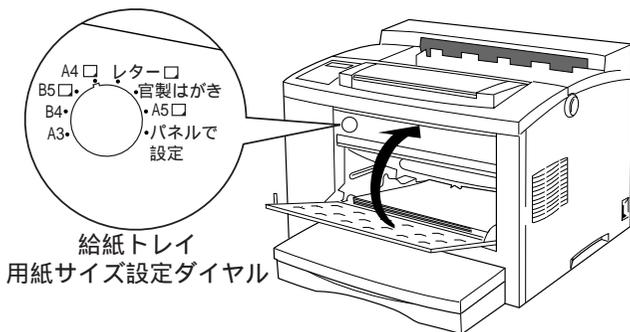
- ・ 給紙トレイは約 80° の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。破損の原因となります。
- ・ 折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- ・ A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。
- ・ 印刷方向については、「用紙関係」(149 ページ)を参照してください。
- ・ 最大収容枚数以上の用紙を載せないでください。

ガイド

- ・ 給紙トレイに収容できる枚数は、約 200 枚 (64g/m² の場合) または用紙の高さにして、16mm 以下にしてください。
- ・ A 4 横の長さ以下のサイズの用紙をセットした場合は、給紙トレイを閉じて印刷することができます。

4 用紙サイズを設定する

給紙トレイにセットした用紙のサイズを、給紙トレイ用紙サイズ設定ダイヤルで設定します。セットした用紙のサイズがダイヤルの設定値にない場合は、オペレータパネルで設定します。(「縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に変更する(メニュー印刷設定モード)」(82 ページ)参照)



お願い

印刷中は、給紙トレイ用紙サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。プリンタが誤作動する場合があります。

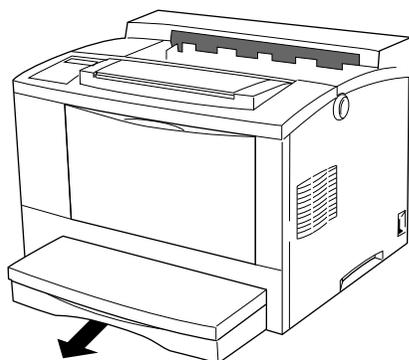
給紙カセット(A3 ユニバーサル)に用紙をセットする

給紙カセット(A3 ユニバーサル)に用紙をセットする手順について説明します。

給紙カセット(A3 ユニバーサル)は、用紙サイズ(A5 横から A3 縦まで)に合わせて伸縮することができます。小さいサイズ of 用紙を使用する場合には、プリンタの設置面積を小さくして使用できます。

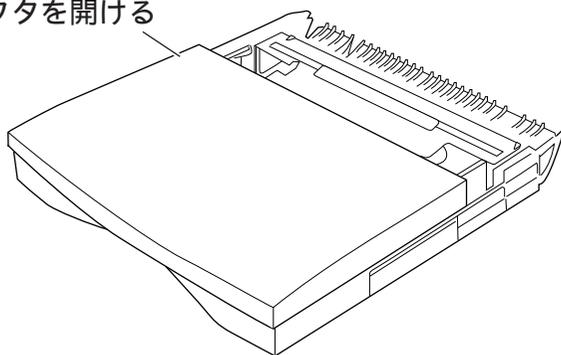
ガイド

- ・拡張給紙ユニット-A (オプション) が装着されている場合は、給紙カセット(A3 ユニバーサル)を、本体、給紙ユニットのどちらにもセットできます。
- ・異なるサイズの用紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。

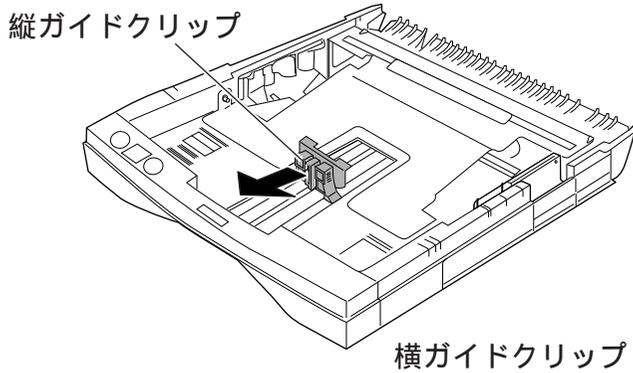


1 給紙カセットをプリンタから抜く

フタを開ける

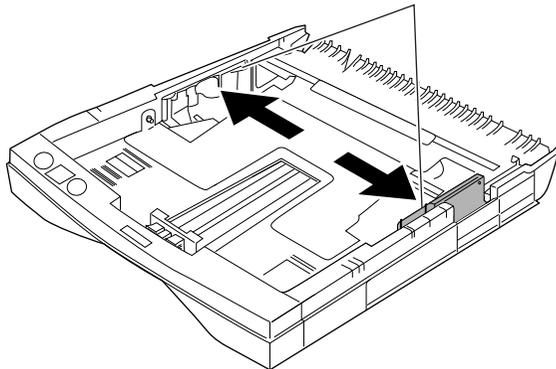


2 給紙カセットを平らな場所に置き、フタを開ける



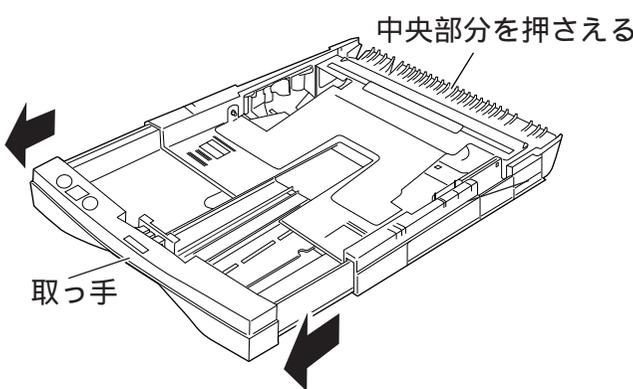
3 縦ガイドクリップを外側にずらす

- ・縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、外側にずらします。
- ・リーガルからA3までの長いサイズ用の紙をセットするときは、縦ガイドクリップを一番外側にずらします。



4 横ガイドクリップの青い箇所を持って、外側にずらす

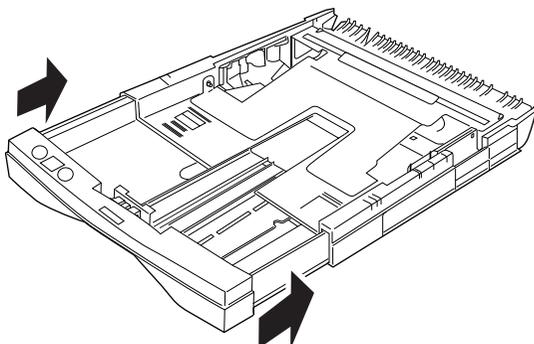
ガイド 同じサイズ用の紙を補給する場合は、この手順は不要です。



5 給紙カセットの長さを合わせる

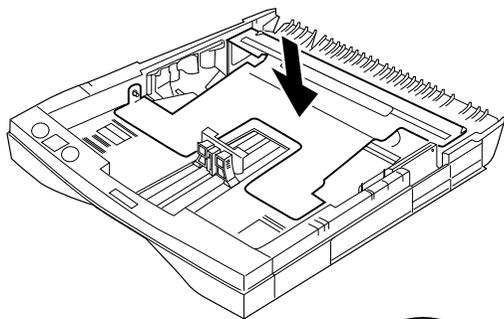
【長いサイズの用紙のとき】

リーガルからA3までの長いサイズの用紙をセットするときは、給紙カセット奥側の中央部分を押しさえ、取っ手を引いて最大の長さに引き伸ばします。



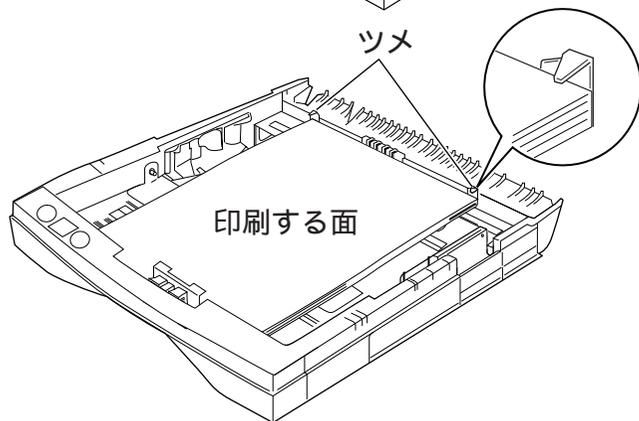
【短いサイズの用紙のとき】

A5からレターまでの短いサイズの用紙をセットするときは、給紙カセットを最小に縮めて使用します。



6 給紙カセットの中の金属板をロックする

給紙カセットの中の金属板を手で下げて、上に浮き上がらないようにロックします。



7 用紙をセットする

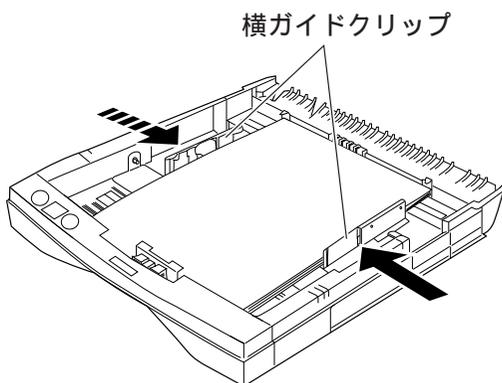
用紙の四隅を揃え、印刷する面を上にして、左右のツメの間に差し込むようにセットします。このとき、横ガイドクリップに用紙が乗り上げないように注意してください。

お願い

- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- ・A4、B5、A5、レターサイズ of 用紙は「用紙関係」(149ページ)を参照して、横長にセットしてください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。用紙の高さで26mm以下です。
- ・用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約250枚(64g/m²の場合)です。

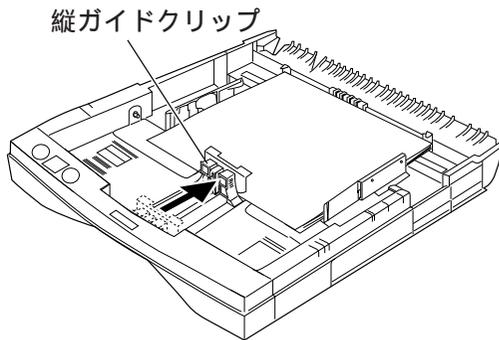
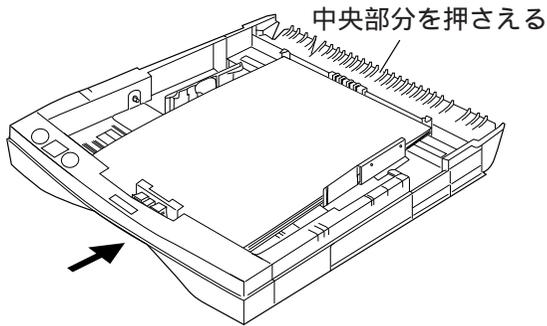


8 横ガイドクリップを用紙の幅に合わせ、用紙の端を揃える

お願い

用紙が左右のツメの下にあることを確認してください。

9 用紙の端をそろえ、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる



【長いサイズの内紙のとき】

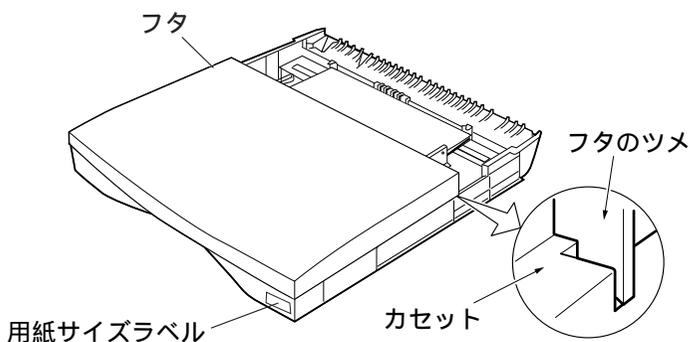
リーガルからA3までの長いサイズの用紙をセットするときは、給紙カセット奥側の中央部分を押しさえ、延長部の取っ手を押し込み、用紙サイズに合わせます。延長部の長さが用紙サイズに合うとストッパーがはまります。

【短いサイズの内紙のとき】

A5からレターまでの短いサイズの用紙をセットするときは、縦ガイドクリップを用紙サイズに合わせます。

お願い

- ・用紙の端は縦ガイドクリップのツメの下に入れてください。
- ・縦ガイドクリップのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。



10 給紙カセットのフタを閉める

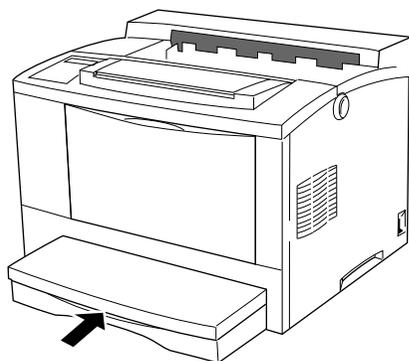
フタのツメがカセットの溝に入っていることを確認してください。

お願い

- ・フタは必ず閉めてください。
- ・フタはカセット延長部のストッパーになっています。フタをしないでプリンタに押し込むと、カセットの延長部が短くなり、紙づまりやプリンタを破損する原因となります。

ガイド

必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。



11 給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

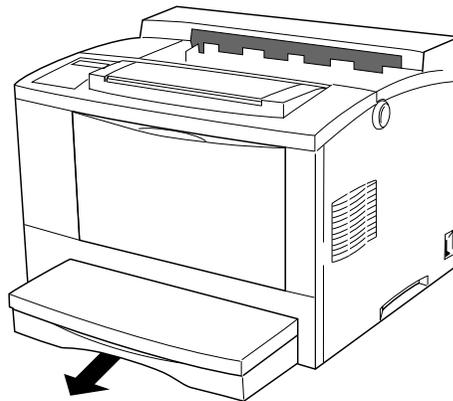
お願い

- ・セットされていない給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての給紙カセットをセットしてください。
- ・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

▼ オプションの給紙カセット(A4・500枚)に用紙をセットする

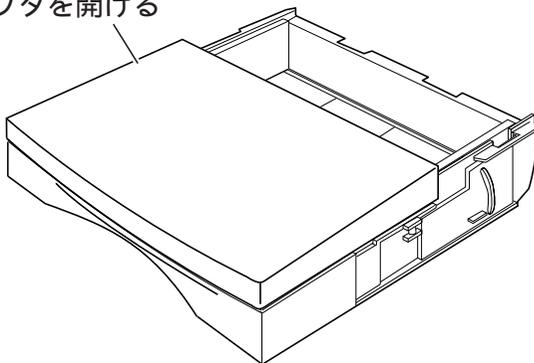
給紙カセット(A4・500枚)は、オプションの拡張給紙ユニット-Bにセットするカセットです。

ここでは、給紙カセット(A4・500枚)に用紙をセットする手順について説明します。

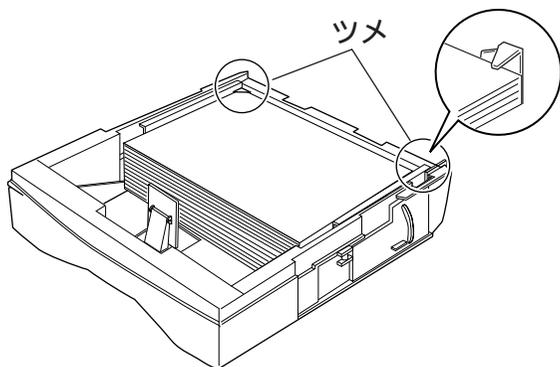


- 1 給紙カセットをプリンタから抜く

フタを開ける



- 2 給紙カセットを平らな場所に置き、フタを開ける



3 用紙をセットする

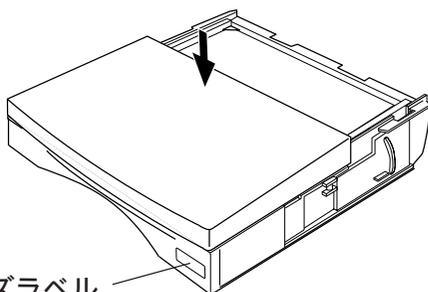
用紙の四隅を揃え、印刷したい面を上にして、左右のツメの間に差し込むようにセットします。

お願い

- ・折り目やしワの入った用紙は使用しないでください。
- ・A4サイズの用紙は「用紙関係」(149ページ)を参照して、横長にセットしてください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。用紙の高さで54mm以下です。
- ・用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。

ガイド

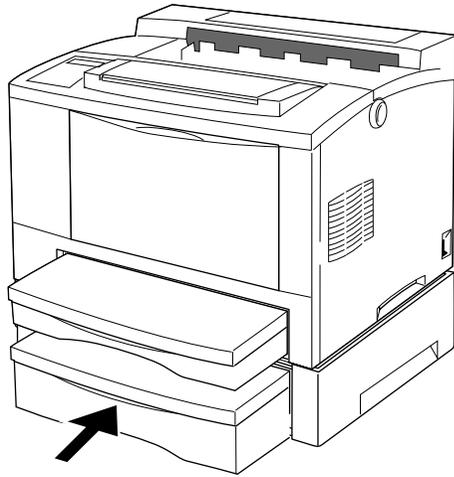
給紙カセットに収容できる枚数は、約500枚(64g/m²の場合)です。



4 用紙の端をそろえ、給紙カセットのフタを閉める

ガイド

必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。



5 給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットを突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

お願い

- ・セットされていない給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての給紙カセットをセットしてください。
- ・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ1本あたりの目安として、A4サイズの用紙で約6,000枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されません。この表示がでたら、「プロセスカートリッジを取り外す」(57ページ)、「プロセスカートリッジを取り付ける」(58ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジと交換します。

警告

破裂 プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

誤飲 ・トナーは目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

けが 上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。

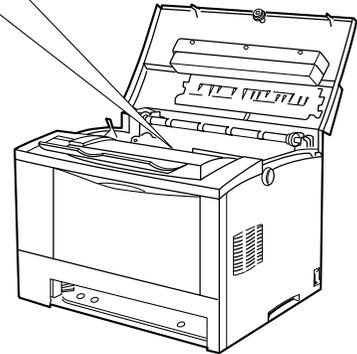
上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

⚠️ 注意

やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

⚠️ 注意 **🔥 高温につきやけどの恐れあり。触るな。** **🚫**

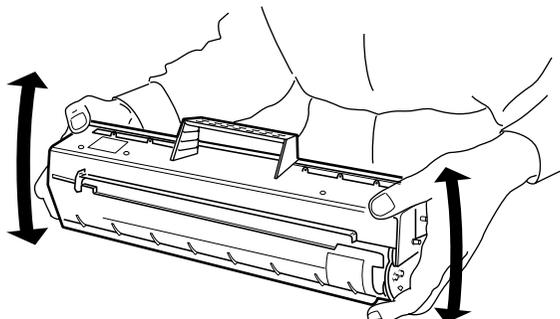


➤ お願い

- ・プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。
- ・直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- ・常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。

ガイド

- ・プロセスカートリッジの保管期限は約2年間です。お買い上げ後は2年以内にご使用ください。
- ・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
交換の前にプロセスカートリッジを上下に7～8回振り、トナーの状態を均一にして印刷し直してみてください。



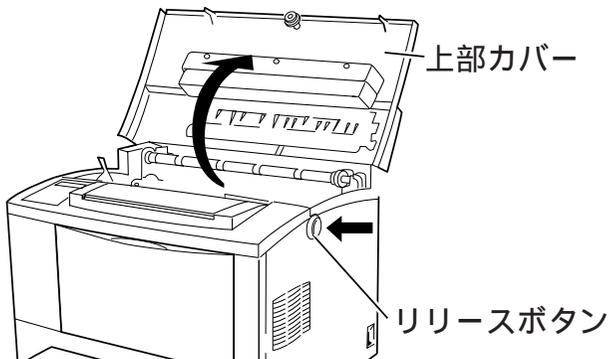
- ・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
 - ・縦のカスレや部分的なカスレがある場合
プロセスカートリッジを取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
 - ・不鮮明な印刷状態が発生した場合
適切な用紙に変えて印刷しても改善されないとき

▼ プロセскарトリッジを取り外す

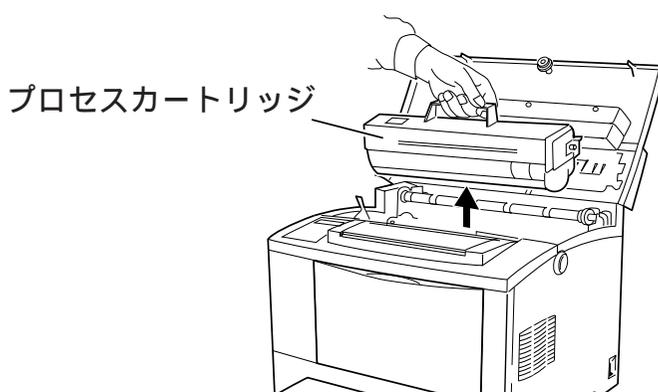
次の手順にしたがって、プロセскарトリッジを取り外します。

お願い

プリンタ内部の部品には手を触れないでください。



1 リリースボタンを押し、
上部カバーを開く



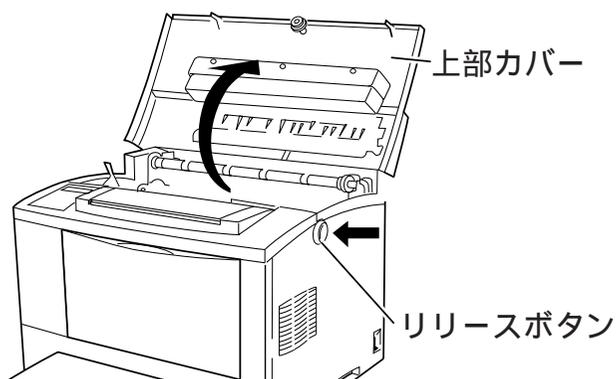
2 プロセскарトリッジの
取っ手を持ち、ゆっくり
引き上げる

ガイド

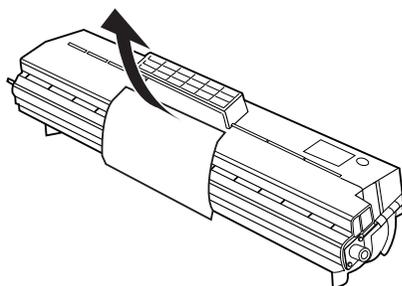
- ・トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセскарトリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- ・使用済みのプロセскарトリッジは、弊社の『無償回収サービス』(「サプライ用品」(17ページ))をご利用いただくか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

▼ プロセスカートリッジを取り付ける

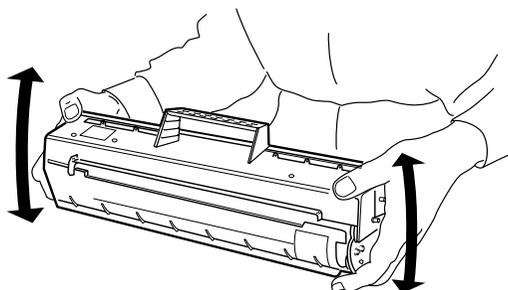
次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り付けます。



- 1 リリースボタンを押し、上部カバーを開く

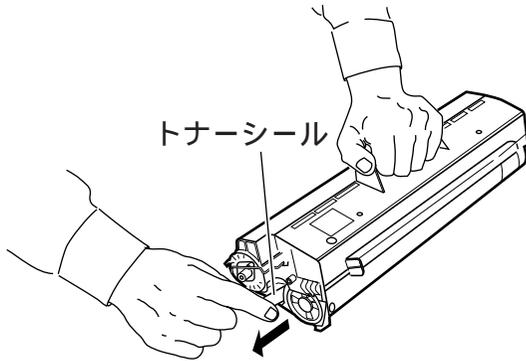


- 2 プロセスカートリッジを取り出し、ドラムシャッターの間の紙を取り除く



- 3 トナーを均一にするため、プロセスカートリッジを振る

図のように上下に7～8回振ります。トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

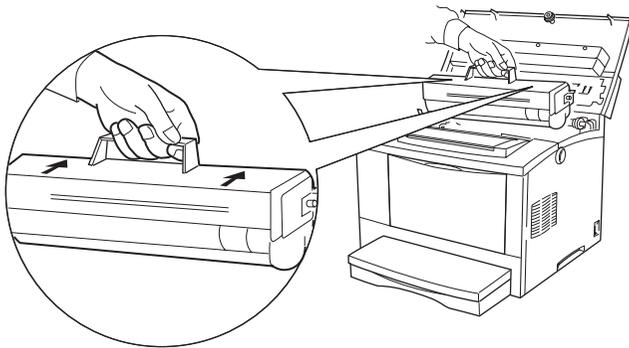


4 トナーシールを引き抜く
 プロセスカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールを引き抜きます。

お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。

トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。



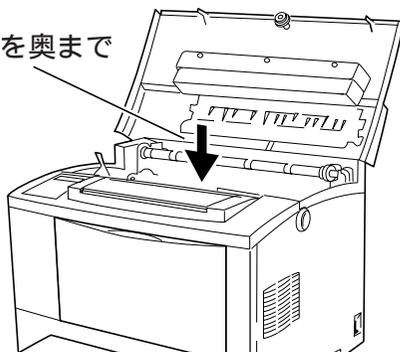
5 プロセスカートリッジを挿入する

プロセスカートリッジの上部の取っ手を持ち、上面の矢印が奥側に向く方向で、両側のガイドに沿わせて平行にプリンタ内部に挿入します。

お願い

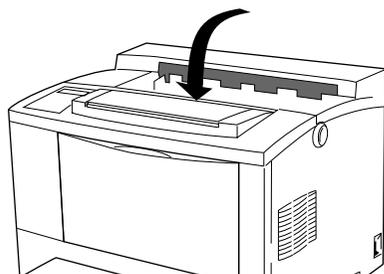
- ・プリンタ内部の部品には手を触れないでください。
- ・プロセスカートリッジ挿入時は、カートリッジがプリンタ内部に当たらないように静かに入れてください。

プロセスカートリッジを奥まで押し込む



6 プロセスカートリッジを確実にセットする

プロセスカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認します。



7 上部カバーを確実にロックする

上部カバーを元に戻し、カバー中央を押して確実にロックします。

お願い

上部カバーが確実にロックされたことを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

▼ 取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- ・直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。
- ・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを 5 分以上放置しないでください。
- ・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないように梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ・寒いところから暖かいところに移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- ・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体(ドラム)が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターはむやみに開けないでください。
- ・感光体(ドラム)表面には絶対に手を触れないでください。

▼ 保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- ・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
温度範囲 0 ~ 35 、 湿度範囲 15 ~ 80%RH
(ただし、結露のないこと)
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。

印刷濃度を調整する

印刷濃度を濃くしたり、薄くしたり調整することができます。印刷濃度を調整するには、印刷濃度調整ダイヤルを使います。

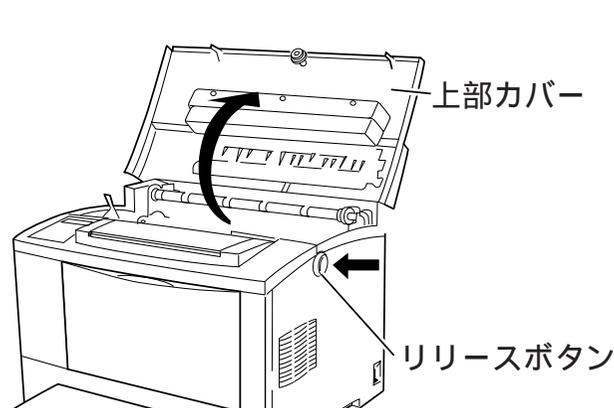
お願い

印刷濃度を濃くする設定にしても文字がかすれる場合は、プロセスカートリッジを交換してください。プロセスカートリッジの交換については「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)を参照してください。

ガイド

印刷中は、印刷濃度を調整できません。

次の手順に従って、印刷濃度を調整します。



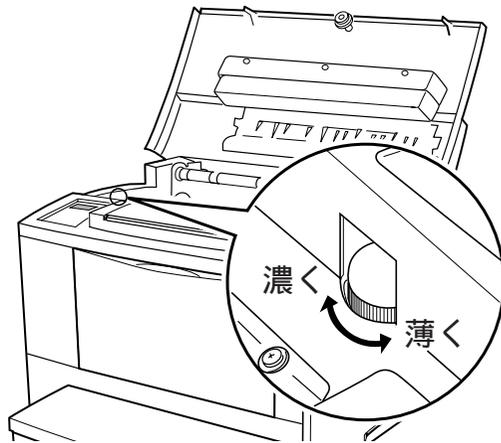
- 1 リリースボタンを押し、上部カバーを開く

注意

け が 上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手をはさんでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

お願い

プリンタ内部の部品には手を触れないでください。

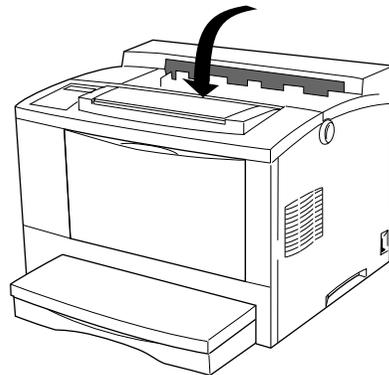


2 印刷濃度調整ダイヤルを回し、濃度を調整する

印刷を濃くする場合は「+」側に、薄くする場合は「-」側にダイヤルを回します。

ガイド

印刷濃度を濃くした状態で印刷を続けると、プロセスカートリッジ中のトナーの消費量が多くなり、プロセスカートリッジの寿命が短くなるのでご注意ください。



3 上部カバーを確実にロックする

上部カバーを元に戻し、カバー中央を押して確実にロックします。

お願い

上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約1か月に1回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠️ 注意

やけど プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

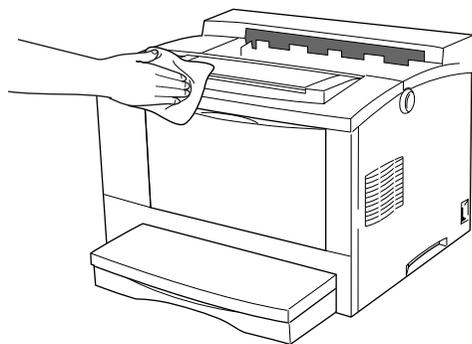
感電 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

👉 お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。
- ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。
- ・油をさす必要はありません。注油はしないでください。

▼ プリンタ外部の清掃



カバーの表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

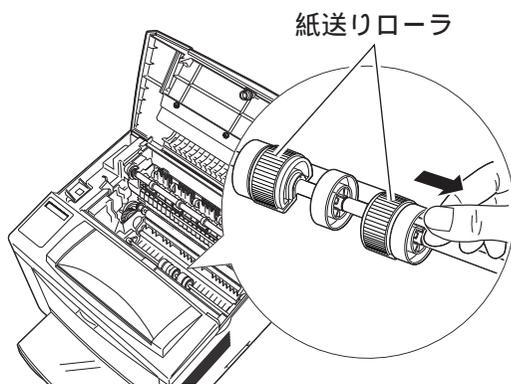
▼ プリンタ内部の清掃

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

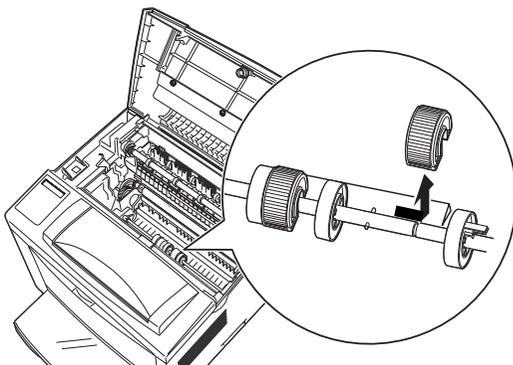
- ・紙片が残っていれば取り除きます。
- ・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

■ 紙送りローラの清掃

官製プレプリントはがきへ印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り出し、紙送りローラ（半月状のゴムローラ）を清掃してみてください。

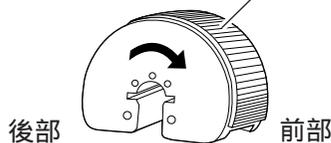


- 1 紙送りローラの外側にあるプラスチックのローラをつまみをつまんで外側にずらす



- 2 紙送りローラを外側にずらして、垂直に取り外す

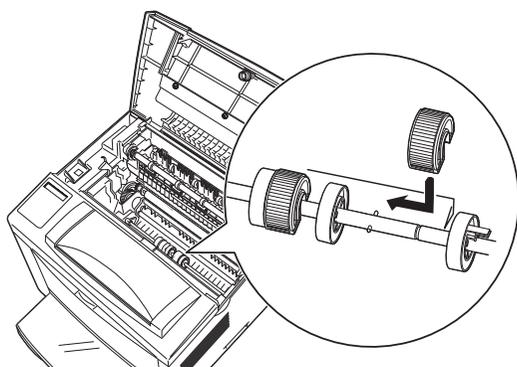
ゴム製の部分を丁寧に拭き取ります



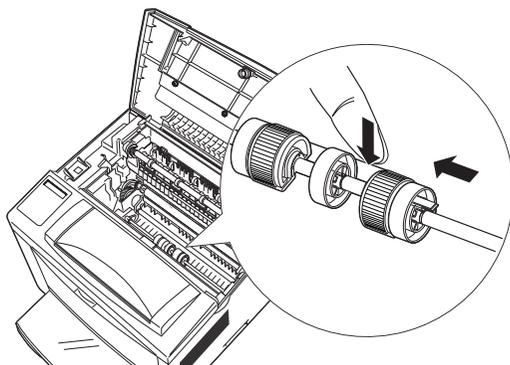
3 紙送りローラのゴムの部分を、水でぬらして硬く絞った柔らかい布で丁寧に拭く

お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。



4 紙送りローラの矢印を手前に向けて軸にはめ、軸上の突起と紙送りローラの溝をあわせ内側にずらす



5 軸の後ろにあるプレートを押しながら、外側のローラ（プラスチック）を、内側にずらして紙送りローラを固定する

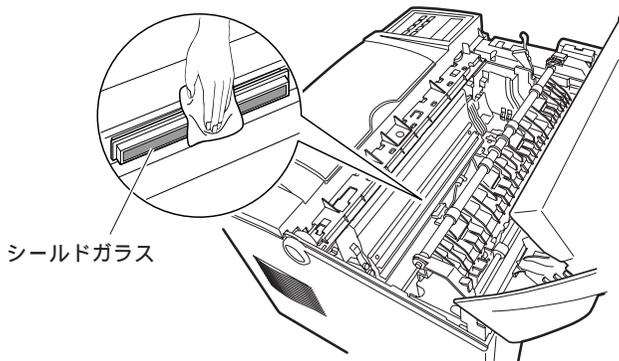
左側の紙送りローラも同じ手順で清掃してください。

ガイド

外側のローラのツメが、軸の溝にはまっていることを確認してください。

■ シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してみてください。

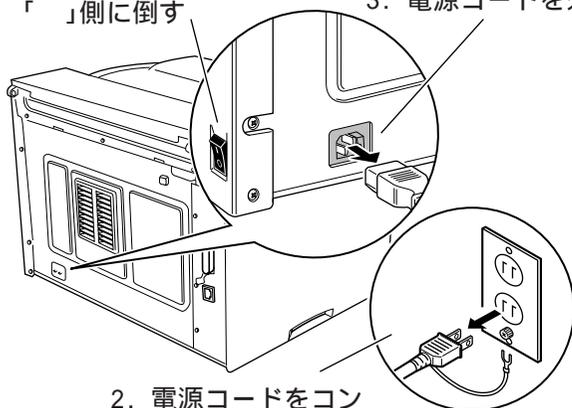


シールドガラスを乾いた布でいねいに拭く

プリンタを長時間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

1. 電源スイッチを「」側に倒す



2. 電源コードをコンセントから抜く

3. 電源コードを外す

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

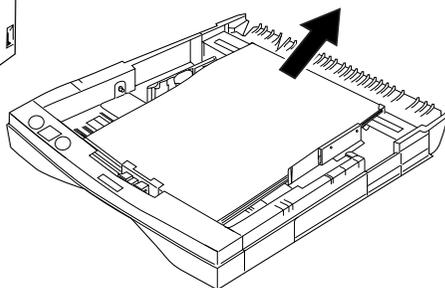
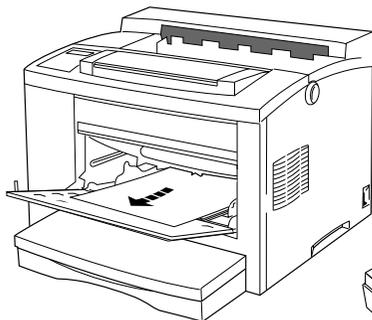
プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」(128ページ)を参照し、処置をしてから電源を切ってください。

2 用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。



ガイド

用紙の保管については、「用紙の保管上のご注意」(23ページ)を参照してください。

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠️ 注意

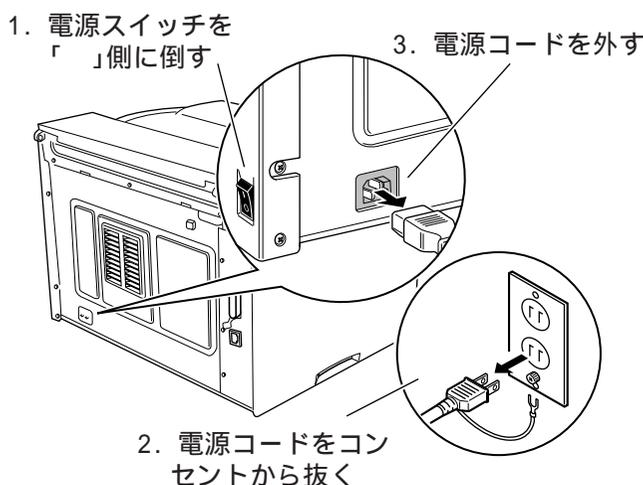
プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約18.5kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタの正面を体の方に向け、底部の取っ手を両手でしっかりと持ってください。必要に応じて2人で持ち運んでください。

📌 ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくとう便利です。

▼ 近くに移動する

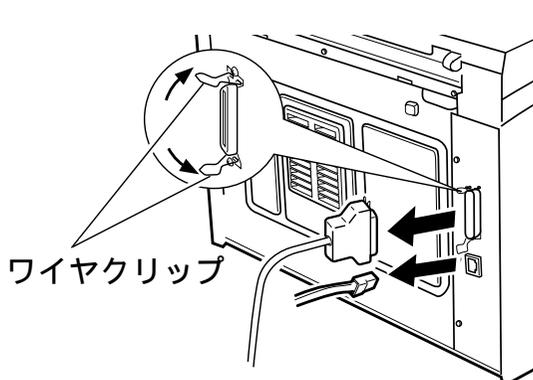
プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。



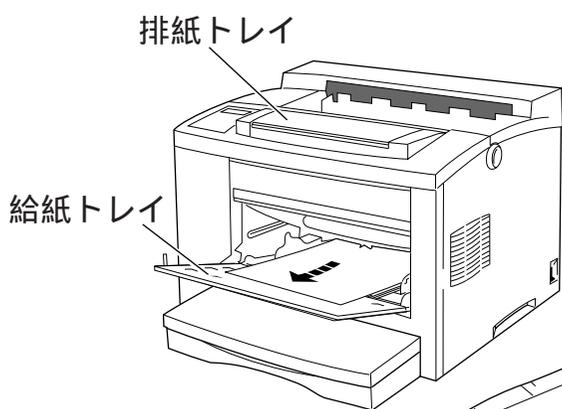
👉 お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」（128ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。

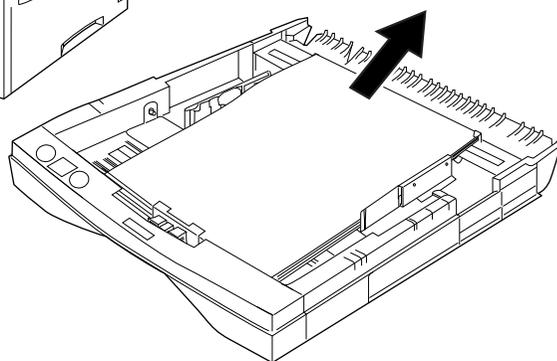
1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す
プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。



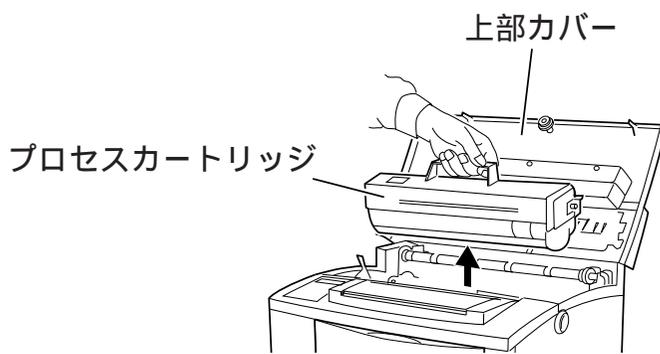
2 プリンタケーブルを抜く
 パラレルインタフェースコネクタからプリンタケーブルを外します。また、LANケーブルが接続されている場合、ケーブルを外します。



3 用紙を取り出す
 用紙を給紙トレイまたは給紙力セットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイと排紙トレイは閉じます。



ガイド 用紙の保管については、「用紙の保管上のご注意」(23ページ)を参照してください。

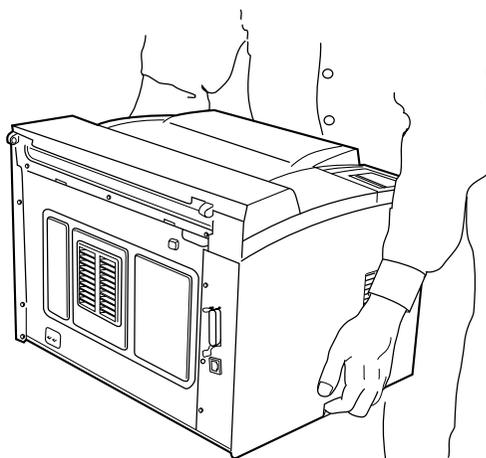


4 プロセスカートリッジを取り外す

プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外し、上部カバーを閉めます。

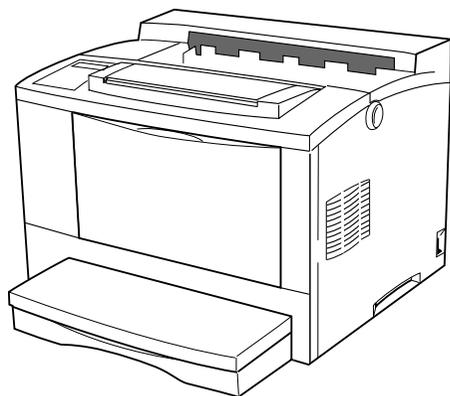
お願い

- ・プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- ・取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。



5 プリンタを移動する

プリンタを持って、静かに移動します。



6 適切な場所に、プリンタ
を設置し直す

お願い

設置し直すときの手順については「設置手順」(28ページ)を参照してください。

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

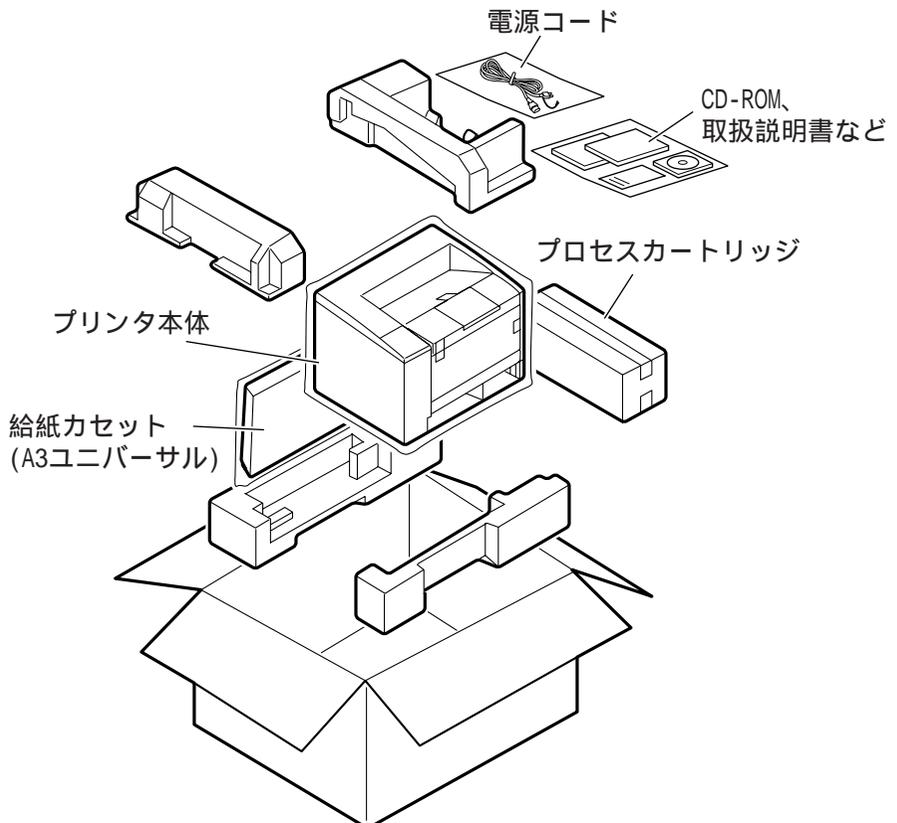
「近くに移動する」の手順1～4(69～71ページ)に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。

精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱いってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(61ページ)も合わせて参照してください。

- ・ 梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- ・ プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。



第6章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

液晶ディスプレイの表示内容	76
オペレータパネルを操作する	78
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	78
印刷方向と給紙口を一時的に切り替える	78
縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に 変更する(メニュー印刷設定モード)	82
プリンタをリセットする	86
印刷を中止する	86
未印刷データを強制的に印刷する	87

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で2段に表示されます。通常時とPrintia XLドライバ印刷時とは、表示内容が異なります。

障害が発生すると全行でエラーメッセージを表示します。「エラーメッセージが表示されたとき」(128ページ)を参照してください。

通常時の表示内容

パソコンインタフェース

オンライン / オフラインを表示します。

オフライン : オフライン状態

オンライン : オンライン状態
(データ未受信)

オンライン1 : オンライン状態
(プリンタケーブル経由でのデータ受信)

オンライン2 : オンライン状態
(LAN経由でのデータ受信)

状態表示

プリンタの状態を表示します。

: レディ状態

セーフ : パワーセーブ状態

ウェイト : ウォームアップ状態、クールダウン状態
注 : 『ウェイト』は印刷開始時のウォームアップ処理中や連続印刷による過熱時のクールダウン処理中に表示されます。しばらくお待ちください。

動作モード

設定されているモードを表示します。

E P : ESC/Pモード

E G : ESC/Pageモード

印刷方向

設定されている印刷方向を表示します。

タテ : 縦方向印刷

タテヨ : 余白付き縦方向印刷

ヨコ : 横方向印刷

ヨコヨ : 余白付き横方向印刷

給紙口 / 用紙サイズ

設定されている給紙口と用紙サイズを表示します。

1 - x x x x : カセット1

2 - x x x x : カセット2

3 - x x x x : カセット3 (XL-5720のみ)

M - x x x x : 給紙トレイ

注 : x x x xには、現在セットされている用紙サイズ、または給紙トレイサイズで設定した用紙サイズを表示します。給紙トレイ用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定した場合は、給紙トレイ(M * x x x x)の表示となります。

『ハガキ』と『フテイ』は、カセットのとき表示されません。

『L G L』と『フテイ』は、給紙トレイ(M * x x x x)のとき表示されません。

縮小印刷

設定されている縮小印刷を表示します。

: 100%印刷

75 : 75% 縮小印刷

70 : 70% 縮小印刷

L A : リストA4印刷

L B : リストB4印刷

H X : H E X ダンプ印刷

消耗品

トナーの残量が少なくなったときに表示します。

: トナーがある状態

トナー : トナーが残り少ない状態

x x x x 『A 3』 : A 3用紙

『B 4』 : B 4用紙

『A 4』 : A 4用紙

『B 5』 : B 5用紙

『A 5』 : A 5用紙

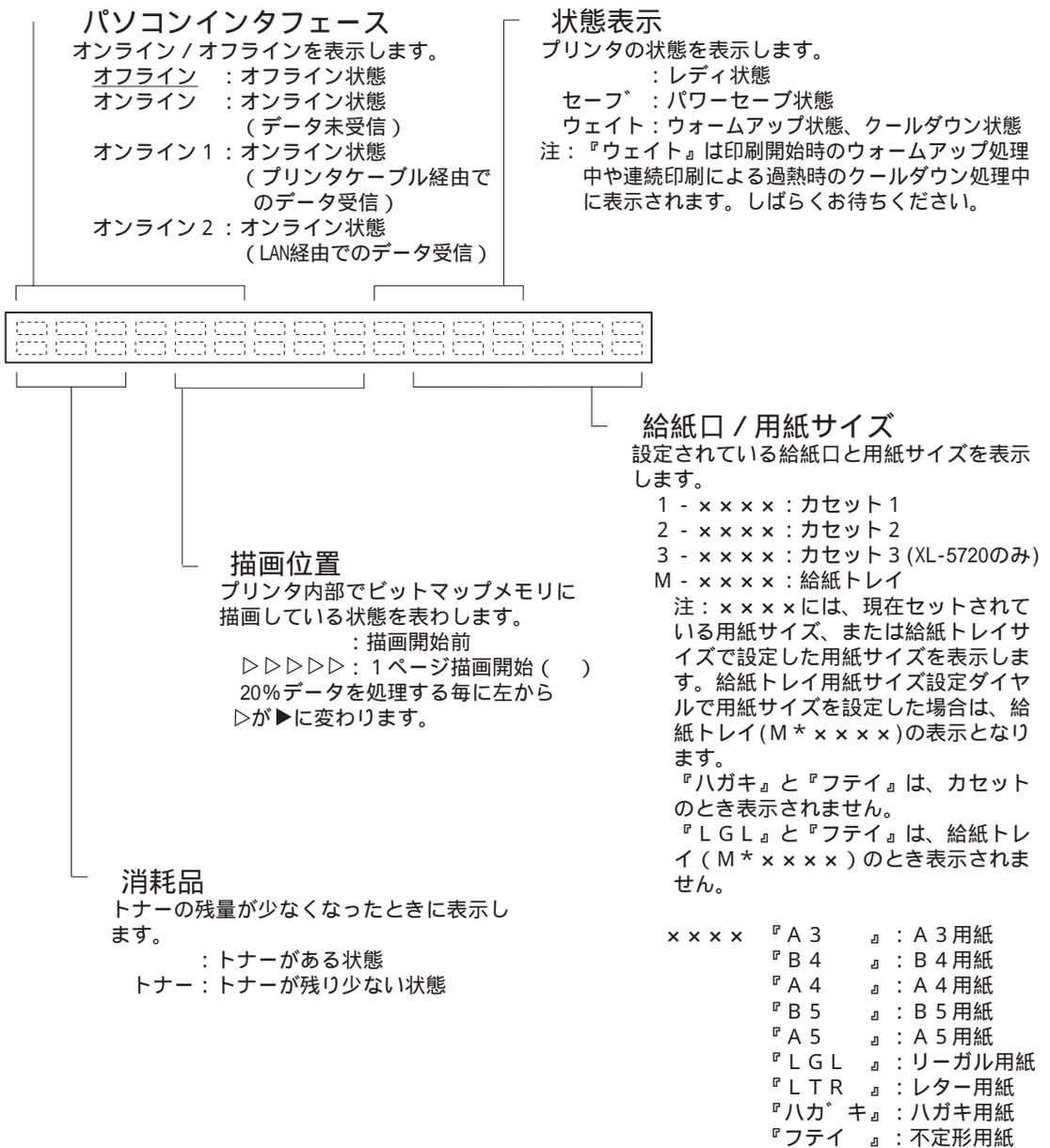
『L G L』 : リーガル用紙

『L T R』 : レター用紙

『ハガキ』 : ハガキ用紙

『フテイ』 : 不定形用紙

Printia XL ドライバ印刷時の表示内容



Printia XL ドライバ印刷時の縮小印刷、印刷方向、給紙口、用紙サイズは、パソコンで設定した内容に従います。

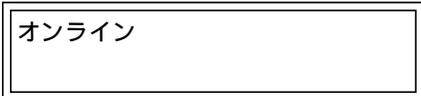
オペレータパネルを操作する

プリンタから印刷する際には、給紙口を切り替えたり、用紙の印刷方向を切り替えたりするためにオペレータパネルを操作します。

オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、オペレータパネルの「オンライン」スイッチによって切り替えます。

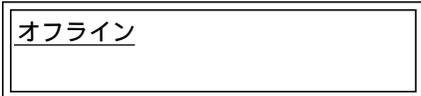
オンライン状態

オンライン

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいます。

通常、電源を投入するとオンライン状態になり、「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき（オフライン状態）に「オンライン」スイッチを押すと、オンライン状態になります。

オフライン状態

オフライン

パソコンからのデータを受信できない状態をいいます。

オンライン状態のときに「オンライン」スイッチを押すと、オフライン状態になります。印刷中に押すと、液晶ディスプレイに『ハイシュツ ショリチュウ』と表示され、印刷後オフライン状態に切り替わります。

印刷方向と給紙口を一時的に切り替える

オンライン状態のときに「給紙口」または「印刷方向」スイッチを押すと、一時的に設定を切り替えることができます。ただし、次の3つの場合は無効です。

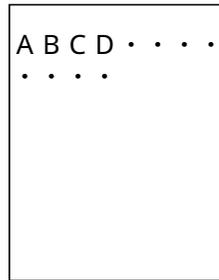
- ・未印刷データがある場合（データランプ点灯中）
- ・オンライン状態でHEX ダンプ印刷設定中
- ・Printia XL ドライバで印刷中（ドライバの設定が優先されます。）

設定中は液晶ディスプレイに『インサツ セッテイ』と表示されます。また、設定中に「オンライン」スイッチを押すと設定を終了し、オンライン状態に戻ります。

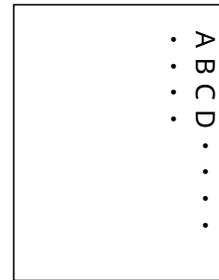
印刷方向を一時的に切り替える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するか否かを一時的に変更します。設定値は電源を切ると元に戻ります。

「印刷方向 縦」「印刷方向 横」は、それぞれ次のように印刷されます。



印刷方向 縦



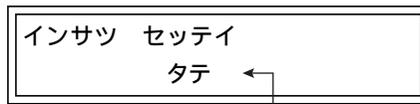
印刷方向 横

▶ 印刷方向の切り替えかた

1 オンライン状態で「印刷方向」スイッチを押し、目的の印刷方向を表示する

オンライン状態

「印刷方向」スイッチ



2行目に設定値が表示される

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の印刷方向が表示されるまで、「印刷方向」スイッチを押します。

選択できる設定値には、次の4種類があります。

設定値	機能
タテ	縦方向で印刷します。
タテヨ	余白付きの縦方向で印刷します。
ヨコ	横方向で印刷します。
ヨコヨ	余白付きの横方向で印刷します。

2 「オンライン」スイッチを押して設定を確定する

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の印刷方向に設定されます。

- ・余白なしの場合、上端および左端の余白は、次の値になります。

動作モード	印刷方向 縦		印刷方向 横	
	上端余白	左端余白	上端余白	左端余白
ESC/P モード (注)	8.5 または 22mm	5 mm	8.5 または 22mm	5 mm
ESC/Page モード	5 mm	5 mm	5 mm	5 mm

注：ESC/P モードの上端余白（印刷方向の縦／横とも）は、「給紙位置」（109 ページ）の設定値になります。

- ・余白付きの場合、「余白設定」（94 ページ）で設定した「上端」および「左端」の値に従って印刷されます。余白付きはESC/P モード時に有効になります。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは、印刷方向を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

ガイド

縮小印刷の表示が『L A』、『L B』または『H X』の場合は、印刷方向を切り替えることができません。

給紙口を一時的に切り替える

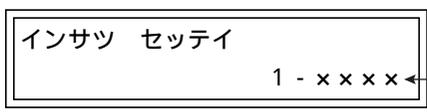
用紙を供給する場所を一時的に切り替えます。設定値は電源を切ると元に戻ります。

▶ 給紙口の切り替えかた

- 1 オンライン状態で「給紙口」スイッチを押し、目的の給紙口を表示する

オンライン状態

「給紙口」スイッチ



2行目に設定値が表示される

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の給紙口が表示されるまで、「給紙口」スイッチを押します。

設定値(*)	機能
1 - x x x x	1 段目のカセットから給紙します。
2 - x x x x	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 2 段目のカセットから給紙します。
3 - x x x x	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。(XL-5720 のみ) 3 段目のカセットから給紙します。
M - x x x x	給紙トレイから給紙します。
M* x x x x	給紙トレイ用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定した場合に表示されます。 給紙トレイから給紙します。

(*) x x x x には、次の用紙サイズが表示されます。

A 3 : A 3 縦 B 5 : B 5 横 L T R : レター横
 B 4 : B 4 縦 A 5 : A 5 横 ハガキ : ハガキ縦
 A 4 : A 4 横 L G L : リーガル縦 フテイ : 不定形用紙

「ハガキ」と「フテイ」は、カセットのとき表示されません。

「L G L」と「フテイ」は、給紙トレイ(M* x x x x)のとき表示されません。

2 「オンライン」スイッチを押して設定を確定する

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の給紙口に設定されます。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは、給紙口を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

▼ 縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に変更する (メニュー印刷設定モード)

メニュー印刷設定モードでは、次の設定ができます。

- ・ 縮小印刷 縮小印刷の種類を、一時的に切り替える
- ・ 給紙トレイサイズ 給紙トレイから印刷する用紙のサイズを、一時的に切り替える
- ・ 不定形サイズ 給紙トレイで不定形用紙を使うときの用紙サイズを、一時的に切り替える
- ・ コピー枚数 印刷部数を一時的に切り替える

メニュー印刷設定モードで設定した内容は、プリンタの電源を切ると元の設定に戻ります。



次の場合、メニュー印刷設定モードは無効です。

- ・ 未印刷データがある場合(データランプ点灯中)
- ・ オンライン状態でHEX ダンプ印刷設定中
- ・ Printia XL ドライバで印刷中(ドライバの設定が優先されません。)

■ メニュー印刷設定モードの操作方法

オンライン状態

「メニュー」スイッチ



「▶」または「◀」スイッチ



設定項目が切り替わる

「 」スイッチ

不定形サイズを設定するときのみ、さらに「▶」または「◀」スイッチを押し、「フテイケイ タテ」または「フテイケイ ヨコ」を選び、「▼」スイッチを押しします。

「▶」または「◀」スイッチ



設定値が切り替わる

「設定」スイッチ

「オンライン」スイッチ

メニュー印刷設定モードで設定できる項目と値の一覧を、次の表に示します。

1 オンライン状態で「メニュー」スイッチを押し、メニュー印刷設定モードに入り、液晶ディスプレイに「インサツ セッテイ」と表示されます。

2 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の項目を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定項目が表示されたら「▼」スイッチを押しします。

3 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の設定値を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定値が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押しします。

4 「設定」スイッチ、「オンライン」スイッチを押し、設定を確定する

設定項目	設定値	機能
シユクショウ インサツ	100%	縮小せずに印刷します。メニュー印刷設定モードを解除すると、液晶ディスプレイの表示は『 』となります。
	75%	75%に縮小して印刷します。
	70%	70%に縮小して印刷します。
	リストインサツ A4	ストックフォーム用印刷データを75%に縮小し、A4用紙に横方向で印刷します。
	リストインサツ B4	ストックフォーム用印刷データをB4用紙に横方向で印刷します。
キョウシトレイ サイズ*	A 4	A4サイズに設定します。
	B 5	B5サイズに設定します。
	A 5	A5サイズに設定します。
	リーガル	リーガルサイズに設定します。
	レター	レターサイズに設定します。
	ハガキ	ハガキに設定します。
	フテイケイ	不定形用紙に指定します。 不定形用紙のサイズは『フテイケイ サイズ』で設定します。
	A 3 B 4	A3サイズに設定します。 B4サイズに設定します。
フテイケイ サイズ* フテイケイ タテ	x x x mm	不定形用紙の縦と横の長さを指定します。1 mmずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。 スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。) 「▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、再度「▶」スイッチを押すと最小値を表示します。 また、「◀」スイッチを押し続けると最小値で止まり、再度「◀」スイッチを押すと最大値を表示します。 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は下の を参照してください。
	フテイケイ ヨコ	

不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm ~ 420 mm	100 mm ~ 297 mm
初期値	420 mm (A 3 相当)	297 mm (A 3 相当)

設定項目	設定値	機能
コピー - マイク	× × マイク	<p>印刷する部数を設定します。初期値は1枚です。1枚ずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。)</p> <p>「▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、再度「▶」スイッチを押すと最小値を表示します。</p> <p>また、「◀」スイッチを押し続けると最小値で止まり、再度「◀」スイッチを押すと最大値を表示します。</p> <p>設定範囲は1枚から99枚です。</p>

ガイド

- ・メニュー印刷設定モードのときに「オンライン」スイッチを押すと、メニュー印刷設定モードを終了し、オンライン状態に戻ります。
- ・設定値は電源を切ると元に戻ります。
- ・プリンタ内に未印刷データがあると、設定を切り替えることができない場合があります。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。
- ・縮小印刷の切り替えについて
 - ・ESC/Pageモードでは、縮小印刷の「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」は表示されません。
 - ・縮小印刷の表示が「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」のときは、コマンドでESC/Pageモードへ移行することはできません。
 - ・縮小印刷を「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」に設定し、プリンタに設定値を登録した場合、セットアップの「エミュレーション設定」をESC/Pageモードに切り替えると、縮小印刷は「 」に切り替わります。
- ・コピー枚数(印刷部数)の設定では、COPYコマンドが優先するため、設定した枚数が印刷されない場合があります。
- ・給紙トレイ用紙サイズ設定ダイヤルを「パネルで設定」にした場合のみ、給紙トレイサイズで設定した値が有効となります。

お願い

給紙トレイサイズで設定した用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。

▼ プリンタをリセットする

プリンタをリセット（初期化）します。
リセットすると未印刷データは消去されます。

ガイド プリンタ内に未印刷データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンタを初期化すると、未印刷データは消去されます。
リセット後、動作モード表示（76ページ）にEP、EGのいずれかが表示されていないときは、再度プリンタをリセットしてください。

オンライン状態
「オンライン」スイッチ

オフライン

1 「オンライン」スイッチを押してオフライン状態にする

「リセット」スイッチ

ショキカ シマスカ?

2 「リセット」スイッチを押す

ガイド 初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

「リセット」スイッチ

ショキカチュウ

3 再度、「リセット」スイッチを押す

▼ 印刷を中止する

印刷を中止する場合は、「オンライン」スイッチを押します。

印刷中
「オンライン」スイッチ

ハイシュツ ショリチュウ

1 「オンライン」スイッチを押す

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

オフライン状態

続いて初期化する場合は、前項の「プリンタをリセットする」の手順2と3の操作を行います。

未印刷データを強制的に印刷する

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

本プリンタは、パソコンから1ページ分のデータを受信したとき、または排出コマンドを受信したときに、初めて印刷を実行します。したがって、データを受信しても1ページに満たない状態や排出コマンドを受信していない状態では、データがプリンタ内に残っています。

強制印刷をする

次のようなときに強制印刷をします。

- ・データランプが点灯したままで印刷しないとき
- ・パソコンからのデータ受信を中断し、強制的に印刷させるとき

ガイド データのないとき（データランプ消灯時）は、強制印刷できません。

強制印刷は、以下の手順で行います。

<p>オンライン状態</p> <p>「オンライン」スイッチ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>オフライン</p> </div> <p>「排出」スイッチ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ハイシュツ ショリチュウ</p> </div>	<p>1 「オンライン」スイッチを押し、オフライン状態にする</p> <p>2 「排出」スイッチを押し印刷された用紙が排出され、データランプは点灯から消灯に変わります。</p>
--	--

強制印刷を中断する

強制印刷を中断するには、用紙を排出中にもう一度「排出」スイッチを押します。強制印刷を中断し、印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になります。

■ 強制印刷を取り消す

強制印刷を取り消すには、用紙を排出中に「リセット」スイッチを押します。現在印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になり、液晶ディスプレイに『シヨキカシマスカ?』と表示されます。

初期化するときには、再度、「リセット」スイッチを押します。強制印刷は取り消され、初期化されます。

初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押します。再び強制印刷が実行されます。

第7章

設定値を変える

本プリンタの持つ機能は、セットアップで変更します。この章では、セットアップで設定できる内容と、設定の操作について説明します。

セットアップ項目について	90
メニュー印刷 ~ 設定内容を印刷する	90
テスト印刷 ~ テスト印刷をする	90
エミュレーション設定 ~ 動作モードを切り替える .	91
印刷設定 ~ 印刷のときの設定を変える	91
EP モード設定 ~ ESC/P モードの 印刷条件を設定する	93
EG モード設定 ~ ESC/Page モードの 印刷条件を設定する	95
環境設定 ~ 日常の操作に必要な設定値を変える	96
補助機能設定 ~ 補助機能を設定する	98
登録 ~ 設定値を登録する	103
保守モード ~ 保守モードを設定する	103
設定の変更手順(セットアップの操作方法)	104
基本的な操作	104
選んだ項目に設定する操作	104
数値を設定する操作	106
メニュー印刷やテスト印刷を行う操作	106
HEX ダンプ印刷を行う操作	107
セットアップ項目一覧	108

セットアップ項目について

プリンタの設定値は、セットアップモードで変更することができます。ここでは、セットアップモードで設定できる各項目について説明します。

設定を変更する手順については、「設定の変更手順（セットアップの操作方法）」（104 ページ）を参照してください。

▼ メニュー印刷 ~ 設定内容を印刷する

プリンタおよびLANポートの現在の設定内容を印刷します。A4サイズの用紙を基準とし、A4より小さいA5までの用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。

LAN設定で「TCP/IP」を「無効」にしたとき、「LANの印刷」は印刷されません。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

エミュレーション設定	
カレントエミュレーション設定	= ESC / Pageモード
印刷設定	
印刷方向	= 縦
給紙口	= カセット1
縮小印刷	= 100%
給紙トレイサイズ	= A4
不定形サイズ	
縦方向	= 420 mm
横方向	= 297 mm
コピー枚数	= 01枚
環境設定	
スムージング	= 設定
トナーセーブ	= 解除
自動給紙	= 設定
ブザー	= 設定
タッチ音	= 設定
データ保証	= 設定
データなし印刷	= 解除
タイマー監視印刷	= 解除
給紙トレイ印刷	= コマンド優先

▼ テスト印刷 ~ テスト印刷をする

ANK文字（英数字、記号）や、各種の漢字文字によるテスト印刷を行います。印刷は現在選択している給紙口の用紙に行います。

エミュレーション設定 ~ 動作モードを切り替える

プリンタの動作モード（エミュレーションモード）を切り替えます。

本プリンタには、次のエミュレーションモードがあります。

- ・ESC/P モード セイコーエプソン VP-1000 相当
- ・ESC/Page モード セイコーエプソン LP-8000S 相当

お願い

ESC/P、ESC/Page の各エミュレーションモードから Printia XL ドライバへの切り替えは、印刷を実行する際に自動的に行われます。オペレータパネルで設定する必要はありません。

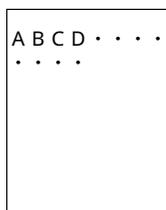
印刷設定 ~ 印刷のときの設定を変える

印刷の際に必要な設定値を変えます。

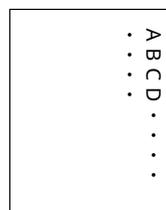
項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

印刷方向 ~ 印刷方向を変える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するかどうかを設定します。



印刷方向 縦



印刷方向 横

ガイド

- ・「リスト印刷」が設定されている場合、印刷方向は表示されません。
- ・余白付きの設定は、ESC/Pモードのとき、有効になります。

■ 給紙口 ~ 給紙口を変える

カセット1、カセット2、カセット3 (XL-5720のみ) および給紙トレイのどの給紙口から給紙するかを設定します。

ガイド 自動的に用紙の選択をする方法は、「自動給紙」(111ページ)で設定します。

■ 縮小印刷 ~ 縮小印刷を指定する

縮小印刷の種類を設定します。100%、75%、70%、およびストックフォーム用印刷データの縮小印刷について設定できます。

ガイド

- ・ESC/Pageモードでは、ストックフォーム用印刷の設定(リスト印刷)は設定できません。
- ・ESC/Pageモードのときに75%または70%に設定すると、用紙サイズ設定コマンドは無視され、現在の給紙口から印刷されます。

■ 給紙トレイサイズ ~ 給紙トレイの用紙サイズを変える

給紙トレイから印刷するときの用紙のサイズを設定します。

ガイド 給紙トレイ用紙サイズ設定ダイヤルを「パネルで設定」にした場合のみ、給紙トレイサイズで設定した値が有効になります。

お願い セットした用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。

■ 不定形サイズ ~ 不定形用紙のサイズを設定する

給紙トレイで不定形用紙を使うときに、その用紙のサイズを設定します。用紙の縦と横それぞれについて、mm単位の3桁で設定します。

不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm ~ 420 mm	100 mm ~ 297 mm
初期値	420 mm (A 3相当)	297 mm (A 3相当)

■ コピー枚数 ~ 印刷する部数を設定する

印刷する部数を、1枚～99枚までの範囲で設定します。



本設定とCOPYコマンドによる設定では、後からの設定が有効となります。このため、設定した枚数が印刷されない場合があります。

▼ EPモード設定 ~ ESC/Pモードの印刷条件を設定する

プリンタをESC/Pモードで使うときの印刷条件を設定します。

■ 文字コード ~ 文字コード表を指定する

英数カナ文字コード部分のコード表を指定します。

■ 給紙位置 ~ 印刷開始位置を設定する

用紙の印刷開始位置を設定します。

■ 右マージン位置 ~ 右マージンを設定する

用紙の右マージンを設定します。

■ ANK文字 ~ ANK文字の書体を設定する

使用するANK文字（英数字、記号）の書体を設定します。

■ 漢字書体 ~ 漢字の書体を設定する

使用する漢字の書体を設定します。

■ CRコード ~ CR(復帰コード)の動作を設定する

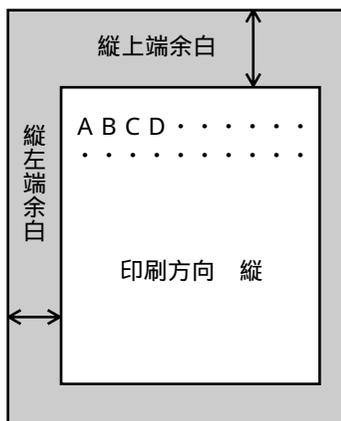
CR(復帰コード)の動作に、改行動作を加えるかどうかを設定します。

■ 縦余白設定 ~ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

「給紙位置」(109ページ)の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5mm	8.5 ~ 50mm	5 ~ 50mm
22mm	22 ~ 50mm	5 ~ 50mm

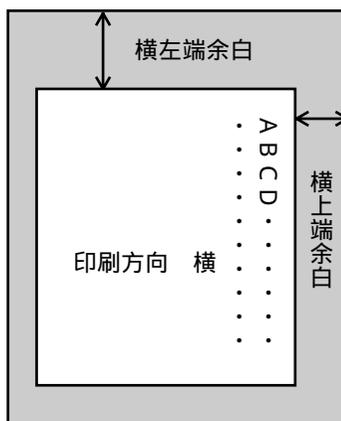


■ 横余白設定 ~ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

「給紙位置」(109ページ)の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5mm	8.5 ~ 50mm	5 ~ 50mm
22mm	22 ~ 50mm	5 ~ 50mm



EG モード設定 ~ ESC/Page モードの印刷条件を設定する

プリンタを ESC/Page モードで使うときの印刷条件を設定します。

■ 復帰改行 ~ 自動的に復帰改行する

自動復帰改行動作を行うかどうかを設定します。

自動復帰改行とは、印刷データが用紙の右端を超えたときに、自動的に改行し、印刷位置を次の行の先頭に移動することをいいます。

■ 改ページ ~ 自動改ページの動作を設定する

印刷データが用紙の下端を超えたときに、自動的に改ページするかどうかを設定します。

■ CR コード ~ CR (復帰コード) の動作を設定する

CR (復帰コード) の動作に改行動作を加えるかどうかを設定します。

■ LF コード ~ LF (改行コード) の動作を設定する

LF (改行コード) の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

■ FF コード ~ FF (改ページコード) の動作を設定する

FF (改ページコード) の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

■ エラーコード ~ 未定義文字の処理を設定する

未定義文字を受信したときの動作を設定します。

■ イメージパターン ~ イメージパターンを設定する

イメージデータを補正するかどうかを設定します。イメージデータの印刷品質が悪い場合に補正すると、アプリケーションによっては品質が向上することがあります。

■ メモリオーバー解除 ～ メモリオーバーエラーの自動解除を設定する

メモリオーバーエラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除し、印刷処理を続行するかどうかを設定します。

メモリオーバーエラーとは、外字/マクロ/オーバーレイなどを登録するためのメモリが容量不足になることをいいます。

■ 給紙トレイ番号 ~ 給紙トレイ番号を設定する

給紙装置選択コマンドにおいて、拡張設定を行います。



本設定は変更しないでください。

▼ 環境設定 ~ 日常の操作に必要な設定値を変える

日常操作する際に必要な設定を変更します。項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

■ スムージング ~ 印刷結果を滑らかにする

文字や図形のギザギザ(ジャギー)を滑らかにして印刷するかどうかを設定します。

■ トナーセーブ ~ トナーを節約する

印刷時のトナー量を少なくして、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。



トナーセーブを行う設定にしたときは、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。

■ 自動給紙 ~ 自動的に給紙する

選択されているカセットの用紙がなくなったときに、他のカセットまたは給紙トレイから給紙するかどうかを設定します。またコマンドで指定した用紙サイズ/給紙口/印刷方向に関して、給紙口の自動選択を行います。

■ ブザー ~ ブザー鳴動を設定する

紙づまりが発生したり、給紙カセット内の用紙がなくなったりなど、アラームが発生したとき、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。アラームが発生してもブザーが鳴らないように設定を変えることができます。

■ タッチ音 ~ タッチ音の設定をする

オペレータパネルのスイッチを押すとタッチ音が鳴るようにするか、しないかを設定します。

■ データ保証 ~ 紙づまりのデータを保証する

データ保証をするかどうかを設定します。

データ保証とは、紙づまりが発生したときに、そのデータをもう一度印刷し直す機能をいいます。



データ保証を「解除」すると、紙づまりが発生したときに、そのページが抜けてしまいます。

■ データなし印刷 ~ 印刷データのないページを印刷する

データのないページを印刷(白紙印刷)するかどうかを設定します。

データのないページとは、パソコンから受信したデータが改ページをともなったコマンドのみで、印刷するデータがないページのことをいいます。

■ タイマー監視 ~ タイマー監視印刷を指定する

タイマー監視印刷をするかどうかを設定します。

タイマー監視印刷とは、プリンタがパソコンから最後のデータを受信してから一定時間内に後続のデータが送られなかったとき、今まで受信したデータを自動的に印刷する機能をいいます。

お願い

タイマー監視印刷を指定すると、パソコンの状態や、アプリケーションの動作速度によっては、ページの途中で用紙が排出されてしまうことがあります。このような場合は、タイマー監視印刷を解除するか、設定時間を長くしてください。

■ 給紙トレイ印刷 ~ 用紙サイズの優先を設定する

給紙トレイの用紙サイズについて、コマンドと設定のどちらを優先するかを指定します。

コマンド優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っていても強制的にパソコンで指定した用紙サイズで印刷する機能です。

また、設定優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っていている場合には「用紙サイズ不一致」アラームを表示する機能です。

ガイド

給紙トレイ用紙サイズ設定ダイアログで用紙サイズを設定しているときは、設定優先となります。

▼ 補助機能設定 ~ 補助機能を設定する

プリンタを使用する上での、補助的な機能について設定します。

■ パワーセーブ時間 ~ 消費電力を節約する

パワーセーブを行うまでの時間を設定します。

パワーセーブとは、一定時間印刷しなかった場合に、定着器の電源を自動的に切断し、消費電力を節約する機能です。

ガイド

プリンタがパワーセーブ状態になると、液晶ディスプレイに『セーブ』と表示されます。パワーセーブ機能によって切断された定着器の電源は、次に印刷するときに自動的に投入されます。定着器の電源が投入されてから実際に印刷が始まるまでは、約8秒かかります。この間、液晶ディスプレイには『ウェイト』と表示されます。

■ ポート切替時間 ~ ポート切替時間を設定する

ポート切替を行うまでの時間を 30 ~ 3600 秒 (10 秒単位) の範囲で指定します。

ポート切替とは、一定時間印刷しなかった場合に他のポートからの印刷を可能にする機能のことをいいます。

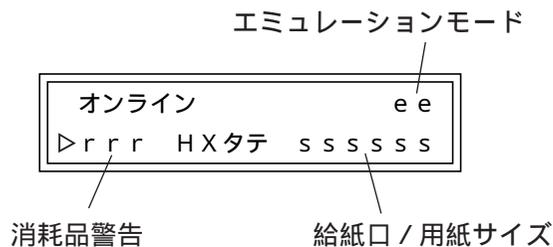
■ トナーセーブ補正 ~ 輪郭を補正する

トナーセーブを設定したときに、データの輪郭部分のドットを強調して印字するかどうかを設定します。

■ HEX ダンプ印刷 ~ ヘキサダンプ形式で印刷する

HEX ダンプ印刷とは、パソコンからプリンタに送られる印刷データを、アルファベットや漢字などの文字ではなく、16 進数のデータで印刷する機能です。この機能は、パソコンからのデータがプリンタに正しく転送されているかどうかを確認する場合などに使用します。

HEX ダンプ印刷を行う状態にすると、液晶ディスプレイの表示は、次のようになります。



HEX ダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを 2 回押します。

■ ポート 1 設定

～ ポート 1 のインタフェースタイミングを設定する

プリンタケーブル経由でデータ受信する場合に接続するパラレルポートのインタフェースタイミングを設定します。

バイセントロモード、ACK タイミング、およびビジーディレイについて設定します。

▶ バイセントロモード

双方向インタフェースを有効にするかどうかを設定します。



バイセントロモードを「解除」する設定にすると、Printianavi の双方向機能、および Windows 98/95 の Plug&Play 機能が使えなくなります。

▶ ACK タイミング

ACK 信号のパルス幅を設定します。

ACK のパルス幅は、バイセントロモードとの組み合わせにより次のとおりになります。

バイセントロ			
ACK	モード	設定	解除
タイミング			
高速		1 μ s	2.5 μ s
標準		2.5 μ s	5 μ s

▶ ビジーディレイ

ACK 信号と BUSY 信号の位置関係を設定します。接続するパソコンの仕様に合わせて設定します。

ビジーディレイは、バイセントロモードと ACK タイミングとの組み合わせにより次のとおりになります。

バイセントロ			
ACK	モード	設定	解除
タイミング			
高速		A - B 固定	A - B 固定
標準		A - B 固定	設定値

▶ INIT 受信

INIT 信号を受信したときの初期化を有効にするかどうかを設定します。

■ LAN 設定 ~ ネットワークを設定する

ネットワークのプロトコル、Ethernet タイプ、TCP/IP について設定します。

 **ガイド** 「LAN 設定」内の設定値を変更すると、セットアップモードを終了する際にプリンタをリセット(初期化)します。

▶ プロトコル

TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。

▶ Ethernet タイプ

Ethernet のタイプを設定します。

▶ TCP/IP 設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびポート番号を設定します。

IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCP により自動的に取得するように設定されているため、表示されません。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP 自動取得」を「解除」してください。

TCP/IP の設定を行っても TCP/IP が正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷を行い、「TCP/IP 動作状態コード」を確認してください(次ページ参照)。

TCP/IP 動作状態コードは、次のとおりです。

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCP により取得した IP アドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。

DHCP クライアントの予約について

DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照するか(43 ページ)、またはメニュー印刷を行うと出力されます(90 ページ)。



プロトコルの「TCP/IP」を「無効」にした場合、「TCP/IP 設定」は表示されません。

▶ LAN 初期化

『LAN 設定』の内容を工場出荷時の初期値に戻します。

登録 ~ 設定値を登録する

セットアップモードで設定した内容(「LAN設定」(101ページ)を除く)をプリンタに記憶させたり、各設定値を工場出荷時の値に戻したり、または各設定値を読み出したりします。

ガイド 設定値を登録しないと、セットアップで変更した値は電源を切ると元の値に戻ります。

保守モード ~ 保守モードを設定する

保守に必要な表示、およびソフトスイッチの設定を行います。

お願い 保守モードは保守者用の機能です。保守以外の目的には使用しないでください。

設定の変更手順(セットアップの操作方法)

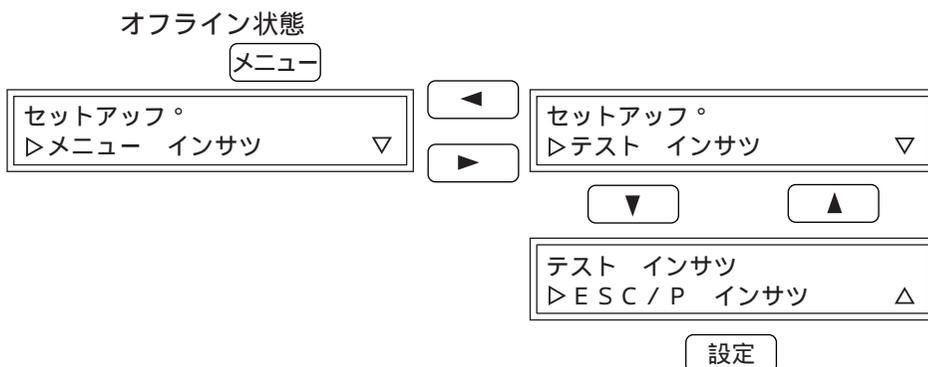
プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、セットアップモードで行います。

基本的な操作

セットアップモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

セットアップモードでは、次のスイッチを使用します。

- 「メニュー」スイッチ セットアップモードに入ります。
- 「▲」または「▼」スイッチ レベルを移動します。
- 「▶」または「◀」スイッチ ... 同じレベル内で項目を切り替えます。
- 「設定」スイッチ 表示中の値に設定します。



選んだ項目に設定する操作

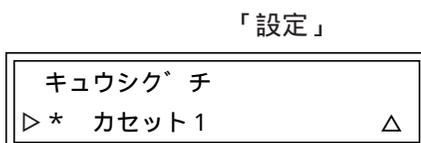
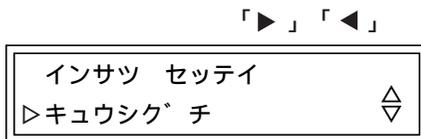
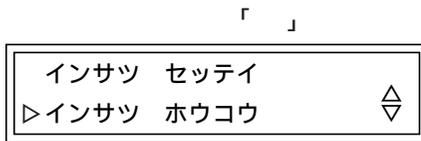
具体的な操作方法を以下に示します。

表示例は、給紙口を給紙トレイからカセット1に切り替えるときのもので

- オンライン状態
「オンライン」スイッチ
- オフライン状態
「メニュー」スイッチ

- 1 オフライン状態で「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする





2 「▶」または「◀」スイッチで、同じレベル内の項目を切り替える
目的の項目が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押します。

3 「▼」または「▲」スイッチで、レベルを移動する

「▼」スイッチを押すと、2で選択した項目が上段に、その項目の下にある項目が下段に表示されます。「▲」スイッチを押すと、上のレベルに移動します。

4 2と3の操作を繰り返して、目的の設定値を表示する

5 「設定」スイッチを押して、値を確定する

「設定」スイッチを押すと、設定値の前に「*」が表示され、その値が設定されます。

6 必要に応じて設定を繰り返す

ほかに設定する項目がある場合は、操作を繰り返して設定します。

7 「登録」の「設定登録」を実行し、設定内容を登録する

同様の手順で「登録」の中にある「設定登録」を実行します。これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

8 「オンライン」スイッチを押して、セットアップモードを終了させる

終了後は、オフライン状態のため、もう一度「オンライン」スイッチを押してオンライン状態に戻します。

▼ 数値を設定する操作

不定形用紙のサイズや余白の設定など、値を数値で指定するときは、次のように操作します。

設定画面を表示

「▶」「◀」「▲」「▼」

フテイケイ	ヨコ
▶ *	297 mm

値を増減

「▶」「◀」

フテイケイ	ヨコ
▶	200 mm

設定画面を表示し、「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。)「▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、再度、「▶」スイッチを押すと最小値を表示します。また、「◀」スイッチを押し続けると最小値で止まり、再度「◀」スイッチを押すと最大値を表示します。

▼ メニュー印刷やテスト印刷を行う操作

「メニュー印刷」および「テスト印刷」では、項目を表示して「設定」スイッチを押すと、すぐに印刷が開始されます。

テスト	インサツ
▶	アウトラインモジ [△] インサツ [△]

「設定」

印刷開始

印刷終了

「選んだ項目に設定する操作」の手順1～3と同じ操作で目的の項目を表示して「設定」スイッチを押します。

印刷が開始されます。

テスト	インサツ
▶	アウトラインモジ [△] インサツ [△]

印刷が終わると、「設定」スイッチを押す前の表示に戻ります。



H連続印刷は、「リセット」スイッチを押して終了します。

▼ HEX ダンプ印刷を行う操作

「HEX ダンプ印刷」を表示して「設定」スイッチを押すと、以降、16進数のデータで印刷されます。

ホジ ョ キノウ セツテイ
▷ HEX ダンプ インサツ ◀

「 」

HEX ダンプ インサツ
▷ セツテイ ◀

「設定」

オンライン e e
▷ r r r H X タ テ s s s s s s

オンライン状態

以後、パソコンからのデータは16進数で印刷されます。

HEX ダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを2回押します。

「選んだ項目に設定する操作」の手順1～3と同じ操作で「HEX ダンプ印刷」を表示して「設定」スイッチを押します。

セットアップ項目一覧

セットアップモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の前の「*」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

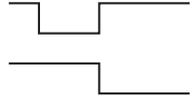
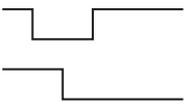
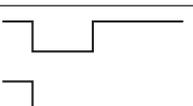
各項目の設定方法については、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(104 ページ)を参照してください。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	機能	
メニュー印刷	設定の印刷				現在のプリンタの設定内容を印刷する。	
	LANの印刷				現在のLANポートの設定内容を印刷する。	
テスト印刷	ESC/P印刷				ESC/Pモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。	
	ESC/Page印刷				ESC/Pageモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。	
	アウトライン文字印刷				アウトライン文字(ANK/漢字)でテスト印刷する。	
	その他の印刷	H連続印刷			H連続印刷	「H」を連続して印刷する。
		黒ベタ印刷			黒ベタ印刷	印刷可能領域をすべて黒で塗りつぶして印刷する。
		白紙印刷			白紙印刷	白紙のまま印刷する。
		格子印刷			格子印刷	格子を印刷する。
エミュレーション設定				* ESC/P	プリンタをESC/Pモードで動作させる。	
				ESC/Page	プリンタをESC/Pageモードで動作させる。	
印刷設定	印刷方向			* 縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。	
				縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷する。	
				横	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。	
				横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。横余白設定で設定した余白を付けて印刷する。	

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能	
印刷設定	給紙口			* カセット1	1段目の給紙カセットから給紙する。	
				カセット2	2段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。	
				カセット3	3段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。(XL-5720のみ)	
				給紙トレイ	給紙トレイから給紙する。	
	縮小印刷				* 100%	縮小せずに印刷する。
					75%	75%に縮小して印刷する。
					70%	70%に縮小して印刷する。
					リスト印刷A4	ストックフォーム用の印刷データを75%に縮小してA4用紙に横方向で印刷する。
					リスト印刷B4	ストックフォーム用の印刷データをB4用紙に横方向で印刷する。
	給紙トレイサイズ				* A4	A4サイズに設定する。
					B5	B5サイズに設定する。
					A5	A5サイズに設定する。
					リーガル	リーガルサイズに設定する。
					レター	レターサイズに設定する。
					ハガキ	はがきに設定する。
					不定形	不定形用紙に設定する。このときの用紙サイズは、『不定形サイズ』で設定する。
					A3	A3サイズに設定する。
					B4	B4サイズに設定する。
	不定形サイズ			不定形縦	× × × mm	不定形用紙の縦の長さを指定する。
				不定形横	× × × mm	不定形用紙の横の長さを指定する。
コピー枚数				× × 枚	印刷する部数を設定する。(1~99枚)	
EPモード設定	文字コード			* カタカナ	カタカナコード表(156ページ)を使用する。	
				グラフィック	拡張グラフィックコード表(156ページ)を使用する。	
	給紙位置				* 8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から8.5mmに設定する。
					22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から22mmに設定する。
	右マージン位置				* 用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定する。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域の右端まで。
					136桁	用紙サイズに関係なく136桁(13.6インチ)に設定する。用紙幅が136桁に満たない場合、印刷領域を越えた部分は印刷されない。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能	
EPモード設定	ANK文字			* ローマン	ANK文字の書体をローマンにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
				サンセリフ	ANK文字の書体をサンセリフにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
	漢字書体			* 明朝	漢字の書体を明朝体にする。 亜唾娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥	
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にする。 亜唾娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥	
	CRコード			* CRのみ	CR動作（復帰のみ）を行う。	
				CR&LF	CR動作（復帰）とLF動作（改行）を行う。	
	縦余白設定		縦上端余白	* x . x mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。	
			縦左端余白	* x . x mm	縦印刷のときの左側余白を設定する。	
	横余白設定		横上端余白	* x . x mm	横印刷のときの上端余白を設定する。	
			横左端余白	* x . x mm	横印刷のときの左側余白を設定する。	
EGモード設定	復帰改行			* 設定	自動復帰改行動作を行う。	
				解除	自動復帰改行動作を行わない。	
	改ページ				* 設定	自動的に改ページする。
					解除	自動的に改ページしない。
	CRコード				* CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
					CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	LFコード				* CR&LF	LF動作(改ページ)とCR動作(復帰)を行う。
					LFのみ	LF動作(改行)のみを行う。
	FFコード				* CR&FF	FF動作(改ページ)とCR動作(復帰)を行う。
					FFのみ	FF動作(改ページ)のみを行う。
	エラーコード				* 無視	未定義文字を無視する。
					スペース	未定義文字をスペース(空白)に置き換える。
イメージパターン				* 標準	イメージデータを補正しない。	
				補正	イメージデータを補正する。	
メモリオバー解除				* しない	何かスイッチが押されるまで待機する。	
				する	何かスイッチが押されるか、メッセージを3秒間表示した後、印刷処理を続行する。	

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能	
EGモード設定	給紙トレイ番号			* 3	通常仕様を設定する。	
				4	拡張仕様1（3段カセットサポート機用）を設定する。	
				5	拡張仕様2（4段カセットサポート機用）を設定する。	
環境設定	スムージング			* 設定	滑らかにする。	
				解除	滑らかにしない。	
	トナーセーブ				* 解除	節約しない。
					設定	節約する。
	自動給紙				* 設定	自動給紙を行う。
					解除	自動給紙を行わない。
	ブザー				* 設定	ブザーを鳴らす。
					解除	ブザーを鳴らさない。
	タッチ音				* 設定	タッチ音を鳴らす。
					解除	タッチ音を鳴らさない。
	データ保証				* 設定	データをもう一度印刷する。
					解除	データは印刷し直さない。
	データなし印刷				* 解除	印刷しない。ただし、オーバーレイ登録中はデータがないときでも印刷する。
					設定	印刷する。(白紙印刷)
					* 解除	タイマー監視印刷を行わない。
タイマー監視				30秒	監視時間を30秒にする。	
				10秒	監視時間を10秒にする。	
				* コマンド優先	コマンドで指定した用紙サイズで印刷する。	
給紙トレイ印刷 (*1)				設定優先	オペレータパネルで指定した用紙サイズで印刷する。	
				* 1分	1分	
補助機能設定	パワーセーブ時間			15分	15分	
				60分	60分	
				x x x x 秒	他のポートに切り替えるまでの時間を設定する。(30 ~ 3600秒)	
	ポート切替時間				* 設定	補正する。
					解除	補正しない。
	トナーセーブ補正				設定	ヘキサダンプ形式で印刷する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能
補助機能設定	ポート1設定	バイセントロモード		* 設定	双方向インタフェースを有効にする。
				解除	双方向インタフェースを無効にする。
		ACKタイミング		* 高速	パルス幅を短い値に設定する。
				標準	パルス幅を標準の値に設定する。
		ビジーディレイ		* A-B	ACK信号 
				A-B-A	ACK信号 
				B-A	ACK信号 
		INIT受信		* 有効	INIT受信を有効にする。
				無効	INIT受信を無効にする。
		LAN設定	プロトコル	TCP/IP	* 有効
	無効				TCP/IPを無効にする。
	Ethernetタイプ			* 自動	自動検出して動作する。
				100MbpsFull	100Mbps(Full)で動作する。
				100MbpsHalf	100Mbps(Half)で動作する。
	TCP/IP設定		DHCP自動取得	* 設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得する。
				解除	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得しない。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能
補助機能設定	LAN設定	TCP/IP設定	IPアドレス (*2)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。
			サブネットマスク (*2)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。
			ゲートウェイ (*2)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する
		ポート番号1	* 9313	印刷を受け付けるときに使用するポート番号を設定する (1~65535)	
		ポート番号2	* 9313	ネットワーク内のプリンタを検索するとき使用するポート番号を設定する (1~65535)	
	LAN初期化	設定	LAN設定の内容を、工場出荷時の初期値に戻す		
登録			設定呼び出し	プリンタの設定内容を読み出す。	
			設定初期化	プリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻す。	
			設定登録	セットアップによって設定した内容をプリンタに記憶させる。電源を切っても、設定内容は保持される。	
保守モード	印刷枚数			xxxxxxxxページ	
	メモリ容量			x x MB	
	ROM版数			Ver x . x x	
	エンジンステータス		STATUS* *= x x		
	NVコード		XX = XX		
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチ x = x			OFF ON

* 1 : 給紙トレイ用紙サイズ設定ダイヤルを「パネルで設定」にしたときに有効です。

* 2 : 「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

第8章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるときや、紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

故障かなと思ったとき	116
紙づまりになったとき	118
紙づまりの取り除きかた	119
印刷品質が低下したとき	124
エラーメッセージが表示されたとき	128

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの抜け ・停電 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（ 側）されていることを確認してください。
電源を投入してもすぐに切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントに問題あり ・電圧が違う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 <p>参照：「安全上のご注意」(2ページ) 「電源コードの接続」(38ページ) 「電源の投入と切断」(42ページ)</p>
印刷しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜けている ・オンライン状態でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 <p>参照：「パソコンとの接続」(32ページ) 「電源の投入と切断」(42ページ) 「オンライン状態とオフライン状態を切り替える」(78ページ)</p>
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを確実に押ししていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチのまん中をしっかりと押してください。 <p>参照：「オペレータパネルを操作する」(78ページ)</p>
異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 <p>参照：「用紙のセット」(44ページ) 「紙づまりになったとき」(118ページ)</p>
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 <p>参照：「安全上のご注意」(2ページ) 「用紙について」(19ページ) 「用紙のセット」(44ページ)</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は1枚ずつセットして印刷してください。 参照：「用紙のセット」(44ページ)
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「安全上のご注意」(2ページ) 「用紙について」(19ページ) 「用紙のセット」(44ページ) 「紙づまりになったとき」(118ページ)
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断(側)して、数秒経過後に投入(側)してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「電源の投入と切断」(42ページ) 「紙づまりになったとき」(118ページ)
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」(89ページ) 「プリンタの清掃」(64ページ)
エラーメッセージが表示され、印刷されない		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「エラーメッセージが表示されたとき」(128ページ)

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミツ` マリ』『カミヲ` トリノゾ` イテクタ` サイ』と表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

次の要領でつまった用紙を取り除いてください。

つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じると、メッセージが消えてオフライン状態になります。「オンライン」スイッチを押してオンライン状態にすると、印刷を再開します。

「環境設定」の中の「データ保証」を「設定」にしていると、紙づまりが発生したページから印刷します。

お願い

- ・つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じてメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- ・紙づまりが発生したら、必ず一度、上部カバーを開閉してください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

注意

ケガ つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。

- ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災 つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。

なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

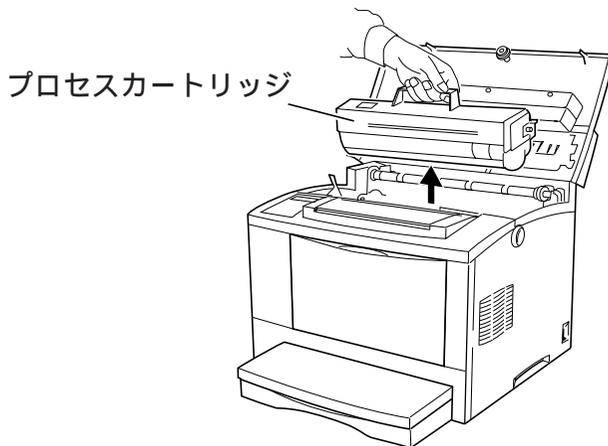
■ 紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

- ・ プリンタを水平に設置する
- ・ 適切な用紙を使用する
- ・ 給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
- ・ カールしていない用紙を使用する
- ・ 給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

▼ 紙づまりの取り除きかた

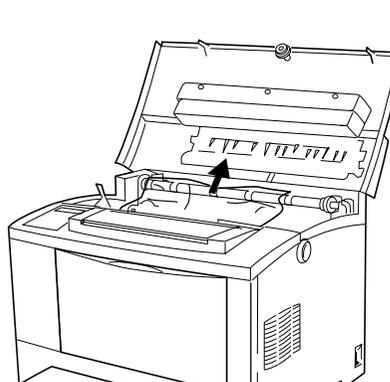
次の手順に従って、用紙を取り除いてください。



1 プロセスカートリッジ を取り外す

「プロセスカートリッジを取り外す」(57ページ)を参照し、プロセスカートリッジを取り外します。

トナーなどで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。



2 用紙を引き抜く

つまっている用紙が見えるときには、破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。

警告

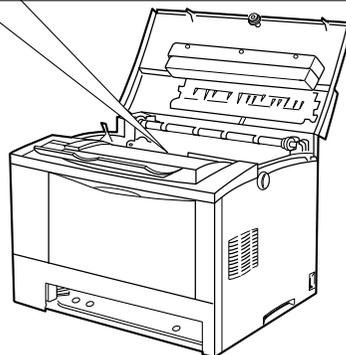
誤飲 用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。
トナーが付いてしまったときは、すぐに水で洗ってください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

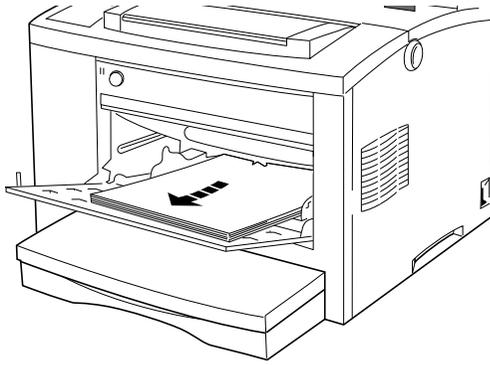
⚠ 注意 ⚠ 高温につきやけどの恐れあり。触るな。🚫



ガイド

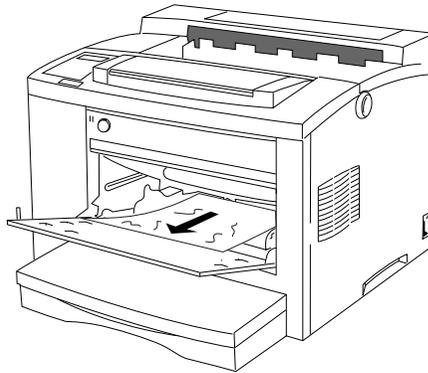
用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。

3 セットされている用紙を取り出す



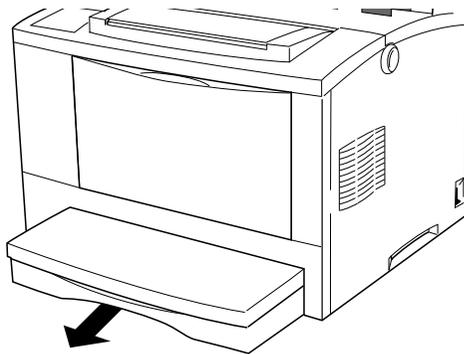
給紙トレイから給紙していた場合には、給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、手順5に進んでください。

4 給紙トレイの奥を点検する

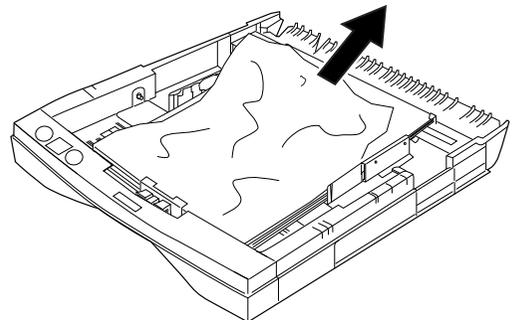


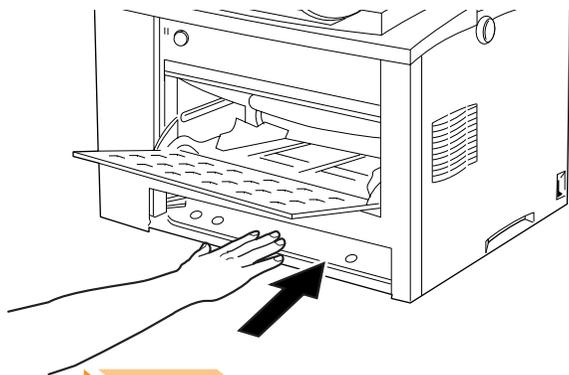
給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、つまった用紙があった場合は、取り除きます。

5 給紙カセットをプリンタから引き抜き、給紙カセット内を確認する



- ・カセットから用紙を給紙していた場合には、給紙カセットをプリンタから抜き出します。
- ・給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合には取り除きます。



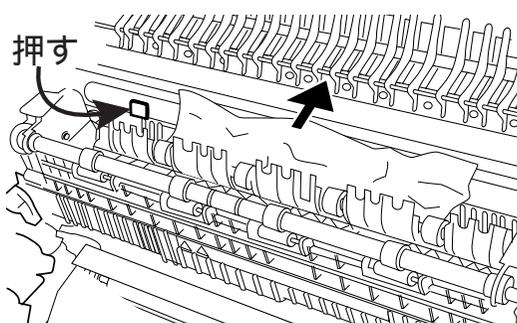


6 給紙ユニット内を確認する

給紙ユニットの奥を点検し、つまった用紙がある場合は取り除きます。

お願い

内部の部品を破損させないように注意してください。



7 定着器内を確認する

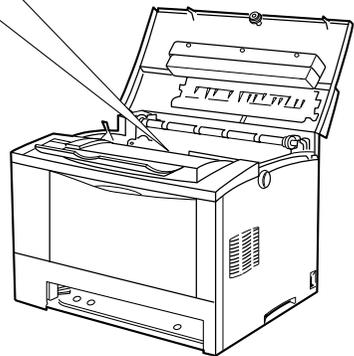
定着器の緑色の部分を押し、つまっている用紙があれば取り除きます。

注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

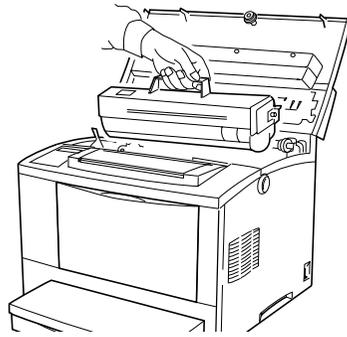
警告ラベル

注意 **高温**につきやけどの恐れあり。触るな。



ガイド

処理後、定着器カバーが確実に戻っていることを確認してください。完全に戻っていないと、印刷不良が発生することがあります。



8 プロセскарトリッジをプリンタ内部に戻す

プロセскарトリッジをプリンタ内部に確実にセットし、上部カバーを閉じてしっかりとロックします。(「プロセскарトリッジを取り付ける」(58ページ)参照)

お願い

上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すれば、汚れはつかなくなります。

9 給紙トレイ、給紙カセットに用紙をセットする

用紙のセットについては、「用紙のセット」(44ページ)を参照してください。

ガイド

給紙トレイや給紙カセット内での紙づまりの場合でも、上部カバーを一度開閉してください。上部カバーを開閉すると、エラーメッセージが消えます。

印刷品質が低下したとき

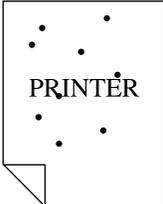
印刷品質が低下したときの処置について説明します。

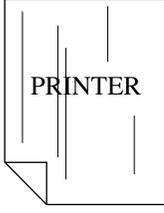
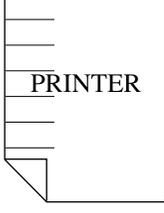
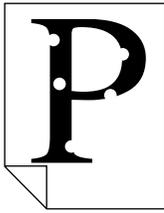
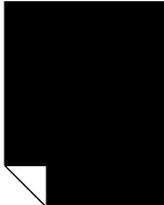
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。

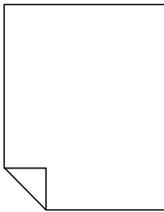
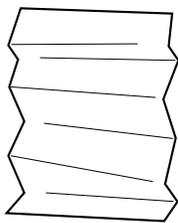


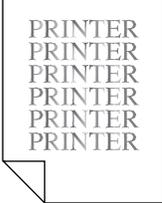
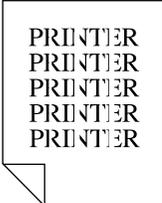
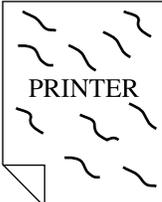
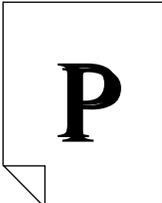
注意

やけど プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。プロセスカートリッジを取り扱うときは、定着器に手を触れないよう十分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
	印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	印刷濃度の設定が適正でありません。 印刷濃度を調整してください。 参照：「印刷濃度を調整する」 (62 ページ)
		シールドガラスが汚れています。 シールドガラスを清掃してください。 参照：「シールドガラスの清掃」(67 ページ)
		用紙が湿気を含んでいます。 新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(44 ページ)
		プロセスカートリッジ内にトナーがありません。 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ)
		プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ)
	黒点が印刷される	使用している用紙が適切ではありません。 適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(19 ページ) 「用紙のセット」(44 ページ)
		プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
<p>黒線が印刷される</p> 	<p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ)</p>
<p>等間隔に汚れる</p> 	<p>プリンタ内の用紙搬送路が汚れています。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」(89 ページ) 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ)</p>
<p>黒く塗りつぶされた部分に白点がある</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(19 ページ) 「用紙のセット」(44 ページ) 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ)</p>
<p>指でこするとトナーがかすれる</p> 	<p>用紙が湿気を含んでいます。 使用している用紙が適切ではありません。</p>	<p>新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(44 ページ) 適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(19 ページ) 「用紙のセット」(44 ページ)</p>
<p>用紙全体が黒く印刷される</p> 	<p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。 プリンタ内の高圧電源など</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ) の故障が考えられます。お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
	<p>プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。</p>	<p>トナーシールを引き抜きます。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)</p>
	<p>一度に複数枚の用紙が搬送されています。</p>	<p>用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照：「用紙のセット」(44 ページ)</p>
	<p>プロセスカートリッジにトナーが残っていません。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)</p>
	<p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)</p>
	<p>プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。</p>	<p>お買上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。</p>
<p>白抜けが起こる</p> 	<p>シールドガラスが汚れています。</p>	<p>シールドガラスを清掃してください。 参照：「シールドガラスの清掃」(67 ページ)</p>
	<p>用紙が湿気を含んでいます。</p>	<p>新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(44 ページ)</p>
	<p>使用している用紙が適切ではありません。</p>	<p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(19 ページ) 「用紙のセット」(44 ページ)</p>
	<p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)</p>
<p>用紙にシワがつく</p> 	<p>用紙のセットが適切ではありません。</p>	<p>用紙を正しくセットしてください。 参照：「用紙のセット」(44 ページ)</p>
	<p>用紙が湿気を含んでいます。</p>	<p>新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(44 ページ)</p>
	<p>使用している用紙が適切ではありません。</p>	<p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(19 ページ) 「用紙のセット」(44 ページ)</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
	文字がにじむ	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(44 ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(19 ページ) 「用紙のセット」(44 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)
	縦長に白抜けする	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)
	シールドガラスが汚れています。	シールドガラスを清掃してください。 参照：「シールドガラスの清掃」(67 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)
	不要なトナーがつく	印刷濃度調整ダイヤルを適切な位置に調整してください。 参照：「印刷濃度を調整する」(62 ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(19 ページ) 「用紙のセット」(44 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)
	太い文字に影が出る	印刷濃度調整ダイヤルを適切な位置に調整してください。 参照：「印刷濃度を調整する」(62 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(54 ページ)

エラーメッセージが表示されたとき

オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されま
す。

次の表にしたがって処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
ヨウシ ナシ ・・・ヲ イレテ クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットおよび給紙トレイに用紙がないと表示されます。給紙カセット(1、2または3)、または給紙トレイに、表示されたサイズ of 用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
ヨウシ ナシ x ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。 給紙カセット x (1、2 または 3) に、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
ヨウシ ナシ M ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、自動的に印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
カセット ナシ カセット ヲ イレテ クダサイ	セットされていない給紙カセットがあると表示されます。すべての給紙カセットをセットしてください。 サポートしていない用紙をセットしたときに表示されます。正しい用紙をセットしてください。	「用紙のセット」 (44 ページ)
カミツマリ x カミヲ トリノゾイテ クダサイ	紙づまりが発生すると表示されます。つまった用紙を取り除いてください。上部カバーの内部や、給紙カセットの中を確認してください。 つまった用紙の取り除きかたは、「紙づまりになったとき」(118 ページ)を参照してください。 x はエラーコードです。次の5種類が表示されます。	「紙づまりになったとき」 (118 ページ)
	エラーコード	確認箇所
	1	カセット 1、上部カバー
	2	カセット 2、上部カバー
	3	カセット 3、上部カバー (XL-5720 のみ)
	M	給紙トレイ
	I	上部カバー、プリンタ内部、排紙部
	E	上部カバー、排紙部

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
カバー オープン	上部カバーを開けると表示されます。作業が終わったらカバーを閉じてください。	-
カバー ヲ トジテ クダサイ		
ヨウシサイズ フィッチ ・・・ヲ イレテ クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、カセットおよび給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット(1、2または3)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
ヨウシサイズ フィッチ x ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセットX(1、2または3)に正しい用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
ヨウシサイズ フィッチ M ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙トレイに正しい用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
ヨウシサイズ カクニン x ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷中に給紙された用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセットx(1、2または3)に表示された用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
ヨウシサイズ カクニン M ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷中に給紙された用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙トレイに表示された用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (44 ページ)
カートリッジ ナシ EPカートリッジ カクニン	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、または、使用できないプロセスカートリッジがセットされています。プロセスカートリッジを確認し、セットし直してください。	「プロセスカートリッジの交換」 (54 ページ) 「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」 (61 ページ)

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
コントローラ イジョウ 2 RAM1エラー	ROM およびRAM の異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。	-
コントローラ イジョウ 3 RAM2エラー	プリンタ RAM モジュールを取り付けた場合は、一度取り外し、再度取り付けてください。	
コントローラ イジョウ 4 CG-ROM1エラー	それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容を販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	
コントローラ イジョウ 5 CG-ROM2エラー	『コントローラ イジョウ 16』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。	
コントローラ イジョウ 6 CG-ROM12エラー	設定値を変更している場合は再度設定してください。	
コントローラ イジョウ 11 LAN ユニットエラー		
コントローラ イジョウ 12 LANC アクセスエラー		
コントローラ イジョウ 13 MAC アドレスエラー		
コントローラ イジョウ 14 ROM チェックサムエラー		
コントローラ イジョウ 15 Flash-ROM エラー		
コントローラ イジョウ 16 トウロク ショキカ シマス Unexpect Trap XXXXXXXX XX		
エンジン イジョウ 1 FUSER イジョウ	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。それでもエラーメッセージが出る場合は、その内容を販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	-
エンジン イジョウ 2 ROS モータ コショウ		
エンジン イジョウ 4 ファン アラーム		
エンジン イジョウ 5 メモリ イジョウ		
エンジン イジョウ 6 パリティ エラー		

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
トウロク メモリ オーバー ゾッコウ カクニン OK?	<p>ESC/Page コマンド受信中に、外字、オーバレイ、マクロなどを登録するメモリが足りなくなると表示されます。</p> <p>セットアップモードで、『ESC/Pageモード』の『メモリオーバー解除』が『スル』になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。『シナイ』になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。</p>	-
メモリ ガ フソク ドライバ セッテイ カクニン	<p>A3、B4、リーガルおよびユーザー定義（不定形）用紙に、プリンタ RAM モジュールを取り付けずに、600DPIの印刷を行うと表示されます。「リセット」スイッチを2回押してプリンタを初期化します。その後、プリンタドライバの解像度を300DPIに設定し直すか、A3、B4、リーガル用紙の場合はA4以下の用紙で再印刷してください。</p>	ソフトウェア編 (115 ページ)
トウロク メモリ フソク ドライバ セッテイ カクニン	<p>プリンタ RAM モジュールを取り付けずに、Printia XL ドライバの「テキストを高速印刷する」機能を使用して印刷を行うと表示されます。「リセット」スイッチを2回押してプリンタを初期化します。その後、プリンタ RAM モジュールを取り付けるか、Printia XL ドライバの「テキストを高速印刷する」機能を使用しないで再印刷してください。</p>	ソフトウェア編 (119 ページ)

第9章

オプションの取り付け

本プリンタのオプションには、プリンタRAMモジュールと拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

オプション取り付け上のご注意	134
プリンタRAMモジュールの取り付けかた	134
プリンタRAMモジュールを取り付ける	135
プリンタRAMモジュールを取り外す	137
拡張給紙ユニットの取り付けかた	138
拡張給紙ユニットを取り付ける	139
拡張給紙ユニットを取り外す	143

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。



警告

感電 オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
当社推奨品以外を接続すると、火災や感電または故障の原因となります。



注意

けが オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。



警告

感電 プリンタ RAM モジュールを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「」側に倒れていることを確認してください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。



お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

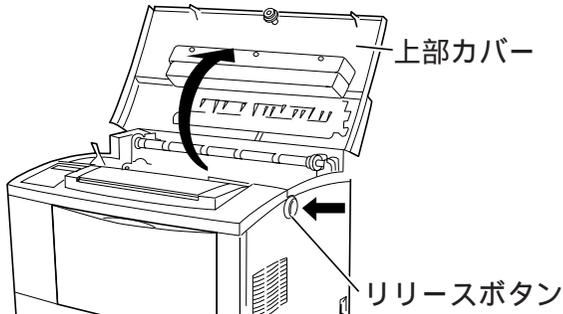
- ・本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- ・モジュールに触れる前に、金属製のもの(ロッカーなど)に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- ・モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

▼ プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 電源の切断を確認する

電源が切れていることを確認します。(電源スイッチが「」側に倒れている状態です。)



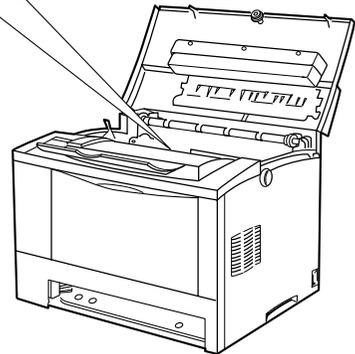
2 リリースボタンを押して、上部カバーを開く

⚠ 注意

やけど「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

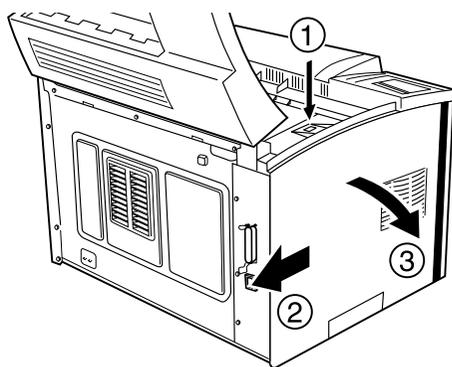
⚠ 注意 ⚠ 高温につきやけどの恐れあり。触るな。🚫



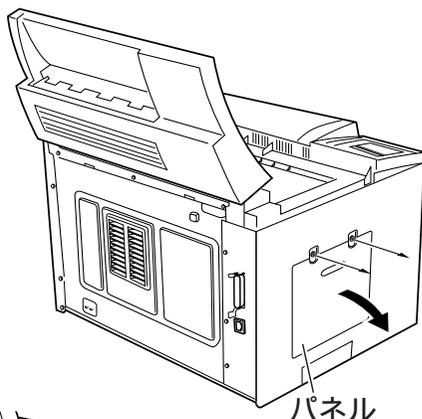
け が 上部カバーを開くとき、カバーとプリンタに手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

👉 お願い

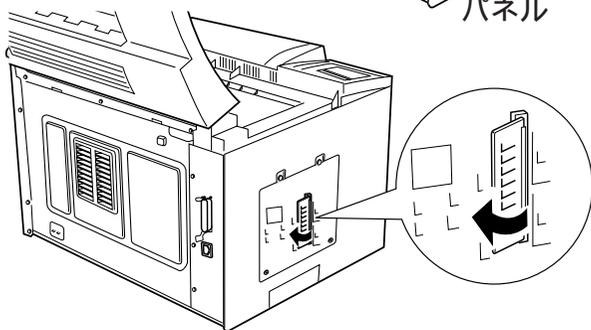
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。



3 オプションカバーを外す
プリンタの左側面のオプションカバーを外します。オプションカバーは、図のように上面の四角いボタンを押しながら背面にずらし、外側に倒すようにします。



4 パネルを外す
パネルのネジ2か所をドライバーを使って外し、パネルを外します。



5 プリンタRAMモジュールを取り付ける
プリンタRAMモジュールの切り欠きとコネクタの突起の位置を合わせてゆっくと差し込み、カチッと音がするまで奥に押し込みます。

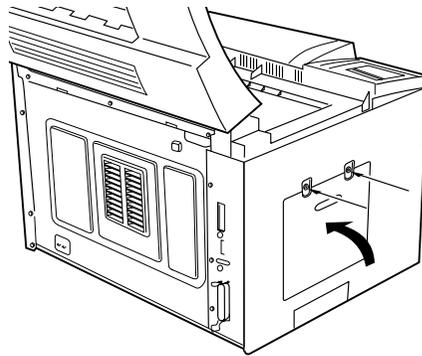
お願い

プリンタRAMモジュールの基板は壊れやすいので、手を触れないでください。

6 パネルとオプションカバーを元に戻す

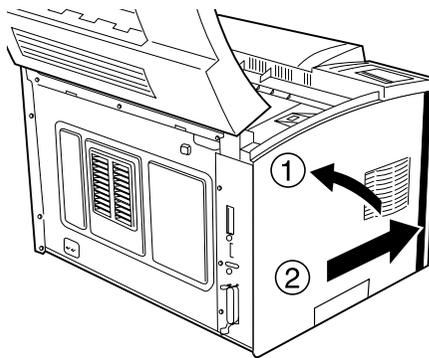
パネルをネジ(2本)で固定してから、オプションカバーを取り付けます。

オプションカバーは、下側のツメをプリンタ本体の穴に差し込んでからプリンタ本体に沿って前側にスライドさせます。



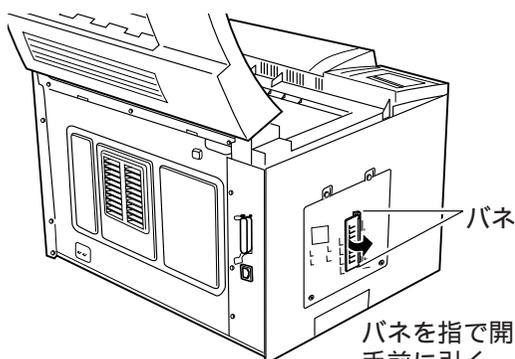
ガイド

メモリを増設した時は、電源の投入を行い、オペレータパネルの液晶ディスプレイ上に表示される「メモリ ヨウリョウ」でメモリの総容量を確認します。



▼ プリンタ RAM モジュールを取り外す

プリンタ RAM モジュールの両側をとめているバネを指で開き、プリンタ RAM モジュールを手前に倒してから引き抜きます。オプションカバーの外しかたや取り付けかたは、「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」(135 ページ)を参照してください。



拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットは、拡張給紙ユニット-A(A3ユニバーサル・250枚)、拡張給紙ユニット-B(A4・500枚)があります。

取り付けられる拡張給紙ユニットの数は、プリンタにより異なります。「オプション品」(14ページ)で取り付け可能な形態を確認してください。

次ページ以降の説明では、拡張給紙ユニット-Aを例にしていますが、拡張給紙ユニット-Bの場合も同じです。



警告

感電 拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。



注意

けが

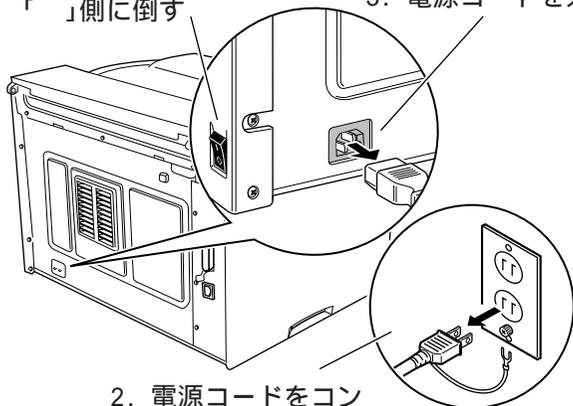
- ・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- ・本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で約18.5kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面を体の方に向け、底部の取っ手を両手でしっかりと持ってください。必要に応じて2人で持ち運んでください。落下によりけがの原因となることがあります。

▼ 拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

1. 電源スイッチを「」側に倒す

3. 電源コードを外す

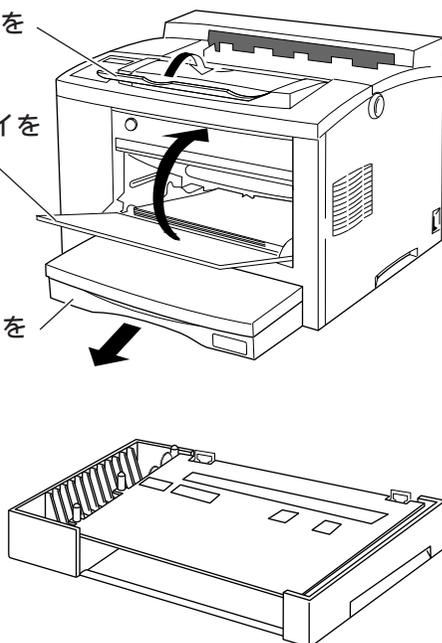


2. 電源コードをコンセントから抜く

排紙トレイを閉じる

給紙トレイを閉じる

給紙カセットを取り外す



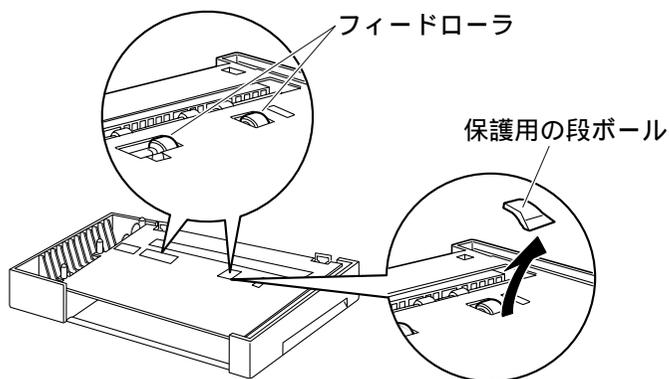
1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。

2 給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じる

3 拡張給紙ユニットを設置場所に置く

拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出し、設置場所に置きます。



4 拡張給紙ユニット-Aの保護用の段ボールをとり、フィードローラの灰色のゴム面が上になっていることを確認する

フィードローラの灰色のゴム面が上になっていない場合は、ローラを手で回してゴム面を上になしてください。

拡張給紙ユニット-Bには保護用の段ボールは付いていません。

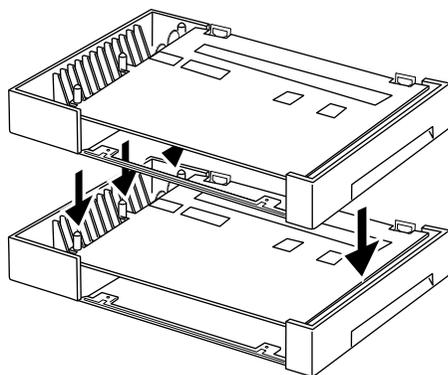
拡張給紙ユニット-A、または拡張給紙ユニット-Bを1つだけ取り付けるときは7に進みます。

お願い

フィードローラの灰色のゴム面が上になっていない状態では、給紙カセットをセットできません。

(XL-5720のみ)

5 拡張給紙ユニットを2段取り付けるときは、あらかじめ2個の拡張給紙ユニットをネジで固定する



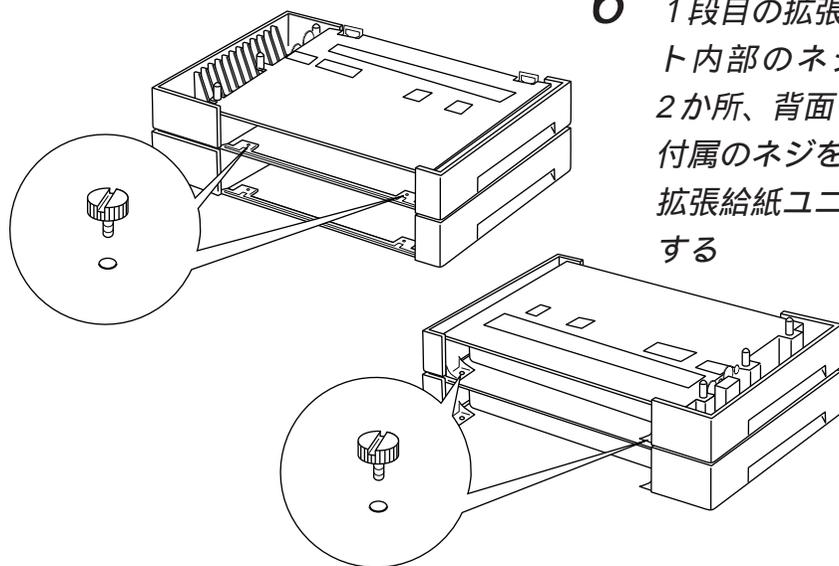
1段目の拡張給紙ユニットを2段目の拡張給紙ユニットに重ねます。このとき、2段目の拡張給紙ユニットのガイドピン(3か所)が1段目の拡張給紙ユニットの底面の穴に納まるように位置を合わせます。

ガイド

拡張給紙ユニット-Aの上に拡張給紙ユニット-Bを重ねることはできません。

(XL-5720のみ)

6 1段目の拡張給紙ユニット内部のネジ穴（前面2か所、背面2か所）に、付属のネジを通して締め、拡張給紙ユニットを固定する

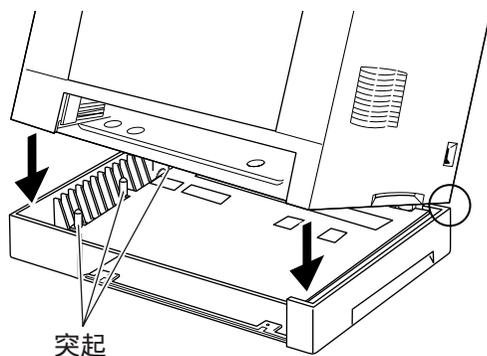


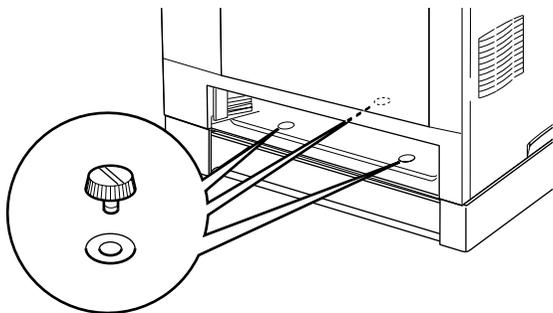
お願い

- ・給紙ユニットは、前後の向きに注意して、図のように置いてください。また、前後の取り付け作業ができるくらいのスペース(それぞれ約50cm)を確保してください。
- ・給紙ユニットのプリント板はこわれやすいので、手を触れないでください。

7 プリンタを拡張給紙ユニットに載せる

プリンタの左右の取っ手を持って持ち上げ、プリンタの後部の角と拡張給紙ユニットの角を合わせ、後ろから順に突起が入るようにゆっくりおろします。





8 ネジで固定する

プリンタ本体の給紙ユニット内部のネジ穴に付属のネジ(3本)を通して締め、拡張給紙ユニットを固定します。

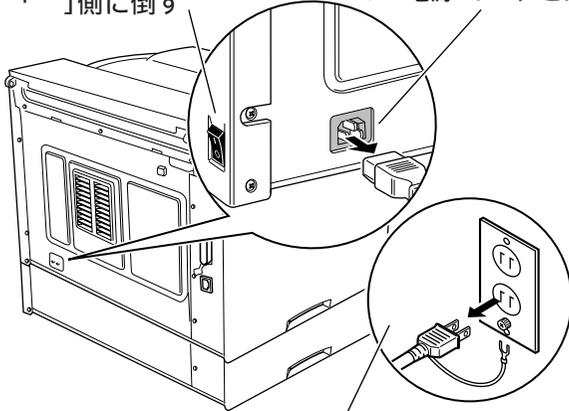


ネジは拡張給紙ユニットの添付品です。4本添付されていますので、1本は予備として保管しておいてください。

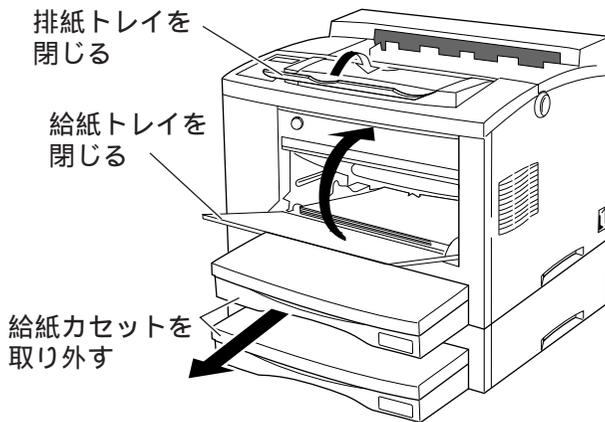
拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1. 電源スイッチを「」側に倒す
3. 電源コードを外す



2. 電源コードをコンセントから抜く



排紙トレイを閉じる

給紙トレイを閉じる

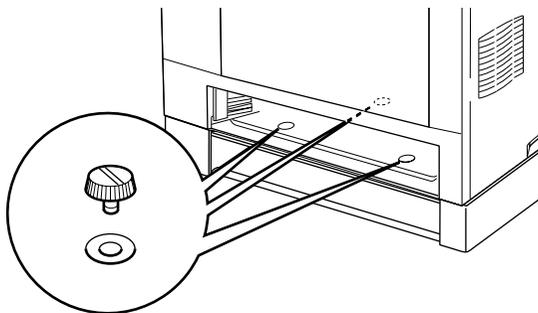
給紙カセットを取り外す

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。

2 給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じる

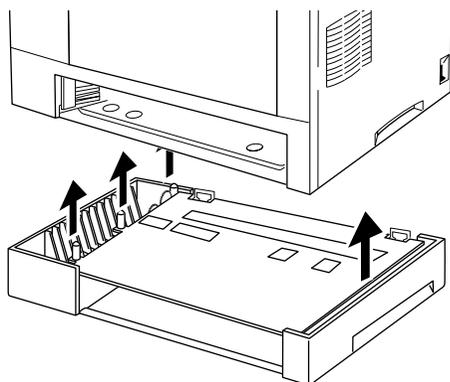
3 3カ所の固定ネジを外す



お願い

取り外した拡張給紙ユニットと付属の固定ネジを、破損または紛失することのないように保管してください。

4 プリンタをまっすぐに持ち上げる



取り付けてあった拡張給紙ユニットを、他の人に押さえてもらいます。プリンタの両側の把手を両手でしっかり持ち、プリンタをまっすぐに持ち上げます。

お願い

まっすぐに持ち上げてください。無理に取り外すと、接続ピンなどの接続部分を損傷することがあります。

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることについて説明します。

基本仕様	146
インタフェース仕様	148
用紙関係	149
コマンド（機能コード）一覧	151
ESC/P モードコマンド一覧表	151
ESC/Page モードコマンド一覧表	153
キャラクタコード一覧	156
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	156
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表	157
J I S⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	161
J I S⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	164
J I S 漢字コードについてのご注意	167
アフターサービスについて	168

プリンタの仕様

▼ 基本仕様

以下に、プリンタの仕様を示します。

■ XL-5720

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー最大 20.6 枚 / 分 (A4 サイズ横送り)
エンジン解像度	600DPI
スムージング処理	FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット : A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・給紙トレイ : A3 ~ A5、官製はがき
給紙方式 *1	・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数 250 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 1,000 枚) ・給紙トレイによる自動給紙 (収容枚数 200 枚 (はがき 75 枚))
排紙方法 *1	フェースダウンスタッカ (スタック枚数 250 枚)
使用環境条件	温度 10 ~ 32、湿度 15% ~ 85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時 780 W以下、節電時 23 W
騒音	待機時 29dB(A)、動作時 52dB(A) (フルオプション 53dB(A))
外形寸法	幅 460mm、奥行き 487mm、高さ 340mm (カセット縮小時) 幅 460mm、奥行き 598mm、高さ 340mm (カセット延長時)
重量	約 18.5kg (消耗品、オプションを除く)
インタフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス *2	XL プリンタドライバ、ESC/P、ESC/Page
文字・書体	明朝体 22 ドット / 28 ドット / 32 ドット / 40 ドット文字 明朝体 / ゴシック体アウトライン文字
耐用期間 *3	5 年(8 時間 / 日)または 30 万枚印刷(A4 サイズ横送り)

 XL-5320

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー最大 12.4 枚 / 分 (A4 サイズ横送り)
エンジン解像度	600DPI
スムージング処理	FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット : A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・給紙トレイ : A3 ~ A5、官製はがき
給紙方式 *1	・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数 250 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 750 枚) ・給紙トレイによる自動給紙 (収容枚数 200 枚 (はがき 75 枚))
排紙方法 *1	フェースダウンスタッカ (スタック枚数 250 枚)
使用環境条件	温度 10 ~ 32 、湿度 15% ~ 85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時 780 W以下、節電時 23 W
騒音	待機時 29dB(A)、動作時 51dB(A) (フルオプション 52dB(A))
外形寸法	幅 460mm、奥行き 487mm、高さ 340mm (カセット縮小時) 幅 460mm、奥行き 598mm、高さ 340mm (カセット延長時)
重量	約 18kg (消耗品、オプションを除く)
インタフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス *2	XL プリンタドライバ、ESC/P、ESC/Page
文字・書体	明朝体 22 ドット / 28 ドット / 32 ドット / 40 ドット文字 明朝体 / ゴシック体アウトライン文字
耐用期間 *3	5 年(8 時間 / 日)または 30 万枚印刷(A4 サイズ横送り)

* 1 : 収容枚数は 64g/m² にて換算

* 2 : データ処理解像度

- ・XL プリンタドライバ : 600DPI(FEIT : 1200DPI 相当) ・ESC/P : 180DPI(FEIT : 600DPI 相当)
- ・ESC/Page : 300DPI (FEIT : 600DPI 相当)

* 3 : ・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

- ・累積使用時間は、24 時間運用の場合も同一です。
- ・A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が 30 万枚より短くなります。
- ・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。なお、交換は有償です。

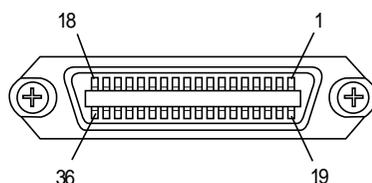
部 品	交換目安
定着器	10 万枚印刷
フィードローラ	10 万枚印刷
リタードパッド	10 万枚印刷

▼ インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE P1284の仕様に準拠した双方向
パラレルインタフェースを採用しています。

■ インタフェース仕様とコネクタピン配列

- ・ インタフェースコネクタ
 プリンタ側：36 極コネクタ(メス) アンフェノール 57-40360 相当品
 ケーブル側：36 極コネクタ(オス) アンフェノール 57-30360 相当品
- ・ ケーブル
 最長 1.5 m 以下のケーブルを使用してください。
 (雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
- ・ 信号レベル
 LOW : 0.0 V ~ + 0.4 V HIGH : + 2.4 V ~ + 5.0 V
- ・ データ転送方式
 8 ビットパラレル
- ・ コネクタピン配列



インタフェースコネクタ(36 ピン)

ピン番号	信号名称	発信元
1	* Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	* Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	PError	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	* AutoFd	パソコン
15	-	-
16	SG	-
17	FG	-
18	+5VSignal	プリンタ

ピン番号	信号名称	発信元
19	-RET	-
20	-RET	-
21	-RET	-
22	-RET	-
23	-RET	-
24	-RET	-
25	-RET	-
26	-RET	-
27	-RET	-
28	-RET	-
29	-RET	-
30	-RET	-
31	* Init	パソコン
32	* Fault	プリンタ
33	-RET	-
34	-	-
35	-	-
36	* SelectIn	パソコン

注) “ * ” は、負論理信号であることを示します。

-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

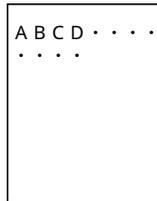
用紙関係

本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

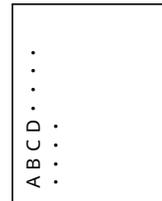
印刷方向

- ・ A3、B4、リーガル、はがきサイズの場合

↑
用紙
排出
方向



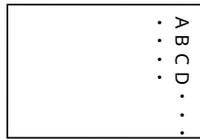
縦方向印刷



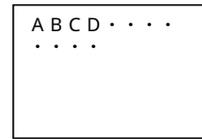
横方向印刷

- ・ A4、A5、B5、レターサイズの場合

↑
用紙
排出
方向



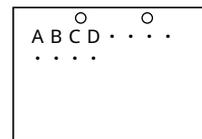
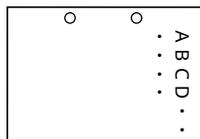
縦方向印刷



横方向印刷

とじ穴のある A 4 サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

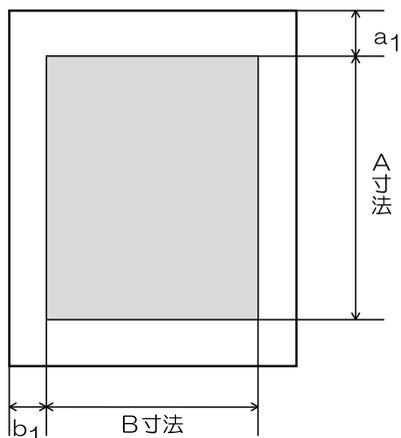
↑
用紙
排出
方向



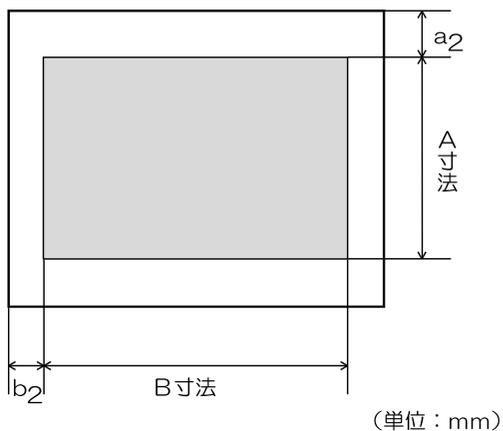
印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[印刷方向：縦]



[印刷方向：横]



(単位：mm)

▶ Printia XL ドライバおよびESC/Page モード使用時

$a_1=a_2=5\text{mm}$ 、 $b_1=b_2=5\text{mm}$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

▶ ESC/P モード使用時

$a_1=a_2=8.5\text{mm}$ または 22mm (はがき:10mm)、 $b_1=b_2=5\text{mm}$

用紙方向	用紙サイズ		A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	8.5mm時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	8.5mm時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

コマンド（機能コード）一覧

以下に使用できるコマンドの一覧を示します。

表中の Pa、P₁、P₂、...、P_n は、パラメータを表します。

表中の D₁、D₂、...、D_n は、データを表します。

表中の sp は、スペース記号を示します。

ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

▷ 書式設定・実行

機能名称	コマンド名	コード名
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC+ C +Pa
	インチ単位ページ長設定	ESC+ C +NUL+Pa
	ミシン目スキップ設定	ESC+ N +Pa
	ミシン目スキップ解除	ESC+ O
	右マージン設定	ESC+ Q +Pa
改行量設定	左マージン設定	ESC+ L +Pa
	1/8 インチ改行量指定	ESC+0
	1/6 インチ改行量指定	ESC+ 2
	n/180 インチ改行量指定	ESC+ 3 +Pa
タブ設定	n/60 インチ改行量指定	ESC+ A +Pa
	垂直タブ位置設定	ESC+ B +P ₁ +P ₂ +... P _n +NUL
	水平タブ位置設定	ESC+ D +P ₁ +P ₂ +... P _n +NUL
	VFU チャンネル選択	ESC+ / +Pa
印字・紙送り	VFU タブ位置設定	ESC+ b +Pa+P ₁ +... P _n +NUL
	印字復帰	CR
	改行	LF
	改ページ	FF
	n/180インチ順方向紙送り	ESC+ J +Pa
	n/180インチ逆方向紙送り	ESC+ j +Pa
印字位置設定	水平タブ実行	HT
	垂直タブ項実行	VT
	後退	BS
	絶対位置指定	ESC+ \$ +P ₁ +P ₂
	相対位置指定	ESC+ ¥ +P ₁ +P ₂

▷ テキスト処理～ ANK 文字

機能名称	コマンド名	コード名
文字セット	12CPI 指定	ESC+M
	10CPI 指定	ESC+ P
	15CPI 指定	ESC+ g
	プロポーショナル指定 / 解除	ESC+ p +Pa
	国際文字選択	ESC+ R +Pa
	スーパー / サブスクリプト指定	ESC+ S +Pa
	スーパー / サブスクリプト解除	ESC+ T
	文字品位選択	ESC+ x +Pa
	書体選択	ESC+ k +Pa
	文字コード表選択	ESC+ t +Pa
	文字定義	ダウンロード文字セット指定 / 解除
ダウンロード文字定義		ESC+ & +NUL+P ₁ +P ₂ + {Pa ₁ +Pb ₁ +Pc ₁ +D ₁ - D _n } x n
文字セットコピー	文字セットコピー	ESC+ : +NUL+P ₁ +P ₂
	文字ピッチ調整	文字間スペース量設定 ESC+sp+Pa
位置揃え選択	位置揃え選択	ESC+ a +Pa
	装飾	縮小指定
縮小指定		ESC+SI
縮小解除		DC2
アンダーライン指定 / 解除		ESC+ +Pa
縦倍拡大指定 / 解除	ESC+ w +Pa	

▷ テキスト処理～共通

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	倍幅拡大指定 / 解除	ESC+ W +Pa
	強調指定	ESC+ E
	強調解除	ESC+ F
	二重印字指定	ESC+ G
	二重印字解除	ESC+ H
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS+DC4
	一括指定	ESC+ ! +Pa
	イタリック指定	ESC+ 4
	イタリック解除	ESC+ 5
	文字スタイル選択	ESC+ q +Pa

▷ テキスト処理～漢字

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	縦書き指定	FS+ J
	横書き指定	FS+ K
	半角縦書き 2 文字指定	FS+ D
	4 倍角指定 / 解除	FS+ W +Pa
	漢字アンダーライン指定 / 解除	FS+ +Pa
文字セット	漢字一括指定	FS+ ! +Pa
	漢字モード指定	FS+ &
	漢字モード解除	FS+ .
	半角文字指定	FS+SI
	半角文字解除	FS+DC2
	1 / 4 角文字指定	FS+ r +Pa
	漢字書体選択	FS+ k +Pa
文字定義	外字定義	FS+ 2 +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ D ₇₂
文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	F S +S+P ₁ +P ₂
	半角文字スペース量設定	FS+ T +P ₁ +P ₂
	半角文字スペース量補正	FS+ U
	半角文字スペース量補正解除	FS+ V

▷ イメージ処理

コマンド名	コード名
8ドット単密度ビットイメージ	ESC+ K +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC+ L +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC+ Y +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC+ Z +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
ビットイメージ選択	ESC+ * +Pa+P ₁ + P ₂ +D ₁ ~ Dn
ビットイメージ変換	ESC+ ? +P ₁ +P ₂

▷ 補助機能

機能名称	コマンド名	コード名
初期化	初期化	ESC+ @
データ入力制御	データ抹消	CAN
C S F 制御	カットシートフィード制御	ESC+EM+Pa

▷ エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	ESC+z+<00> ₁₆ +<00> ₁₆
エミュレーション切替え	ESC+/+イ+@ +<7F> ₁₆ +ESC+ <7F> ₁₆ +<00> ₁₆ + <00> ₁₆ +<01> ₁₆ + Pa

ESC/Page モードコマンド一覧表

ESC/Page モードコマンドは、下表のとおりです。

▶ 環境設定

コマンド名	コード名
最小単位設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + m + u + E
ドットパターン解像度選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + d + r + E
スクリーンモード指定 / 解除	GS + Pa + s + t + E
スクリーンパターン選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + s + p + E
スクリーンパターン登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + s + p + { + E
スクリーンパターン登録数設定	GS + Pa + i + s + E
上書きモード指定 / 解除	GS + Pa + o + w + E
ハードリセット	GS + r + h + E
パラメータリセット	GS + r + p + E
用紙方向選択	GS + Pa + p + o + E
論理原点設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + l + o + E
用紙サイズ設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + p + s + E
給紙装置選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + i + u + E
クリップ領域設定	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + c + a + E
クリップモード指定 / 解除	GS + Pa + c + m + E
トップマージン設定	GS + Pa + t + m + E
トップマージン設定 (行単位)	GS + Pa + t + m + l + E
ボトムマージン設定	GS + Pa + b + m + E
ボトムマージン設定 (行単位)	GS + Pa + b + m + l + E
レフトマージン設定	GS + Pa + l + m + E
レフトマージン設定(桁単位)	GS + Pa + l + m + c + E
ライトマージン設定	GS + Pa + r + m + E
ライトマージン設定 (桁単位)	GS + Pa + r + m + c + E

▶ 印字位置設定

コマンド名	コード名
復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
後退	BS
水平方向現在位置絶対指定	GS + Pa + X
水平方向現在位置絶対指定 (桁単位)	GS + Pa + x + P
垂直方向現在位置絶対指定	GS + Pa + Y
垂直方向現在位置絶対指定 (行単位)	GS + Pa + y + P
水平方向現在位置相対指定	GS + Pa + H
水平方向現在位置相対指定 (桁単位)	GS + Pa + h + P
垂直方向現在位置相対指定	GS + Pa + V
垂直方向現在位置相対指定 (行単位)	GS + Pa + v + P
プッシュ・ポップスタック数指定	GS + Pa + s + s + P
現在位置プッシュ・ポップ	GS + Pa + p + p + P
現在位置記憶数指定	GS + Pa + i + p + P
現在位置記憶	GS + Pa + m + P
現在位置呼び出し	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + P
現在位置記憶 (番号自動変更)	GS + Pa + a + m + P
現在位置呼び出し (番号自動変更)	GS + P ₁ + ; + P ₂ + a + c + P
改行量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + l + p + P
自動復帰改行選択	GS + Pa + a + l + f + P
自動改ページ選択	GS + Pa + a + f + f + P
CR/LF/FF 動作選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + c + l + f + P
現在位置移動モード選択	GS + Pa + p + m + P
印字ピッチ設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + p + P
文字オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + o + P
ビットイメージオフセット量設定	GS + Pa + b + o + P
ビットイメージ描画後	GS + Pa + a + b + P
現在位置選択	

▶ フォント

コマンド名	コード名
シンボルセット選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + s + F
文字スペーシング選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + p + F
文字幅設定 (CPI)	GS + Pa + w + c + F
文字幅設定 (最小単位)	GS + Pa + w + m + F
文字高さ設定 (ポイント)	GS + Pa + h + p + F
文字高さ設定 (最小単位)	GS + Pa + h + m + F
書体選択	GS + Pa + t + f + F
文字スタイル選択	GS + Pa + s + t + F
文字線幅選択	GS + Pa + w + e + F
文字回転設定	GS + Pa + r + o + F
文字傾き設定	GS + Pa + s + l + F
フォント属性記憶 / 呼び出し	GS + P ₁ + ; + P ₂ + m + c + F
ダウンロードフォント選択	GS + Pa + d + c + F
ダウンロードフォント削除	GS + Pa + d + d + c + F
シンボルセット登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + d + s + s + { + F
シンボルセット削除	GS + Pa + d + s + s + F
フォントコピー	GS + P ₁ + ; + P ₂ + f + c + { + F
ヘッダー登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + d + h + { + F
1文字登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + s + c + { + F
文字幅テーブル登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + w + { + F
フォント属性記憶数設定	GS + Pa + i + a + F
フォント登録数設定	GS + Pa + l + i + a + F
シンボルセット登録数設定	GS + Pa + i + s + s + F

▶ 文字印字

コマンド名	コード名
アンダーライン指定 / 解除	GS + Pa + u + l + C
アンダーライン水平方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + u + h + C
アンダーライン垂直方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + u + v + C
バックグラウンド指定 / 解除	GS + Pa + b + g + C
バックグラウンド水平方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + b + h + C
バックグラウンド垂直方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + b + v + C
コントロールコード キャラクタ印字	GS + Pa + c + p + { + C
縦書きモード指定 / 解除	GS + Pa + v + p + C
組文字指定	GS + Pa + c + c + C

▶ イメージ描画

コマンド名	コード名
網掛け描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + b + g + l
罫線描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + r + u + l
罫線 / アンダーライン パターン選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + r + p + l
罫線 / アンダーライン パターン登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + r + p + { + l
罫線 / アンダーライン パターン登録数設定	GS + Pa + i + r + l
ビットイメージ描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + b + i + { + l
ビットイメージ登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + b + d + { + l
登録ビットイメージ描画	GS + Pa + d + b + l
ビットイメージ登録数設定	GS + Pa + i + b + l
ビットイメージデータ 圧縮形式選択	GS + Pa + b + c + l
ラスターイメージ描画開始	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + b + r + l
ラスターイメージ描画終了	GS + e + r + l
ラスターイメージ描画 圧縮なし	GS + Pa + r + { + l
ラスターイメージ描画	GS + Pa + u + { + l
エンブティ	GS + Pa + e + l
ラスターイメージ描画	

▷ 図形描画

コマンド名	コード名
線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P _n + l + G
多角形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P _n + p + G
スプライン曲線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P _n + s + G
Bezier 曲線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P _n + b + G
B スプライン曲線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P _n + b + s + G
矩形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + r + G
円描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + c + G
円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + a + G
扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₆ + f + G
楕円描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + e + G
楕円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₇ + e + a + G
楕円扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₈ + e + f + G
ベクタ指定円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₇ + a + v + G
ベクタ指定扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₈ + f + v + G
ベクタ指定楕円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₉ + e + a + v + G
ベクタ指定楕円扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₁₀ + e + f + v + G
線種選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + l + p + G
線種登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P _n + d + l + G
線種登録数設定	GS + Pa + i + l + G
線幅設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + l + w + G
図形描画モード選択	GS + Pa + d + m + G
図形座標モード選択	GS + Pa + s + a + r + G

▷ マクロ

コマンド名	コード名
マクロ登録開始	GS + Pa + b + m + M
マクロ登録終了	GS + e + m + M
マクロ実行	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + m + M
フォームオーバーレイ指定 / 解除	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + a + m + M
マクロ登録数設定	GS + Pa + i + m + M

▷ その他

コマンド名	コード名
コピー枚数設定	GS + Pa + c + o + O

▷ エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	GS + Pa + p + m + E
エミュレーション切替え	ESC + / + i + @ + <7F> ₁₆ + ESC + <7F> ₁₆ + <00> ₁₆ + <00> ₁₆ + <01> ₁₆ + Pa

キャラクタコード一覧

各エミュレーションモードでのキャラクタコード(ANKコード)の一覧を以下にまとめます。なお、キャラクタコードはすべて16進形式です。

ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

カタカナコード

上下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	'	p	—	ト	—	タ	ミ	ニ	×		
1		!	1	A	Q	a	q	—	ト	。	ア	チ	ム	レ	円	
2		DC2	"	2	B	R	b	r	—		「	イ	ツ	メ	年	
3		#	3	C	S	c	s	—	ト		ウ	テ	モ	コ	月	
4		DC4	\$	4	D	T	d	t	—	ト	、	エ	ト	ヤ	日	
5		%	5	E	U	e	u	—	ト	、	オ	ナ	ユ	時		
6		&	6	F	V	f	v	—	ト		ワ	カ	ニ	分		
7		'	7	G	W	w	—	ト		ア	キ	ヌ	ラ	秒		
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	ト	「	イ	ク	ネ	市	
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	—	ト	「	ウ	ケ	ノ	市	
A	LF	*	:	J	Z	j	z	—	ト		エ	コ	ハ	区		
B	VT	ESC	+	:	K	[k	{	—	ト	「	オ	サ	町		
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		—	ト	「	イ	シ	村		
D	CR	-	=	M]	m		—	ト	「	ユ	ス	ヘ	人		
E	SO	.	>	N	^	n	~	—	ト	「	ヨ	セ	ホ	／		
F	SI	/	?	O	_	o	—	ト	「	「	ツ	ソ	マ	＼		

拡張グラフィックコード

上下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	~	p	Ç	é	á	ü	æ	í	±	α	≡
1		!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	±	±	±	±	±	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	á	ü	æ	í	±	±	±
3		#	3	C	S	c	s	á	ò	ú						±
4		DC4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ					
5		%	5	E	U	e	u	ä	ò	ñ						
6		&	6	F	V	f	v	ä	ò	ñ						
7		'	7	G	W	w	w	ü	ò	ñ						
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	é	á	ü	æ	í	±	α	≡
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	ü	æ	í	±	±	±	±	±
A	LF	*	:	J	Z	j	z	é	á	ü	æ	í	±	±	±	±
B	VT	ESC	+	:	K	[k	{	ü	æ	í	±	±	±	±	±
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		ü	æ	í	±	±	±	±	±
D	CR	-	=	M]	m			ü	æ	í	±	±	±	±	±
E	SO	.	>	N	^	n	~	ü	æ	í	±	±	±	±	±	±
F	SI	/	?	O	_	o	—	ü	æ	í	±	±	±	±	±	±

国際文字コード

コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フランス	#	\$	á	¢	£	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
ドイツ	#	\$	á	¢	£	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
イギリス	£	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド I	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
イタリア	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
スペイン I	Pt	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
日本	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
ノルウェー	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
スペイン II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞

国際文字コード

コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フランス	#	\$	á	¢	£	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
ドイツ	#	\$	á	¢	£	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
イギリス	£	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド I	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
イタリア	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
スペイン I	Pt	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
日本	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
ノルウェー	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
スペイン II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
フィンランド II	#	\$	@	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞

ESC/Page モードキャラクタコード一覧表

ESC/Page モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

グラフィックセット

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	"	'	0	@	P	'	p	ç	é	á	¸	¸	¸	¸	¸	¸
1	'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¸	¸	¸	¸	¸	¸
2	"	"	2	B	R	b	r	é	ó	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
3	"	#	3	C	S	c	s	á	ó	ú	¸	¸	¸	¸	¸	¸
4	"	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	¸	¸	¸	¸	¸	¸
5	"	%	5	E	U	e	u	á	ó	ñ	¸	¸	¸	¸	¸	¸
6	"	&	6	F	V	f	v	á	ú	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
7	"	'	7	G	W	g	w	ç	ù	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
8	"	(8	H	X	h	x	é	ý	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
9	")	9	I	Y	i	y	ë	ü	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
A	"	*	:	J	Z	j	z	é	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
B	"	+	:	K	[k	{	í	é	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
C	"	.	<	L	\	l	!	í	é	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
D	"	=	M]	m	}	!	¥	í	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
E	"	=	.	>	N	^	n	~	¸	Pt	<	¸	¸	¸	¸	¸
F	"	†	/	?	O	_	o	¸	¸	>	¸	¸	¸	¸	¸	¸

キャラクタセット

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	"	'	0	@	P	'	p	ç	é	á	°	ij			α	
1	'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¸	¸	¸	¸	¸	¸
2	"	"	2	B	R	b	r	é	ó	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
3	"	#	3	C	S	c	s	á	ó	ú	¸	¸	¸	¸	¸	¸
4	"	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	¸	¸	¸	¸	¸	¸
5	"	%	5	E	U	e	u	á	ó	ñ	¸	¸	¸	¸	¸	¸
6	"	&	6	F	V	f	v	á	ú	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
7	"	'	7	G	W	g	w	ç	ù	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
8	"	(8	H	X	h	x	é	ý	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
9	")	9	I	Y	i	y	ë	ü	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
A	"	*	:	J	Z	j	z	é	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
B	"	+	:	K	[k	{	í	é	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
C	"	.	<	L	\	l	!	í	é	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
D	"	=	M]	m	}	!	¥	í	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
E	"	=	.	>	N	^	n	~	¸	Pt	<	¸	¸	¸	¸	¸
F	"	†	/	?	O	_	o	¸	¸	>	¸	¸	¸	¸	¸	¸

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	78	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
フランス	#	\$	á	ç	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ドイツ	#	\$	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
イギリス	£	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ポルトガル I	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ポルトガル II	#	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
イタリア	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
スペイン I	Pt	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
日本	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ノルウェー	#	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ポルトガル II	#	\$	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
スペイン II	#	\$	á	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
デンマーク	#	\$	á	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	78	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
フランス	#	\$	á	ç	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ドイツ	#	\$	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
イギリス	£	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ポルトガル I	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ポルトガル II	#	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
イタリア	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
スペイン I	Pt	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
日本	#	\$	@	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ノルウェー	#	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
ポルトガル II	#	\$	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
スペイン II	#	\$	á	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸
デンマーク	#	\$	á	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸	¸

Nordic(コードページ 865)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶	0	@	P	'	p	Ç	É	á	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
1	◀	!	A	Q	a	q	ü	æ	í	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
2	◊	! *	2	B	R	b	r	é	È	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
3	♥	!! #	3	C	S	c	s	â	ô	ú					∴	∴
4	♦	¶ \$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ					∴	∴
5	♣	§ %	5	E	U	e	u	ä	ö	Ñ	†	†	†	†	∴	∴
6	♠	— &	6	F	V	f	v	â	û	ä	†	†	†	†	∴	∴
7	●	† †	7	G	W	g	w	ÿ	ø	†	†	†	†	∴	∴	∴
8	◻	† (8	H	X	h	x	ë	ÿ	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	Ë	Ö	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
A	■	→ *	:	J	Z	j	z	Û	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
B	♂	← +	:	K	[k	[ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
C	♀	∴ ∴	<	L	\	l	\	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
D	♪	→ -	=	M] m)] m)] m)	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
E	♪	▲ ∴	.	>	N	ˆ	n	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
F	※	▼ /	? O	—	o	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ

Portuguese(コードページ 860)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶	0	@	P	'	p	Ç	É	á	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
1	◀	!	A	Q	a	q	ü	À	í	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
2	◊	! *	2	B	R	b	r	ó	È	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
3	♥	!! #	3	C	S	c	s	â	ô	ú					∴	∴
4	♦	¶ \$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ					∴	∴
5	♣	§ %	5	E	U	e	u	ä	ö	Ñ	†	†	†	†	∴	∴
6	♠	— &	6	F	V	f	v	â	û	ä	†	†	†	†	∴	∴
7	●	† †	7	G	W	g	w	ÿ	ø	†	†	†	†	∴	∴	∴
8	◻	† (8	H	X	h	x	ë	ÿ	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	Ë	Ö	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
A	■	→ *	:	J	Z	j	z	Û	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
B	♂	← +	:	K	[k	[ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
C	♀	∴ ∴	<	L	\	l	\	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
D	♪	→ -	=	M] m)] m)] m)	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
E	♪	▲ ∴	.	>	N	ˆ	n	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
F	※	▼ /	? O	—	o	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ

Multilingual(コードページ 850)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶	0	@	P	'	p	Ç	É	á	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
1	◀	!	A	Q	a	q	ü	æ	í	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
2	◊	! *	2	B	R	b	r	é	È	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
3	♥	!! #	3	C	S	c	s	â	ô	ú					∴	∴
4	♦	¶ \$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ					∴	∴
5	♣	§ %	5	E	U	e	u	ä	ö	Ñ	†	†	†	†	∴	∴
6	♠	— &	6	F	V	f	v	â	û	ä	†	†	†	†	∴	∴
7	●	† †	7	G	W	g	w	ÿ	ø	†	†	†	†	∴	∴	∴
8	◻	† (8	H	X	h	x	ë	ÿ	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	Ë	Ö	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
A	■	→ *	:	J	Z	j	z	Û	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
B	♂	← +	:	K	[k	[ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
C	♀	∴ ∴	<	L	\	l	\	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
D	♪	→ -	=	M] m)] m)] m)	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
E	♪	▲ ∴	.	>	N	ˆ	n	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
F	※	▼ /	? O	—	o	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ

Canadian-French
(コードページ 863)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶	0	@	P	'	p	Ç	É	á	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
1	◀	!	A	Q	a	q	ü	È	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
2	◊	! *	2	B	R	b	r	é	È	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
3	♥	!! #	3	C	S	c	s	â	ô	ú					∴	∴
4	♦	¶ \$	4	D	T	d	t	Ä	Ö	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
5	♣	§ %	5	E	U	e	u	ä	ö	Ñ	†	†	†	†	∴	∴
6	♠	— &	6	F	V	f	v	â	û	ä	†	†	†	†	∴	∴
7	●	† †	7	G	W	g	w	ÿ	ø	†	†	†	†	∴	∴	∴
8	◻	† (8	H	X	h	x	ë	ÿ	ó	∴	∴	∴	∴	∴	∴
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	Ë	Ö	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
A	■	→ *	:	J	Z	j	z	Û	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
B	♂	← +	:	K	[k	[ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
C	♀	∴ ∴	<	L	\	l	\	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
D	♪	→ -	=	M] m)] m)] m)	ÿ	ø	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
E	♪	▲ ∴	.	>	N	ˆ	n	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
F	※	▼ /	? O	—	o	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ

ECMA 94-1

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p			"	A	D	á	â	õ	
1		!	1	A	Q	a	q			í	í	Á	Ñ	á	ñ	
2		"	2	B	R	b	r			é	é	Á	Ó	á	ó	
3		#	3	C	S	c	s			£	£	Á	Ó	á	ó	
4		\$	4	D	T	d	t			¤	¤	Á	Ó	á	ó	
5		%	5	E	U	e	u			¥	¥	Á	Ó	á	ó	
6		&	6	F	V	f	v			¦	¦	Á	Ó	á	ó	
7		'	7	G	W	g	w			§	§	Á	Ó	á	ó	
8		(8	H	X	h	x			¨	¨	Á	Ó	á	ó	
9)	9	I	Y	i	y			©	©	Á	Ó	á	ó	
A		*	:	J	Z	j	z			ª	ª	Á	Ó	á	ó	
B		+	:	K	[k	{			«	»	Á	Ó	á	ó	
C		,	<	L	\	l				¡	¡	Á	Ó	á	ó	
D		-	=	M]	m	}			¸	¸	Á	Ó	á	ó	
E		.	>	N	^	n	~			©	©	Á	Ó	á	ó	
F		/	?	O	_	o	_			¸	¸	Á	Ó	á	ó	

US English(コードページ 437)

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		▶		0	@	P	'	p	¢	á		¸	±	α	≡	
1	◊	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í		¸	β	±	
2	●	↑	"	2	B	R	b	r	ó	æ	ó	≡	¸	Γ	π	≥
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	á	ó	ú		¸	¸	π	≤
4	◆	¶	\$	4	D	T	d	t	ä	ñ		¸	¸	Σ	Γ	
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	ä	ñ	¸	¸	¸	σ	∫	
6	♠	—	&	6	F	V	f	v	á	ú	¸	¸	¸	μ	÷	
7	♣	!'	'	7	G	W	g	w	ú	q	¸	¸	¸	τ	≈	
8	◻	^	(8	H	X	h	x	ÿ	ó	¸	¸	¸	+	Φ	°
9	◊	∨)	9	I	Y	i	y	Û	¸	¸	¸	¸	θ	•	
A	◻	→	*	:	J	Z	j	z	Û	¸	¸	¸	¸	Ω	•	
B	◊	←	+	:	K	[k	{	ÿ	ó	¸	¸	¸	δ	√	
C	♀	—	<	L	\	l		¸	£	¸	¸	¸	¸	∞	∞	
D	♪	→	=	M]	m	}	¸	¥	¸	¸	¸	¸	φ	∑	
E	♠	▲	.	>	N	^	n	~	Á	¸	¸	¸	¸	∞	∞	
F	※	▼	/	?	O	_	o	_	Á	¸	¸	¸	¸	∞	∞	

カタカナ グラフィックセット

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p	—	±	—	タ	ミ	ニ	×		
1		!	1	A	Q	a	q	—	ト	。	ア	チ	ム	ロ	円	
2		"	2	B	R	b	r	—	ト		イ	ツ	メ	±	年	
3		#	3	C	S	c	s	—	ト		ウ	テ	モ	コ	月	
4		\$	4	D	T	d	t	—	ト	、	エ	ト	ヤ	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u	—	ト	、	オ	ナ	ユ	▲	時	
6		&	6	F	V	f	v	—	ト	、	カ	ニ	ヨ	▼	分	
7		'	7	G	W	g	w	—	ト	、	キ	ヌ	ラ	▼	秒	
8		(8	H	X	h	x		¸	¸	イ	ク	ネ	リ	◆	千
9)	9	I	Y	i	y		¸	¸	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A		*	:	J	Z	j	z		¸	¸	エ	コ	ハ	レ	◆	区
B		+	:	K	[k	{		¸	¸	キ	サ	ヒ	ロ	◆	町
C		,	<	L	\	l			¸	¸	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D		-	=	M]	m	}		¸	¸	ユ	ス	ヘ	ン	○	人
E		.	>	N	^	n	~	—	ト	、	ヨ	セ	ホ	／	≡	≡
F		/	?	O	_	o	_	—	ト	、	ツ	マ	／	≡	≡	≡

ひらがな グラフィックセット

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p	—	±	—	た	み	ニ	×		
1		!	1	A	Q	a	q	—	ト	。	あ	ち	む	ロ	円	
2		"	2	B	R	b	r	—	ト		い	つ	め	±	年	
3		#	3	C	S	c	s	—	ト		う	て	も	コ	月	
4		\$	4	D	T	d	t	—	ト	、	え	と	や	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u	—	ト	、	お	な	ゆ	▲	時	
6		&	6	F	V	f	v	—	ト	、	か	に	よ	▼	分	
7		'	7	G	W	g	w	—	ト	、	あ	き	ぬ	ら	▼	秒
8		(8	H	X	h	x		¸	¸	い	く	ね	り	◆	千
9)	9	I	Y	i	y		¸	¸	う	け	の	る	♥	市
A		*	:	J	Z	j	z		¸	¸	え	こ	は	れ	◆	区
B		+	:	K	[k	{		¸	¸	お	き	ひ	ろ	◆	町
C		,	<	L	\	l			¸	¸	や	し	ふ	わ	●	村
D		-	=	M]	m	}		¸	¸	ゆ	す	へ	ん	○	人
E		.	>	N	^	n	~	—	ト	、	よ	せ	ほ	／	≡	≡
F		/	?	O	_	o	_	—	ト	、	つ	そ	ま	／	≡	≡

カタカナセット

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p					一	タ	ミ		
1		!	1	A	Q	a	q		。			ア	チ	ム		
2		"	2	B	R	b	r		「			イ	ツ	メ		
3		#	3	C	S	c	s		、			ウ	テ	モ		
4		\$	4	D	T	d	t		、			エ	ト	ヤ		
5		%	5	E	U	e	u		、			オ	ナ	ユ		
6		&	6	F	V	f	v		、			カ	ニ	ヨ		
7		'	7	G	W	g	w		、			キ	ヌ	ラ		
8		(8	H	X	h	x		、			ク	ネ	リ		
9)	9	I	Y	i	y		、			ケ	ノ	ル		
A		*	:	J	Z	j	z		、			コ	ハ	レ		
B		+	:	K	[k	{		、			サ	ヒ	ロ		
C		.	<	L	¥	l			、			シ	フ	ワ		
D		-	=	M]	m	}		、			ス	ヘ	ン		
E		.	>	N	^	n	~		、			セ	ホ	フ		
F		/	?	O	_	o			、			ソ	マ	フ		

ひらがなセット

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p					一	た	み		
1		!	1	A	Q	a	q		。			あ	ち	む		
2		"	2	B	R	b	r		「			い	つ	め		
3		#	3	C	S	c	s		、			う	て	も		
4		\$	4	D	T	d	t		、			え	と	や		
5		%	5	E	U	e	u		、			お	な	ゆ		
6		&	6	F	V	f	v		、			か	に	よ		
7		'	7	G	W	g	w		、			あ	き	ぬ		
8		(8	H	X	h	x		、			い	く	ね		
9)	9	I	Y	i	y		、			う	け	の		
A		*	:	J	Z	j	z		、			こ	は	れ		
B		+	:	K	[k	{		、			お	さ	ひ		
C		.	<	L	¥	l			、			や	し	ふ		
D		-	=	M]	m	}		、			お	す	へ		
E		.	>	N	^	n	~		、			よ	せ	ほ		
F		/	?	O	_	o			、			つ	そ	ま		

JIS⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覽表

点\$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F					
区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
\$																																					
20	0																																				
21	1	𠄎	、	。	、	・	；	？	！	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、					
22	2	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=																						
23	3																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9											
24	4	ぁ	ぁ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	ず	ぜ	そ	ぞ	た							
25	5	ァ	ァ	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ズ	ゼ	ソ	ゾ	タ							
26	6	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω												
27	7	A	B	B	Γ	Δ	E	E	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э						
28	8	一	丨	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫					
29	9																																				
2A	10																																				
2B	11																																				
2C	12																																				
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X						
2E	14																																				
2F	15																																				
30	16	垂	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	鯪	梓	庄	幹	扳	宛	姐	虻	飴	綯	綯	綯	或					
31	17	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	迂	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨			
32	18	押	旺	橫	歐	殿	王	翁	襖	鴛	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨			
33	19	魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	鴛	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨			
34	20	粥	川	芴	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
35	21	機	帛	俠	戎	氣	兇	折	季	稀	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
36	22	供	婦	俠	儒	兇	兇	折	季	稀	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
37	23	掘	窟	窟	查	靴	窪	限	熊	象	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
38	24	檢	權	牽	犬	好	研	硯	宏	工	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
39	25	后	喉	今	困	坤	墾	婚	恨	昏	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
3A	26	此	察	拶	撮	擦	札	殺	雜	臯	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
3B	27	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
3C	28	宗	就	州	修	愁	拾	洲	唱	秀	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
3D	29	勝	匠	殖	召	職	商	職	色	是	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
3E	30	拭	植	寸	世	瀨	敵	是	是	是	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
3F	31	澄	摺	寸	世	瀨	敵	是	是	是	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
40	32	澄	摺	寸	世	瀨	敵	是	是	是	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		
41	33	織	羨	贈	達	辰	弔	鼎	泥	拈	豆	忍	苦	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭		
42	34	臟	但	帳	鄭	蕩	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	
43	35	叩	帖	邸	董	蕩	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	
44	36	帖	邸	董	蕩	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱
45	37	邸	董	蕩	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	
46	38	董	蕩	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱	扉	箱
47	39	如	函	鼻	福	法	漫	諭	痢	蓮																											
48	40	函	鼻	福	法	漫	諭	痢	蓮																												
49	41	鼻	福	法	漫	諭	痢	蓮																													
4A	42	福	法	漫	諭	痢	蓮																														
4B	43	法	漫	諭	痢	蓮																															
4C	44	漫	諭	痢	蓮																																
4D	45	諭	痢	蓮																																	
4E	46	痢	蓮																																		
4F	47	蓮																																			

点\$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F																				
区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63																				
\$																																																				
20:0																																																				
21:1	＼	～			…	…	’	“	”	()	[]	[]	{ }	< >	《 》	「 」	『 』	【 】	+	-	±	×																														
22:2	U	∩																				∧	∨	→	⇒	⇔	∇	∃																								
23:3																																																				
24:4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	び	び	び	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	み																				
25:5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	ビ	ビ	ビ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ベ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ミ																				
26:6																																																				
27:7	Ю	Я																				α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	з	и	й	к	л	м	н
28:8																																																				
29:9																																																				
2A:10																																																				
2B:11																																																				
2C:12																																																				
2D:13	ミリ																キロ																キロ																			
2E:14																																																				
2F:15																																																				
30:16	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困	夷	委	威	尉	惟	意	愈	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃																				
31:17	雲	在	餌	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
32:18	伽	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
33:19	垣	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
34:20	汗	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
35:21	祇	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
36:22	鏡	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
37:23	契	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
38:24	言	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
39:25	浩	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
3A:26	姿	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
3B:27	酸	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
3C:28	疾	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
3D:29	柔	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
3E:30	樟	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
3F:31	神	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
40:32	誓	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
41:33	狙	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
42:34	太	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
43:35	胆	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
44:36	沈	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
45:37	点	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
46:38	得	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
47:39	農	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
48:40	叛	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
49:41	廟	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
4A:42	弊	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
4B:43	棒	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
4C:44	明	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
4D:45	誉	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
4E:46	察	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
4F:47	論	在	佳	加	可	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				

点\$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F					
区\$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63					
50:48	初	仍	仟	价	伉	伏	估	佛	尙	佗	佇	佶	侈	侏	佗	佻	佩	佰	侑	佯	來	命	儘	俛	俟	俎	倅	俚	俚	俚	俚						
51:49	兩	兪	兮	冀	門	回	册	冉	問	青	菁	冕	一	兔	寇	冢	寫	冢	冢	決	五	冲	儘	俛	俟	俎	倅	俚	俚	俚	俚						
52:50	卒	卅	卅	卉	巳	準	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞						
53:51	喟	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻						
54:52	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒						
55:53	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽						
56:54	釜	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴						
57:55	亓	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖						
58:56	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙						
59:57	拈	拜	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈						
5A:58	收	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸						
5B:59	忝	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼						
5C:60	榆	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞						
5D:61	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛						
5E:62	淦	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸						
5F:63	濱	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟						
60:64	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎						
61:65	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇					
62:66	眄	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩	眩					
63:67	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎					
64:68	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒					
65:69	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫					
66:70	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸					
67:71	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉	臉					
68:72	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷	葷					
69:73	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟					
6A:74	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕				
6B:75	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐					
6C:76	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓				
6D:77	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪				
6E:78	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒	鄒				
6F:79	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄				
70:80	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎	霎				
71:81	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑				
72:82	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀				
73:83	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓			
74:84																																					
75:85																																					
76:86																																					
77:87																																					
78:88																																					
79:89																																					
7A:90																																					
7B:91																																					
7C:92																																					
7D:93																																					
7E:94																																					

JIS 漢字コードについてのご注意

JIS C6234-1983 の字体との違い

このプリンタが印刷する漢字は、JIS X0208-1983 (情報交換用漢字符号系：旧 JIS C6226-1983) に準拠していますが、JIS X9052-1983 (ドットプリンタ用 24 ドット字形：旧 JIS C6234-1983) は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号などと必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS X9052-1983 の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

JIS コード	区点	カナ	JIS	JIS コード	区点	カナ	JIS	JIS コード	区点	カナ	JIS
3022	(1602)	啞	唾	3979	(2589)	甌	甌	4578	(3788)	禱	禱
303B	(1627)	飴	飴	3A67	(2671)	桼	桼	4642	(3834)	瀆	瀆
306E	(1678)	溢	溢	3A74	(2684)	柵	柵	4654	(3852)	滯	滯
3135	(1721)	爵	爵	3B2A	(2710)	鯖	鯖	466A	(3874)	楢	楢
3139	(1725)	厩	厩	3B2C	(2712)	鎗	鎗	4729	(3909)	襦	襦
313D	(1729)	噂	噂	3B39	(2725)	珊	珊	4739	(3925)	囊	囊
3142	(1734)	餌	餌	3C48	(2840)	屢	屢	482E	(4014)	潑	潑
316B	(1775)	焰	焰	3D2B	(2911)	繡	繡	4830	(4016)	醜	醜
322A	(1810)	鷗	鷗	3D36	(2922)	酋	酋	4B4B	(4343)	頰	頰
327A	(1890)	恢	恢	3E55	(3053)	蔣	蔣	4B70	(4380)	鱒	鱒
336B	(1975)	葛	葛	3E5F	(3063)	醬	醬	4C4D	(4445)	麵	麵
337A	(1990)	嚙	嚙	3F2A	(3110)	蝕	蝕	4C5F	(4463)	餅	餅
3442	(2034)	潤	潤	4066	(3270)	蟬	蟬	4D32	(4518)	猷	猷
3540	(2132)	祇	祇	4139	(3325)	噌	噌	4D69	(4573)	萊	萊
3622	(2202)	俠	俠	4169	(3373)	瘦	瘦	4E7B	(4691)	煉	煉
362A	(2210)	卿	卿	424D	(3445)	驛	驛	4F31	(4717)	榔	榔
366D	(2277)	軀	軀	4263	(3467)	黛	黛	4F39	(4725)	蠟	蠟
367B	(2291)	櫛	櫛	432E	(3514)	樽	樽	5622	(5402)	屏	屏
3737	(2323)	祁	祁	433D	(3529)	箆	箆	5960	(5764)	振	振
3771	(2381)	倦	倦	444F	(3647)	摑	摑	5A39	(5825)	攢	攢
377E	(2394)	捲	捲	4522	(3702)	鄭	鄭	6546	(6938)	綬	綬
3834	(2420)	齷	齷	4536	(3722)	填	填				
396D	(2577)	麴	麴	453F	(3731)	顛	顛				

アフターサービスについて

- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後6年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・操作、機能について不明な点や修理については、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご相談ください。詳細は添付の修理サービス網一覧をご覧ください。

ソフトウェア編



第1章

インストールの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアをインストールする前に必要となる基本的なことからについて説明します。

はじめに	4
CD-ROM の内容	5
Printianavi インストーラ	6
Printia XL ドライバディスクの作成	8
Printianavi について	9
ソフトウェアマニュアルについて	15
インストールの手順と設定の概要	16
プリンタケーブルで接続する場合	17
LAN ケーブルで接続する場合	20
インストールが終わったら	25

はじめに

本書では、次のプリンタについて説明します。

- ・XL-5720
- ・XL-5320

■ プリンタの呼び分けについて

本書で特定のプリンタを指す場合は、次のように呼び分けます。

呼び方	対象プリンタ
XL プリンタまたは本プリンタ	XL-5720/5320
旧 Printianavi 対応プリンタ	XL-6010/5710/5310/5810/ 5510/5300A/5300
両面印刷対応プリンタ	なし（注1）
NetWare 対応 XL プリンタ	なし（注1）
部単位印刷対応プリンタ（注2）	なし（注1）

注1：本書中には、XL-5720/5320 では対応していない機能に関する説明も一部含まれていますが、あらかじめご了承ください。

注2：OS/アプリケーションやプリンタドライバ側ではなく、プリンタ側で部単位印刷機能に対応している場合のみを指します。

■ 画面表示の例について

本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。

このときは、お使いのプリンタ名と読み替えてください。

また、機種によっては表示内容が一部異なることがあります。

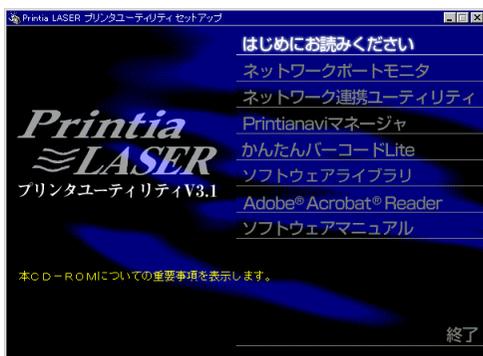
CD-ROM の内容

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。

 Printia	
 Readme.txt	はじめにお読みください
 setup.exe	Printianaviインストーラ
 Acrobat	Acrobat Reader 3.0J用フォルダ
 Acro30j.exe	・Acrobat Reader 3.0Jインストーラ
 Barcode	かんたんバーコードLite用フォルダ
 setup.exe	・かんたんバーコードLiteインストーラ
 Manual.PDF	・かんたんバーコードLiteソフトウェアマニュアル(PDF形式)
 fjxladmn	Printianaviマネージャ用フォルダ
 setup.exe	・Printianaviマネージャインストーラ
 Fjxlv41	Printia XLドライバディスク V4.1用フォルダ
 Win31	・Windows 3.1用プリンタドライバ
 Win9x	・Windows 98/95用プリンタドライバ
 Winnt40	・Windows NT4.0用プリンタドライバ
 Manual	ソフトウェアマニュアル用フォルダ
 index.pdf	・ソフトウェアマニュアル (PDF形式)
 Mib	SNMP/MIB定義ファイル用フォルダ
 Readme.txt	・説明ファイル
 naviport	Printianaviネットワークポートモニタ用フォルダ
 setup.exe	・Printianaviネットワークポートモニタインストーラ
 Update	ソフトウェアライブラリ用フォルダ
 Readme.txt	・説明ファイル
 Index.htm	・アップデート情報ハイパーテキストページ
 Archive	・アップデートファイル用フォルダ (自己解凍圧縮形式)
 Workit	Printianaviネットワーク連携ユーティリティ用フォルダ
 win95	Windows 98/95対応連携ユーティリティ用フォルダ
 setup.exe	・Windows 98/95用インストーラ
 winnt	Windows NT4.0対応連携ユーティリティ用フォルダ
 setup.exe	・Windows NT4.0用インストーラ

▼ Printianavi インストーラ

Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンで「Printia LASERプリンタユーティリティ」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動し、次の画面が表示されます。



—メニュー：マウスカーソルをあわせた項目が白く光り、左下に説明が表示されます。操作を行うには、項目をクリックします。

—終了：Printianaviインストーラを終了します。

Printianavi インストーラのメニューからは、次の操作が行えます。

▶ Printianavi 関連ソフトウェアのインストール

ネットワークポートモニタ Printianavi ネットワークポートモニタおよびIPアドレス設定ユーティリティをインストールします。

ネットワーク連携 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールします。

Printianavi マネージャ Printianavi マネージャをインストールします。

詳細については、「Printianavi について」(9ページ)を参照してください。

▶ Printia XL プリンタドライバのダウンロード

ソフトウェアライブラリ Web ブラウザから Printia LASER XL シリーズのプリンタドライバのダウンロードが行えます。

本ライブラリをご使用になるには、Web ブラウザが必要です。ダウンロード方法やプリンタドライバの使用方法については、Webブラウザに表示される説明をご覧ください。また、CD-ROMの「Update」フォルダに収められたテキストファイル(Readme.txt)も併せてお読みください。

▶ **かんたんバーコード Lite のインストール**

かんたんバーコード Lite かんたんバーコード Lite をインストールします。

かんたんバーコード Lite は、OLE 連携可能なアプリケーションソフトにバーコードを貼り付け、バーコードの表示・印刷を行えるようにするソフトウェアです。MS-Word や MS-Excel、OASYS for Windows、一太郎など、OLE 連携に対応したアプリケーションソフトは多数あります。

本ソフトウェアがサポートするバーコードの種類は、次の 4 種類です。

- ・ JAN 標準
- ・ JAN 短縮
- ・ NW-7
- ・ カスタムバーコード

詳細については、CD-ROM の「Barcode」フォルダに収められた PDF 形式のオンラインマニュアル (Manual.pdf) およびテキストファイル (Readme.txt) をご覧ください。

▶ **Acrobat Reader のインストールと**

ソフトウェアマニュアルの表示

Adobe® Acrobat® Reader ソフトウェアマニュアルを表示するために必要な Acrobat Reader 3.0J をインストールします。

ソフトウェアマニュアル ソフトウェアマニュアルを表示します。

詳細については、「ソフトウェアマニュアルについて」(15 ページ) を参照してください。



- ・ Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある Setup.exe をダブルクリックしてください。
- ・ 「はじめにお読みください」には、CD-ROM についての注意事項などが記載されています。各ソフトウェアのインストール等を行う前にお読みください。

Printia XL ドライバディスクの作成

Printia XL ドライバは、Windows環境でプリンタを使用するために必要なプリンタドライバです。

CD-ROM ドライブのないパソコンにインストールする場合は、次の手順でプリンタドライバのフロッピーディスクを作成してください。

準備

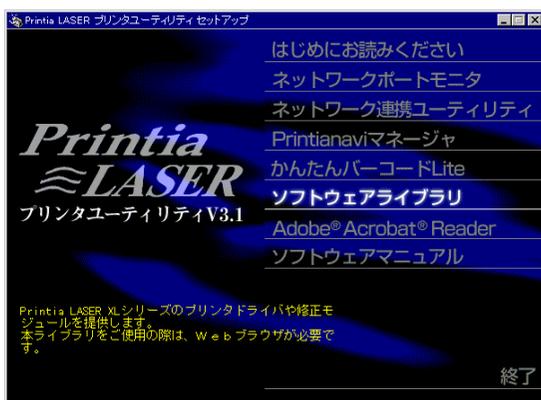
次のものを用意してください。

- ・フォーマット済みのフロッピーディスク（2HD 1.44MB）...1枚
- ・圧縮データダウンロード用ディレクトリ（C:¥Temp など）
- ・CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」

また、ドライバディスクを作成するパソコンに、Webブラウザがあらかじめインストールされている必要があります。

Webブラウザをお使いになれない場合は、CD-ROMに収められているファイルを手作業でコピーしてください。方法についての詳細は、CD-ROMの「Update」フォルダに収められたテキストファイル（Readme.txt）をお読みください。

手順



1 CD-ROMをセットする
インストーラが自動的に起動します。

2 [ソフトウェアライブラリ]をクリックする

Webブラウザが起動し、ソフトウェアライブラリの画面が表示されます。

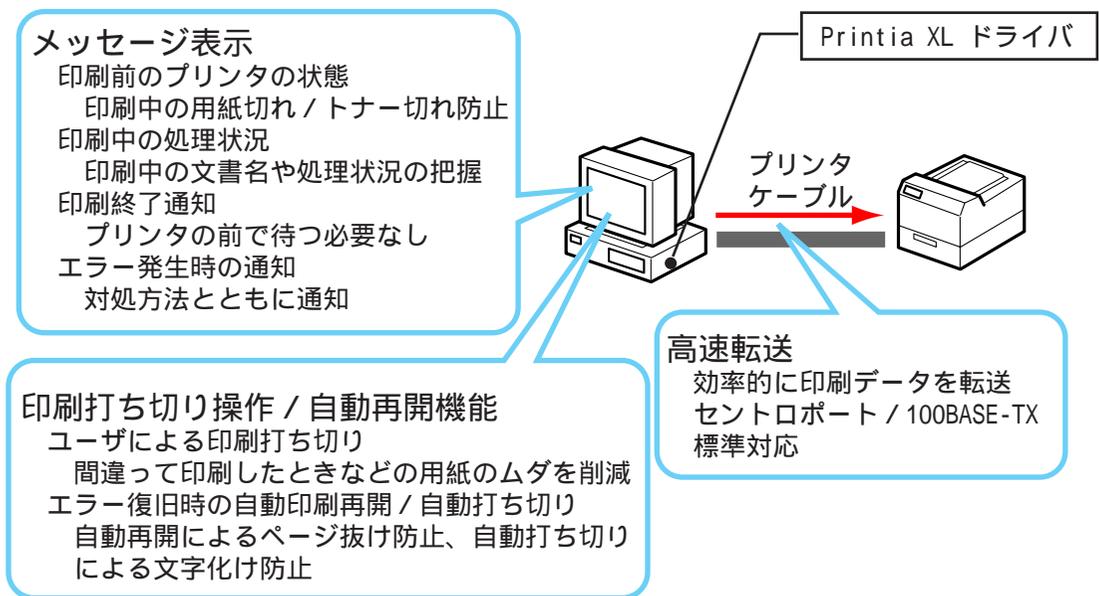
[プリンタドライバ]から作成するプリンタドライバをクリックし、画面の説明に従って操作してください。

▼ Printianavi について

Printianavi は、Windows 98/95/NT4.0 の Printia XL ドライバに対応した双方向プリンティングシステムです。

Printianavi は、Windows 98/95/NT4.0 のパソコンに Printia XL ドライバをインストールすることによって、自動的にインストールされ、次の機能を実現します。

■ Printia XL ドライバインストールによる Printianavi 機能



▶ メッセージ表示

プリンタの状態や印刷状況などに関するメッセージをグラフィカルに表示します。また、これらのメッセージの表示方法は、お使いの環境や好みにあわせて設定できます。

～印刷前～

プリンタステータス



であらかじめ確認！

- ・用紙サイズと残量
- ・トナー切れ警告
- ・エラー状態かどうか

などのプリンタ状態

セットされている用紙サイズや残量、エラーが発生しているかどうかなどを、プリンタの設定画面であらかじめ確認することができます。また、印刷中の用紙切れやトナー切れなどを事前に防ぐこともできます。また、印刷前に限らず、いつでも表示することができます。



～印刷中～

ステータス表示 ウィンドウ



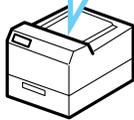
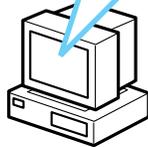
で把握！

- ・印刷中の文書名
- ・何ページ目まで印刷したか
- ・エラーが発生したかどうか

などの印刷状況

印刷を実行したパソコンに、印刷中の文書名や何ページ目まで印刷が完了したかなどの印刷処理の状況を自動的に表示します。

また、表示を最小化(アイコン表示)することもできます。



～印刷終了～

印刷終了通知



でお知らせ！

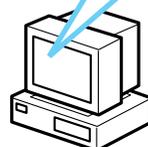
印刷が終わったときの

- ・文書名とページ数
- ・出力した排紙口

などの出力情報

印刷終了時の通知を自動的に表示します。

これにより、印刷が終わるまでプリンタの前で待たされることはなくなります。



～エラーが発生したとき～

エラーメッセージ



でお知らせ！

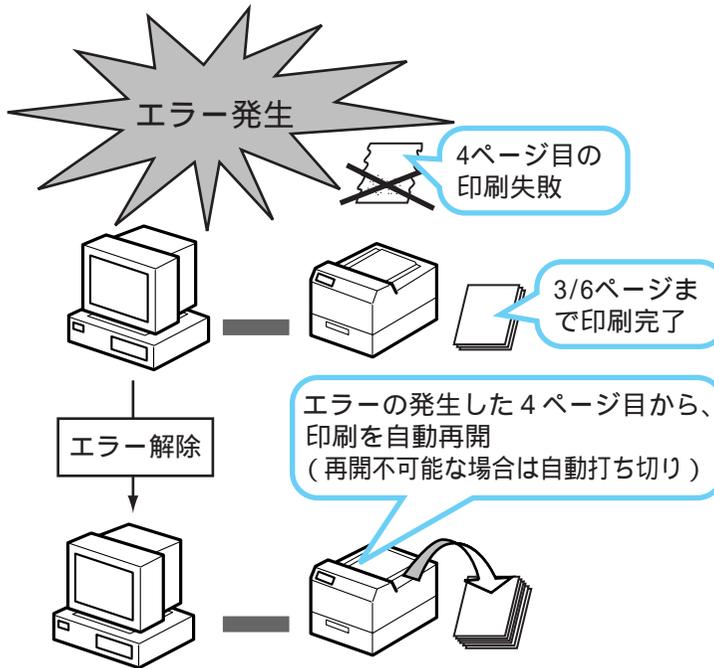
- ・エラー内容
 - ・対処方法
- などのエラー情報



エラー発生時には、エラー内容と対処方法を記述したエラーメッセージを自動的に表示します。

エラー情報は、ステータス表示ウィンドウやプリンタステータスでも確認できます。

▶ 印刷打ち切り操作 / 自動再開機能

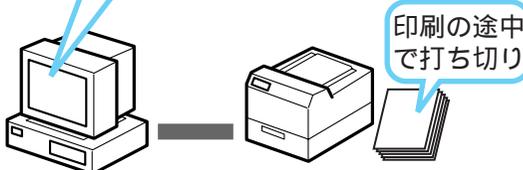


プリンタで紙詰まりなどのエラー状態を解除すると、エラーが発生したページから印刷を自動的に再開し、印刷抜けを防止します。OSが Windows NT4.0の場合には、印刷を再開するページも指定できません。

また、再開不可能なエラーの場合は印刷を打ち切り、文字化けなどの印刷トラブルの発生を事前に防止します。

または

ステータス表示ウィンドウの〔印刷中止〕ボタンまたはエラーメッセージの〔印刷打ち切り〕ボタンをクリック



印刷中に、ステータス表示ウィンドウやエラーメッセージから、正常時/エラー時を問わず印刷打ち切り操作を簡単に行えます。それにより誤印刷時の用紙のムダを削減します。

▶ 高速転送

- ・エラー発生や空きメモリ量などのプリンタ状態を確認しながら、効率よく印刷ジョブを転送します。
- ・100Mbpsの高速ネットワーク(100BASE-TX)に対応したプリンタ LAN インタフェースと、セントロポート(IEEE1284 準拠)に標準で対応します。

ガイド Printianavi 機能は、プリンタケーブルで接続された XL プリンタに対してのみ有効となります。

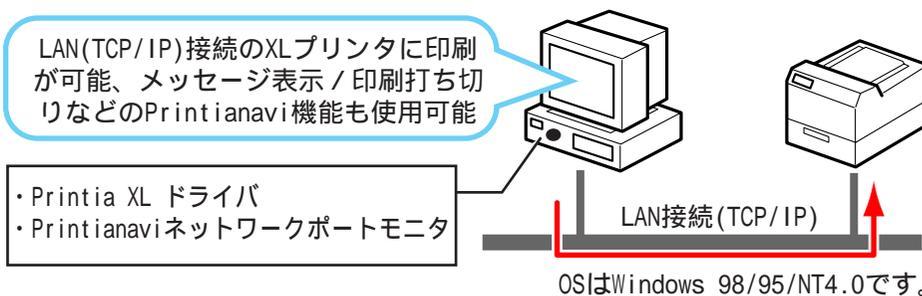
「Printianavi プリンタユーティリティ」CD-ROM には、Printianavi 機能を拡張するために以下のユーティリティが収められています。

- ・Printianavi ネットワークポートモニタ
- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
- ・Printianavi マネージャ

以降で、これらのユーティリティについての概要を説明します。

インストール方法や設定の詳細、注意事項等については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

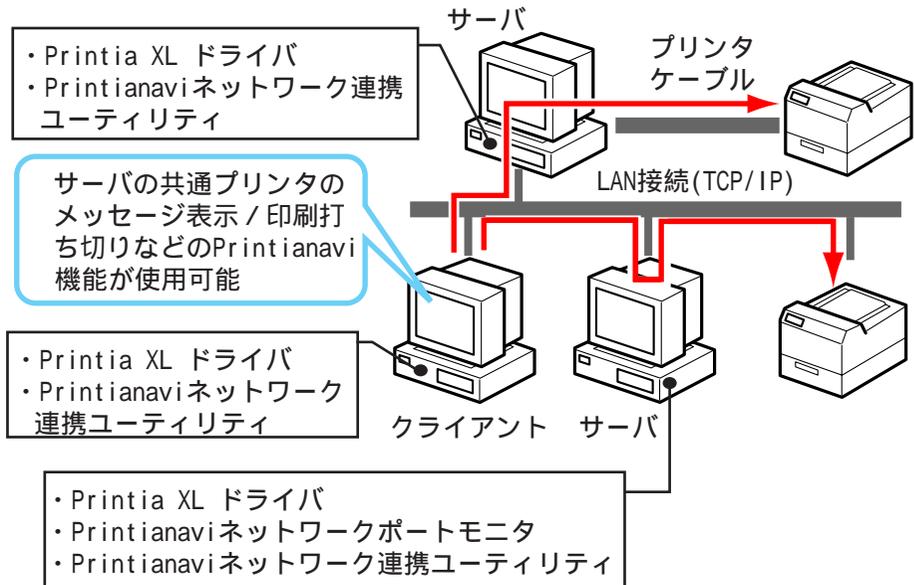
■ Printianavi ネットワークポートモニタ



Printianavi ネットワークポートモニタは、LAN (TCP/IP) で接続した XL プリンタに対して、パソコンから直接印刷を行えるようにし、メッセージ表示 / 印刷打ち切りなどの Printianavi 機能を使用可能にします。

また、Printianavi ネットワークポートモニタに含まれる IP アドレス設定ユーティリティは、DHCP を利用してプリンタに IP アドレスを一時的に設定します。

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ



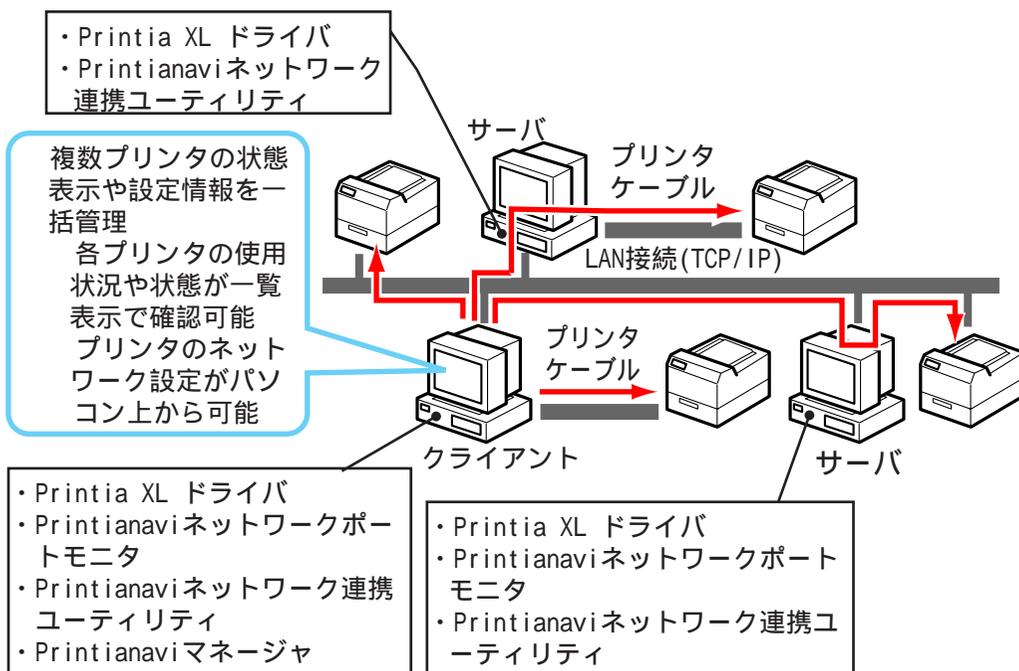
OSはWindows 98/95/NT4.0です。

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティは、LAN (TCP/IP) 上のサーバの共有プリンタに対して、印刷を行ったパソコンからメッセージ表示や印刷打ち切りなどのPrintianavi機能を使用可能にします。



本ユーティリティは、サーバとクライアントの両方にインストールする必要があります。本ユーティリティがサーバとクライアントの両方で正しく起動していない場合、メッセージ表示や印刷打ち切りなどの操作はサーバ上で行われます。

Printianavi マネージャ



Printianavi マネージャは、ローカルプリンタやネットワークプリンタ、サーバの共有プリンタの情報参照や環境設定などのプリンタ管理を、パソコンから行えるようにします。

各プリンタの使用状況や状態が一覧で確認できるため、空いているプリンタやエラーが発生しているプリンタが一目でわかります。また、管理者機能をインストールすると、プリンタのネットワーク設定を行うこともできます。

ガイド

本ソフトウェアは、XL プリンタ専用です。他のプリンタの情報参照や環境設定は行えません。また、次のようなXL プリンタは情報を取得できないため、表示できなかったり、エラー表示になったりします。

- ・本ユーティリティを使用するパソコンで印刷可能な設定になっていないプリンタ(プリンタドライバがインストールされていないなど)
- ・NetWare環境で使用しているプリンタ(NetWare対応XLプリンタのみ、TCP/IP環境との共有を含む)
- ・Printianaviネットワーク連携ユーティリティが正常に起動していないサーバの共有プリンタ

▼ ソフトウェアマニュアルについて

ソフトウェアマニュアルは、CD-ROM に収められているソフトウェアに関する使用方法や注意事項を記載した PDF 形式のマニュアルです。プリンタに添付の取扱説明書とあわせてご活用ください。

ソフトウェアマニュアルを画面に表示するには、次の2つの方法があります。

- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM の「Manual」フォルダ内にある Index.pdf をダブルクリックする
- ・CD-ROM をセットすると自動的に起動する Printianavi インストーラの〔ソフトウェアマニュアル〕をクリックする

なお、ソフトウェアマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンに Acrobat Reader (3.0J またはそれ以降) があらかじめインストールされていることが必要です。

Acrobat Reader (3.0J またはそれ以降) をお持ちでない場合は、次の手順で Acrobat Reader 3.0J をインストールしてください。

ガイド Acrobat Reader は PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 3.0J は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。本ソフトウェアは、Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンにインストールできます。

■ Acrobat Reader 3.0J のインストール

1 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンの CD-ROM にセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

2 [Adobe® Acrobat® Reader] をクリックし、インストールする

Adobe Acrobat Reader 3.0J インストーラが起動します。

画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある「Acro30j.exe」をエクスプローラから実行し、インストールを行ってください。なお、同フォルダ内にインストール時の注意事項などが記載された Readme.txt が収められていますので併せてご覧ください。

インストールの手順と設定の概要

インストールの手順や必要なソフトウェアは、プリンタの共有方法や接続形態、クライアント側とサーバ側などで異なります。

ここでは、プリンタケーブルで接続する場合とLANケーブルで接続(TCP/IPプロトコルを使用)する場合のインストール手順および留意事項について、接続形態別に説明します。

接続形態 / 共有方法	サーバで共有しない	サーバで共有する
プリンタケーブルで接続	17 ページ	17 ページ
LANケーブルで接続	20 ページ	22 ページ



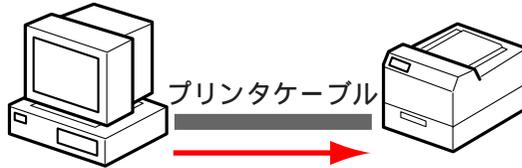
・Windows NT4.0で設定を行うときは、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

・お使いの環境がNetWareであっても、ネットワークでTCP/IPプロトコルが使用できるときは、NetWareサーバを介さずにクライアントから直接本プリンタに印刷することができます。設定方法については、「LANケーブルで接続する場合」の「サーバで共有しないとき」(20ページ)を参照してください。

また、NetWare5のNDPSを使用したTCP/IP環境での印刷については、付録の「NetWare5のTCP/IP環境での印刷」を参照してください。

▼ プリンタケーブルで接続する場合

■ サーバで共有しないとき



プリンタケーブルでパソコンと接続して印刷し、他のパソコンとはプリンタを共有しません。

▶ パソコン側の設定

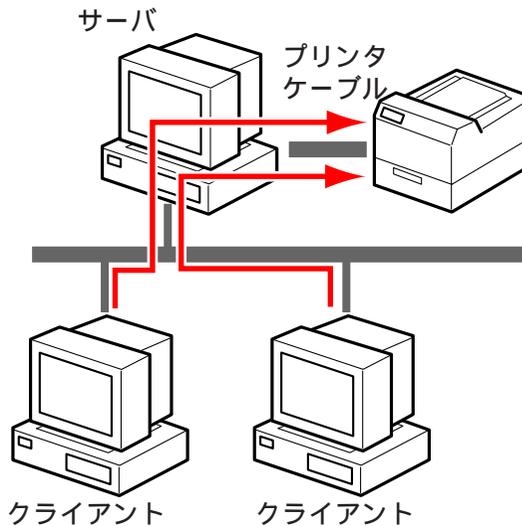
1 プリンタドライバをインストールする

(「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ)参照)
印刷先のポートは、ローカルポート(通常はLPT1)を選択します。

ガイド パソコンのOSがWindows 98/95の場合は、「Plug&Playによるインストール」(33ページ)でもインストールできます。

続いて、「インストールが終わったら」(25ページ)を参照してください。

■ サーバで共有するとき



サーバとプリンタをプリンタケーブルで接続し、クライアントからはサーバ経由で印刷します。

▶ サーバ側の設定

1 プリンタドライバをインストールする

(「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ)参照)

印刷先のポートは、ローカルポート(通常はLPT1)を選択します。



- ・サーバのOSがWindows 98/95の場合は、「Plug&Playによるインストール」(33ページ)でもインストールできます。
- ・サーバのOSがWindows NT4.0の場合は、引き続き「代替ドライバとネットワークインストール」(63ページ)を行うことにより、クライアント側でのプリンタドライバのインストールを簡潔に行うことができるようになります。(サーバとクライアントのOSが両方ともWindows NT4.0の場合は設定の必要はありません。)

2 プリンタを共有できるようにする

(「プリンタを共有する」(Windows 98/95の場合は43ページ、Windows NT4.0の場合は58ページ)参照)

3 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示するための設定を行う

(ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「サーバ側の設定」参照)

サーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0で、TCP/IPプロトコルを使用している場合のみ設定できます。

▶ クライアント側の設定

1 プリンタドライバをインストールする

(「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ) 参照)

印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート(LPT1など)を選択します。

お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているため、テストページ等の印刷は行わないでください。



「サーバ側の設定」で、プリンタを共有するサーバ(Windows NT4.0)にクライアントOSの代替ドライバをインストールした場合や、サーバとクライアントのOSが両方ともWindows NT4.0の場合は、「ネットワークインストール」(50ページ)でインストールすることができます。

この場合は手順2の印刷先ポートの変更は不要です。

2 印刷先のポートを変更する

(「印刷先ポートの追加と変更」(Windows 98/95は45ページ、Windows NT4.0は59ページ、Windows 3.1は71ページ)と「サーバ経由で印刷するとき」(Windows 98/95は46ページ、Windows NT4.0は60ページ)参照)

手順1で仮に設定した印刷先を、サーバの共有プリンタのネットワークポートに変更します。

3 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示できるようにする

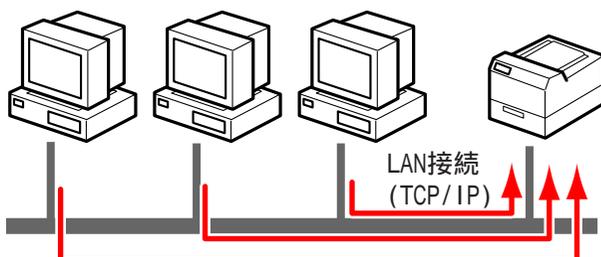
(ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「クライアント側の設定」参照)

サーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0で、TCP/IPプロトコルを使用している場合のみ設定できます。この設定を行うときは、「サーバ側の設定」の手順3の設定も行ってください。

これで、インストールは終了です。「インストールが終わったら」(25ページ)を参照してください。

LAN ケーブルで接続する場合

サーバで共有しないとき



LAN に直接接続し、サーバを経由しないで各パソコンから直接印刷します。

お願い

LAN 接続したプリンタで直接印刷するには、次の環境が必要です。設定を行う前に確認してください。

- ・TCP/IP プロトコルが使用できること
(あらかじめ印刷するパソコンに「TCP/IP プロトコル」および「Microsoft クライアントサービス (Windows 98/95 の場合)」を組み込んでください)
- ・印刷を行うパソコンのOSがWindows 98/95/NT4.0のいずれかであること

▶ プリンタ側の設定

1 プリンタに IP アドレス等の設定をする

(ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「プリンタを LAN に直接接続する」参照)

▶ パソコン側の設定

1 Printianavi ネットワークポートモニタをインストールし、印刷先のポートを作成する

(ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「ネットワークポートモニタをインストールする」参照)

Printianavi ネットワークポートモニタがすでにインストールしてある場合は、インストールは行わず、手順2に進んでください。

2 プリンタドライバをインストールする

(「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ)参照)

印刷先のポートは、次のように設定してください。

- ・手順1でPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールした場合
印刷先のポートは、手順1で作成したポートを選択します。
これで、インストールは終了です。この場合は、手順3の印刷先ポートの作成・変更は不要です。「インストールが終わったら」(25ページ)を参照してください。
- ・手順1でPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールしなかった場合
(ネットワークポートモニタがすでにインストールされていた場合)
印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート(LPT1など)を選択します。プリンタドライバのインストールが終わったら、手順3に進んでください。

お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているのでテストページ等の印刷は行わないでください。

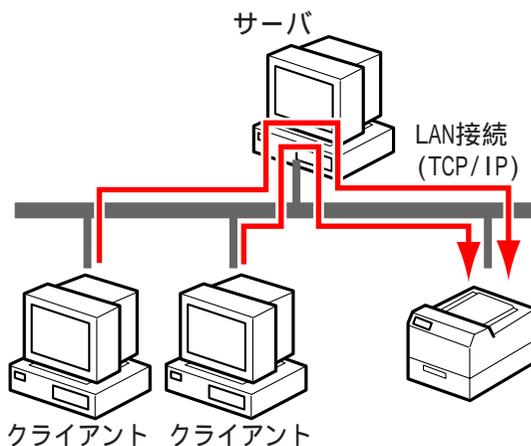
3 印刷先ポートを作成・変更する

(「印刷先ポートの追加と変更」(Windows 98/95は45ページ、Windows NT4.0は59ページ)と「LAN接続プリンタに印刷するとき」(Windows 98/95は47ページ、Windows NT4.0は60ページ)参照)

手順2で仮に設定した印刷先をPrintianaviネットワークポートに変更します。

これで、インストールは終了です。「インストールが終わったら」(25ページ)を参照してください。

■ サーバで共有するとき



LAN に直接接続し、サーバ経由で印刷します。

▶ お問い合わせ

LAN 接続したプリンタに印刷するには、以下の環境が必要です。

設定を行う前に確認してください。

- ・サーバでTCP/IP プロトコルが使用できること（あらかじめ「TCP/IP プロトコル」および「Microsoft クライアントサービス（Windows 98/95 の場合）」を組み込んでください）
- ・サーバのOSがWindows 98/95/NT4.0のいずれかであること

▶ プリンタ側の設定

1 プリンタにIPアドレス等の設定をする

（ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「プリンタをLANに直接接続する」参照）

▶ サーバ側の設定

1 Printianavi ネットワークポートモニタをインストールし、印刷先のポートを作成する

（ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「ネットワークポートモニタをインストールする」参照）

Printianavi ネットワークポートモニタがすでにインストールしてある場合は、インストールは行わず、手順2に進んでください。

2 プリンタドライバをインストールする

(「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ)参照)

印刷先のポートは、次のように設定してください。

- ・手順1でPrintianaviネットワークポートモニタをインストールした場合
印刷先のポートは、手順1で作成したポートを選択します。
インストールが終わったら、手順4に進んでください。

- ・手順1でPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールしなかった場合

(ネットワークポートモニタがすでにインストールされていた場合)

印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート(LPT1など)を選択します。プリンタドライバのインストールが終わったら、手順3に進んでください。

お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているため、テストページ等の印刷は行わないでください。

ガイド

サーバのOSがWindows NT4.0の場合は、引き続き「代替ドライバとネットワークインストール」(63ページ)を行うことにより、クライアント側でのプリンタドライバのインストールを簡潔に行うことができるようになります。(サーバとクライアントのOSが両方ともWindows NT4.0の場合はサーバに代替ドライバをインストールする必要はありません。)

3 印刷先ポートを作成・変更する

(「印刷先ポートの追加と変更」(Windows 98/95は45ページ、Windows NT4.0は59ページ)と「LAN接続プリンタに印刷するとき」(Windows 98/95は47ページ、Windows NT4.0は60ページ)参照)

手順2で仮に設定した印刷先を、Printianaviネットワークポートに変更します。

4 プリンタを共有できるようにする

(「プリンタを共有する」(Windows 98/95の場合は43ページ、Windows NT4.0の場合は58ページ)参照)

5 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示するための設定を行う

(ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「サーバ側の設定」参照)

サーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0で、TCP/IPプロトコルを使用している場合のみ設定できます。

▶ クライアント側の設定

1 プリンタドライバをインストールする

(「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ)参照)

印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート(LPT1など)を選択します。

お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているため、テストページ等の印刷は行わないでください。



ガイド

「サーバ側の設定」で、プリンタを共有するサーバ(Windows NT4.0)にクライアントOSの代替ドライバをインストールした場合や、サーバとクライアントのOSが両方ともWindows NT4.0の場合は、「ネットワークインストール」(50ページ)でインストールすることができます。

この場合は手順2の印刷先ポートの変更は不要です。

2 印刷先のポートを変更する

(「印刷先ポートの追加と変更」(Windows 98/95は45ページ、Windows NT4.0は59ページ、Windows 3.1は71ページ)と「サーバ経由で印刷するとき」(Windows 98/95は46ページ、Windows NT4.0は60ページ)参照)

手順1で仮に設定した印刷先をサーバの共有プリンタのネットワークポートに変更します。

3 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示できるようにする

(ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「クライアント側の設定」参照)

サーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0で、TCP/IPプロトコルを使用している場合のみ設定できます。この設定を行うときは、「サーバ側の設定」の手順5の設定を行ってください。

これで、インストールは終了です。「インストールが終わったら」(25ページ)を参照してください。

▼ インストールが終わったら

インストールが終わったら、必要に応じて以下のページを参照して、設定を行ってください。

- ・プリンタドライバの設定方法や機能を知りたいとき
「第3章 プリンタドライバの設定」(73ページ)を参照してください。
- ・プリンタドライバの印刷機能を使っているいろいろな印刷を行いたいとき
「第3章 プリンタドライバの設定」(73ページ)を参照してください。
- ・プリンタの管理を行いたいとき
Printianavi マネージャを使うと、Printianavi 対応の XL プリンタの情報参照や環境設定を行うことができます。
Printianavi マネージャについては、ソフトウェアマニュアル「第6章 Printianavi マネージャ」を参照してください。

第2章

プリンタドライバのインストール

この章では、パソコンにプリンタドライバ (Printia XL ドライバ) をインストールし、印刷できるようにするまでの操作について、OS ごとに説明します。

Windows 98/95 のとき	28
インストール	28
プリンタを共有する	43
印刷先ポートの追加と変更	45
新しいドライバに置き換えるとき	49
ネットワークインストール	50
Windows NT4.0 のとき	53
インストール	53
プリンタを共有する	58
印刷先ポートの追加と変更	59
新しいドライバに置き換えるとき	62
代替ドライバとネットワークインストール	63
Windows 3.1 のとき	67
インストール	67
印刷先ポートの追加と変更	71
新しいドライバに置き換えるとき	72

Windows 98/95 のとき

ここでは、Windows 98/95 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。



ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98/95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読み替えてください。

▼ インストール

インストール手順は通常のインストールと Plug & Play で異なります。それぞれの手順にしたがってください。

また、Plug & Play でプリンタが検出されない場合は、通常のインストールでプリンタドライバをインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「FJXLV41」のフォルダにある「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows 98/95 にアップグレードしている場合は、Windows 98/95 の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

■ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。添付の CD-ROM を準備してください。

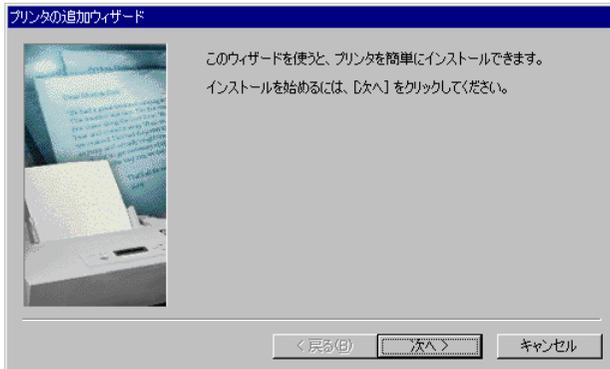
画面の例は Windows 98 のものです。

1 Windows 98/95を起動する

2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

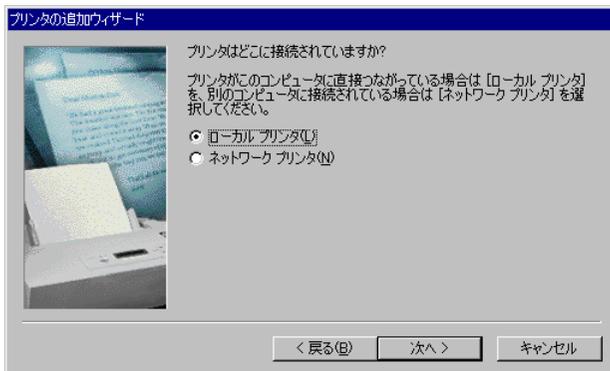


3 〔次へ〕をクリックする



4 ローカルプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ、表示されます。



ガイド

・スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

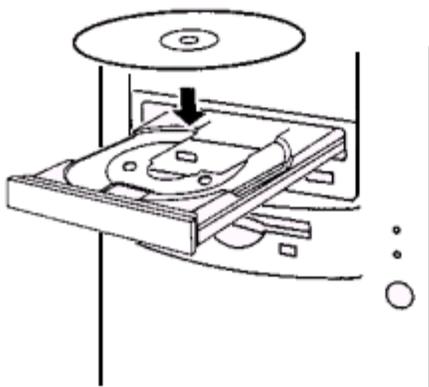
印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

・〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

「代替ドライバとネットワークインストール」（63ページ）を参照してください。



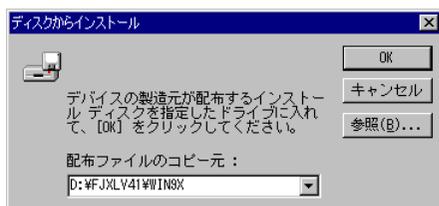
5 [ディスク使用] をクリックする



6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

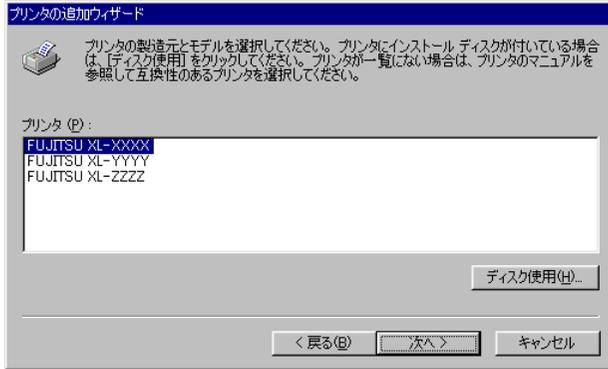
ガイド CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、[終了]を選択して画面を閉じてください。



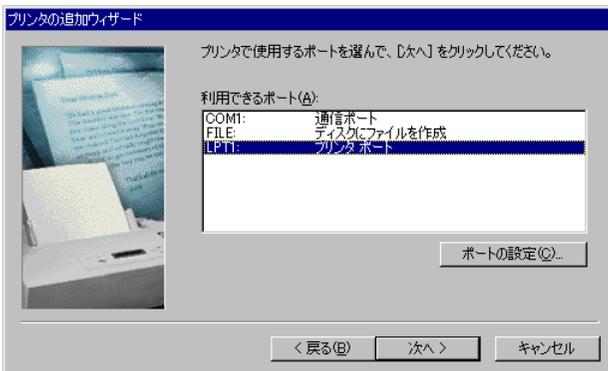
7 配布ファイルのコピー元: に「D:¥FJXLV41 ¥WIN9X」と入力する、または[参照]をクリックして「D:¥FJXLV41 ¥WIN9X」を選択する (CD-ROMドライブがD: のとき)

入力が終わったら [OK] をクリックします。

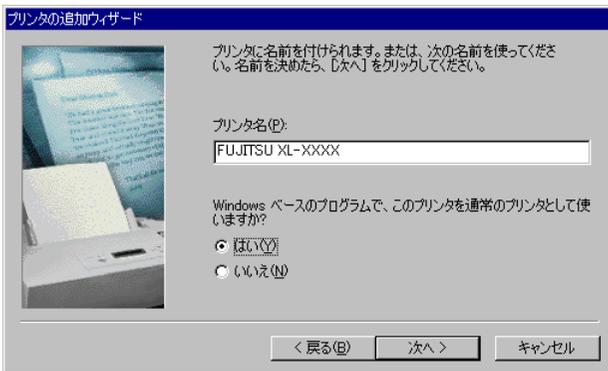
ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、 配布ファイルのコピー元: に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



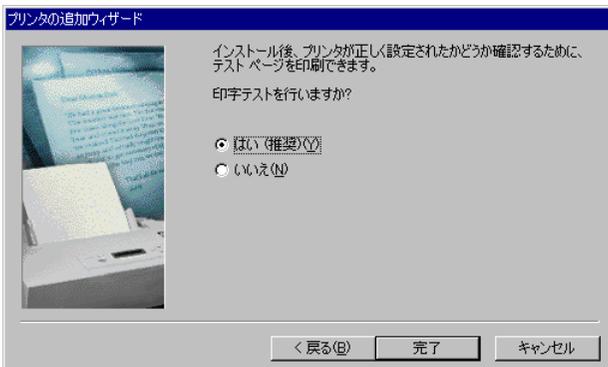
8 プリンタを選択して、
〔次へ〕をクリックする
実際の画面では、インストール可能なプリンタ名がリストアップされます。



9 使用するポートを選択して
〔次へ〕をクリックする
使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート(LPT1)などを選択してください。

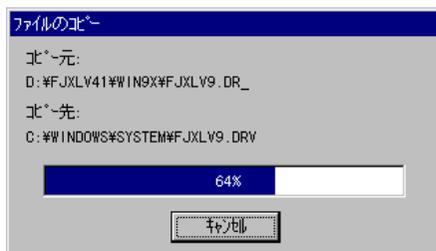


10 本プリンタに名前を付け、
「通常のプリンタ」に設定する場合は、
〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。

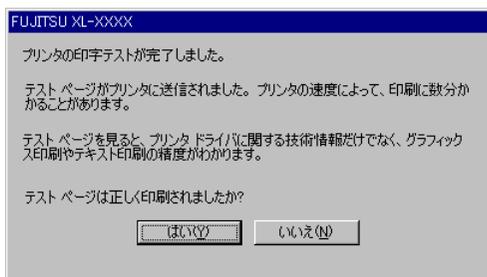


11 テストページを印刷するか、
しないかを選択して
〔完了〕をクリックする
手順9で仮のポートを選択した場合は、
〔いいえ〕を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「印字テストを行いますか？」で“はい(推奨)”を選択した場合は以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

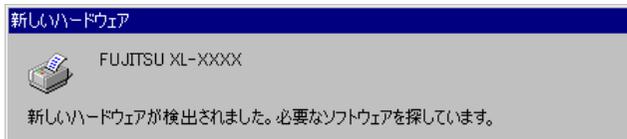
テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

Plug & Playによるインストール

プリンタドライバのPlug & Playによるインストールは、次の手順で行います。

添付のCD-ROMを準備してください。

▶ Windows 98 のとき



1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU XL-XXXX 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」(XL-XXXXはプリンタ名)と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバのインストールをしてください。

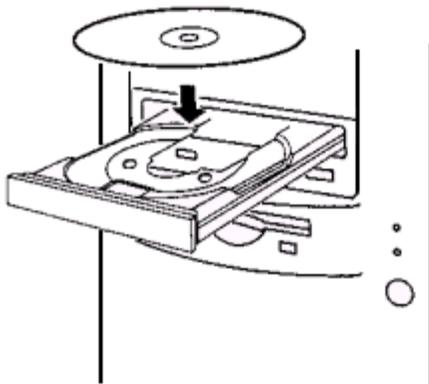
ガイド Plug & Playはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」(28ページ参照)でインストールしてください。



次の画面が表示されている場合は、[次へ]をクリックして4に進みます。

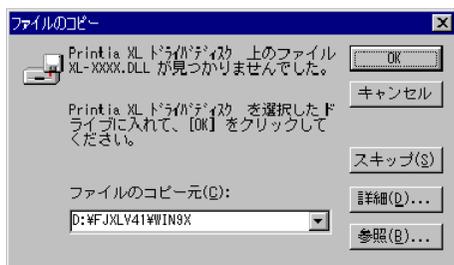


左の画面が表示されている場合は、[OK]をクリックして2に進みます。



2 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

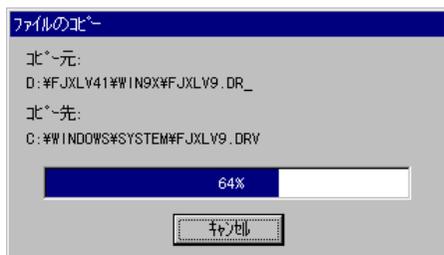


3 ファイルのコピー元 に「D:¥FJXLV41¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV41¥WIN9X」を選択し、〔OK〕をクリックする (CD-ROM ドライブが D: のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



フロッピーディスクを使用する場合は、ファイルのコピー元： に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)

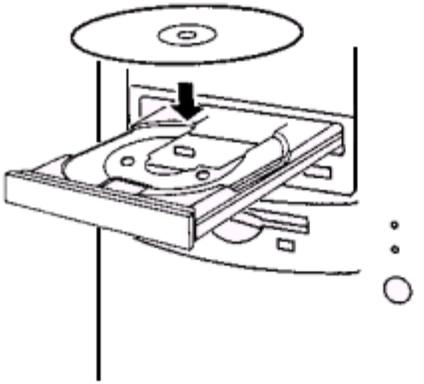


ファイルのコピーが開始されます。

ファイルのコピーが終わると、インストールは自動的に終了します。



- 4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択して〔次へ〕をクリックする



- 5 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



- 6 「CD-ROM ドライブ」と「検索場所の指定」をチェックして、検索場所を「D:\¥FJXLV41¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\¥FJXLV41¥WIN9X」を選択し (CD-ROM ドライブが D: のとき) 〔OK〕をクリックする

検索場所の指定が終わったら、〔次へ〕をクリックします。

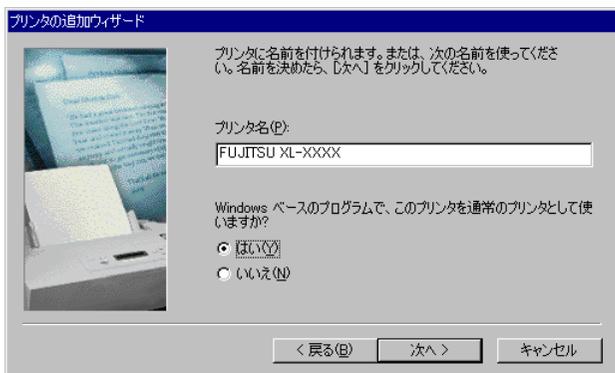


フロッピーディスクを使用する場合は、「フロッピーディスクドライブ」と「検索場所の指定」をチェックして、検索場所を「A:\¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)



7 ドライバのある場所 :
が「D:¥FJXLV41¥
WIN9X ¥FJXLV9.INF」
と表示されていることを
確認して、〔次へ〕をク
リックする(CD-ROMド
ライブがD:のとき)

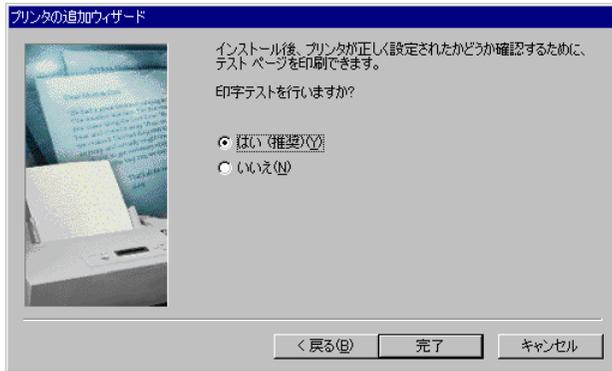
フロッピーディスクを使用する
場合は、「A:¥WIN9X¥FJXLV9.
INF」と表示されていることを
確認して、〔次へ〕をクリックし
ます。(フロッピーディスクド
ライブがA:のとき)



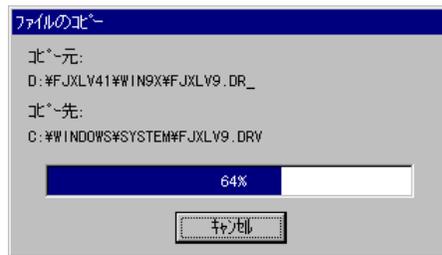
8 本プリンタに名前を付
け、「通常のプリンタ」に
設定する場合は、〔はい〕
を選択し、〔次へ〕をク
リックする



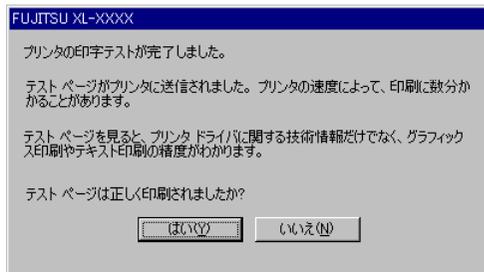
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



9 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



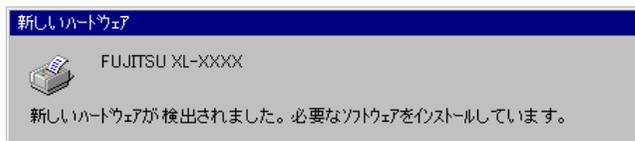
「印字テストを行いますか？」で「はい (推奨)」を選択した場合は、テストページが正しく印刷されたことを確認して〔はい〕をクリックします。

テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。



10 〔完了〕をクリックして、インストールを終了する

▶ Windows 95 のとき



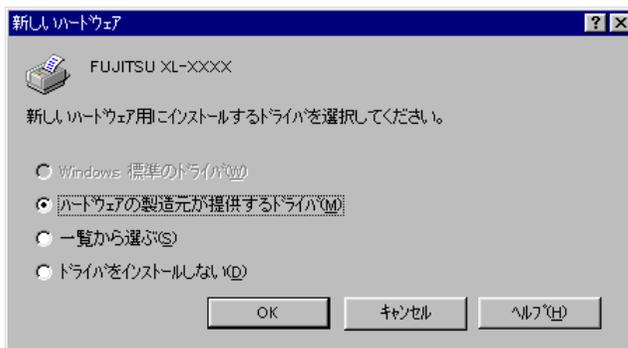
1

プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU XL-XXXX新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」(XL-XXXXはプリンタ名)と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバのインストールをしてください。

ガイド Plug & Playはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」(28ページ)を参照してインストールしてください。

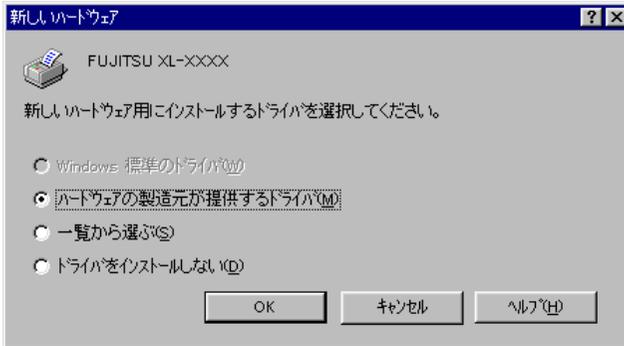
次の画面が表示されている場合は2に進みます。



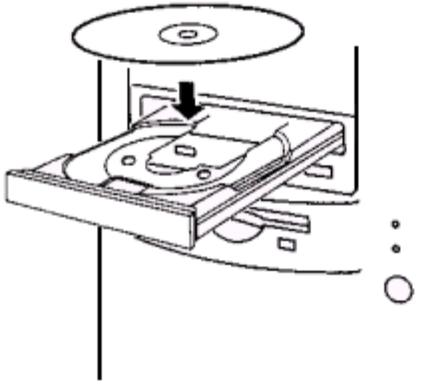
次の画面が表示されている場合は5に進みます。



ガイド 一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。

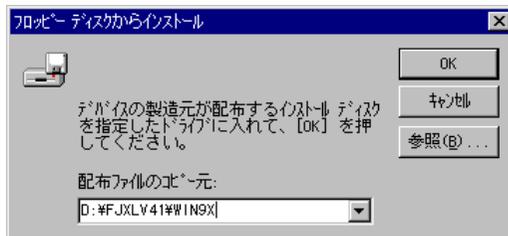


2 “ハードウェアの製造元が提供するドライバ”をクリックして〔OK〕をクリックする



3 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



4 配布ファイルのコピー元: に「D:¥FJXLV41¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV41¥WIN9X」を選択する（CD-ROM ドライブが D: のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

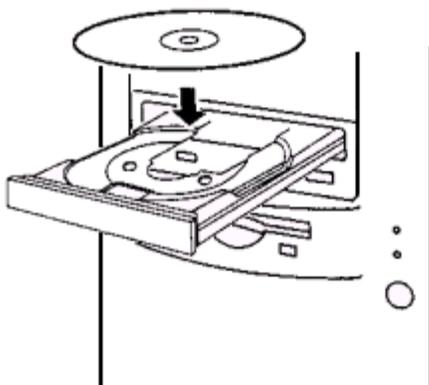
10 へ進んでください。



フロッピーディスクを使用する場合は、配付ファイルのコピー元: に「A:¥WIN9X」と指定します。（フロッピーディスクドライブが A: のとき）



5 [次へ] をクリックする

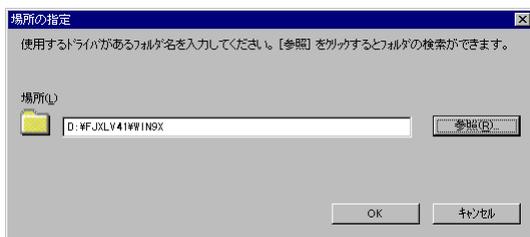


6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



7 [場所の指定] をクリックする



8 場所に「D:¥FJXLV41 ¥WIN9X」と入力する、または[参照]をクリックして「D:¥FJXLV41 ¥WIN9X」を選択する (CD-ROMドライブがD: のとき)

入力が終わったら [OK] をクリックします。

ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、配付ファイルのコピー元：に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



9 [完了]をクリックする
左のようなダイアログボックスが表示されたら、[完了]をクリックします。

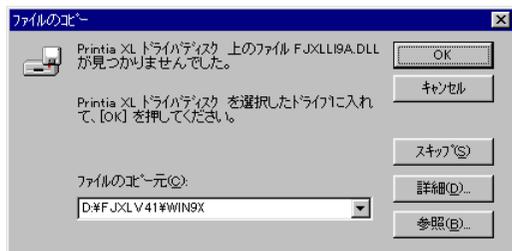


10 本プリンタに名前を付け、「通常のプリンタ」に設定する場合は、[はい]を選択し、[次へ]をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。



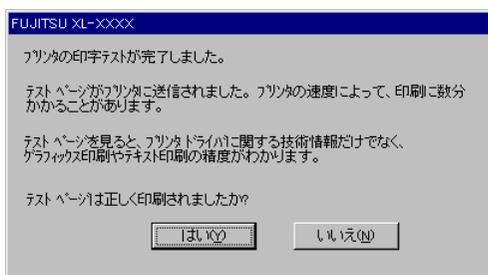
11 テストページを印刷するか、しないか選択して [完了]をクリックする
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。



12 ファイルのコピー元に「D:¥FJXLV41 ¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV41 ¥WIN9X」を選択する（CD-ROMドライブがD: のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

「テストページを印刷しますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合は、以下の操作を行います。



13 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

▼ プリンタを共有する

ここでは、プリンタドライバをインストールしたパソコンから印刷可能なプリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有できるようにするための設定について説明します。

この設定は、他のパソコン(クライアント)からサーバ経由で印刷を行うときのサーバ側でのみ必要です。

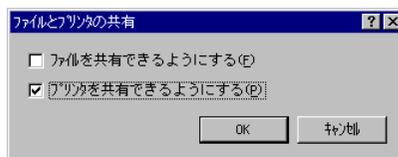
■ 設定の前に

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定してください。

- 1 [スタート] から、[設定][コントロールパネル] の順に選択し、[ネットワーク] をクリックする



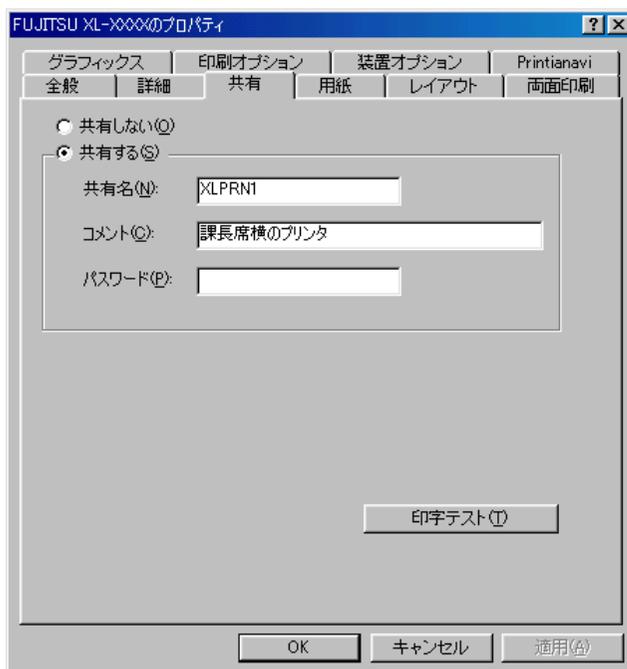
- 2 [ファイル] メニューから、[開く] を選択する



- 3 [ファイルとプリンタの共有] をクリックし、[プリンタを共有できるようにする] を選択する

■ 設定方法

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 2 [ファイル]メニューから、[共有]を選択する
- 3 [共有する]を選択し、共有名と必要に応じてコメント、パスワードを入力する



- 共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
- コメント プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。
- パスワード 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときを使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、[OK]をクリックしてください。

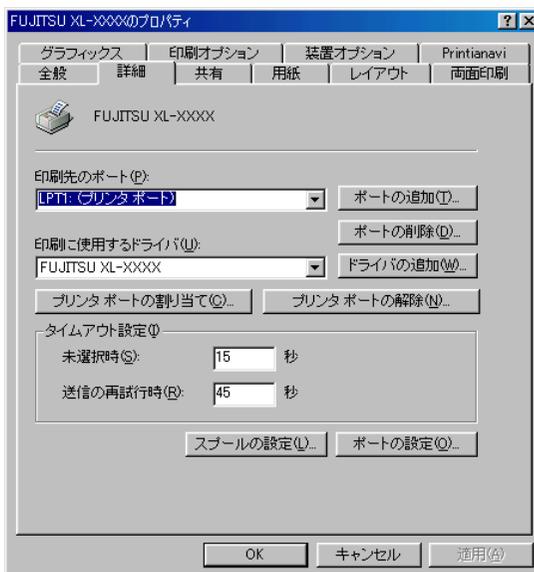
印刷先ポートの追加と変更

プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、プリンタがLAN (TCP/IP) に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

設定方法

1 [スタート] から、[設定][プリンタ] の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



2 [ファイル] メニューから、[プロパティ] を選択し、[詳細] タブをクリックする

3 [印刷先のポート] のをクリックして、一覧を表示する

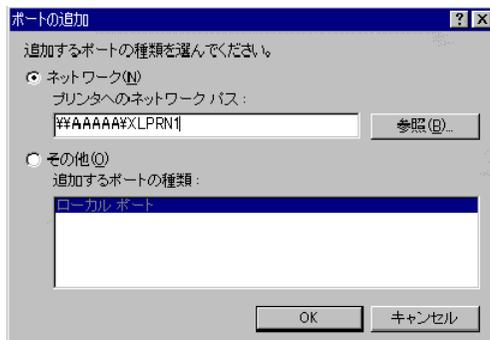
新しい印刷先に指定するポートが一覧にある場合は、選択して [OK] をクリックしてください。一覧にない場合は、手順 4 に進んでください

4 [ポートの追加] をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



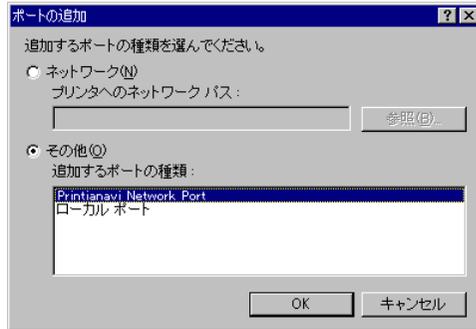
「ネットワーク」を選択後、[参照] をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して[OK] をクリックする

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

ガイド NetWare で印刷する場合の入力形式は、「¥¥ファイルサーバ名¥プリントキュー名」です。（NetWare 対応プリンタのみ）

▶ LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用してLAN (TCP/IP) に接続されたプリンタに直接印刷するときの設定です。



1 「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタのインストールを先に行ってください。Printianaviネットワークポートモニタのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。



2 ポート名とプリンタのIPアドレスまたはホスト名を入力する

ポート名 半角の英数字で8文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IPアドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

〔参照〕でネットワークに接続されているプリンタを検索し、IPアドレスを自動入力することもできます。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。



- ・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。
- ・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔追加するポートの種類〕で「XL-LN100」を、プリンタLANアダプタFM-LNA100の場合は「FM-LNA100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100またはFM-LNA100のマニュアルを参照してください。)

〔詳細〕ダイアログの〔印刷先のポート〕に新しく追加したポートが表示されていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

新しいドライバに置き換えるとき

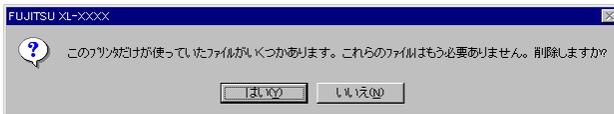
バージョンアップにより、プリントドライバを置き換えるときは、古いプリントドライバを削除してから新しいプリントドライバをインストールします。

古いプリントドライバは、次の操作で削除します。

- 1 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する



- 3 〔はい〕をクリックする



続いて左のメッセージが表示された場合は、〔はい〕をクリックします。



ガイド 通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。'XXXX'が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

- 4 Windows 98/95 を再起動する
古いプリントドライバを削除したら、Windows 98/95を再起動します。
- 5 新しいプリントドライバを、「通常のインストール」(28ページ)の手順でインストールする
- 6 新しいプリントドライバをインストール後、Windows 98/95を再起動する

▼ ネットワークインストール

Windows NT4.0 上の共有のプリンタを Windows 98/95 のパソコンから利用する場合、ネットワークインストールによって簡単に Windows 98/95 のパソコンにプリンタドライバをインストールすることができます。

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

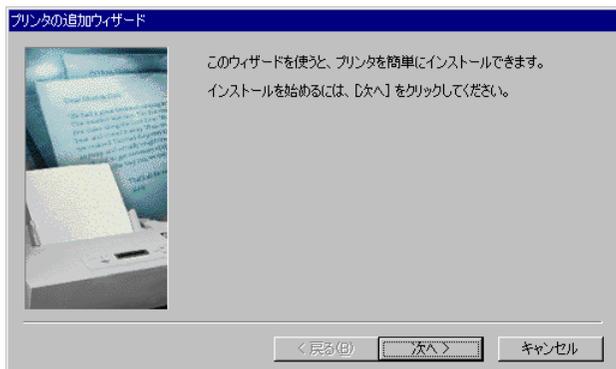
お願い

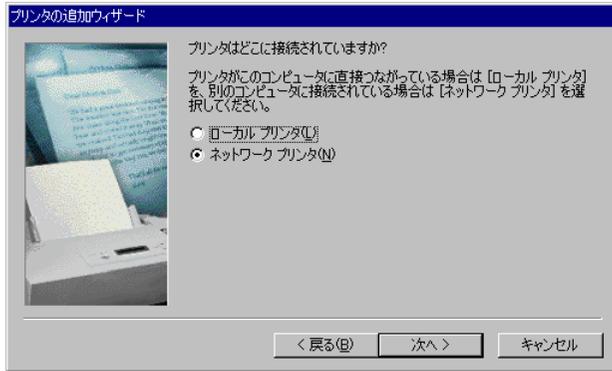
ネットワークインストールを行う前に、サーバに Windows 98/95 のプリンタドライバを代替インストールしてください。方法については、「代替ドライバとネットワークインストール」(63 ページ)を参照してください。

ガイド

〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕の順に選択し、〔ネットワークコンピュータ〕からサーバに接続されたプリンタをダブルクリックしてインストールする方法もあります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

- 1 Windows 98/95 を起動する
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする
- 3 〔次へ〕をクリックする

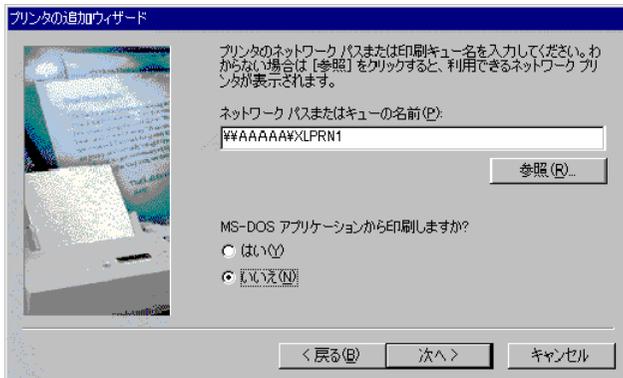




4 ネットワークプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

この画面はパソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

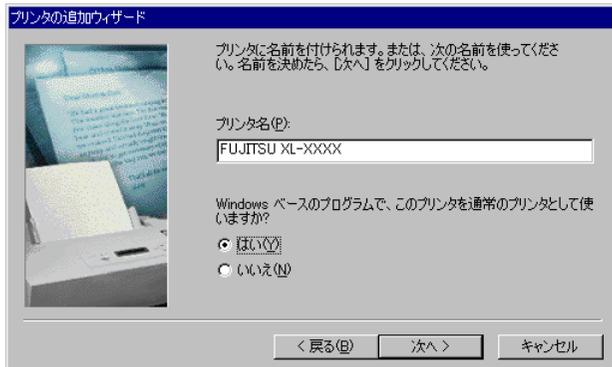
表示されないときは、〔キャンセル〕をクリックしてインストールを中断し、ネットワークの設定を確認してください。



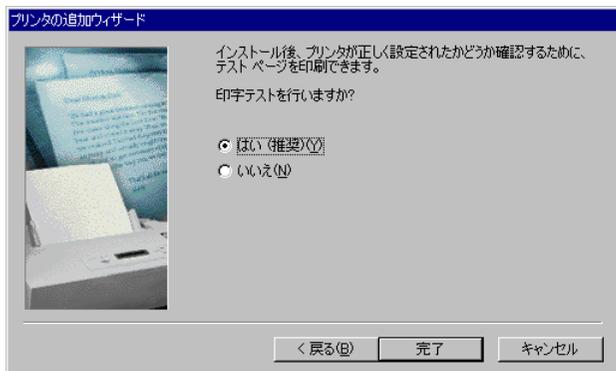
5 〔参照〕をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力する

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

入力が終わったら〔次へ〕をクリックします。

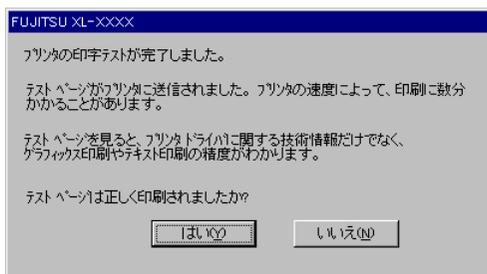


6 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



7 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする

「印字テストを行いますか？」で「はい (推奨)」を選択した場合は、以下の操作を行います。



8 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

ガイド ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読みかえてください。

▼ インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のCD-ROMを準備してください。

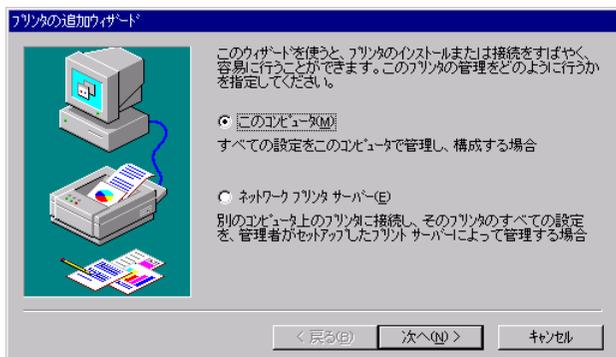
お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「FJXLV41」フォルダにある「WINNT40.TXT」をお読みください。
- ・Windows NT3.51で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows NT4.0にアップグレードしている場合はWindows NT4.0の〔プリンタ〕フォルダからプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする



2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、プリンタの追加をダブルクリックする



3 [このコンピュータ] を
選択して [次へ] をク
リックする

ガイド [ネットワークプリンタサーバー]を選んでインストールするには、プリントサーバ上に対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。詳細は、「代替ドライバとネットワークインストール」(63 ページ)を参照してください。

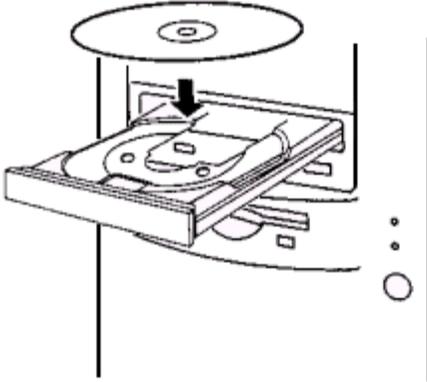


4 プリンタを接続したポ
ートを指定して [次へ] を
クリックする

[利用可能なポート]から、プリンタを接続したポートを選択します。また、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。



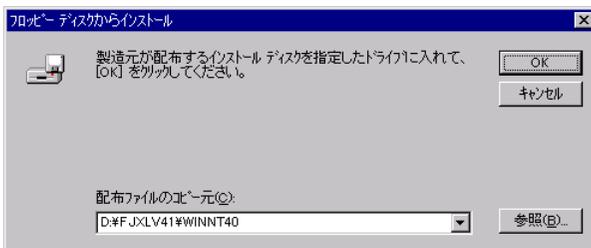
5 [ディスク使用] をク
リックする



6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

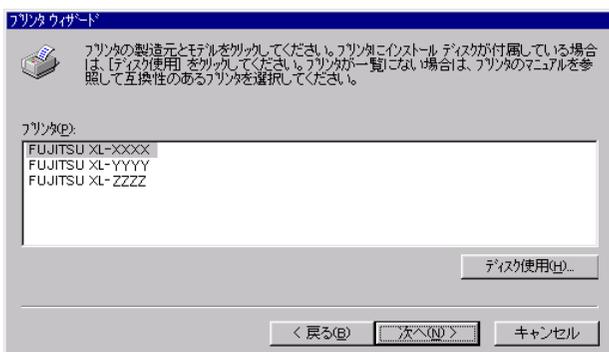
ガイド CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリントユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



7 配布ファイルのコピー元: に「D:\FJXLV41\WINNT40」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLV41\WINNT40」を選択し、〔開く〕をクリックする (CD-ROM ドライブが D: のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、 配付ファイルのコピー元: に「A:\WINNT40」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)



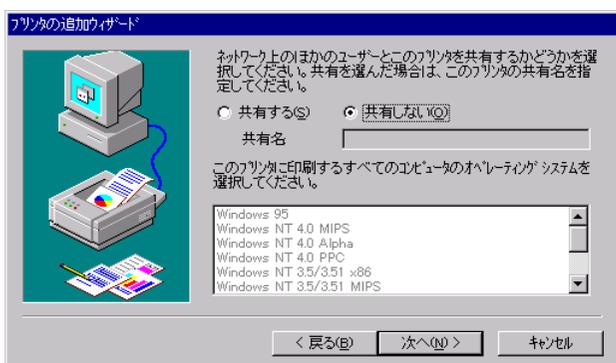
8 該当するプリンタをクリックして、〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名がリストアップされます。



9 本プリンタに名前を付け、「通常のプリンタ」に設定する場合は、「はい」を選択し、「次へ」をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。



10 「共有しない」を選択し、「次へ」をクリックする
プリンタを共有するかどうかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できません。ここでは、「共有しない」を選択します。

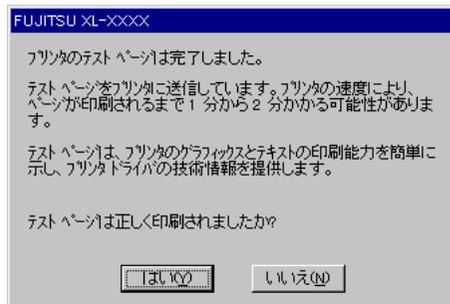


11 テストページを印刷するか、しないか選択して「完了」をクリックする
手順4で別のポートを選択した場合やLPRポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で“はい(推奨)”を選択した場合には以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中は Printianavi のステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

▼ プリンタを共有する

ここでは、プリンタドライバをインストールしたパソコンから印刷可能なプリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有できるようにするための設定について説明します。

この設定は、他のパソコン(クライアント)からサーバ経由で印刷を行うときのサーバ側でのみ必要です。

■ 設定方法

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする
- 2 [ファイル]メニューから、[共有]を選択する
- 3 [共有する]を選択し、共有名を入力する



共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows98/95のパソコン(クライアント)からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

入力が終わったら、[OK]をクリックしてください。

印刷先ポートの追加と変更

プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、プリンタがLAN (TCP/IP) に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

設定方法

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 [スタート] から [設定][プリンタ] の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



- 2 [ファイル] メニューから、[プロパティ] を選択し、[ポート] タブをクリックする

- 3 「印刷するポート」の一覧から、新しい印刷ポートを選択する

一覧にある場合は、ポートの横をチェックして [OK] をクリックしてください。

一覧にない場合は、手順 4 に進んでください

- 4 [ポートの追加] をクリックする

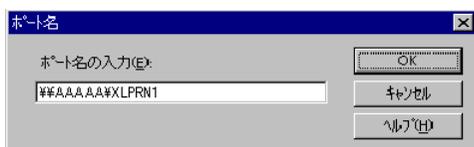
プリンタの接続方法(印刷方法)によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



1 [利用可能なプリンタポート]から「Local Port」を選択して[新しいポート]をクリックする



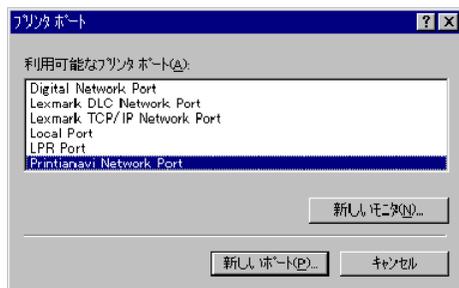
2 ネットワークパスを入力して[OK]をクリックする

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

ガイド NetWareで印刷する場合の入力形式は、「¥¥ファイルサーバ名¥プリントキュー名」です。(NetWare対応プリンタのみ)

▶ LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモジタを使用してLAN(TCP/IP)に接続されたプリンタに直接印刷するときは次のように設定します。



1 [利用可能なプリンタポート]から「Printianavi Network Port」を選択して[新しいポート]をクリックする

ガイド 「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモジタのインストールを先に行ってください。Printianavi ネットワークポートモジタのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。



2 ポート名とプリンタのIPアドレスまたはホスト名を入力する

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

ポート名 半角の英数字で8文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IPアドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

〔参照〕でネットワークに接続されているプリンタを検索し、IPアドレスを自動入力することもできます。

ガイド

- ・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。
- ・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔利用可能なポートの種類〕で「XL-LN100」を、プリンタLANアダプタFM-LNA100の場合は「FM-LNA100」を選択してください。（設定の詳細はXL-LN100またはFM-LNA100のマニュアルを参照してください）

〔ポート〕ダイアログの〔印刷するポート〕に新しく追加したポートが表示かつチェックされていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。
管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

- 1 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する



- 3 〔はい〕をクリックする



通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘XXXX’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

- 4 Windows NT4.0 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「インストール」(53ページ)の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows NT4.0を再起動する

代替ドライバとネットワークインストール

プリンタを共有するサーバ（Windows NT4.0）に代替ドライバをインストールしておく、クライアントのプリンタドライバのインストールが簡潔に行えるようになります。

例えば、Windows NT4.0上の共有プリンタをWindows 98/95のパソコンから利用したい場合に、Windows NT4.0のパソコンにあらかじめWindows 98/95用のプリンタドライバを代替ドライバとしてインストールしておけば、Windows 98/95のパソコンにプリンタドライバをインストールする際に添付のCD-ROMや作成したプリンタドライバのフロッピーディスクが不要となります。

ガイド 代替ドライバをインストールできるサーバは、Windows NT4.0のみです。

代替ドライバのインストール

代替ドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付のCD-ROMを準備してください。

ここでは、Windows NT4.0上の共有プリンタに、Windows 98/95の代替ドライバをインストールするときの手順を説明します。プリンタドライバのバージョンアップにより新しい代替ドライバに置き換える場合も同様です。

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする
- 3 代替ドライバをインストールするプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する



4 [代替ドライバ] リストからクライアントのOSを選択する

クリックした部分が反転表示されます。



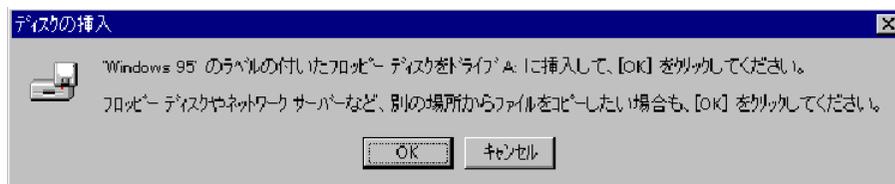
Windows 98 の代替ドライバをインストールするときも、[Windows 95] を選択します。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

5 [OK] をクリックする

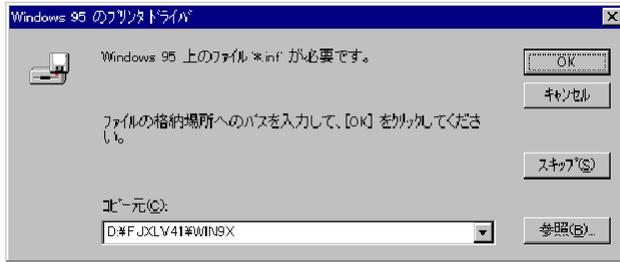
6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクがある場合は、フロッピーディスクドライブにセットします。

セットしたら、[OK] をクリックします。



CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、[終了] を選択して画面を閉じてください。



7 コピー元： に「D：
¥FJXLV41¥WIN9X」と
入力する、または〔参照〕
をクリックして「D：
¥FJXLV41¥WIN9X」を
選択する（CD-ROMドラ
イブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をク
リックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバ
のインストールは終了です。

ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、コピー元： に「A：
¥WIN9X」と指定します。（フロッピーディスクドライブがA:
のとき）

■ ネットワークインストール

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

ガイド ・〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕の順に
選択し、〔ネットワークコンピュータ〕からサーバに接続さ
れたプリンタをダブルクリックしてインストールする方
法もあります。このときは、表示内容に従ってインストール
してください。

・管理者権限でログオンしても、ネットワークインストール
したプリンタは同じパソコンにログオンした他のユーザか
らは使用できませんので、ユーザごとにインストールする
必要があります。

1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとして
ログオンする



2 マイコンピュータの〔プ
リンタ〕をダブルクリッ
クし、プリンタの追加
をダブルクリックする



3 [ネットワークプリンタサーバー] を選択して [次へ] をクリックする



4 [共有プリンタ] リストから接続する共有プリンタを選択する、または [プリンタ] にネットワークパスを入力する

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

入力が終わったら [OK] をクリックします。



5 本プリンタを「通常使うプリンタ」に設定する場合は [はい] を選択し、 [次へ] をクリックする



6 [完了] をクリックする

Windows 3.1 のとき

ここでは、Windows 3.1 をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

ガイド ご使用のパソコンにインストールされているWindows 3.1のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読み替えてください。

お願い インストールの前に、メモ帳等によりCD-ROMのFJXLV41フォルダにある¥WIN31.TXTをお読みください。

インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のCD-ROMを準備してください。

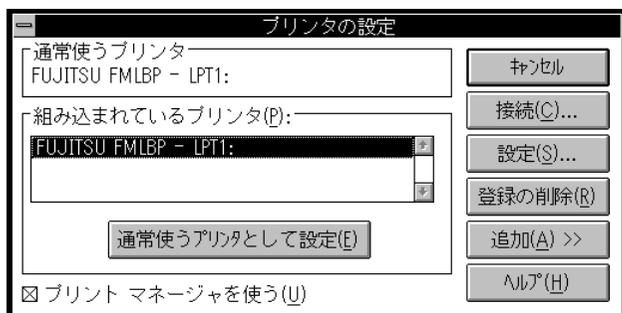
1 Windows 3.1 を起動する

2 [メイン]グループ中の
コントロールパネル
をダブルクリックする



3 コントロールパネル
中のプリンタをダブル
クリックするか、または
[設定]メニューの[プリンタ..]
を選択する

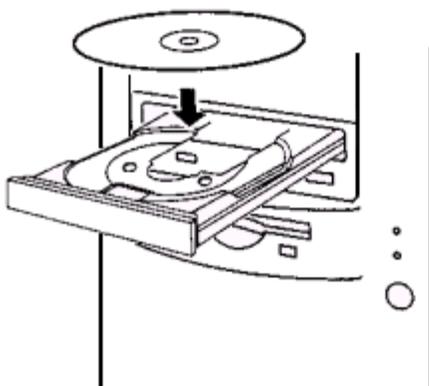




4 [プリンタの設定] ダイアログボックスの [追加] をクリックする

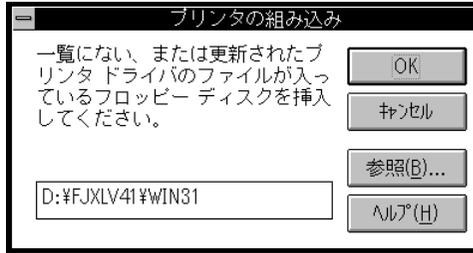


5 [組み込むプリンタの選択:] リストボックス中の「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択し、[組み込み...] をクリックする



6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

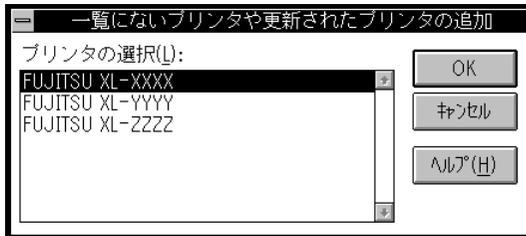


- 7 [プリンタの組み込み] ダイアログボックスのテキストボックスに、「D:¥FJXLV41 ¥WIN31」と入力する、または[参照]をクリックして「D:¥FJXLV41¥WIN31」を選択し、[OK]をクリックする。(CD-ROMドライブがD:のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。



フロッピーディスクを使用する場合は、[プリンタの組み込み]ダイアログボックスのテキストボックスに「A:¥WIN31」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)

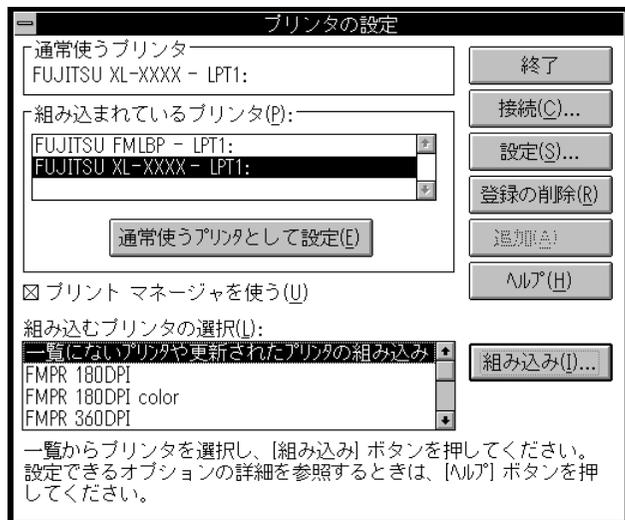


- 8 [プリンタの選択:] リストボックスの中から、該当するプリンタをクリックして、[OK]をクリックする

[組み込まれているプリンタ:] に、選択したプリンタ名が表示されます。



実際の画面では、[プリンタの選択:]リストボックスには、インストール可能なプリンタがリストアップされます。



9 プリンタ名をクリックし、〔通常使うプリンタとして設定〕をクリックする

選択したプリンタが〔通常使うプリンタ〕に表示され、ドライバが有効になります。

10〔プリンタの設定〕ダイアログボックスの〔終了〕をクリックし、インストールを終了する

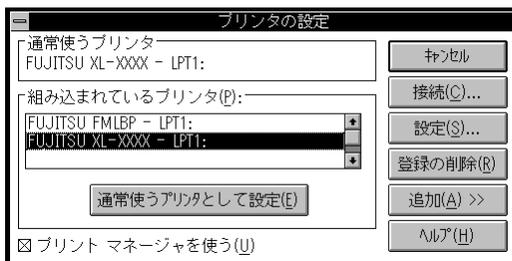
印刷先ポートの追加と変更

プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、サーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

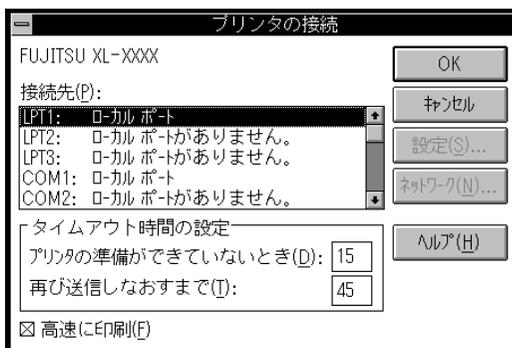
ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

設定方法

- 1 [メイン]グループ中の **コントロールパネル** をダブルクリックする
- 2 **コントロールパネル** 中の **プリンタ** をダブルクリックする



- 3 [プリンタの設定] ダイアログボックスの [組み込まれているプリンタ] で接続先を変更するプリンタを選択し、[接続] をクリックする



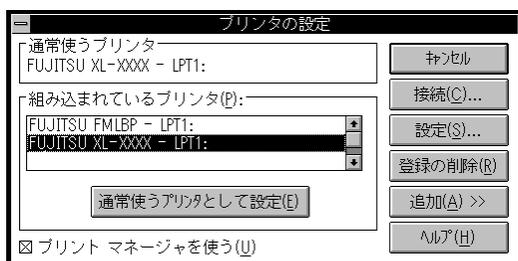
- 4 [プリンタの接続] ダイアログボックスの [接続先] リストから新しいポートを選択する、またはネットワークに接続する場合は [ネットワーク] をクリックして接続先を指定する

新しいドライバに置き換えるとき

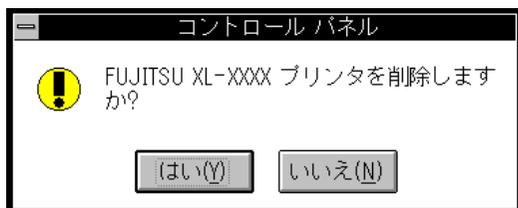
バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

- 1 コントロールパネルの〔プリンタ〕をダブルクリックする〔プリンタの設定〕ダイアログボックスが表示されます。



- 2 〔プリンタの設定〕ダイアログボックスで、〔組み込まれているプリンタ〕から該当するプリンタをクリックし、〔登録の削除〕をクリックする



「FUJITSU XL-XXXX プリンタを削除しますか?」というダイアログボックスが表示されます。削除する場合は〔はい〕を、キャンセルする場合は〔いいえ〕をクリックします。

第3章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）の設定項目および設定方法について説明します。

設定画面について	75
Windows 98/95 の設定画面	75
Windows NT4.0 の設定画面	82
Windows 3.1 の設定画面	90
プリンタドライバの機能と設定の概要	93
印刷するときの設定	93
より便利にお使いいただくための設定	95
注意事項	96
印刷するときの基本的な設定	98
用紙サイズと向きを指定する	98
給紙 / 排紙方法を指定する	100
便利な印刷機能	102
拡大 / 縮小印刷 (Windows 98/95/NT4.0)	102
縮小印刷 (Windows 3.1)	106
N-up 印刷 (Windows 98/95/NT4.0)	107
複数部数 / 部単位印刷	110
両面印刷 (両面印刷対応プリンタのみ)	112

印刷の調整に関する設定	114
きれいに印刷する	114
高速に印刷する	118
オプション機能を設定する	121
Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0)	123
Printianavi を有効にする	123
メッセージの表示方法を変更する	125
プリンタの状態を表示する	129
プリンタの状態を設定値に反映する	131
プリンタドライバに関する設定	132
オプションの装着状態を設定する (Windows 98/95/NT4.0).....	132
プリンタドライバのバージョンを確認する	134

設定画面について

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

Windows 98/95 の設定画面

Windows 98/95 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。

プリンタのプロパティを表示するには、次の2つの方法があります。表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定(プリンタドライバの設定を含む)を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



次のダイアログの表示を切り換えます。

- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
(両面印刷対応プリンタのみ)
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕

アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。

用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）



次のダイアログの表示を切り換えます。

- ・〔全般〕(または〔情報〕)
- ・〔詳細〕
- ・〔共有〕
- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
(両面印刷対応プリンタのみ)
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕
- ・〔装置オプション〕
- ・〔Printianavi〕

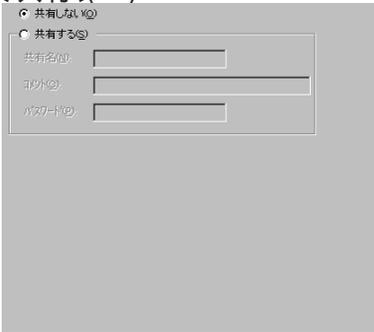
プリンタドライバやポートの選択、Printianavi機能の設定が行えます。また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。

アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ ダイアログ一覧 (Windows 98/95)

画面	説明	備考
<p>〔全般〕(または〔情報〕)(*1))</p> 	<p>プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。</p>	<p>区切りページは、印刷を行うパソコンにプリンタが直接接続されている場合のみ使用できます。また、B5より小さいサイズの用紙では、周囲の一部が欠けて印刷されます。</p>
<p>〔詳細〕(*1))</p> 	<p>印刷先のポートに関する設定や、使用しているプリンタドライバの表示を行います。</p>	<p>「印刷先ポートの追加と変更」(45ページ)参照 「Printianaviを有効にする」(123ページ)参照</p>
<p>〔共有〕(*1))</p> 	<p>プリンタの共有に関する設定を行います。 このダイアログは、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。</p>	<p>「プリンタを共有する」(43ページ)参照</p>

*1: 「プリンタのプロパティ」からのみ表示されます。

画面	説明	備考
----	----	----

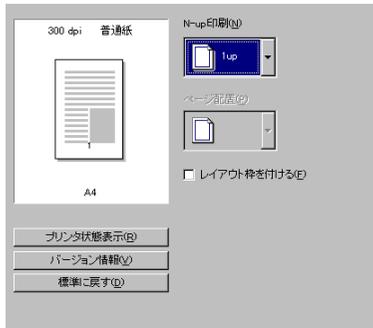
〔用紙〕(*2)



用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙 / 排紙、部数印刷に関する設定を行います。

「用紙サイズと向きを設定する」(98 ページ) 参照
「給紙 / 排紙方法を指定する」(100 ページ) 参照
「複数部数 / 部単位印刷」(110 ページ) 参照

〔レイアウト〕(*2)



1 枚の用紙に複数ページを配置する N-up 印刷に関する設定を行います。

「N-up 印刷」(107 ページ) 参照

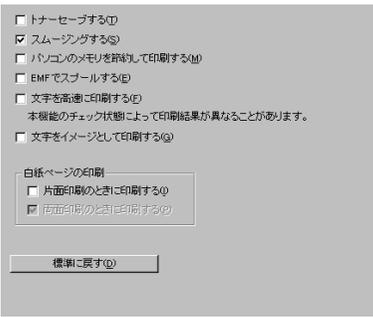
〔両面印刷〕(*2)

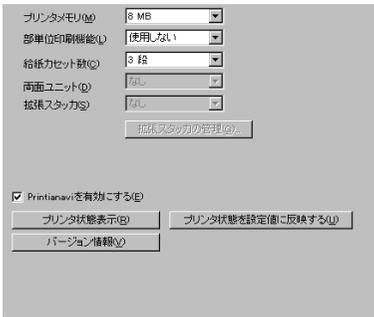


両面印刷に関する設定を行います。
このダイアログは、両面印刷対応プリンタのみ表示されます。

「両面印刷」(112 ページ) 参照

*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(129 ページ) 参照)を、〔バージョン情報〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(134 ページ) 参照)を表示させることができます。

画面	説明	備考
<p>〔グラフィックス〕</p> 	<p>解像度やディザパターンなどを設定します。</p>	<p>「きれいに印刷する」(114 ページ) 参照 「高速に印刷する」(118 ページ) 参照</p>
<p>〔印刷オプション〕</p> 	<p>以下の印刷に関するオプション設定を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) トナーセーブ、白紙ページの扱い、スプールに関する設定 2) スムージング 3) 文字データの高速印刷 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「オプション機能を設定する」(121 ページ) 参照 2) 「きれいに印刷する」(114 ページ) 参照 3) 「高速に印刷する」(118 ページ) 参照

画面	説明	備考
<p>〔装置オプション〕(*1)(*2)</p> 	<p>オプションの装着状態や、Printianaviを有効にするかどうかの設定を行います。</p>	<p>「プリンタの状態を設定値に反映する」(131 ページ) 参照 「オプションの装着状態を設定する」(132 ページ) 参照 「高速に印刷する」(118 ページ) 参照 「Printianavi を有効にする」(123 ページ) 参照</p>

<p>〔Printianavi〕(*1)(*2)</p> 	<p>エラーメッセージの表示方法や印刷完了時のメッセージ通知などの、Printianaviに関する設定を行います。</p>	<p>「メッセージの表示方法を変更する」(125 ページ) 参照</p>
---	---	--------------------------------------

*1 : 「プリンタのプロパティ」からのみ表示されます。

*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(129 ページ) 参照)を、〔バージョン情報〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(134 ページ) 参照)を表示させることができます。

Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0でのプリンタドライバの設定は、次の3つのプロパティで行います。

プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- ・一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
また、サーバ共有のプリンタのすべての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



次のダイアログの表示を切り換えます。

- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
(両面印刷対応プリンタのみ)
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕

各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■〔スタート〕からの設定画面（ドキュメントの既定値）



- 次のダイアログの表示を切り換えます。
- ・〔用紙〕
 - ・〔レイアウト〕
 - ・〔両面印刷〕
(両面印刷対応プリンタのみ)
 - ・〔グラフィックス〕
 - ・〔印刷オプション〕

用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔ドキュメントの既定値〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ プリンタのプロパティ



次のダイアログの表示を切り換えます。

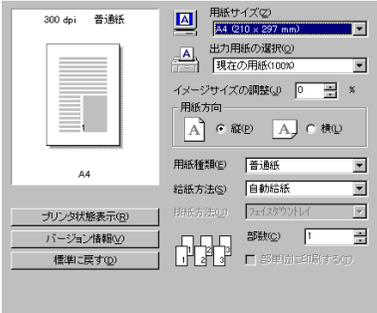
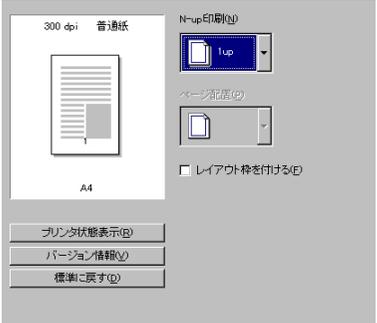
- ・ [全般]
- ・ [ポート]
- ・ [スケジュール]
- ・ [共有]
- ・ [セキュリティ]
- ・ [装置オプション]
- ・ [Printianavi]

プリンタドライバやポートの選択、Printianavi 機能の設定が行えます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 [スタート] から、[設定][プリンタ] の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
[標準に戻す] のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ ダイアログ一覧(Windows NT4.0)

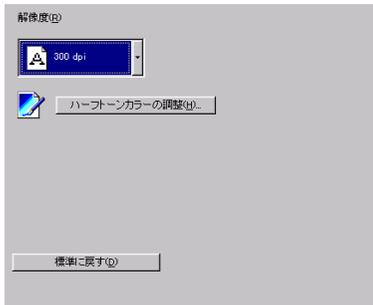
画面	説明	備考
<p>〔用紙〕(*1)(*2)</p> 	<p>用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙 / 排紙、部数印刷に関する設定を行います。</p>	<p>「用紙サイズと向きを指定する」(98 ページ) 参照 「給紙 / 排紙方法を指定する」(100 ページ) 参照 「複数部数 / 部単位印刷」(110 ページ) 参照</p>
<p>〔レイアウト〕(*1)(*2)</p> 	<p>1 枚の用紙に複数ページを配置する N-up 印刷に関する設定を行います。</p>	<p>「N-up 印刷」(107 ページ) 参照</p>
<p>〔両面印刷〕(*1)(*2)</p> 	<p>両面印刷に関する設定を行います。 このダイアログは、両面印刷対応プリンタのみ表示されます。</p>	<p>「両面印刷」(112 ページ) 参照</p>

*1 : ダイアログをアプリケーションから開いたとき、または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。

*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(129 ページ) 参照)を、〔バージョン情報〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(134 ページ) 参照)を表示させることができます。

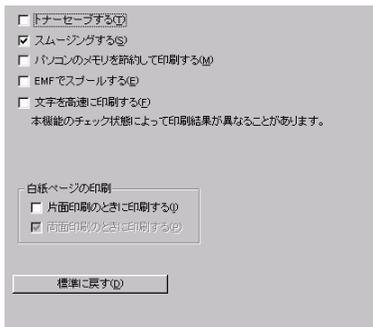
画面	説明	備考
----	----	----

〔グラフィックス〕(*1)



解像度やハーフトーンカラーの調整などを設定します。
「きれいに印刷する」(114 ページ) 参照
「高速に印刷する」(118 ページ) 参照

〔印刷オプション〕(*1)



以下の印刷に関するオプション設定を行います。

- 1) トナーセーブ、白紙ページの扱い、スプールに関する設定
- 2) スムージング
- 3) 文字データの高速印刷

- 1) 「オプション機能を設定する」(121 ページ) 参照
- 2) 「きれいに印刷する」(114 ページ) 参照
- 3) 「高速に印刷する」(118 ページ) 参照

〔全般〕(*3)



プリンタに関するコメントの入力やテストページ印刷を行います。

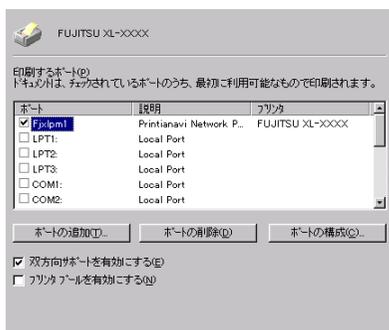
本プリンタでは Windows NT4.0 の区切りページ印刷はサポートしていません。

*1 : ダイアログをアプリケーションから開いたとき、または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。

*3 : 「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

画面	説明	備考
----	----	----

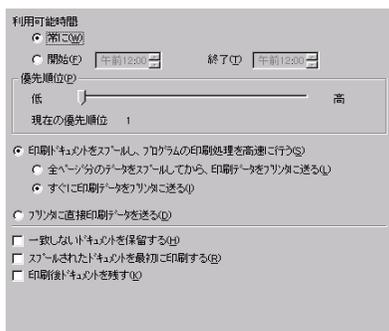
〔ポート〕(*3)



印刷先のポートに関する設定を行います。

「印刷先ポートの追加と変更」(59ページ)参照
「Printianaviを有効にする」(123ページ)参照

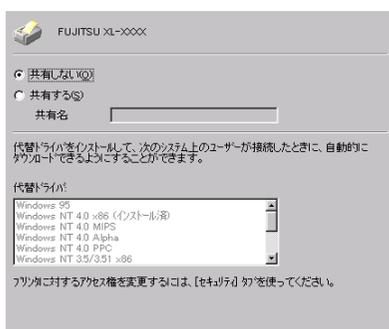
〔スケジュール〕(*3)



プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

通常お使いになる際はこの設定の変更は不要です。
また、本プリンタでは「一致しないドキュメントを保留する」設定は無効です。

〔共有〕(*3)



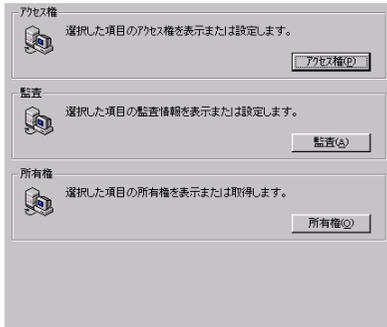
プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。

「プリンタを共有する」(58ページ)参照
「代替ドライバとネットワークインストール」(63ページ)参照

*3 : 「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

画 面	説 明	備 考
-----	-----	-----

〔セキュリティ〕(*3)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

通常お使いになる際はこの設定の変更は必要ありません。

〔装置オプション〕(*2)(*3)



オプションの装着状態や、ハーフトーンに関する設定、Printianaviを有効にするかどうかの設定を行います。

「プリンタの状態を設定値に反映する」(131 ページ) 参照
「オプションの装着状態を設定する」(132 ページ) 参照
「高速に印刷する」(118 ページ) 参照
「きれいに印刷する」(114 ページ) 参照
「Printianavi を有効にする」(123 ページ) 参照

〔Printianavi〕(*2)(*3)



エラーメッセージの表示方法や、印刷完了時のメッセージ通知などの Printianavi に関する設定を行います。

「メッセージの表示方法を変更する」(125 ページ) 参照

*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(129 ページ) 参照)を、〔バージョン情報〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(134 ページ) 参照)を表示させることができます。

*3 :「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

Windows 3.1 の設定画面

Windows 3.1での本プリンタドライバの設定画面は、次のとおりです。

▶ 設定画面の表示方法と設定の変更

1 [コントロールパネル]中の[プリンタ]をダブルクリックするか、[設定]メニューの[プリンタ...]を選択する
[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

2 [プリンタの設定]ダイアログボックスで、[組み込まれているプリンタ]から、本プリンタをクリックし、[設定...]をクリックする

[FUJITSU XL-XXXX]ダイアログボックスが表示されます。

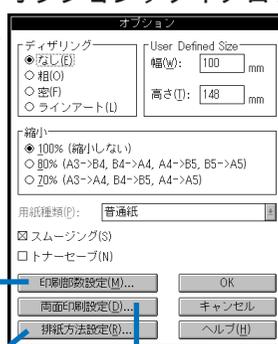
[オプション]をクリックすると、[オプション]ダイアログが表示されます。

[オプション]ダイアログの「印刷部数設定」「両面印刷設定」「排紙方法設定」をクリックすると、それぞれの設定ダイアログが表示されます。(「両面印刷設定」は両面印刷対応プリンタのみ、「排紙方法設定」は排紙先が複数あるプリンタのみ)

[FUJITSU XL-XXXX]ダイアログ



[オプション]ダイアログ



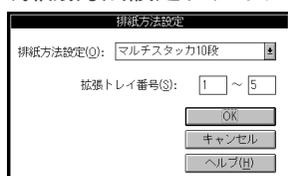
[印刷部数設定]ダイアログ



[両面印刷設定]ダイアログ



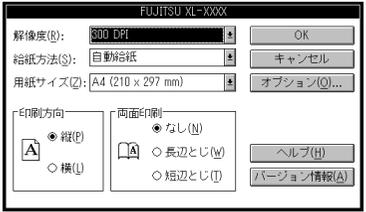
[排紙方法設定]ダイアログ

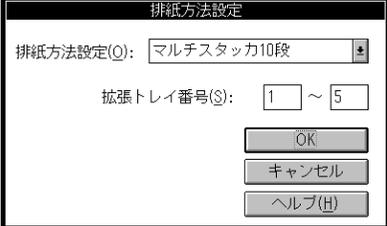


各ダイアログで、[OK]をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。

[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

■ ダイアログ一覧 (Windows 3.1)

画面	説明	備考
〔FUJITSU XL-XXXX〕		
	<p>以下の印刷に関する設定を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 用紙サイズ、印刷方向 2) 給紙方法 3) 解像度 4) 両面印刷の設定 (両面印刷対応プリンタのみ) 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「用紙サイズと向きを指定する」(98ページ) 参照 2) 「給紙 / 排紙方法を指定する」(100ページ) 参照 3) 「きれいに印刷する」(114ページ) 参照 「高速に印刷する」(118ページ) 参照 4) 「両面印刷」(112ページ) 参照
〔オプション〕		
	<p>以下の印刷に関する設定を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) デザリング、スムージング 2) 不定形用紙のサイズ 3) 縮小印刷 4) 用紙種類 5) トナーセーブ 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「きれいに印刷する」(114ページ) 参照 2) 「用紙サイズと向きを指定する」(98ページ) 参照 3) 「縮小印刷」(106ページ) 参照 4) 「給紙 / 排紙方法を指定する」(100ページ) 参照 5) 「オプション機能を設定する」(121ページ) 参照
〔印刷部数設定〕		
	<p>印刷部数や部単位印刷の設定を行います。 部単位印刷対応プリンタ以外では、部単位印刷の設定は行えません。</p>	<p>「複数部数 / 部単位印刷」(110ページ) 参照</p>

画面	説明	備考
<p>〔両面印刷設定〕</p> 	<p>両面印刷に関する設定を行います。 このダイアログは、両面印刷対応プリンタのみ表示されます。</p>	<p>「両面印刷」 (112 ページ) 参照</p>
<p>〔排紙方法設定〕</p> 	<p>排紙方法の設定を行います。 フェイスダウントレイのみのプリンタでは、この設定は表示されません。</p>	<p>「給紙 / 排紙方法を指定する」(100 ページ) 参照</p>

プリンタドライバの機能と設定の概要

ここでは、プリンタドライバの機能や設定についての概要を説明します。

設定の詳細については、各参照ページをお読みください。

印刷するときの設定

ここでは、実際に印刷を行うときの設定および機能の概要を、印刷の流れに沿って説明します。

1 データ（文書）の用紙サイズ、向きを指定する
アプリケーションで作成したデータ（文書）をそのまま印刷したときに、どのサイズの用紙に収まるようにするかを指定します。
（「用紙サイズと向きを指定する」（98 ページ）参照）

2 出力用紙、給紙／排紙方法を指定する
どの用紙（サイズ・種類）をどの給紙口から、どの排紙トレイに出力するかを指定します。
（「給紙／排紙方法を指定する」（100 ページ）参照）

ガイド アプリケーション側でこれらの設定が行える場合は、アプリケーション側の設定値が優先されます。このとき、プリンタドライバでの設定は不要です。

3 出力方法を指定する
どのように印刷するかを必要に応じて指定します。

■ 便利な印刷機能

アプリケーションの機能を使わずに、次の印刷を行うことができます。

機能	概要	参照先
拡大 / 縮小印刷	データを拡大または縮小して印刷します。(Windows 3.1 は縮小のみ) 例：B4 サイズに収まるように作成した文書を、A4 サイズの用紙に収まるように縮小して印刷したいときなど	102 ページ
N-up 印刷	1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷します。(Windows 98/95/NT4.0 のみ) 例：10 ページの文書を、1 枚の用紙に 2 ページ分ずつ、計 5 枚に印刷したいときなど	107 ページ
複数部数 / 部単位印刷	1 つの文書を 2 部以上印刷します。また、それらを部単位ごとに印刷することもできます。(Windows 98/95/3.1 は部単位印刷対応プリンタのみ部単位印刷が可能)	110 ページ
両面印刷	両面印刷を行います。 (両面印刷対応プリンタのみ)	112 ページ



アプリケーション側でこれらの設定が行える場合は、アプリケーション側の設定値が優先されることや、組み合わせられることがあります。

■ 印刷の調整に関する設定

印刷に関する細かい調整や設定を、行うことができます。

項目	内容	参照先
きれいに印刷する	画質を優先して印刷を行いたいときや、印刷データにあわせた画質の調整を行いたいときの設定について説明します。	114 ページ
高速に印刷する	印刷速度を優先して印刷を行いたいときについて説明します。	118 ページ
オプション機能を設定する	トナーセーブ印刷、文書中の白紙ページを印刷(出力)しないなど、オプション機能について説明します。	121 ページ

▼ より便利にお使いいただくための設定

ここでは、より便利にお使いいただくための機能や設定の概要について説明します。

■ Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0)

Printianaviによるメッセージの表示方法の設定を変更したり、プリンタの状態を表示したりすることができます。

項目	内容	参照先
Printianavi を有効にする	Printianavi をお使いになるために必要な設定について説明します。	123 ページ
メッセージの表示方法を変更する	Printianavi 機能により表示されるメッセージの表示方法を変更したいときや表示の有無の設定、表示画面について説明します。	125 ページ
プリンタの状態を表示する	プリンタの状態を確認するときの設定と操作、表示画面について説明します。	129 ページ
プリンタの状態を設定値に反映する	プリンタに装着されたオプションの情報をプリンタドライバに設定します。 (Printianavi による自動設定)	131 ページ

■ プリンタドライバに関する設定

プリンタドライバのバージョン表示や、プリンタドライバを正しく使うための設定について説明します。

項目	内容	参照先
オプションの装着状態を設定する	プリンタに装着されたオプションの情報をプリンタドライバに設定します。 (手動設定、Windows 98/95/NT4.0 のみ)	132 ページ
プリンタドライバのバージョンを確認する	プリンタドライバのバージョンを表示する方法について説明します。	134 ページ

注意事項

ここでは、プリンタドライバの設定を行う際の注意事項について説明します。

用紙と給紙口の機能の組み合わせについて

用紙や給紙口の指定によっては、次の設定や機能との組み合わせが行えませんのでご注意ください。

また、はがき、不定形用紙、厚紙、OHPフィルムに印刷するときは、必ず用紙を給紙トレイにセットしてください。

▶ Windows 98/95/NT4.0 のとき

設定によって限定される組み合わせは、次のとおりです。

(用紙サイズ 用紙種類 給紙方法 機能の順に優先されます。)

用紙サイズ	A3, A4, A5, B4, B5, Legal, Letter		はがき	ユーザ定義サイズ
用紙種類	普通紙	厚紙 OHPフィルム	厚紙 限定	普通紙 厚紙 OHPフィルム
給紙方法	手差し 給紙カセット × 自動給紙	手差し限定		
出力用紙の 選択	有効		無効(設定値に関係なく「現在の用紙(100%)」で印刷します)	
N-up印刷	有効		無効(設定値に関係なく「1up」で印刷します)	
両面印刷	有効	なし限定		

- ・「××限定」は、設定項目「××」でグレーアウトされて他の項目が選択できなくなることを示します。また、「給紙カセット×」の「×」は給紙カセットの番号を示します。
- ・は設定できないことを示します。

▷ Windows 3.1 のとき

設定によって限定される組み合わせは、次のとおりです。

(給紙方法 用紙サイズ 用紙種類 機能の順に優先されます。)

給紙方法	給紙カセット × 自動給紙	手差し			
用紙サイズ	A3, A4, A5 B4, B5, Legal, Letter 限定	A3, A4, A5 B4, B5, Legal, Letter	はがき	User Defined Size	
用紙種類	普通紙限定	普通紙	厚紙 OHPフィルム	厚紙 限定	普通紙 厚紙 OHPフィルム
両面印刷	有効	なし限定			

- ・「XX限定」は、設定項目が「XX」で固定されて他の項目の選択ができなくなることを示します。また、「給紙カセットX」の「X」は給紙カセットの番号を示します。
- ・は設定できないことを示します。

印刷するときの基本的な設定

ここでは、印刷を行うときに必要な基本的な設定について説明します。

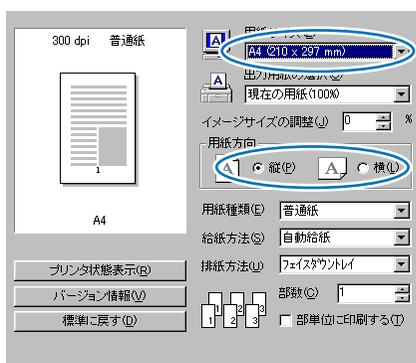
ガイド アプリケーション側でこれらの設定が行える場合は、アプリケーション側の設定値が優先されます。

用紙サイズと向きを指定する

アプリケーションで作成したデータ（文書）をそのまま印刷したときに、どのサイズの用紙に収まるようにするかを次の画面で指定します。

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

印刷する用紙サイズを指定します。

印刷可能な用紙サイズは、次のとおりです。

定型サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、Legal、Letter、はがき

不定形サイズ：ユーザ定義サイズ（幅：100～297mm 長さ：148～420mm）

（Windows 3.1 の場合は「User Defined Size」）

▶ お願い

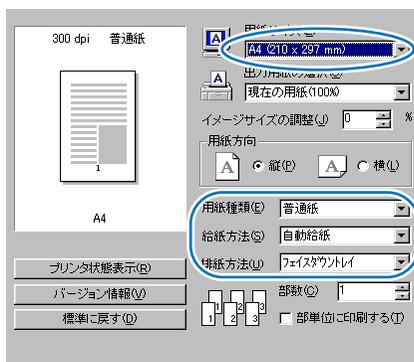
- ・はがきや不定形サイズの用紙は、給紙トレイ（「手差し」）にセットしてください。
- ・Windows 3.1 ではがきや不定形サイズ（「User Defined Size」）の用紙を指定するときは、先に給紙方法で「手差し」を選択してください。「手差し」以外の給紙方法では、用紙サイズの「はがき」「User Defined Size」が選択できません。

給紙 / 排紙方法を指定する

どの用紙（サイズ・種類）をどの給紙口から、どの排紙トレイに出力するかを次の画面で指定します。

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ

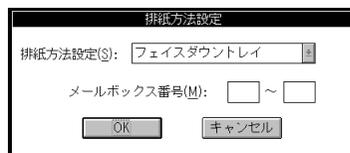


Windows 3.1 のとき

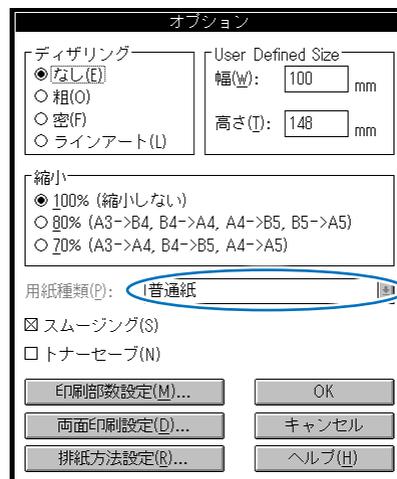
〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



〔排紙方法〕ダイアログ



〔オプション〕ダイアログ



▶ 出力用紙の選択 (Windows 98/95/NT4.0)

実際に印刷される用紙サイズを指定します。Windows 98/95/NT4.0では、この設定によって拡大 / 縮小印刷が可能になります。(「拡大 / 縮小印刷」(102 ページ) 参照)

通常の印刷の場合(「用紙サイズ」で指定したサイズの用紙に印刷する)は、「現在の設定(100%)」を選択します。

▶ 用紙種類

用紙の種類を指定します。

- 普通紙 厚みが、60 ~ 90g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。
- 厚紙（はがきを含む）... 厚みが、90 ~ 135g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。
- OHP フィルム ページプリンタ用の OHP フィルムをお使いください。

お願い

- ・厚紙やOHPフィルムの用紙は、給紙トレイ（「手差し」）にセットしてください。
- ・用紙サイズが「はがき」のときは、用紙種類は厚紙に限定されます。普通紙やOHPフィルムを指定するときは、はがき以外の用紙サイズを選択してください。
- ・Windows 3.1で厚紙やOHPフィルムを指定するときは、先に給紙方法で「手差し」を選択してください。「手差し」以外の給紙方法では、用紙種類の「厚紙」「OHPフィルム」を選択できません。

▶ 給紙方法

プリンタのどの給紙口から用紙を給紙するかを指定します。

- 自動給紙 出力するサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選択します。
- 給紙カセット× 給紙カセット×から給紙します。（×は給紙カセットの番号）
- 手差し 給紙トレイから給紙します。

ガイド

Windows 98/95/NT4.0でPrintianavi有効時は、「プリンタ状態表示」をクリックすると、各給紙口にセットされている用紙サイズや残量を確認することができます。（「プリンタの状態を表示する」（129ページ）参照）

▶ 排紙方法

印刷した用紙をどこに排紙するかを指定します。

ガイド

排紙トレイが1つ（フェイスダウントレイのみ）のプリンタでは、排紙方法の指定は不要です。

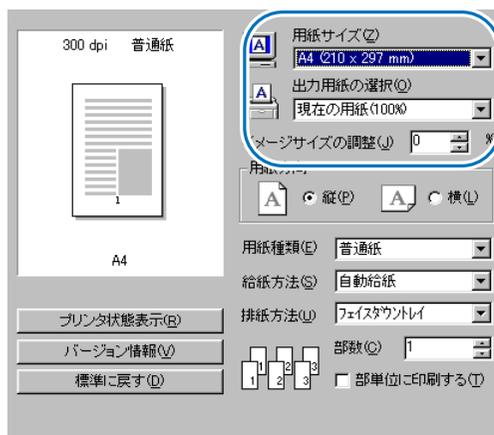
便利な印刷機能

ここでは、本プリンタドライバで行える便利な印刷機能の設定について説明します。

▼ 拡大 / 縮小印刷(Windows 98/95/NT4.0)

アプリケーションで作成したデータ(文書)を拡大または縮小して印刷します。

〔用紙〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

拡大 / 縮小する前の、用紙サイズを指定します。



アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。

▶ 出力用紙の設定

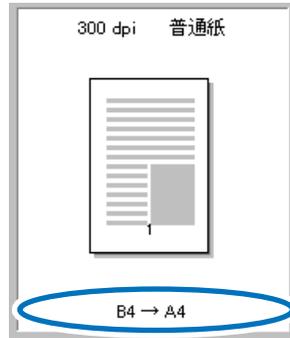
拡大 / 縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。

現在の用紙 (100%)..... 拡大 / 縮小印刷は行いません。

固定 用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大 / 縮小率を自動的に設定し、出力する用紙サイズを に固定して出力します。

自動 %拡大 拡大率を指定して拡大印刷します。

自動 %縮小 縮小率を指定して縮小印刷します。



出力用紙の設定を行うと、〔用紙〕ダイアログの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます。

例えば、「B4 A4」と表示されているときは、B4の用紙に収まるように作成した文書を、A4の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。

プリンタの給紙口に出力用紙で指定したサイズの入っている用紙が入っていることを確認してから印刷してください。



拡大/縮小率を算出した結果、印刷可能な用紙サイズにならないときは、自動的に印刷可能な用紙サイズの範囲内に設定します。この場合、拡大/縮小率も変更されます。

▶ イメージサイズの調整

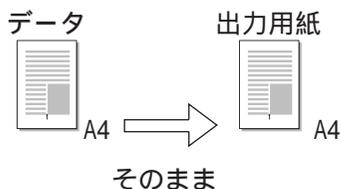
実際に出力する用紙サイズを変更せずに、- 50% ~ + 50%の範囲で印刷イメージだけの拡大/縮小率を設定します。

印刷結果が用紙にうまくおさまっていないときの調整用として設定することもできます。

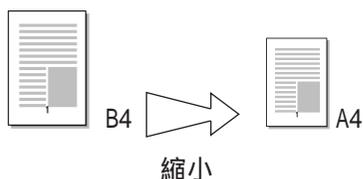
■ 拡大 / 縮小印刷の設定例

▶ 印刷する用紙サイズを固定する

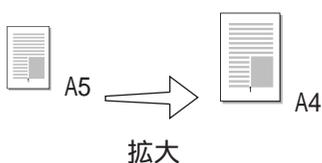
例：



- ・ A4 サイズに収まるように作成したデータは、A4サイズ用の用紙に収まるように印刷



- ・ B4 サイズに収まるように作成したデータは、縮小してA4サイズの用紙に収まるように印刷



- ・ A5 サイズに収まるように作成したデータは、拡大してA4サイズの用紙に収まるように印刷

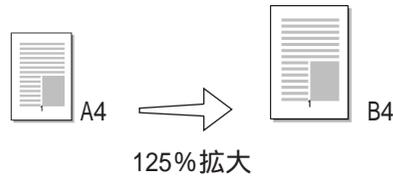
このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ 拡大 / 縮小前の用紙サイズを選択します。

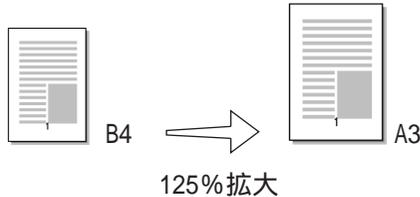
出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。

イメージサイズの調整 拡大 / 縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

▶ データを決まった拡大率で印刷する
例：



- ・ A4 サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大して B4 サイズの用紙に印刷



- ・ B4 サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大して A3 サイズの用紙に印刷

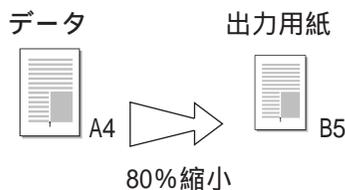
このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ 拡大前の用紙サイズを選択します。

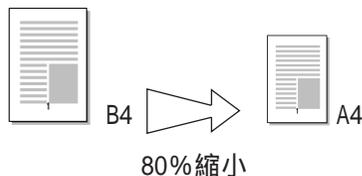
出力用紙の選択 「自動 125% 拡大」を選択します。

イメージサイズの調整 拡大した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

▶ データを決まった縮小率で印刷する
例：



- ・ A4 サイズに収まるように作成したデータを、80%縮小して B5 サイズの用紙に印刷



- ・ B4 サイズに収まるように作成したデータを、80%縮小して A4 サイズの用紙に印刷

このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ 縮小前の用紙サイズを選択します。

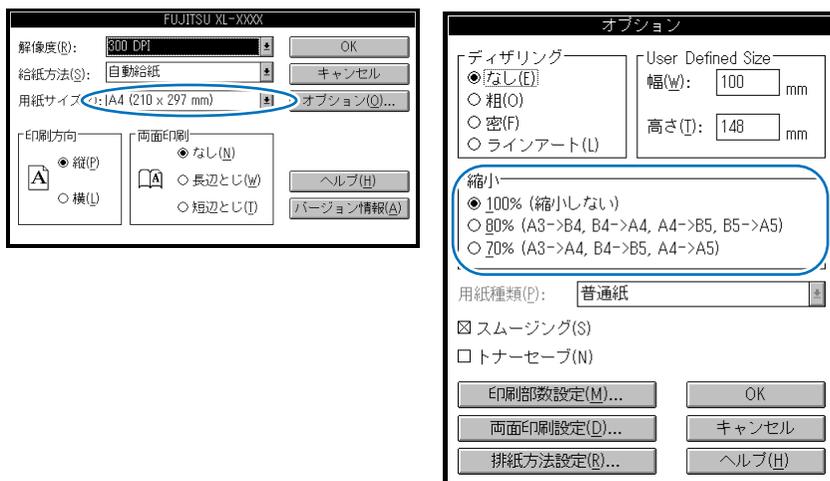
出力用紙の選択 「自動 80% 縮小」を選択します。

イメージサイズの調整 縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

縮小印刷(Windows 3.1)

アプリケーションで作成したデータ（文書）を縮小して印刷します。

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ 〔オプション〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

拡大／縮小する前の、用紙サイズを指定します。



アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常アプリケーション側の設定値が優先されます。

▶ 縮小

縮小印刷について指定します。

縮小印刷は、次の用紙サイズのときに行われます。

80%縮小 A3、B4、A4 または B5 用紙

(A3 は B4 に、B4 は A4 に、A4 は B5 に、B5 は A5 に縮小)

70%縮小 A3、B4 または A4 用紙

(A3 は A4 に、B4 は B5 に、A4 は A5 に縮小)

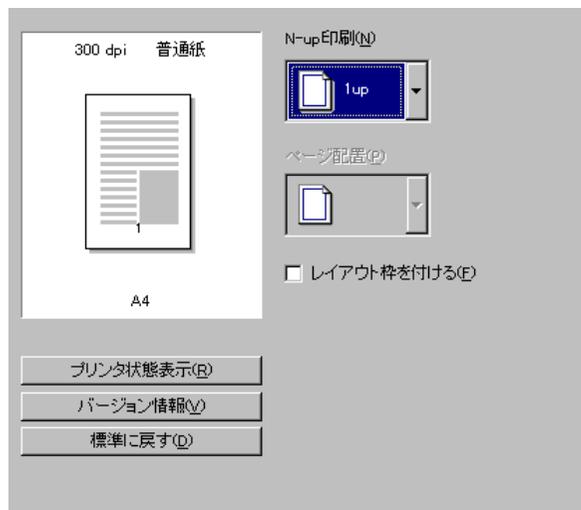
上記以外の用紙（A5、はがき、リーガル、レター、不定形用紙（User Defined Size）、および70%縮小指定時のB5用紙）を指定したときは縮小印刷を行いません。用紙サイズを確認のうえ、印刷してください。

▼ N-up 印刷 (Windows 98/95/NT4.0)

N-up印刷は、1枚の用紙に複数のページを配置して印刷する機能です。
N-up印刷を行うには、次の設定を行います。

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔レイアウト〕ダイアログ



▶ N-up 印刷

N-up印刷を行うときは、1up ~ 16upの中から1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

▶ ページ配置

N-up印刷を行うときに、1枚の用紙上のページの配置のしかたを指定します。

▶ レイアウト枠を付ける

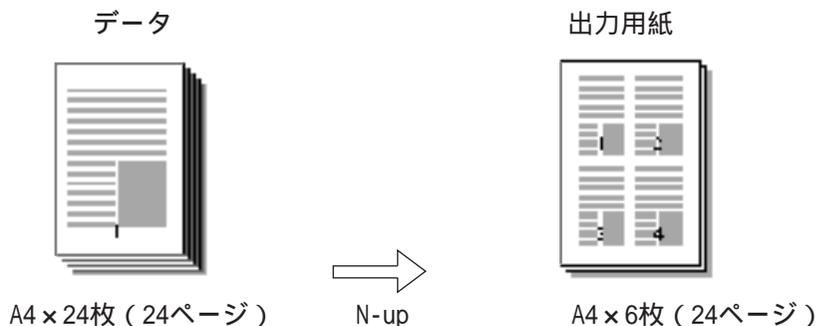
通常の1ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。
レイアウト枠を付ける場合は、チェックします。



- ・アプリケーションによっては、「N-up印刷」や「出力用紙の選択」を使用して印刷結果を拡大/縮小した場合、まれに期待どおりに印刷されないことがあります。このようなときには、「イメージサイズの調整」で調整してください。
- ・解像度の違いによってN-up印刷で印刷されるページの位置が異なる（ページ間の余白が異なる）場合があります。

N-up 印刷の設定例

▶ 作成したデータと出力する用紙のサイズが同じとき例：



A4 サイズに収まるように作成した 24 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ、合計 6 枚に収まるよう縮小し、左上 右上 左下 右下の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

〔レイアウト〕ダイアログ

N-up 印刷 「4up」を選択します。

ページ配置 「右下」を選択します。

レイアウト枠を付ける 1 ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

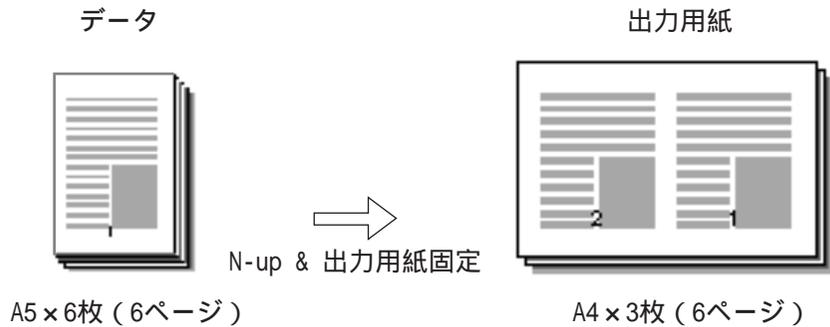
〔用紙〕ダイアログ

用紙サイズ 「A4」を選択します。

出力用紙の選択 「現在の用紙 (100%)」を選択します。

イメージサイズの調整 印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

▶ 作成したデータと出力する用紙のサイズが違うとき
例：



A5サイズに収まるように作成した6ページのデータを、A4サイズの用紙1枚に2ページ分ずつ、合計3枚に収まるように、右 左の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

〔レイアウト〕ダイアログ

N-up印刷 「2up」を選択します。

ページ配置 「右 左」を選択します。

レイアウト枠を付ける 1ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

〔用紙〕ダイアログ

用紙サイズ 「A5」を選択します。

出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。

イメージサイズの調整 印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

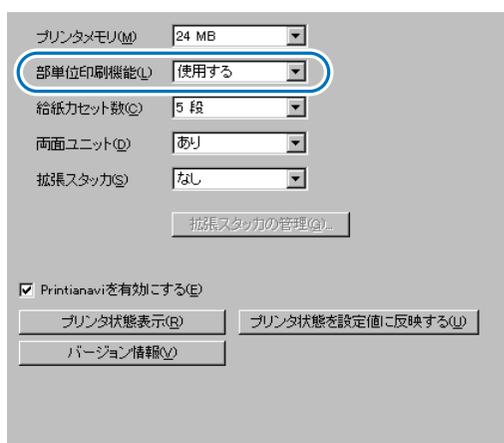
▼ 複数部数 / 部単位印刷

1回の印刷で同じ文書を2部以上印刷したいときは、複数部数印刷を、さらにそれらを部単位に出力させるときは部単位印刷を行います。

■ Windows 98/95/NT4.0 のとき

(画面の例はWindows 98/95の場合)

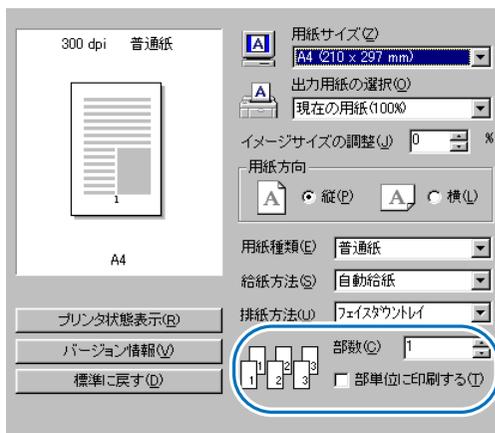
〔装置オプション〕ダイアログ



▶ 部単位印刷機能

部単位印刷をする場合は、「使用する」に設定します。

〔用紙〕ダイアログ



▶ 部数

印刷する部数を、1～999部の範囲で指定します。

▶ 部単位に印刷する

2部以上印刷するとき、部単位で出力するかページ単位で出力するかを指定します。

部単位で印刷するときは、チェックします。

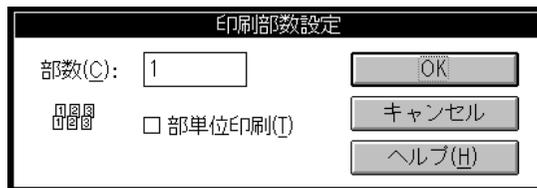


この設定で部単位印刷を行えるのは、次のいずれかに当てはまる場合のみです。

- 1) お使いのプリンタが部単位印刷対応プリンタの場合
- 2) 印刷を行うパソコンのOSがWindows NT4.0で、Printianaviが有効の場合
また、プリンタのプロパティで〔スケジュール〕ダイアログの「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」が選択されていることが必要です。
- 3) Windows 98/95のクライアントから、2)の条件を満たしたWindows NT4.0のサーバ経由で印刷を行う（Printianavi有効）場合

■ Windows 3.1 のとき

〔印刷部数設定〕ダイアログ



▶ 部数

印刷する部数を、1～999部の範囲で指定します。

▶ 部単位印刷（部単位印刷対応プリンタのみ）

2部以上印刷するとき、部単位で出力するかページ単位で出力するかを指定します。

部単位で印刷するときは、チェックします。



部単位印刷対応プリンタ以外では、この設定はグレーアウトされます。

両面印刷（両面印刷対応プリンタのみ）

両面印刷対応プリンタで両面印刷を行うには、次の設定を行います。

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔両面印刷〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



〔両面印刷設定〕ダイアログ



▶ 両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷を長い辺でとじるか短い辺でとじるかを設定します。Windows 98/95/NT4.0では、とじしろ位置も同時に設定します。

なし 片面印刷をします。

長辺とじ 用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。
とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは左か右、横のときは上か下を選択します。

短辺とじ 用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。
とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは上か下、横のときは左か右を選択します。

ガイド

- ・次の用紙には、両面印刷できません。
はがき、不定形用紙(「ユーザ定義サイズ」(Windows 3.1は「User Defined Size」)、厚紙、OHP フィルム
- ・A3、B4、リーガルの用紙に600dpiで両面印刷を行うには、プリンタRAM モジュールの増設が必要です。

▶ **とじしろ量**

両面印刷時のとじしろ量を、0～30mmの範囲で、用紙の裏と表を別々に設定します。

▶ **とじしろ位置 (Window3.1 のみ)**

両面印刷時のとじしろ位置を設定します。

▶ **白紙ページの印刷 (Windows 98/95/NT4.0 のみ)**

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷(出力)するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

片面、両面それぞれの場合について設定できます。

ガイド

- ・〔レイアウト〕ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
- ・〔印刷オプション〕ダイアログでも設定できます。

▶ **白紙ページを印刷する (Windows 3.1 のみ)**

両面印刷時に印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷(出力)するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

印刷の調整に関する設定

ここでは、印刷に関する細かい設定やその他の設定について説明します。

きれいに印刷する

文字やグラフィックをきれいに印刷するための設定について説明します。

解像度

グラフィックは解像度を上げると鮮明に印刷できます。
解像度は、次の画面で設定します。

Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



いずれの画面でも、プリンタの解像度を、1インチあたりのドット数で指定します。

値の大きい方が細かいドットで印刷できますが、印刷に時間がかかることがあります。

ガイド

解像度が600dpiの場合、印刷する用紙サイズや方法によってはプリンタRAMモジュールの増設が必要ですのでご注意ください。

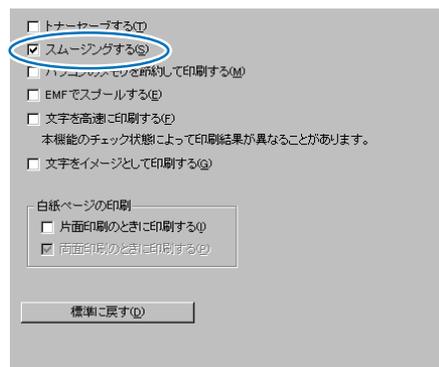
XL-5720/5320	
プリンタRAMモジュールの増設が必要な場合	A3、B4、リーガル、ユーザ定義（不定形）用紙に600dpiで印刷するとき
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処（Printianavi有効時）	パソコンに「メモリ不足」のエラーメッセージが表示され、印刷が打ち切られます。 エラーメッセージを確認後、〔OK〕をクリックしてください。
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処（Printianavi無効時）	プリンタの液晶画面にRAM不足のメッセージが表示されます。 プリンタのリセットスイッチを2回押してプリンタを初期化した後、オンラインにしてください。
再度印刷するときは	解像度の設定を300dpiに変更するか、A4サイズの用紙に収まるように縮小設定にして印刷し直してください。

■ スムージング

文字や図形のギザギザ（ジャギー）をなめらかに印刷するかどうかを設定できます。

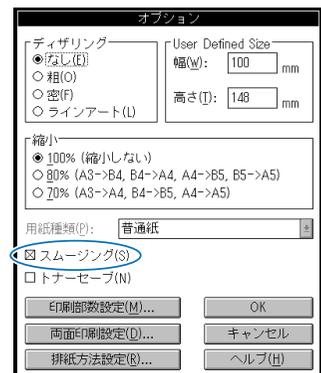
スムージングは、次の画面で設定します。

Windows 98/95/NT4.0 のとき 〔印刷オプション〕ダイアログ



（両面の例は Windows 98/95 の場合）

Windows 3.1 のとき 〔オプション〕ダイアログ



スムージングするときは、チェックします。

■ ディザ (ディザリング)、明るさ、ハーフトーンカラーの調整

以下の設定で、必要に応じてカラーのデータをモノクロで印刷したときの階調や明るさの調整を行うことができます。(通常は変更する必要はありません。)

Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔オプション〕ダイアログ



- ▶ **ディザ (ディザリング) (Windows 98/95/3.1)**
グラフィックスを印刷するときに、カラーの部分をもノクロのディザパターンに置き換えて階調をつけます。
- ▶ **明るさ (Windows 98/95)**
グラフィックスを印刷する明るさを指定します。
- ▶ **ハーフトーンカラーの調整 (Windows NT4.0)**
ハーフトーンの階調を設定します。

 **ガイド** Windows NT4.0 のとき、プリンタが使用するハーフトーン
の選択は、〔装置オプション〕ダイアログで行います。

高速に印刷する

印刷を速くしたい場合は、次の設定を行います。

解像度

解像度を下げると、印刷が速くなります。

解像度は、次の画面で設定します。

Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



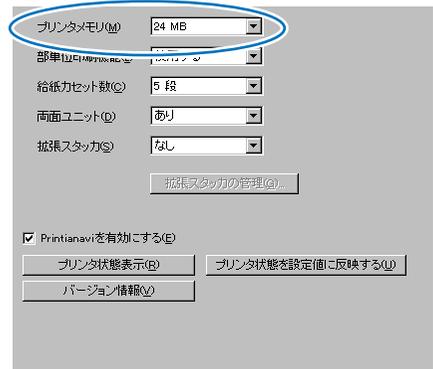
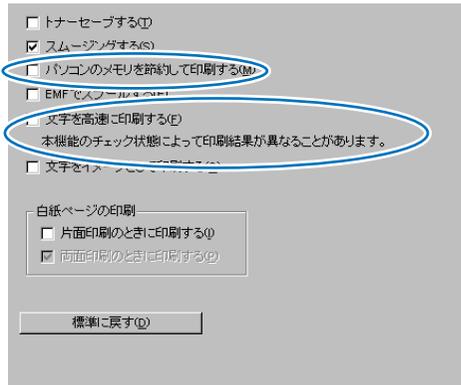
プリンタの解像度を、1インチあたりのドット数で指定します。
値が小さい方が高速に印刷できますが、写真などのデータはドットが粗くなります。

文字を高速に印刷する / プリンタメモリ (Windows 98/95/NT4.0)

Windows 98/95/NT4.0 のとき (画面の例はWindows 98/95の場合)

〔印刷オプション〕ダイアログ

〔装置オプション〕ダイアログ



文書中で使用されている文字をプリンタに登録することによって、文字データを高速印字します。

文字を高速に印刷するときは、次の設定を行ってください。

1 〔装置オプション〕ダイアログで「プリンタメモリ」の設定を行う

XL-5720/5320 では、プリンタ RAM モジュールの増設が必要です。プリンタ RAM モジュールの増設後、「プリンタメモリ」の設定を行ってください。

2 〔印刷オプション〕ダイアログで「パソコンのメモリを節約して印刷する」のチェックをはずす

この設定がチェックされていると、「文字を高速に印刷する」の設定は行えません。

3 〔印刷オプション〕ダイアログで「文字を高速に印刷する」をチェックする



- Printianaviが有効になっている場合は、〔プリンタ状態を設定値に反映する〕をクリックすると、プリンタメモリの設定が簡単に行えます。
- 「文字を高速に印刷する」をチェックすると、「文字をイメージとして印刷する」設定は無効になります。(Windows 98/95のみ)
- 「文字を高速に印刷する」を設定したときに、とくに効果があるのは、同一文字が何度も使用されていて、文字以外のデータが少ないデータです。
印刷するデータによっては、期待された効果がでないことや、グラフィックスと文字が重なっている部分の印刷結果が異なることがあります。このようなときは、チェックをはずして使用してください。
- 600dpiで写真などをグラフィック印刷する場合、スムージングをしない設定の方がきれいな印刷結果を得られることがあります。

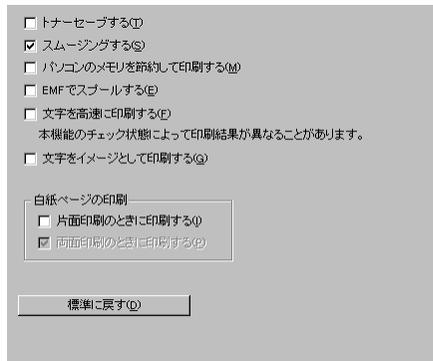
▼ オプション機能を設定する

ここでは、これまでに説明した以外の印刷に関する機能について説明します。

Windows 98/95/NT4.0 のとき Windows 3.1 のとき

〔印刷オプション〕ダイアログ

〔オプション〕ダイアログ



(画面の例は Windows 98/95 の場合)

▶ トナーセーブする (トナーセーブ)

印刷時のトナーの量を少なくし、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

トナーセーブするときは、チェックします。

▶ パソコンのメモリを節約して印刷する (Windows 98/95/NT4.0)

メモリ搭載量が少ないパソコンなどで、用紙サイズ1枚分のイメージデータ展開用のメモリをパソコン側に確保したくないときにチェックします。

◆ ガイド

・「パソコンのメモリを節約して印刷する」がチェックされていると、一部のアプリケーションで正しく印刷できない場合があります。このようなときは、チェックをはずしてください。

・「パソコンのメモリを節約して印刷する」をチェックすると、「文字を高速に印刷する」機能は無効になります。また、「EMFでスプールする」がチェックされた状態でグレーアウトされます。

ガイド ・メモリ搭載量が少ないパソコンで、「パソコンのメモリを節約して印刷する」のチェックがはずれていると、印刷開始までに時間がかかる場合があります。

▶ **EMF でスプールする (Windows 98/95/NT4.0)**

スプールデータ形式をEMFに指定します。この設定は、Windows 98/95の場合は〔詳細〕ダイアログの「スプールの設定」、Windows NT4.0の場合は〔全般〕ダイアログの「プリントプロセッサ」でEMF形式が設定されているときのみチェックすると有効になります。

ガイド ・「パソコンのメモリを節約して印刷する」をチェックすると、EMFでスプールします。
・EMF形式で印刷したときに問題が起こる場合は、チェックを外してご使用ください。

▶ **文字をイメージとして印刷する (Windows 98/95)**

文字データをイメージデータとして扱います。
文字をイメージデータとして扱うときは、チェックします。

ガイド 「文字を高速に印刷する」をチェックすると、この設定は無効になります。

▶ **白紙ページの印刷 (Windows 98/95/NT4.0)**

印刷するページに白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷（出力）するかどうかを設定します。
白紙のページを印刷するときは、チェックします。
両面印刷対応プリンタの場合、片面、両面それぞれの場合について設定できます。

ガイド ・〔レイアウト〕ダイアログで「レイアウト枠をつける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
・両面印刷対応プリンタの場合、〔両面印刷〕ダイアログでも設定できます。

Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0)

プリンタの状態を見たり、エラー時のメッセージの表示方法などを変更したりするには、Printianavi の設定を行います。
また、Printianaviを利用してプリンタドライバに設定値を反映することもできます。

ガイド Windows NT4.0 の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてから設定を行ってください。

Printianavi を有効にする

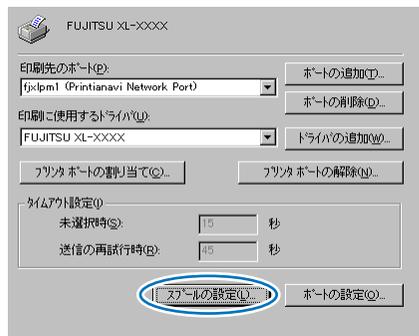
Printianavi 機能をお使いになるには、次の設定が必要です。

1 プリンタのプロパティを開く

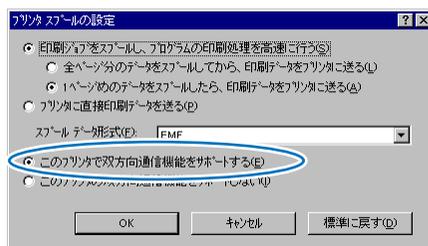
〔スタート〕〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択して、プリンタフォルダを開き、設定を行うプリンタを選択した後、〔ファイル〕メニューの「プロパティ」を選択します。

2 双方向通信機能を有効にする

・Windows 98/95 のとき

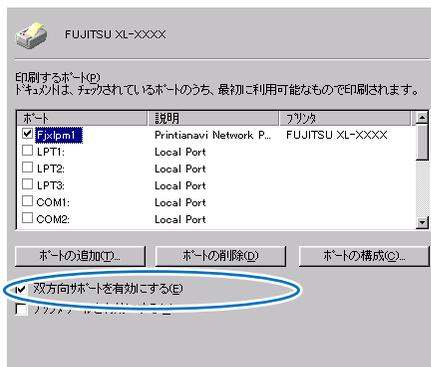


1〔詳細〕ダイアログの「スプールの設定」をクリックする
「プリンタスプールの設定」ダイアログが表示されます。



2「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」をチェックする
設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

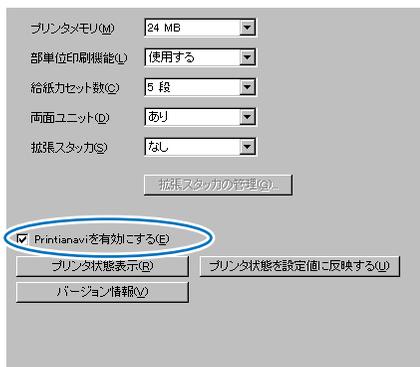
・ Windows NT4.0 のとき



〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」をチェックします。

3 Printianavi を有効にする

〔装置オプション〕ダイアログの「Printianavi を有効にする」をチェックします。(画面の例は Windows 98/95)
設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。



▼ メッセージの表示方法を変更する

Printianaviによるメッセージをどこに、どのように表示するかを設定します。



- ・ Printianavi の設定を行うには、〔装置オプション〕ダイアログの「Printianavi を有効にする」がチェックされている必要があります。（「Printianavi を有効にする」（123 ページ）参照）
- ・ 表示されるアイコンやメッセージの詳細は、付録の「メッセージ一覧」を参照してください。

〔Printianavi〕ダイアログ



▶ 印刷中のステータス表示

印刷中のプリンタのステータスの表示方法を指定します。
ステータス表示の種類については、「印刷中のステータス表示について」（126 ページ）を参照してください。

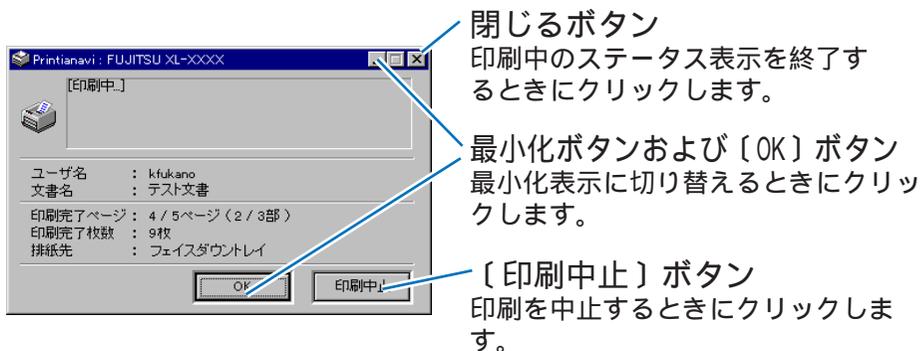
- エラー時ポップアップ 印刷中のステータスを、通常はタスクトレイにアイコン表示し、エラー発生時のみポップアップ表示します。エラーが解除されると自動的にタスクトレイでのアイコン表示に戻ります。
- ポップアップ 印刷中のステータスを、常にポップアップ表示します。
- 最小化 印刷中のステータスを、常にタスクトレイにアイコン表示します。
- 表示しない 印刷中にステータスを表示しません。

印刷中のステータス表示について

印刷中のステータス表示には、次の2つがあります。
どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

ポップアップ表示

画面上にウィンドウで表示します。



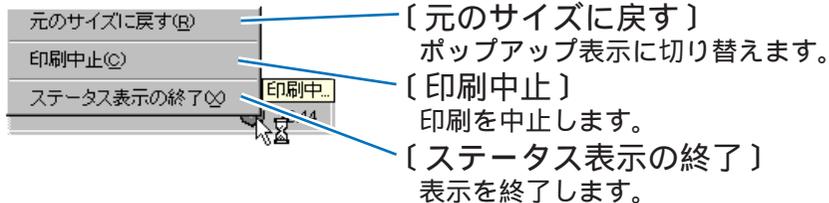
印刷完了ページは、部単位印刷のときのみ部数が表示されます。

最小化表示

タスクトレイにアイコンで表示します。



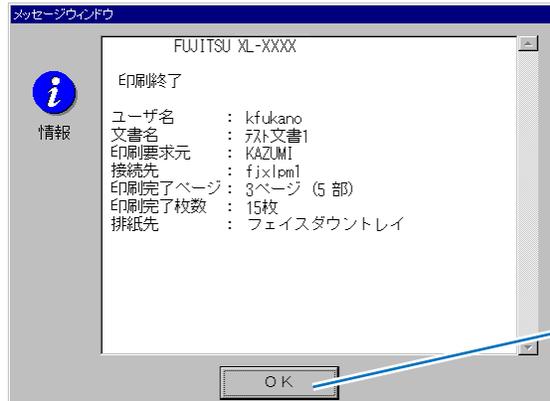
- ・ダブルクリックすると、ポップアップ表示に切り替えます。
- ・マウスカーソルを合わせると、簡単なステータスを表示します。
- ・右クリックすると、次のメニューが表示されます。



▶ 印刷の終了を通知する

印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

印刷終了のメッセージ例



〔OK〕ボタン
クリックすると、
表示を終了します

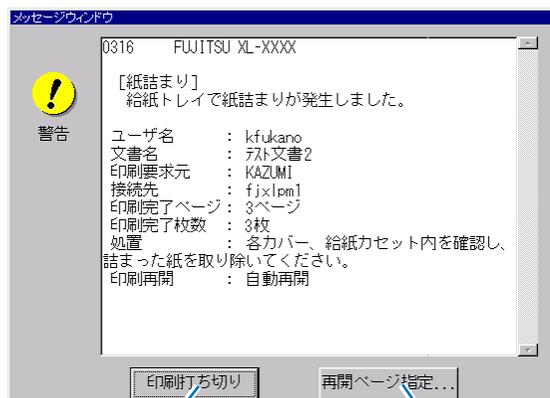
印刷完了ページは、部単位印刷のときのみ部数が表示されます。

▶ エラーを通知する

エラーメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

このエラーメッセージはエラーが発生したときのみ表示され、エラーを解除するか、または印刷を打ち切るまで表示を終了しません。

エラーメッセージ例



〔印刷打ち切り〕ボタン
クリックすると、印刷を打
ち切ります。

〔再開ページ指定〕ボタン
クリックすると、エラー解除後に何ペ
ージ目から印刷し直すかを指定するこ
とができます。（再開ページ指定が可能
な場合のみ表示されます。）



- ・「印刷中のステータス表示」で「表示しない」をチェックしたときは、チェックされた状態でグレーアウトされ、必ずエラーメッセージを表示します。
- ・エラーメッセージには、「警告」(リカバリ可能なエラー)と「停止」(リカバリ不可能なエラー)の2種類があります。これらはメッセージウィンドウの左側にアイコンと文字で表示されます。また、次のエラーは〔エラーを通知する〕の設定に関係なくエラーメッセージを通知します。
 - 「停止」エラー：必ず通知します。
 - 「警告」エラー：Printianavi ネットワーク連携ユーティリティでサーバ共有のプリンタに対して Printianavi機能を使用している場合は通知します。
- ・部単位印刷を行っているときは、「印刷完了ページ」のページ数の後ろに「(印刷中の部数 / 印刷総部数)」の形式で、現在何部目の印刷を行っているかを表示します。また、部単位印刷時は再開ページの指定は行えません。

▶ TCP/IP を使用する

通信(メッセージの通知)にTCP/IPを使用するかどうかを指定します。LAN(TCP/IP)で接続されたプリンタ、またはサーバの共有プリンタで印刷するときはチェックします。

チェックすると、Printianaviが通知するメッセージをどのパソコンで表示するかを指定することができます。

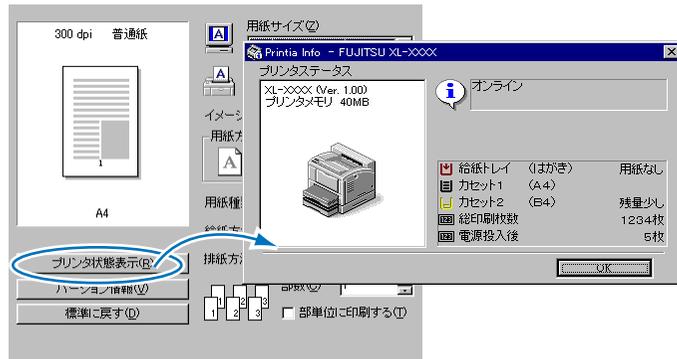
通常は、〔このコンピュータ〕を選択します。現在設定操作をしているパソコン以外に表示させたい場合は、〔コンピュータを指定〕をクリックして、「ホスト名またはIPアドレス」に、表示先のホスト名またはIPアドレス(半角数字とピリオドで「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式)を指定します。

▼ プリンタの状態を表示する

ここでは、プリンタの状態を表示する操作と表示画面について説明します。

- **ガイド** ・プリンタの状態を表示するには、Printianavi が有効になっている必要があります。(「Printianavi を有効にする」(123 ページ) 参照)
- ・表示されるアイコンやメッセージの詳細は、付録の「メッセージ一覧」を参照してください。

■ 表示方法



画面の例は〔用紙〕ダイアログです。

- 〔プリンタ状態表示〕をクリックします。
- 〔プリンタ状態表示〕は、〔用紙〕〔レイアウト〕〔装置オプション〕〔Printianavi〕の各ダイアログにあります。

- **ガイド** サーバ共有のプリンタのステータスを表示するには、Printianavi 連携ユーティリティをクライアントとサーバの両方にインストールしてください。

■ 画面の説明



プリンタ名 プリンタにつけた名前 (〔全般〕または〔情報〕ダイアログに表示される名前) を表示します。

プリンタモデル名 / プリンタ本体のモデル名とファームウェアバージョンのバージョンを表示します。

プリンタメモリ プリンタに搭載されているメモリ容量を表示します。

プリンタ情報ビットマップ プリンタモデルや給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

オプション情報 プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。(XL-5720/5320では表示されません。)

ステータスアイコン プリンタの状態をアイコンで表示します。

プリンタ状態 プリンタの状態を文字で表示します。

エラー詳細 プリンタ状態の詳細やトナーの残りが少ないなどの警告、エラーの対処方法を表示します。

給紙情報 / 印刷枚数 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。

ステータスウィンドウを閉じるには、〔OK〕をクリックします。

表示されるメッセージやアイコンの詳細については、付録の「メッセージ一覧」を参照してください。



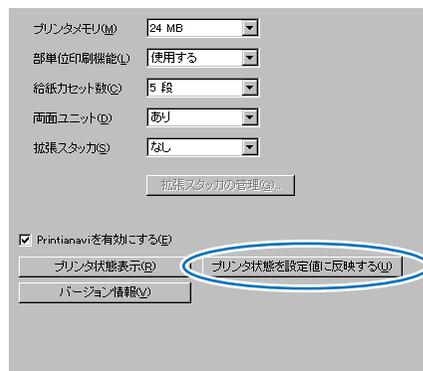
ステータスウィンドウで「給紙トレイ」と表示される給紙口は、〔用紙〕ダイアログの「給紙方法」の「手差し」と対応しています。

▼ プリンタの状態を設定値に反映する

ここでは、プリンタに装着されたメモリや給紙カセットの段数などを、Printianaviを利用してプリンタドライバの設定値に反映する操作について説明します。



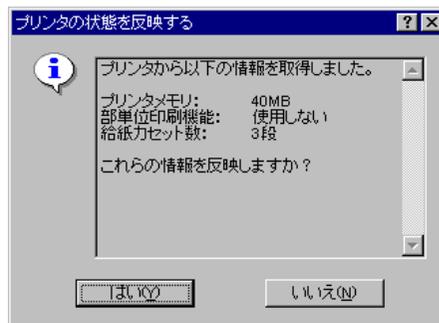
- ・プリンタの状態を設定値に反映するには、Printianaviが有効になっている必要があります。(「Printianaviを有効にする」(123ページ)参照)
また、プリンタドライバと実際に接続されているプリンタのモデルが同じであることが必要です。モデルが異なる場合は、設定を反映できません。
- ・手動で設定値を設定するときは、「オプションの装着状態を設定する」(132ページ)を参照してください。



1 「装置オプション」ダイアログで、「プリンタ状態を設定値に反映する」をクリックする
画面の例はWindows 98/95の場合です。



2 「通信中です...」というダイアログが表示される
中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。



3 「はい」をクリックする
取得した情報が「装置オプション」ダイアログの各設定値に反映されます。設定値に反映したくないときは、「いいえ」をクリックしてください。

プリンタドライバに関する設定

ここでは、プリンタドライバのバージョンを見たり、プリンタドライバを正しく使用するための設定について説明します。

▼ オプションの装着状態を設定する

(Windows 98/95/NT4.0)

プリンタに装着されたメモリや給紙カセットの段数などをプリンタドライバに正しく設定すると、オプションの装着状態によって使用できる機能の設定が行えるようになると同時に、使用できない機能を誤って設定しないようにします。

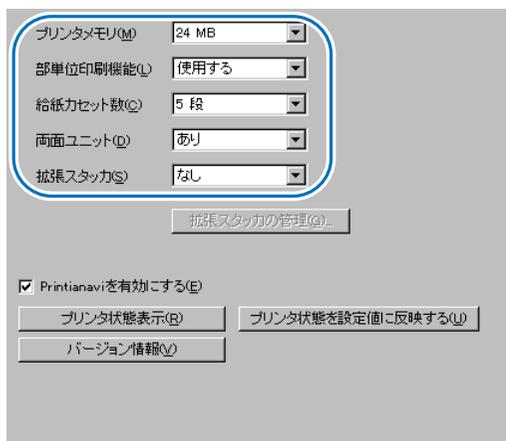


ガイド Printianavi が有効のときは、プリンタと通信を行って情報を取得し、設定値に反映することもできます。

(「プリンタの状態を設定値に反映する」(131 ページ) 参照)

〔装置オプション〕ダイアログ

(画面の例は Windows 98/95 の場合)



▶ プリンタメモリ

プリンタに装着されているメモリの容量を設定します。



ガイド ・プリンタメモリの容量は、プリンタ状態表示 (Printianavi 有効時) またはプリンタ装置から行う設定の印刷 (メニュー印刷) の RAM 容量で確認することができます。

・プリンタメモリの容量が少ないと、機種によっては〔印刷オプション〕の「文字を高速に印刷する」機能が使用できない場合があります。このときは、オプションのプリンタ RAM モジュール増設後、この設定値を変更してください。

▷ 部単位印刷機能

部単位印刷機能を使用するかどうかを設定します。

使用しない場合は、〔用紙〕ダイアログの「部単位に印刷する」の設定がグレーアウトされます。



「プリンタ状態を設定値に反映する」で部単位印刷が「使用する」と反映される場合は、お使いのプリンタで部単位印刷を行うことができます。

「使用しない」と反映された場合でも、手動で「使用する」に設定できますが、部単位印刷を行うには制限があります。詳細については、「複数部数 / 部単位印刷」(110 ページ)を参照してください。

▷ 給紙カセット数

プリンタに装着されている給紙カセットの段数を設定します。

設定した段数分だけ、〔用紙〕ダイアログの「給紙方法」に設定可能な給紙カセットの名前が表示されます。

▷ 両面ユニット

両面ユニットが装着されているかどうかを設定します。

両面ユニット「あり」(装着されている)の場合は、〔両面印刷〕ダイアログの設定が可能になります。



両面ユニットをサポートしない機種では、この項目はグレーアウトされます。

▷ 拡張スタッカ

拡張スタッカが装着されているかどうかを設定します。

拡張スタッカが「なし」以外の(装着されている)場合は、「拡張スタッカの管理」の設定が可能になります。

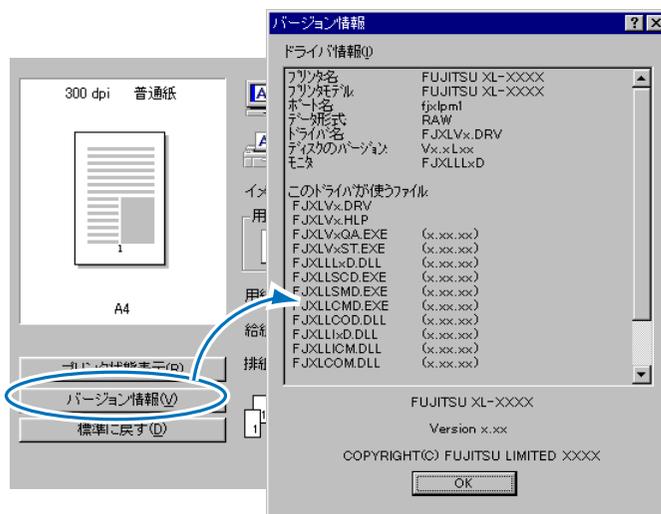


拡張スタッカをサポートしない機種では、この項目はグレーアウトされます。

▼ プリンタドライバのバージョンを確認する

プリンタドライバのバージョンは、次の画面で確認します。

■ Windows 98/95/NT4.0 のとき



画面の例は〔用紙〕ダイアログです。

〔バージョン情報〕をクリックします。

〔バージョン情報〕は、〔用紙〕〔レイアウト〕〔装置オプション〕〔Printianavi〕の各ダイアログにあります。

■ Windows 3.1 のとき



〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログの〔バージョン情報〕をクリックします。

付 録

Printianavi から通知されるエラーメッセージとステータスの一覧、および問題が発生した場合の対処方法（トラブルシューティング）について示します。

メッセージ一覧	136
プリンター一覧 (Printianavi マネージャ).....	136
プリンタステータス (Printianavi マネージャ、 Printia XL ドライバ).....	138
Printianavi によるメッセージ表示一覧	143
ネットワーク用語の解説	152
NetWare5 の TCP/IP 環境での印刷	154
Printia XL トラブルシューティング	157

メッセージ一覧

▼ プリンター一覧 (Printianavi マネージャ)



Printianavi マネージャの
〔プリンター一覧〕

表示内容	意味	アイコン	備考
(空白)	プリンタは正常状態です。		
印刷中	印刷中です。		
停止中	プリンタが一時停止状態となっています。		
他で使用	プリンタが他のコンピュータより使用されています。		プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。
セットアップ中	プリンタがセットアップ中です。		
プリンタ空き待ち	プリンタが他のコンピュータより使用されており、その終了を待ち合せています。	情報あり	
準備中	プリンタのウォームアップ/クールダウン完了を待ち合せています。		
パワーセーブ	プリンタがパワーセーブ状態です。		
印刷設定中	プリンタが印刷設定中です。		
トナー少	トナーが残り少なくなっています。		
印刷中 (トナー少)	印刷中かつトナーが残り少なくなった状態です。		

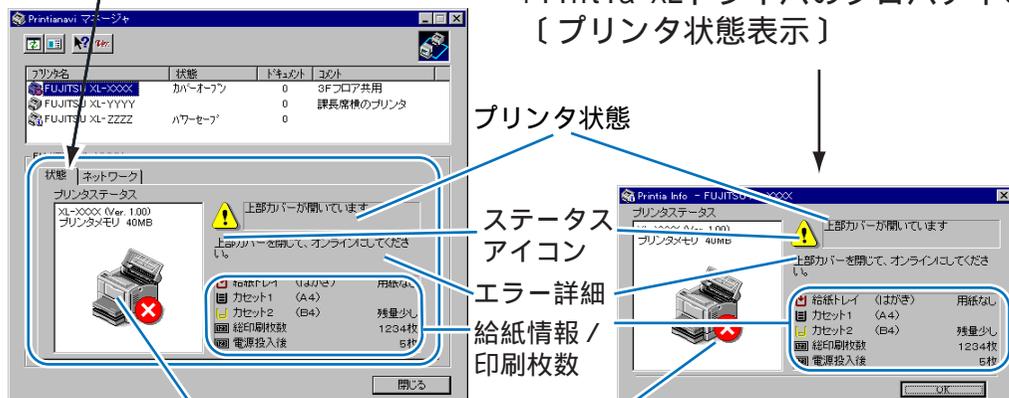
警告あり

表示内容	意味	アイコン	備考
オフライン	プリンタがオフライン状態です。	 異常状態	プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。
用紙なし	プリンタの用紙がありません。		
カセットなし	プリンタのカセットがセットされていません。		
カバーオープン	プリンタがカバーオープン状態です。		
用紙交換	プリンタの用紙を交換してください。		
紙詰まり	プリンタが紙詰まり状態です。		
カートリッジなし	プリンタのプロセカートリッジが正しくセットされていません。		
メモリ不足	プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えない状態です。		
メモリオーバー	プリンタでメモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。		
プリンタリセット	プリンタがプリンタリセットエラー状態です。		
ハードエラー	プリンタがハードエラー状態です。		
通信エラー	プリンタとの通信が異常となりました。		
応答なしエラー	プリンタからの応答がありません。		
エラー	その他のエラーが発生しています。		
(空白)	プリンタの情報を取得中です。	その他	

▼ プリンタステータス (Printianavi マネージャ、Printia XL ドライバ)

Printianavi マネージャの
〔状態〕

Printia XL ドライバのプロパティの
〔プリンタ状態表示〕



プリンタ情報ビットマップ
プリンタの機種や給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

■ 給紙情報

給紙情報で表示されるアイコンは、次のとおりです。

アイコン (色)	説明
 (黒)	用紙が入っています。
 (黄色)	用紙が残り少なくなっています。用紙サイズの横に「残量少し」と表示されます。
 (暗い赤色)	用紙がありません。この給紙口から印刷を行う前に、用紙を補給してください。
 (暗い赤色)	用紙サイズが正しくセットされていません。 給紙カセットが正しくセットされていません。 給紙カセットにサポート外の用紙をセットしたときは「用紙サイズエラー」、給紙カセットが正しく装着されていないときは「カセットなし」と表示されます。(用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。)
 (グレー)	プリンタからの情報をまだ取得していないか、取得に失敗したため、給紙情報が不明です。 (用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。)

また、次のプリンタ状態（エラー）の場合は、エラーが発生している給紙口情報の文字が暗い赤色で表示されます。

プリンタ状態	暗い赤色で表示される給紙口
給紙カセットがセットされていません	カセットなしの給紙口すべて
給紙トレイの用紙サイズが違います	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙サイズが違います	カセット×
給紙トレイの用紙がありません	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙がありません	カセット×
給紙トレイで紙詰まりが発生しました	給紙トレイ
給紙カセット×で紙詰まりが発生しました	カセット×

ただし、これらはプリンタ状態の表示内容と同期しているため、給紙口のエラーが解除されないまま他のエラーが発生した場合は、給紙口情報の文字は黒色になります。（例えば、プリンタ状態が「給紙カセットがセットされていません」のとき、カセットをセットしないで上部カバーを開くと、プリンタ状態は「上部カバーが開いています」に変わり、同時に暗い赤色で表示された給紙情報の文字は黒色になります。）

■ ステータスアイコン / プリンタ状態 / エラー詳細

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 正常	オンライン	
	パワーセーブ中 ...	
	準備中 ...	
	印刷中 ...	
	情報取得中 ...	しばらくおまちください。
	他で使用	プリンタ装置が他で使用中です。
	情報設定中 ... (注 1)	しばらくおまちください。
	情報の設定が完了しました(注 1)	しばらくおまちください。
 トナー少 (黄色)	オンライン	トナーが残り少なくなりました。
	パワーセーブ中 ...	
	準備中 ...	
 エラー、警告	印刷中 ...	
	プリンタからの応答がありません(注 2)	
	プリンタが印刷設定中です	
	上部カバーが開いています	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	プリンタがオフラインとなっています	プリンタをオンラインにしてください。
	プリンタがリセットされました	プリンタをオンラインにしてください。
	リモート設定中です	しばらくおまちください。
	初期化中です	しばらくおまちください。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A4 以下のサイズで再度印刷してください。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタドライバの「文字を高速に印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。
	メモリオーバーが発生しました(ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。

注 1 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕で、設定を行ったときのみ表示されます。

注 2 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でも表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 エラー、警告	プリンタからの情報取得が できません(注2)	環境を確認してください。
	システムエラーが発生しま した(注2)	(注3)
	プリンタで異常が発生しま した	プリンタの状態を確認してください。
	プリンタからの応答が異常 です(注4)	(注3)
 用紙なし	指定した用紙がありません (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙 を補給し、オンラインにしてください。
	給紙カセットXに用紙があ りません(用紙サイズ)	給紙カセットXに用紙を補給し、オンラ インにしてください。
	給紙トレイに用紙がありま せん(用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してください。
 カセット エラー (暗い赤色)	給紙カセットがセットされ ていません	給紙カセットをセットしてください。
	用紙サイズが違います (用紙サイズ)	給紙カセット、また給紙トレイの用紙を 交換し、オンラインにしてください。
	給紙カセットxの用紙サイ ズが違います(用紙サイズ)	給紙カセットxの用紙を交換し、オンラ インにしてください。
	給紙トレイの用紙サイズが 違います(用紙サイズ)	給紙トレイの用紙を交換し、オンライン にしてください。

注2：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でも表示されます。

注3：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕では、エラー詳細に「エ
ラー詳細：コード」の形式でエラーコードが表示されます。

注4：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でのみ表示されます。

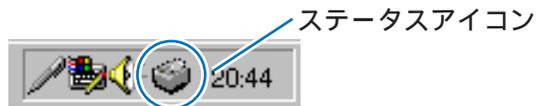
ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 紙詰まり	給紙カセット×で紙詰まりが発生しました	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	給紙トレイで紙詰まりが発生しました	
	プリンタ内部で紙詰まりが発生しました	
	排紙部で紙詰まりが発生しました	
 カートリッジエラー	プロセスカートリッジが正しくセットされていません	プロセスカートリッジをセットし直してください。
 ハードエラー	ハードエラーが発生しました	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。

▼ Printianavi によるメッセージ表示一覧

■ ステータス表示ウィンドウ

Printianavi の設定で「印刷中のステータス表示」を「表示しない」以外に設定している場合、印刷中にプリンタの状態や印刷状況を表示します。

▶ 最小化時



アイコン	説明
	印刷中です。
	プリンタが次の状態です。 印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、その他の状態を示します。

▶ ポップアップ時

ステータスアイコン



ステータス内容

ステータスアイコン	ステータス内容
 正常	[印刷中 ...]
 情報あり	[印刷中 ...] 部単位印刷の指定は無効です。(未サポート装置) [印刷待ち] プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。 [準備中 ...] 印刷の準備中です。しばらくお待ちください。 [印刷の再開準備中 ...] 印刷の再開準備中です。しばらくお待ちください。
 トナー少	[印刷中 ... (トナーニアンプティ)] トナーが残り少なくなりました。 [印刷中 ... (トナーニアンプティ)] トナーが残り少なくなりました。 部単位印刷の指定は無効です。(未サポート装置) [準備中 ... (トナーニアンプティ)] 印刷の準備中です。しばらくお待ちください。 トナーが残り少なくなりました。

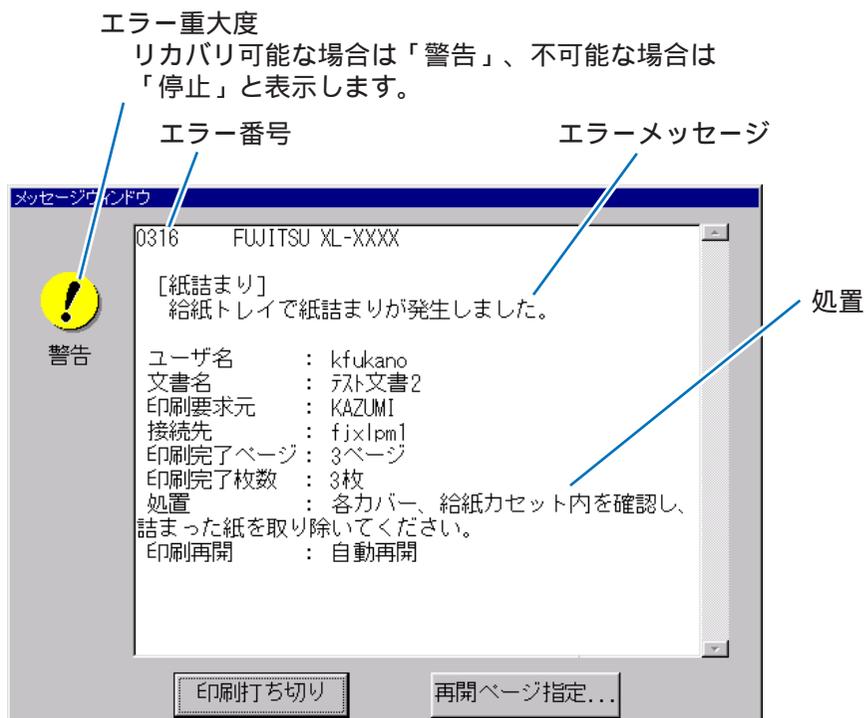
ステータスアイコン	ステータス内容
 エラー、警告	〔印刷設定中 ...〕 プリンタの設定スイッチが有効となっています。
 用紙なし	〔0300 オフライン〕 プリンタがオフラインとなっています。 プリンタをオンラインにしてください。
 カセットエラー	〔0301 用紙なし〕 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。 〔0302 用紙なし〕 給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。 〔0303 用紙なし〕 給紙トレイに用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙トレイに用紙を補給してください。
 エラー、警告	〔0304 カセットなし〕 給紙カセットがセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。 〔0305 カバーオープン〕 上部カバーが開いています。 上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。
 カセットエラー	〔0309 用紙交換〕 用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。 〔0310 用紙交換〕 給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。 〔0311 用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。

ステータスアイコン	ステータス内容
 紙詰まり	<p>[0314 紙詰まり] 排紙部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>[0315 紙詰まり] 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>[0316 紙詰まり] 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>[0317 紙詰まり] プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
 カートリッジエラー	<p>[0319 カートリッジなし] プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットし直してください。</p>
 エラー、警告	<p>[0351 メモリオーバー] メモリオーバーが発生しました。(ESC/Page) プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。</p>
	<p>[0353 メモリ不足] プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A4 以下のサイズで再度印刷してください。</p>
	<p>[0354 メモリ不足] プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの「文字を高速に印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。</p>
	<p>[0371 プリンタリセット] プリンタがリセットされました。 プリンタをオンラインにしてください。</p>

ステータスアイコン	ステータス内容
 エラー、警告	[0373 プリンタリセット] プリンタが初期化中です。 プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。
	[0390 プリンタ異常] プリンタで異常が発生しました。 プリンタの状態を確認してください。
	[XXXX 通信エラー] プリンタとの通信が異常となりました。 プリンタの電源を投入し直してください。
	[1500 応答なし] プリンタからの応答がありません。 プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。
 ハードエラー	[XXXX ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。
 エラー、警告	[1900 メモリ不足] メモリ不足が発生しました。 プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。
	[XXXX システムエラー] システムエラーが発生しました。 いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。

■ エラーメッセージ

Printianaviの設定で「エラー時にメッセージを通知する」を設定している場合、印刷中にエラーが発生したときにエラーメッセージを表示します。



以降のメッセージ一覧表中の自動再開欄の記号は、次の意味を示します。

- プリンタの操作でエラーが解除されると、印刷を自動的に再開します。
- 印刷開始前にエラーを検出した場合は、印刷を自動的に再開します。
- 印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。
- × 印刷を再開しません。(印刷打ち切り)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0300	オフライン	〔オフライン〕 プリンタがオフラインとなっています。	プリンタをオンラインにしてください。	
0301	用紙なし	〔用紙なし〕 指定した用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。	
0302	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ)	給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。	
0303	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙トレイに用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してください。	
0304	カセットなし	〔カセットなし〕 給紙カセットがセットされていません。	給紙カセットをセットしてください。	
0305	カバーオープン	〔カバーオープン〕 上部カバーが開いています。	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。	
0309	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 用紙サイズが違います。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0310	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ)	給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0311	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ)	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0314	紙詰まり	〔紙詰まり〕 排紙部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。(注1)	
0315	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。		
0316	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。		
0317	紙詰まり	〔紙詰まり〕 プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。		

注1: プリントサーバがWindows NT4.0の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0319	カートリッジなし	〔カートリッジなし〕 プロセスカートリッジが正しく セットされていません。	プロセスカートリッジをセットし 直してください。	
0351	メモリオーバー	〔メモリオーバー〕 メモリオーバーが発生したため、 印刷を一時停止しています。 (ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを 押してください。処理を続行しま す。	
0353	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足している ため、指定した印刷が行えませ ん。(解像度 600dpi)	プリンタドライバの解像度を 300 dpi に設定し直すか、A3、B4、リ ーガル用紙の場合には A4 以下の サイズで再度印刷してください。	
0354	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足している ため、指定した印刷が行えませ ん。(高速印刷)	プリンタドライバの「文字を高速 に印刷する」機能を無効にして、 再度印刷してください。	
0371	パネルリセット (注 2)	〔プリンタリセット〕 プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてくだ さい。	
0373	プリンタ ソフトリセット	〔プリンタリセット〕 プリンタが初期化中です。	プリンタの初期化終了後、印刷が 開始されます。	
0390	プリンタ異常	〔プリンタ異常〕 プリンタで異常が発生しました。	プリンタの状態を確認してくださ い。(注 1)	
0500	通信タイムアウト	〔通信エラー〕 プリンタとの通信が異常となり ました。	プリンタの電源を投入し直してく ださい。	
0520	パラメータ長			
~	エラー			
0526				
0540	未定義コマンド			
0560	コマンド			
~	シーケンスエラー			
0567				
5500	ポートモニタ			
~	エラー			
5505				
1520	プロトコル異常			

注 1: プリントサーバが Windows NT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

注 2: プリンタリセットのタイミングによっては、通信エラーとなることがあります。印刷を中止したいときは、プリンタをオフラインにしてから、Printianavi のエラーメッセージ画面で「印刷打ち切り」を実行することをお勧めします。

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
1500	通信タイムアウト (電源断)	〔応答なし〕 プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。プリンタの接続が正常な場合、プリンタ側のパネル操作で、双方向インターフェースが有効(バイセントロモード:設定)になっていることを確認してください。	
0700 ~ 0705	エンジン異常	〔ハードエラー〕 ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	
1900	メモリ不足 (パソコン側)	〔メモリ不足〕 メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。	×
5900 5901	システムエラー (ポートモニタ)	〔システムエラー〕 システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×
上記以外	システムエラー	〔システムエラー〕 システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×

ネットワーク用語の解説

■ SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理マネージャソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・ SNMP メッセージ

SNMP によるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説 明	メッセージの送信方向	
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ	エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント	マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント	マネージャ

なお、本プリンタでは SetRequest はサポートしていません。

■ MIB

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータを MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本プリンタは MIB- II および PrinterMIB をサポートしています。プリンタに添付されている CD-ROM には PrinterMIB に対応した ASN.1 形式の「XLprtmb.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これを SNMP 管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後にはサーバにIPアドレスを戻します。IPアドレス設定ユーティリティはDHCPを利用してプリンタへのIPアドレス割り当てを実現しています。

■ BPP (Business Printer Protocol)

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル(TCP/IPを使用)です。

プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているため、lpr印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

■ lpr (Line Printer Remote)

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows NTでは、TCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

ただし、双方向通信はサポートしていないため、lpr印刷ではPrintianavi機能は使用できません。

■ RFC (Request For Comments)

インターネットの研究開発機関IETF (Internet Engineering Task Force) がとりまとめている文書群を指します。一般的にはTCP/IPの規格書として知られています。

NetWare5 の TCP/IP 環境での印刷

本プリンタは、Novell NetWare5のNDPSを使用してTCP/IP環境でのLPR印刷が可能です。

ここでは、本プリンタをNovell NetWare5のNDPSで使用する場合のNDPSプリンタの作成手順（管理者のみ）について説明します。NDPSに関する詳細な情報につきましては、Novell NetWare5のマニュアルを参照してください。なお、本設定での印刷では、Printianaviの機能はご使用になれませんのでご了承ください。

■ 準備

・NDPSのセットアップ

あらかじめ、NDPSをサーバにセットアップしておいてください。セットアップ方法については、Novell NetWare5のマニュアルを参照してください。

・プリンタへのIPアドレスの設定

設定方法については、ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「プリンタをLANに直接接続する」を参照してください。IPアドレスは固定で取得するように設定してください。

また、IPアドレス設定ユーティリティで設定する場合は、Printianavi ネットワークポートモニタのポートを作成する必要はありません。手順9では〔完了〕をクリックしてください。

■ 手順

NDPS マネージャーの作成を行ってから、NDPS プリンタの作成を行います。

▶ NDPS マネージャーの作成

1 NetWare アドミニストレータを起動する

¥SYS¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMN32.EXE を実行してください。

2 [オブジェクト] から [作成] をクリックする

3 [NDPS Manager] をクリックし [OK] をクリックする

4 NDPS マネージャ名、常駐先サーバ、データベースボリュームを設定する

NDPS マネージャ名 適当な名前を入力します。

常駐先サーバ 右の [参照] をクリックし、適当なサーバを選択します。

データベースボリューム 右の [参照] をクリックし、適当なボリュームを選択します。

設定が終わったら、[作成] をクリックしてください。

▶ NDPS プリンタの作成

1 [オブジェクト] から [作成] をクリックする

2 [NDPS Printer] をクリックし、[OK] をクリックする

3 NDPS プリンタ名、プリンタエージェントのソースを設定する

NDPS プリンタ名 適当な名前を入力します。

プリンタエージェントのソース 「新規プリンタエージェントを作成する」を選択します。

設定が終わったら、[作成] をクリックします。

4 NDPS マネージャ名とゲートウェイタイプを設定する

NDPS マネージャ名 適当な名前を入力します。

NDPS マネージャ名 右の〔参照〕をクリックし、先ほど作成した NDPS マネージャを選択します。

ゲートウェイタイプ 「Novell プリンタゲートウェイ」をクリックします。

設定が終わったら、〔OK〕をクリックします。

5 NDPS マネージャをロードする

NDPS マネージャがロードされていません。ロードしますか？という意味の警告が表示されます。ここでは〔OK〕をクリックし NDPS マネージャをロードします。

6 プリンタタイプは「なし」、ポートハンドラタイプは「Novell ポートハンドラ」を選択し、〔OK〕をクリックする

7 接続タイプ、ホストアドレス、プリンタ名を設定する

接続タイプ 「リモート (IP 上で LPR)」を選択します。

ホストアドレス 本プリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタ名 「LP」と入力します。

設定が終わったら、〔完了〕をクリックします。

8 〔プリンタドライバの選択〕画面で、接続したプリンタを選択する

一覧にない場合は「なし」を選択してください。(ブローカーのリソース管理サービスを使用して、プリンタドライバを追加することができます。詳細は Novell のマニュアルを参照してください。)

プリンタの選択が終わったら、〔続行〕をクリックし、〔OK〕をクリックします。

以上で、作成した NDPS プリンタを出力先に指定して印刷ができます。

Printia XL トラブルシューティング

双方向プリンティングシステム「Printianavi」、および Printia XL ドライバを使用中に発生する問題の対処方法を示します。なお、以下の内容とともに、「Printia LASER プリントユーティリティ」CD-ROM 内の README.TXT もお読みください。

■ Windows 98/95 のプリンタポートから印刷できない

- ・プリンタケーブルが正しく接続されているか確認してください。プリンタ切り替え器やプリンタ増設カードをご利用の場合、プリンタとの双方向通信ができずに通信エラーが発生する場合があります。
- ・プリンタの電源を再投入してください。プリンタとの双方向通信が復旧することがあります。
- ・双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJ シリーズなど）をインストールしている場合は、他のプリンタの「印刷先のポート」を「FILE:」に変更してください。
- ・〔スプールの設定〕ダイアログボックスで「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」設定にし、印刷してください。
〔スプールの設定〕ダイアログボックスは、次の手順で開きます。

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。

2 〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択し、〔詳細〕〔スプールの設定〕を順にクリックします。

- ・「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」に設定すると印刷でき、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定すると印刷できないときは、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていない、あるいはポートドライバに不具合があると考えられます。

ECPプリンタポートが設定されている場合には、プリンタポートに変更します。

プリンタポートの変更は、次の手順で行います。

- 1 [スタート]から[設定][コントロールパネル]の順で選択します。
- 2 [システム]をダブルクリックし、[システムのプロパティ]ダイアログボックスを開きます。
- 3 [デバイスマネージャ]をクリックし、[ポート (COM/LPT)]の[プリンタポート (LPT1)]をダブルクリックして[プリンタポートのプロパティ]ダイアログボックスを開きます。
- 4 [ドライバ][ドライバの更新]の順にクリックし、「すべてのデバイスを表示」を選択します。
- 5 [プリンタポート]をダブルクリックし、プリンタポートを変更します。

プリンタポートを変更しても状態が改善されないときは、モジュール「LPT.VXD」を別のバージョンのモジュールに変更する必要があります。(Windows 95)

Windows 98/95 で印刷できるが、Printianavi のメッセージが表示されない

- ・ Printia XL ドライバが正しく選択されているか確認してください。プリンタを「通常使うプリンタに設定」することをお勧めします。なお、アプリケーションによっては、以前使用したプリンタを記憶している場合がありますので、どのプリンタを選択しているか確認してください。
- ・〔スプールの設定〕で、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていることを確認してください。（「Windows 98/95 のプリンタポートから印刷できない」を参照）
- ・プリンタのプロパティで「Printianavi を有効にする」が設定されていない場合、Printianavi のメッセージは表示しません。次の操作で「Printianavi を有効にする」を設定してください。

1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。

2 〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択し、〔Printianavi〕をクリックします。

- ・ネットワーク環境で Printianavi をお使いになる場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティを使用するすべてのパソコン（プリントサーバを含む）にインストールし、動作環境、および到着通知パネルの起動（クライアント）を設定する必要があります。詳しくは、ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」を参照してください。
- ・プリントサーバに Printianavi のメッセージが表示される場合は、クライアントの到着通知パネルをいったん終了し、再起動してください。クライアントの到着通知パネルを起動するときにプリントサーバが起動していなかったり、到着通知パネルを起動した後にプリントサーバを再起動したときにこのような現象が発生します。到着通知パネルを終了するときは、到着通知パネルを右クリックし、「到着通知パネルの終了」または「閉じる」を選択します。

■ Windows NT4.0 や Windows 98/95 以外の共有プリンタで Printianavi 機能を使いたい

Printianavi は、Windows NT4.0 および Windows 98/95 に対応しています。Windows NT4.0 より前のバージョン（3.51 など）や、IntranetWare、NetWare 4.1J / NetWare 3.12J では、Printianavi を使用することはできません。（共有プリンタとして利用することはできません。）

■ Windows NT3.51 のサーバ共有プリンタとして使用したいが、Windows NT3.51 用のプリンタドライバがない

Printia XL ドライバディスク V2.1 の Windows NT3.51 用のプリンタドライバを使用することができます。

プリンタが XL-6010 の場合は〔FUJITSU XL-6600〕を、XL-5710 の場合は〔FUJITSU XL-5700〕を、XL-5310 の場合は〔FUJITSU XL-5300〕を選択してください。

Printia XL ドライバディスク V2.1 の Windows NT3.51 用のドライバディスクは、ソフトウェアライブラリから作成できます。

ドライバディスクの作成方法については、「Printia XL ドライバディスクの作成」（8 ページ）を参照してください。

■ プリントサーバが Windows NT3.51、クライアントが Windows NT4.0 のときに、ネットワークインストールしたプリンタドライバで印刷できない

- ・プリントサーバとクライアントの Windows NT のバージョンが異なることが原因と考えられます。この環境で、〔ネットワークプリントサーバ〕を選択してインストールを行うと（54 ページ参照）異なるバージョン用に作成されたドライバがコピーされてしまうことがあります。この場合は、インストールしたドライバを削除し、〔このコンピュータ〕を選択してプリンタドライバをインストールし直します。次に、〔ポートの追加〕で印刷先のポート名に〈共有プリンタ名〉を割り当てます。

具体的な操作は、次のとおりです。

- 1 [スタート]から、[設定][プリンタ]の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。
- 2 [ファイル]メニューから、[プロパティ]を選択し、[ポート][ポートの追加]を順にクリックします。
- 3 利用可能なプリンタポートから[Local Port][新しいポート]の順にクリックします。
- 4 ポート名に共有プリンタ名(¥¥プリントサーバ名¥¥共有プリンタ名)を入力して[OK]ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/NT3.51 で TCP/IP 印刷サービス (LPR ポート) を使用したいがどうすればよいか

次の手順で、Windows NT4.0 で LPR 印刷を行うことが可能になります。

ただし、その場合には Printianavi の機能は使用できません。

▶ 準備

LPR 印刷を行うには、あらかじめ「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれていることが必要です。

[スタート]から[設定][コントロールパネル][ネットワーク][サービス]の順に選択すると表示される「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が表示されることを確認してください。表示されない場合は、組み込んでください。

▶ 手順

- 1 [スタート]から、[設定][プリンタ]の順で選択し、[プリンタの追加]をダブルクリックします。
- 2 [このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 3 [ポートの追加]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスの「利用可能なプリンタポート」のリストから、「LPR Port」を選択して[新しいポート]をクリックします。

4 [LPR 互換プリンタの追加] ダイアログボックスで、次の内容を入力します。

lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス：プリンタの IP アドレス
サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名： LP

入力が終わったら、[OK] をクリックします。



- ・プリンタの IP アドレスは、半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
(例：192.168.0.11 など)
- ・「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 やプリンタ LAN アダプタ FM-LNA100 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

5 「利用可能なポート」で追加したポートがチェックされていることを確認して、[次へ] をクリックします。

その後、「第 2 章 プリンタドライバのインストール」の「Windows NT4.0 のとき」の手順 6 (55 ページ) 以降の操作を行ってプリンタドライバのインストールを終了します。ただし、テストページの印刷は行わないでください。

6 印刷データのスパール方法を変更します。

- 1 [スタート] から、[設定][プリンタ] の順で選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択します。
- 2 [ファイル] メニューで [プロパティ] を選択します。
- 3 [スケジュール] をクリックし、「印刷ドキュメントをスパールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスパールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

7 双方向通信を無効にします。

[プロパティ] から [ポート] をクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。

スパール方法の変更が終わったら、[OK] をクリックします。

Windows NT3.51 の場合も、同様に設定を行います。ただし、次の点に注意してください。

- **アクセス権の設定**

Windows NT3.51のファイルシステムにNTFSを使用している場合、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。

- 1 ファイルマネージャを起動し、「¥system_root¥system32 ¥spool¥PRINTERS」ディレクトリをクリックします。
- 2 [セキュリティ][アクセス権]の順に選択し、「EVERYONE」に対する権限を「フルコントロール」にします。

- **スプールの設定**

印刷データのスプール方法は、[スプール中にジョブを印刷する]のチェックをはずします。

- 1 プリントマネージャを起動し、LPRE印刷のプリンタをクリックします。
- 2 [プリンタ]メニューから、[プリンタ情報]を選択します
- 3 「プリンタの作成」ダイアログで、[詳細]をクリックします。
- 4 [スプール中にジョブを印刷する]のチェックをはずして、[OK]をクリックします。

- Windows NT4.0 で TCP/IP 印刷サービスを組み込んでプリンタ LAN カード経由の印刷を行うと、「通信エラー」や「プリンタポートの書き込みエラー」が発生する

TCP/IP 印刷サービス (LPR ポート) は、プリンタとの双方向通信に対応していないため、エラーが発生します。

このエラーを回避するには、〔プリンタのプロパティ〕ダイアログボックスの〔ポート〕で、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

〔ポート〕は、次の操作で表示します。

- 1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。
- 2 〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕をクリックします。

- Windows NT4.0 で区切りページを指定すると、Printianavi のメッセージが表示されない

本プリンタは、Windows NT4.0 の区切りページファイル (*.sep) の印刷をサポートしていません。

また、Printianavi の機能が正常に動作しなくなるため、区切りページは使用しないでください。

■ TCP/IP 接続のネットワークプリンタに印刷できない Printianavi マネージャで「プリンタからの応答がありません」のメッセージが表示される

次の4点を確認してください。

- ・プリンタのネットワークケーブルが正しく接続されていますか。
- ・プリンタの電源を再投入してください。
- ・プリンタのネットワーク設定を確認してください。
(詳細は下の「プリンタのネットワーク設定の確認のしかた」参照)
- ・パソコンの印刷先ポートを確認してください。

ネットワークポートモニタの設定(ポートの設定または構成)で正しいIPアドレスが設定されているか確認してください。また、オプション設定のポート番号とプリンタのポート番号1が一致しているか確認してください。

▶ プリンタのネットワーク設定の確認のしかた

プリンタのネットワーク設定は、次の手順でオペレータパネルから「メニュー印刷」(LANの印刷)を実行すると確認できます。

- 1 プリンタがオンライン状態であることを確認する
- 2 次の順序でオペレータパネルのスイッチを操作する
「オンライン」 「メニュー」 「▼」 「▶」
- 3 プリンタのディスプレイが次のように表示されていることを確認する

メニュー	インサツ
LAN	ノ インサツ

4 「メニュー」(設定)スイッチを押し、一覧の印刷を開始する

印刷を開始しない場合は、選択している給紙口に用紙がセットされていることを確認して、操作をやり直してください。

印刷結果を見て、次の内容を確認してください。

- ・TCP/IP設定は「有効」になっていますか。
「無効」になっている場合は、オペレータパネルを操作して、TCP/IPを「有効」に設定してください。
- ・TCP/IP動作状態コードは、「0」になっていますか。
 - 「1」のとき IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
 - 「2」のとき DHCPによりTCP/IP構成情報を取得中です。もう一度LANの設定内容を印刷し直してください。
 - 「3」以上のとき ... DHCPによるTCP/IP構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCPサーバの設定を見直すか、プリンタのパネル操作で、DHCP自動取得を「解除」して、正しいIPアドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
また、IPアドレス設定ユーティリティを使って、設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。
IPアドレス設定ユーティリティでIPアドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP自動取得を「無効」に変更してください。
- ・TCP/IP設定の内容が正しいか確認してください。
TCP/IP設定の内容に誤りがある場合は、設定内容を変更してください。
- ・TCP/IP設定の内容とパソコン側のネットワーク設定が一致しているか確認してください。

■ 旧バージョン・レベルとの混在運用について

本プリンタと旧Printianavi対応プリンタを混在運用する場合、添付ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版に更新してください。

▶ プリンタドライバ

プリンタ	各プリンタに添付のバージョン・レベル
XL-5800/5300	XL ドライバディスク V2.1 L12 または V2.1L13
XL-5300A	XL ドライバディスク V2.1 L20 以降
XL-5810/5510	XL ドライバディスク V2.1 L20 以降
XL-6010/5710/5310	XL ドライバディスク V3.1 L10 または V3.1L11

最新版のプリンタドライバがインストールされていない場合は、最新版に更新してください。本プリンタ添付の CD-ROM に収められているソフトウェアライブラリから、最新版のプリンタドライバをダウンロードすることができます。

手順についての詳細は、「第 2 章 プリンタドライバのインストール」の「新しいドライバに置き換えるとき」(Windows 98/95 は 49 ページ、Windows NT4.0 は 62 ページ、Windows 3.1 は 72 ページ) を参照してください。

▶ Printianavi ポートモニタ

プリンタ	各プリンタに添付のバージョン・レベル
XL-5810/5510	Printianavi ネットワークポートモニタ V1.1L10
XL-6010/5710/5310	Printianavi ネットワークポートモニタ V3.1L10

本プリンタ添付の CD-ROM に収められている Printianavi ネットワークポートモニタを上書きインストールしてください。

上書きインストールは、通常のインストールと同じ手順で行いますが、次の点に注意してください。

- ・ Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
- ・ Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。

▶ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

プリンタ	各プリンタに添付のバージョン・レベル
XL-5800/5300	Printia LASER プリンタユーティリティ V1.1
XL-5300A/5810/5510	Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1
XL-6010/5710/5310	Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V3.1L10 または L11

最新版のPrintianaviネットワーク連携ユーティリティがインストールされていない場合は、次の手順で最新版に更新してください。

1 *Printia LASER* プリンタユーティリティ V1.1 または *Printianavi* ネットワーク連携ユーティリティをアンインストールする

アンインストール作業は、Windows 起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で行ってください。

2 本プリンタに添付されている *Printianavi* ネットワーク連携ユーティリティをインストールする

また、ソフトウェアの更新はサーバおよびクライアントパソコン双方で行い、バージョン・レベルを同一にしてください。

▶ Printianavi マネージャ

プリンタ	各プリンタに添付のバージョン・レベル
XL-6010/5710/5310	Printianavi マネージャ V3.1L10 または V3.1L11

本プリンタ添付のCD-ROMに収められているPrintianavi マネージャを上書きインストールしてください。

上書きインストールは、通常のインストールと同じ手順で行いますが、次の点に注意してください。

- ・Printianavi マネージャが起動されている場合は、終了させてから上書きインストールを行ってください。

■ 以前作成した文書を印刷したが、プリンタドライバの設定内容と違う印刷結果になる

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。

このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

そのような場合は、プリンタのプロパティ（Windows 98/95）やドキュメントの既定値（Windows NT4.0）で設定を変更しても反映されません。

印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

■ ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更したら、Printianavi 機能が使えなくなった

ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポート（LPT1 や Printianavi ネットワークポートモニタ(Printianavi Network Port)のポートなど）に変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi 機能が使用できなくなります。

印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタをインストールしてください。

索引 ~ プリンタ編 ~

A		J	
A3 ユニバーサル	7	JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	161
ACK タイミング	100	JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	164
ANK 文字	93	JIS C6234-1983 の字体との違い ...	167
C		L	
CR コード	93, 95	LAN	
E		ケーブルコネクタ	7
EG モード設定	95	経由の接続	34
EP モード設定	93	初期化	102
ESC/Page モード		設定	101
キャラクタコード一覧表	157	に接続するときの注意事項	35
コマンド一覧表	153	パソコンと LAN の両方に	
の印刷条件を設定する	95	接続したときの留意事項	37
印刷可能領域	150	LF コード	95
ESC/P モード		O	
キャラクタコード一覧表	156	OHP フィルム	21
コマンド一覧表	151	P	
の印刷条件を設定する	93	Printia XL ドライバ	
印刷可能領域	150	印刷時の表示内容	77
Ethernet タイプ	101	で印刷する	10
F		印刷可能領域	150
FF コード	95	Printianavi	
H		使用時のネットワーク接続形態	36
HEX ダンプ印刷	99	使用時の留意事項	36
を行う操作	107	T	
I		TCP/IP 設定	101
INIT 受信	101	ア	
		アフターサービス	168

イ

移動	
近くに移動する	69
イメージパターン	95
印刷	
可能領域	150
設定	91
品質が低下したとき	124
部数を一時的に切り替える	82
Printia XL ドライバで印刷する	10
いろいろな印刷のしかた	10
エミュレーションモードで印刷する	10
印刷濃度	
調整ダイヤル	8
を調整する	62
印刷方向	76, 91, 149
スイッチ	9
を一時的に切り替える	79
インタフェース仕様	148

ウ

運搬	
梱包して運搬する	73

エ

液晶ディスプレイ	9
の表示内容	76
エミュレーション設定	91
エミュレーションモード	
で印刷する	10
を切り替える	11
を使う上での留意事項	12
エラー	
コード	95
メッセージが表示されたとき ...	128

オ

オプション	
カバー	7
取り付け上のご注意	134
の取り付け	133
品	14
オフライン状態	78
オンライン状態とオフライン状態を切り替える ...	78
オペレータパネル	7, 9
を操作する	78
オンライン	
状態	78
状態とオフライン状態を切り替える ...	78
スイッチ	9
ランプ	9

カ

改行コード	95
改ページ	95
改ページコード	95
拡張給紙ユニット	14
を取り付ける	139
を取り外す	143
紙送りローラの清掃	65
紙づまり	
になったとき	118
の主な原因	119
の取り除きかた	119
環境設定	96
漢字一覧表	
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	161
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	164
漢字書体	93
官製はがき	21

キ

キャラクタコード一覧表	
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表 ..	157
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	156

セットアップ	
項目	90
項目一覧	108
の操作方法	104
接続	
外部との接続	31
電源コードの接続	38
パソコンと接続するときの留意事項...	36
パソコンとの接続	32

ソ

操作	
HEX ダンプ印刷を行う操作	107
選んだ項目に設定する操作	104
基本的な操作	104
数値を設定する操作	106
メニュー印刷やテスト印刷を行う操作.....	106
双方向プリンティングシステム	
使用時のネットワーク接続形態 .	36
使用時の留意事項	36

タ

第一水準漢字一覧表	161
第二水準漢字一覧表	164
タイマー監視	98
タッチ音	97
縦余白設定	94

チ

中止	
印刷を中止する	86

ツ

通風口	7
-----------	---

テ

データ	
なし印刷	97
保証	97
ランプ	9

テスト印刷	90
を行う操作	106
電源	
スイッチ	7
ランプ	9
を入れる	42
を切る	43
電源コード	
コネクタ	7
の接続	38

ト

動作モード	76
を切り替える	91
登録	103
特長	
プリンタの特長	5
トナーセーブ	96
補正	99

ハ

排紙	
トレイ	7
部	7
排出スイッチ	9
バイセントロモード	100
はがき	
官製はがき	21
パソコン	
インタフェース	76, 77
とLANの両方に接続したときの留意事項 ...	37
と接続するときの留意事項	36
との接続	32
パワーセーブ時間	98

ヒ

ビジーディレイ	100
描画位置	77

フ		メ	
ブザー	97	メッセージランプ	9
復帰改行	95	メニュー印刷	90
復帰コード	93, 95	設定モード	82
普通紙推奨用紙	17	設定モードの操作方法	83
不定形サイズ	82, 84, 92	やテスト印刷を行う操作	106
プリンタ		メニュースイッチ	9
の寸法	27	メモリオーバー解除	96
の特長	5		
- を長時間使用しないとき	68	モ	
プリンタ LAN アダプタ	15	文字コード	93
プリンタ RAM モジュール	15		
を取り付ける	135	ヨ	
を取り外す	137	用紙	
プリンタケーブル	16	関係	149
コネクタ	7	のサイズ	20
プロセスカートリッジ	8, 17	の保管上のご注意	23
の回収サービス	17	給紙カセット(A3 ユニバーサル)に	
の交換	54	用紙をセットする	46
の取り扱いと保管	61	給紙カセット(A4・500 枚)に	
を取り付ける	58	用紙をセットする	51
を取り外す	57	給紙トレイに用紙をセットする	44
プロトコル	101	使用できない用紙	22
		使用できる用紙	20
ヘ		用紙サイズ	76, 77
ヘキサダンプ	99	を一時的に切り替える	82
		横余白設定	94
ホ		ラ	
ポート 1 設定	100	ラベル紙	21
ポート切替時間	99		
保守モード	103	リ	
補助機能設定	98	リセット	
		スイッチ	9
ミ		プリンタをリセットする	86
未印刷データを強制的に印刷する	87	リリースボタン	7
右マージン位置	93		

レ

レーザープリンタ置台 17

ロ

ローラ

紙送りローラの清掃 65

索引～ソフトウェア編～

A		O	
Acrobat Reader 3.0J	15	OHP フィルム	101
B		P	
BPP	153	Plug & Play によるインストール	33
Business Printer Protocol	153	Windows 95	38
C		Windows 98	33
CD-ROM の内容	5	Printia XL	
D		ドライバディスクの作成	8
DHCP	153	ドライバのプリンタステータス	138
E		トラブルシューティング	157
EMF でスプールする	122	プリンタドライバ	6
F		Printianavi	9
FUJITSU XL-XXXX ダイアログ	91, 106	インストーラ	6
L		機能	9
LAN ケーブルで接続する場合	20	ダイアログ	81, 89, 125
LAN 接続プリンタに印刷するとき		によるメッセージ表示一覧	143
Windows 98/95	47	ネットワークポートモニタ	12
Windows NT4.0	60	の設定	123
lpr	153	を有効にする	95, 123
M		Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	13
MIB	152	Printianavi マネージャ	6, 14
N		プリンター一覧	136
N-up 印刷	94, 107	プリンタステータス	138
の設定例	108	R	
NetWare		Request For Comments	153
対応 XL プリンタ	4	RFC	153
- 5 の TCP/IP 環境での印刷	154	S	
		SNMP	152, 154, 155

T

TCP/IP

- を使用する 128
- NetWare5 の TCP/IP 環境での印刷 154

W

Windows 3.1

- 新しいドライバに置き換えるとき 72
- 印刷先ポートの追加と変更 71
- 設定画面 90
- ダイアログ一覧 91
- プリンタドライバのインストール 67

Windows 95

- Plug & Play によるインストール ... 38
- 新しいドライバに置き換えるとき 49
- アプリケーションソフトからの設定画面 75
- 印刷先ポートの追加と変更 45
- スタートからの設定画面 77
- 設定画面 75
- ダイアログ一覧 78
- プリンタ設定のプロパティ 75
- プリンタドライバのインストール 28
- プリンタのプロパティ 77
- プリンタを共有する 43

Windows 98

- Plug & Play によるインストール ... 33
- 新しいドライバに置き換えるとき 49
- アプリケーションソフトからの設定画面 75
- 印刷先ポートの追加と変更 45
- スタートからの設定画面 77
- 設定画面 75
- ダイアログ一覧 78
- プリンタ設定のプロパティ 75
- プリンタドライバのインストール 28
- プリンタのプロパティ 77
- プリンタを共有する 43

Windows NT4.0

- 新しいドライバに置き換えるとき 62
- 印刷先ポートの追加と変更 59
- スタートからの設定画面 84
- 設定画面 82
- ダイアログ一覧 86
- ドキュメントの既定値 84
- ネットワークインストール 65
- プリンタ設定のプロパティ 82
- プリンタドライバのインストール 53
- プリンタのプロパティ 85
- プリンタを共有する 58

X

- XL プリンタ 4

ア

- 明るさ 116, 117
- 新しいドライバに置き換えるとき
 - Windows 3.1 72
 - Windows 98/95 49
 - Windows NT4.0 62
- 厚紙 101
- アプリケーションソフト
 - からの設定画面(Windows 98/95) 75
 - からの設定画面(Windows NT4.0) 82

イ

- イメージサイズの調整 103
- 印刷
 - するときの基本的な設定 98
 - するときの設定 93
 - の終了を通知する 127
 - の調整に関する設定 94, 114
- N-up 印刷 94, 107
- 拡大 / 縮小印刷 94, 102
- きれいに印刷する 94, 114
- 高速に印刷する 94, 118
- 縮小印刷 106

- 白紙ページの印刷 122
- 複数部数 / 部単位印刷 94, 110
- 部単位印刷 110
- 不定形サイズの用紙に印刷するとき 99
- 便利な印刷機能 94, 102
- 文字をイメージとして印刷する 122
- 文字を高速に印刷する 119
- 両面印刷 94, 112
- 印刷打ち切り操作 11
- 印刷オプションダイアログ 80, 87
- 印刷先ポートの追加と変更
- Windows 98/95 45
- Windows 3.1 71
- Windows NT4.0 59
- 印刷中のステータス表示について 126
- 印刷部数設定ダイアログ 91, 111
- 印刷方向 99
- インストール
- が終わったら 25
- の概要 3
- の手順 16
- Acrobat Reader 3.0J 15
- Plug & Play によるインストール ... 33
- Printia XL ドライバ 9
- 代替ドライバのインストール 63
- 通常のインストール 28
- ネットワークインストール 50, 65
- プリンタドライバのインストール
- (Windows 3.1) 67
- プリンタドライバのインストール
- (Windows 98/95) 28
- プリンタドライバのインストール
- (Windows NT4.0) 53
- エ**
- エラー
- 時ポップアップ 125
- 詳細 140
- メッセージ 148
- を通知する 127
- オ**
- オプション機能を設定する 94, 121
- オプションダイアログ 91, 106
- オプションの装着状態を設定する 132
- カ**
- 解像度 114, 118
- 拡大 / 縮小印刷 94, 102
- の設定例 104
- 拡張スタッカ 133
- 画面の説明 130
- 画面表示の例 4
- かんたんバーコード Lite 7
- キ**
- 旧 Printianavi 対応プリンタ 4
- 給紙
- / 排紙方法を指定する 100
- カセット 101, 133
- 情報 138
- 方法 101
- 給紙口
- 用紙と給紙口の機能の組み合わせについて 96
- 共有
- ダイアログ 78, 88
- プリンタを共有する 43, 58
- きれいに印刷する 94, 114

ク	
クライアント側の設定	
LAN ケーブルで接続する場合	24
プリンタケーブルで接続する場合	19
グラフィックダイアログ	80, 87
コ	
高速転送	12
高速に印刷する	94, 118
サ	
サーバ側の設定	
LAN ケーブルで接続する場合	22
プリンタケーブルで接続する場合	18
サーバ経由で印刷するとき	
Windows 98/95	46
Windows NT4.0	60
サーバで共有しないとき	
LAN ケーブルで接続する場合	20
プリンタケーブルで接続する場合	17
サーバで共有するとき	
LAN ケーブルで接続する場合	22
プリンタケーブルで接続する場合	17
最小化	125
表示	126
シ	
自動給紙	101
縮小印刷	106
出力用紙	
の設定	102
の選択	100
詳細ダイアログ	78
情報ダイアログ	78
ス	
スケジュールダイアログ	88
スタートからの設定画面	77, 84
ステータス	
アイコン	140
表示ウィンドウ	143
スミージング	115
セ	
セキュリティ	
ダイアログ	89
設定	
印刷するときの基本的な設定	98
印刷するときの設定	93
印刷の調整に関する設定	94, 114
オプション機能を設定する	121
オプションの装着状態を設定する	132
プリンタドライバに関する設定	95, 132
より便利にお使いいただくための設定	95
設定画面	
Windows 3.1	90
Windows 98/95	75
Windows NT4.0	82
アプリケーションソフトからの設定画面	
(Windows 98/95)	75
アプリケーションソフトからの設定画面	
(Windows NT4.0)	82
スタートからの設定画面	77, 84
設定の概要	16
設定方法	
印刷先ポートの追加と変更	
(Windows 3.1)	71
印刷先ポートの追加と変更	
(Windows 98/95)	45
印刷先ポートの追加と変更	
(Windows NT4.0)	59
プリンタを共有する(Windows 98/95)	44
プリンタを共有する(Windows NT4.0)	58
全般ダイアログ	78, 87

ソ

装置オプションダイアログ	81, 89, 110, 132
ソフトウェアマニュアル	15
ソフトウェアライブラリ	6

タ

ダイアログ

FUJITSU XL-XXXX ダイアログ	91, 106
Printianavi ダイアログ	81, 89, 125
印刷オプションダイアログ	80, 87
印刷部数設定ダイアログ	91, 111
オプションダイアログ	91, 106
共有ダイアログ	78, 88
グラフィックスダイアログ	80, 87
詳細ダイアログ	78
情報ダイアログ	78
スケジュールダイアログ	88
セキュリティダイアログ	89
全般ダイアログ	78, 87
装置オプションダイアログ	81, 89, 110, 132
排紙方法設定ダイアログ	92
ポートダイアログ	88
用紙ダイアログ	79, 86, 102, 110
両面印刷設定ダイアログ	92
両面印刷ダイアログ	79, 86
レイアウトダイアログ	79, 86, 107
ダイアログ一覧	
Windows 3.1	91
Windows 98/95	78
Windows NT4.0	86
代替ドライバのインストール	63
ダウンロード	6
短辺と同じ	112

チ

注意事項	96
長辺と同じ	112

ツ

追加

印刷先ポートの追加と変更	45, 59, 71
--------------------	------------

テ

ディザ (ディザリング)	116, 117
手差し	101

ト

ドキュメントの既定値	84
とじしろ	
位置	113
量	113
トナーセーブする	121
トラブルシューティング	
Printia XL トラブルシューティング	157

ネ

ネットワーク

用語の解説	152
ネットワークインストール	50
Windows 95	50
Windows 98	50
Windows NT4.0	65
ネットワークポートモニタ	6
ネットワーク連携ユーティリティ	6

ハ

ハーフトーンカラー

の調整	117
排紙方法	101
設定ダイアログ	92
を指定する	100
白紙ページの印刷	113, 122
パソコン側の設定	
LAN ケーブルで接続する場合	20
プリンタケーブルで接続する場合	17

ヒ		
表示方法	129	
フ		
複数部数 / 部単位印刷	94	
Windows 3.1	111	
Windows 98/95/NT4.0	110	
部数	110, 111	
部単位		
印刷	110, 111	
印刷機能	110	
印刷対応プリンタ	4	
に印刷する	111	
普通紙	101	
不定形サイズの用紙に印刷するとき ...	99	
プリンタ		
一覧	136	
状態	140	
ステータス	138	
設定のプロパティ (Windows 98/95)	75	
設定のプロパティ (Windows NT4.0)	82	
の状態を設定値に反映する ...	95, 131	
の状態を表示する	95, 129	
のプロパティ	77, 85	
の呼び分け	4	
を共有する (Windows 98/95) ...	43	
を共有する (Windows NT4.0)	58	
プリンタ側の設定		
LANケーブルで接続する場合	20, 22	
プリンタケーブルで接続する場合	17	
プリンタドライバ		
に関する設定	95, 132	
の機能	93	
の設定の概要	93	
のバージョンを確認する	134	
プリンタメモリ	119, 132	
		プロパティ
		プリンタ設定のプロパティ
		75
		プリンタのプロパティ
		(Windows 98/95)
		77
		プリンタのプロパティ
		(Windows NT4.0)
		85
		ヘ
		ページ配置
		107
		変更
		印刷先ポートの追加と変更 ...
		45, 59, 71
		ホ
		ポート
		ダイアログ
		88
		ポップアップ
		125
		表示
		126
		エラー時ポップアップ
		125
		メ
		メッセージ
		一覧
		136
		の表示方法を変更する
		95, 125
		表示
		10
		モ
		文字
		をイメージとして印刷する
		122
		を高速に印刷する
		119
		ヨ
		用紙
		種類
		101
		ダイアログ
		79, 86, 102, 110
		と給紙口の機能の組み合わせについて ...
		96
		用紙サイズ
		98, 102, 106
		と向きを指定する
		98

リ

両面印刷	94, 112
設定ダイアログ	92
ダイアログ	79, 86
対応プリンタ	4
両面ユニット	133

レ

レイアウト

ダイアログ	79, 86, 107
枠を付ける	107

ページプリンタ XL-5720/5320

取扱説明書

B1WY-4391-01-00

発行日 1999年11月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU